KYOCERA
Document Solutions

> PRINT > COPY > SCAN > FAX

ECOSYS M5526cdw

使用説明書

ECOSYS®

KYOCERA

ECOSYS M5526cdw

使用説明書　メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

- 目次
- 索引
- 1 正しくお使いいただくために
- 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスを管理する
- 2 設置と機械のセットアップ
- 8 システムメニュー
- 3 本機を使用する前に
- 9 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理）
- 4 パソコンからの印刷
- 10 こんなときには
- 5 本体側の操作
- 11 付録
- 6 さまざまな機能を使う

はじめに

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

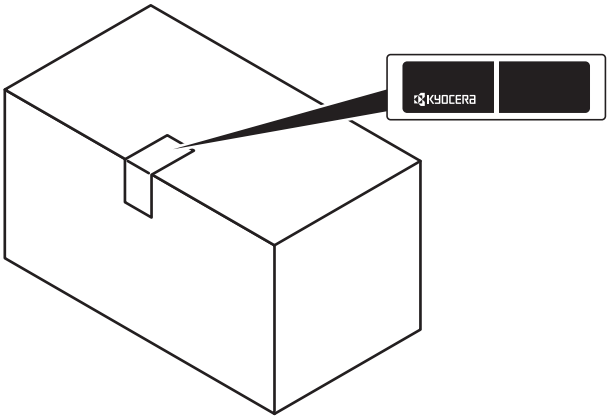
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

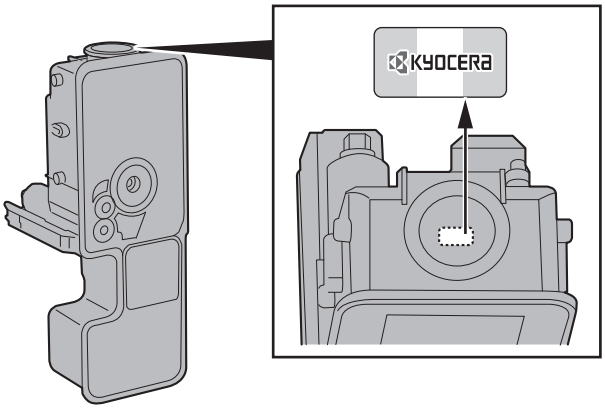
品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

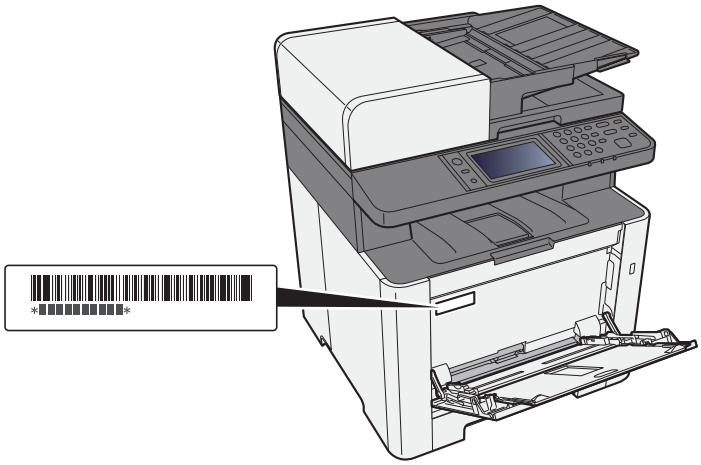
弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。





シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

目次

はじめに i
目次 ii
こんなことができます x
本機の特長 xi
カラーや画質の機能について xv
基本的なカラーモード xv
画質やカラーを調整する xvi
付属マニュアルの紹介 xvii
使用説明書（本書）について xix
本書の構成について xix
本書の読みかた xx
オプションの表記について xxii
メニューマップ xxiii

1 正しくお使いいただくために 1-1
注意事項 1-2
本書中の注意表示について 1-2
設置環境について 1-3
取り扱い上のご注意 1-4
コピー/スキャン禁止事項 1-5
法律上のご注意 1-6
本製品の省エネ制御機能について 1-12
自動両面機能について 1-12
印刷用紙 1-12
電力管理 1-12
国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム 1-12
無線LAN使用時のご注意 1-13
電波の種類と干渉距離 1-13
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 1-13
本製品の使用限定 1-14

2 設置と機械のセットアップ 2-1
各部の名称（本体外観） 2-2
各部の名称（コネクター・内部） 2-4
各部の名称（オプション装着時） 2-6
本機とその他デバイスを接続する 2-7
ケーブルを接続する 2-8
ネットワークケーブルを接続する 2-8
USBケーブルを接続する 2-9
電源コードを接続する 2-9
電源を入/切する 2-10
電源を入れる 2-10
電源を切る 2-10
操作パネルの使いかた 2-11
操作パネルキー 2-11
タッチパネルの表示 2-12
ホーム画面 2-12
機器情報を表示する 2-16
機能キーを表示する 2-17
設定できないキーの表示 2-18
[エンター]キーの使いかた 2-19
[短縮]キーの使いかた 2-19

ヘルプ画面の使いかた 2-20
本機にログイン･ログアウトする 2-21
ログインする 2-21
ログアウトする 2-22
機械の初期設定をする 2-23
日付と時刻を設定する 2-23
ネットワークを設定する 2-24
有線でネットワークを設定する 2-24
ワイヤレスネットワークを設定する 2-25
Wi-Fi Directを設定する 2-30
省エネ機能を使う 2-32
スリープとは 2-32
オートスリープとは 2-32
スリープレベルとは（節電優先と復帰優先） 2-33
静音モードを使う 2-34
簡単セットアップウィザードを設定する 2-35
ソフトウェアをインストールする 2-37
収録ソフトウェア（Windows） 2-37
Windowsにソフトウェアをインストールする 2-38
ソフトウェアをアンインストールする 2-44
Macintoshにソフトウェアをインストールする 2-45
TWAINドライバーを設定する 2-47
WIAドライバーを設定する 2-49
カウンターを確認する 2-50
管理者に準備していただきたいこと 2-51
パソコンに文書を送信するためには 2-51
セキュリティーを強化する 2-51
Command Center RXとは 2-52
Command Center RX へアクセスする 2-53
セキュリティー設定を変更する 2-54
デバイス情報を変更する 2-56
SMTPおよびメール送信の設定をする 2-58
宛先を登録する 2-62
弊社の他製品からデータを移行する 2-63
アドレス帳を移行する 2-63

3 本機を使用する前に 3-1

用紙をセットする 3-2
用紙の取り扱い上の注意 3-2
給紙段の選択 3-3
カセット1に用紙をセットする 3-4
カセット2に用紙をセットする 3-7
用紙を排出するときの留意点 3-9
排紙ストッパー 3-9
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 3-10
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする 3-10
ユーザー名とドメイン名をメモする 3-12
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする 3-13
Windowsファイアウォールの確認 3-16
アドレス帳の登録 3-21
アドレス帳に宛先を登録する 3-21
ワンタッチキーを登録する 3-28

4 パソコンからの印刷 4-1

プリンタードライバーのプロパティ画面 4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する 4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する（Windows 8.1の場合） 4-3
パソコンから印刷する 4-4
定形サイズの用紙に印刷する 4-4
不定形サイズの用紙に印刷する 4-6
パソコンで印刷を中止する 4-9
携帯端末から印刷する 4-10
AirPrintで印刷 4-10
Google Cloud Printで印刷 4-10
Mopriaで印刷 4-10
Wi-Fi Directで印刷 4-10
本体に保存したデータを印刷する 4-11
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-11
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する 4-12
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する 4-12
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する 4-13
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する 4-13
クイックコピーボックスからジョブを印刷する 4-14
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する 4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する 4-15
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する 4-15
本機の状態をパソコンから確認するには
（ステータスモニター） 4-16
ステータスモニターを起動する 4-16
ステータスモニターを終了する 4-16
Quick View State 4-16
印刷情報アイコンタブ 4-17
用紙情報アイコンタブ 4-17
トナー情報アイコンタブ 4-17
アラート情報アイコンタブ 4-18
ステータスモニターコンテキストメニュー 4-18
ステータスモニターの通知機能を設定する 4-19

5 本体側の操作 5-1

原稿をセットするには 5-2
原稿ガラスにセットする 5-2
原稿送り装置にセットする 5-3
手差しトレイに用紙をセットする 5-5
よく使う機能を呼び出す（お気に入り） 5-8
お気に入りをウィザード形式で登録する 5-9
お気に入りをプログラム形式で登録する 5-10
お気に入りをウィザード形式で実行する 5-11
お気に入りをプログラム形式で実行する 5-12
お気に入りを編集する 5-12
お気に入りを削除する 5-12
よく使う機能を登録するには（ショートカット登録） 5-13
ショートカットを登録する 5-13
ショートカットを編集する 5-14
ショートカットを削除する 5-14
コピーのしかた 5-15
コピーする 5-15

印刷ジョブをキャンセルする 5-15
基本的なスキャン(送信)のしかた 5-16
メールで送信する 5-17
送信前の設定をする 5-17
スキャンした文書をメールで送信する 5-17
パソコンの共有フォルダーに送信する(SMB送信) 5-18
送信前の設定をする 5-18
パソコンの共有フォルダーに送信する 5-18
FTPのフォルダーに送信する(FTP送信) 5-21
送信前の設定をする 5-21
FTPサーバーのフォルダーに送信する 5-21
TWAINまたはWIAを使って読み込む 5-23
送信前の設定をする 5-23
アプリケーションで画像を読み込む 5-23
便利なスキャン(送信)のしかた 5-24
WSDスキャン 5-25
ドライバーをインストールする 5-25
WSDスキャンを実行する 5-27
File Management Utilityを使って読み込む 5-28
読み込み前の設定をする 5-28
FMUで設定したお気に入りを呼び出して読み込む 5-28
種類の異なる相手への送信(複合送信) 5-29
ログインユーザーのメールアドレスに送信する 5-30
送信前の設定をする 5-30
ログインしているユーザーのメールアドレスに送信する 5-30
スキャン(送信)をキャンセルする 5-31
宛先を操作する 5-32
宛先の選びかた 5-32
アドレス帳から宛先を選ぶ 5-32
拡張アドレス帳から宛先を選ぶ 5-34
ワンタッチキーから宛先を選ぶ 5-35
宛先を確認または変更する 5-35
送信前に宛先を確認する 5-36
再宛先を呼び出す 5-36
ファクスのしかた 5-37
文書ボックスを使用する 5-38
ジョブボックスとは 5-38
外部メモリーボックスとは 5-38
Fコードボックス/ポーリングボックスとは 5-38
USBメモリーの操作 5-39
USBメモリー内のデータを印刷する 5-39
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB) 5-40
USBメモリー情報を確認する 5-42
USBメモリーを取り外す 5-42

6 さまざまな機能を使う 6-1

さまざまな機能を使う 6-2
本機に用意されている機能について 6-2
コピー 6-2
送信 6-4
外部メモリー(文書保存、印刷) 6-6
各種機能 6-8
用紙選択 6-9
縮小/拡大 6-10

濃度 6-11
両面/分割 6-12
ページ集約 6-14
カラー選択 6-16
ソート 6-16
原稿サイズ 6-17
原稿セット向き 6-18
原稿サイズ混載 6-18
原稿の画質 6-19
エコプリント 6-19
色相調整 6-20
カラーバランス 6-21
シャープネス 6-22
コントラスト 6-22
地色調整 6-23
白紙ページスキップ 6-23
彩度 6-24
連続読み込み 6-24
ジョブ終了通知 6-25
文書名入力 6-26
優先印刷 6-26
ファイル形式 6-27
両面（両面原稿） 6-30
送信サイズ 6-31
ファイル分割 6-31
読み込み解像度 6-32
メール件名/本文 6-32
FTP暗号送信 6-33
保存サイズ 6-33
暗号化PDFパスワード 6-34
JPEG/TIFF印刷方法 6-34
XPS印刷サイズ調整 6-34

7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1

ジョブの状況を確認する 7-2
状況確認画面の内容 7-3
ジョブの詳細情報を確認する 7-7
ジョブの履歴を確認する 7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する 7-9
ジョブ履歴を送信する 7-9
ジョブの操作 7-10
ジョブの一時停止と再開 7-10
ジョブをキャンセルする 7-10
デバイスの状態（デバイス/通信）を確認する 7-11
トナーや用紙の残量（用紙/消耗品）を確認する 7-12

8 システムメニュー 8-1

本機の初期設定（システムメニュー） 8-2
操作方法 8-2
システムメニューの項目 8-3
言語選択 8-5
レポート 8-5
ユーザー情報 8-7
カセット/手差しトレイ設定 8-8

共通設定 8-10
ホーム 8-19
コピー 8-20
送信 8-21
文書ボックス 8-22
ファクス 8-22
アドレス帳/ワンタッチ 8-22
ユーザー/部門管理 8-23
プリンター 8-23
システム/ネットワーク 8-26
日付/タイマー/節電 8-39
調整/メンテナンス 8-40

9 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理） 9-1

ユーザー管理とは 9-2
パソコンからユーザーを管理する 9-2
ユーザー管理を有効にする 9-3
ユーザー管理を設定する 9-4
認証セキュリティーを設定する 9-4
新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト） 9-5
ユーザー情報を変更する 9-8
印刷のユーザー管理 9-11
TWAINを使ったスキャンのユーザー管理 9-12
WIAを使ったスキャンのユーザー管理 9-13
パソコンから送信するファクスのユーザー管理 9-14
グループ認可を設定する 9-15
ゲスト認可を設定する 9-18
ネットワークユーザー情報を取得する 9-21
簡単ログイン設定とは 9-23
ICカード認証方法を設定する 9-26
PINコード認証を設定する 9-27
ユーザー管理の使いかた 9-28
ログイン/ログアウトをする 9-28
部門管理とは 9-29
パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する 9-29
部門管理を有効にする 9-30
部門管理方式を設定する 9-30
部門管理を設定する 9-31
部門を新規に登録する 9-31
使用制限を設定する 9-32
部門情報を編集する 9-33
部門を削除する 9-34
印刷の部門管理をする 9-35
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する 9-36
WIAを使ったスキャンジョブを管理する 9-37
パソコンから送信したファクスジョブを管理する 9-38
部門管理の運用 9-39
初期設定 9-39
使用枚数を集計する 9-40
部門管理レポートを印刷する 9-41
部門管理の使いかた 9-42
ログイン/ログアウトをする 9-42
不明ユーザー処理方法を設定する 9-43
ID不明ジョブ処理を設定する 9-43
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する 9-44

10 こんなときには 10-1

日常のお手入れ 10-2
清掃について 10-2
原稿ガラスを清掃する 10-2
スリットガラスを清掃する 10-3
搬送ユニットを清掃する 10-4
消耗品の交換と補充 10-5
消耗品の交換と補充について 10-5
トナーコンテナを交換する 10-5
用紙を補給する 10-8
一般的なトラブル 10-9
トラブルが発生したら 10-9
機械動作のトラブル 10-9
画像のトラブル 10-12
カラー印刷のトラブル 10-15
こんな表示がでたら 10-16
メッセージが表示されたら 10-16
エラーメッセージ一覧 10-16
送信エラーコード一覧 10-25
調整/メンテナンスメニュー 10-28
調整/メンテナンスメニューについて 10-28
カラー印刷位置補正を実行する 10-28
ドラムリフレッシュを実行する 10-33
キャリブレーションを実行する 10-33
レーザースキャナークリーニングを実行する 10-33
紙づまりの解除 10-34
紙づまり表示の見かたと位置の確認 10-34
カセット1の紙づまりを除去する 10-35
カセット2の紙づまりを除去する 10-36
手差しトレイの紙づまりを除去する 10-38
後ろカバー1の紙づまりを除去する 10-41
原稿送り装置（自動両面）の紙づまりを除去する 10-43

11 付録 11-1

オプションについて 11-2
オプション構成 11-2
オプションのアプリケーションについて 11-6
アプリケーションの使用を開始する 11-6
アプリケーションの詳細を確認する 11-7
文字の入力 11-8
入力方式を選択する 11-8
入力文字を選択する 11-9
入力画面 11-10
かな入力とローマ字入力での文字変換をする 11-13
区点コードでの文字変換 11-15
用紙について 11-17
用紙の基本仕様 11-17
適正な用紙の選択 11-18
特殊な用紙 11-21
仕様 11-25
本体 11-25
コピー機能 11-27
プリンター機能 11-27
スキャナー機能 11-28

原稿送り装置 11-28
ペーパーフィーダー 11-28
区点コード表 11-29
製品の保守サービスについて 11-35
保守契約についてのお問い合わせ 11-35
補修用性能部品について 11-36
廃棄について 11-36
使用済み製品の廃棄 11-36
初期化について 11-36
トナーコンテナの廃棄 11-36
用語集 11-37
索引 索引-1

こんなことができます

インプット

原稿　電子データ　USBメモリー　ファクスデータ

セキュリティー

お客様のニーズに応じたセキュリティーレベルで本機をご使用になれます。

➡ セキュリティーを強化したい（xiiiページ）

パソコンからの設定機能

Command Center RX

パソコンのWebブラウザー上で本機の状況確認や各種設定の変更などが可能です。

➡ Command Center RXとは（2-52ページ）

Command Center RX操作手順書

文書ボックス機能

データを本機内に保存したり、USBメモリーに保存したり、さまざまに活用できる機能です。

➡ 本体に保存したデータを印刷する（4-11ページ）
文書ボックスを使用する（5-38ページ）

アウトプット

コピー機能

➡ コピーのしかた（5-15ページ）

プリンター機能

➡ パソコンから印刷する（4-4ページ）

送信機能

➡ 基本的なスキャン（送信）のしかた（5-16ページ）

USBメモリー

➡ USBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）（5-40ページ）

ファクス機能

➡ ファクス使用説明書

参考

- ご使用になる前にを必ずお読みください。

➡ 正しくお使いいただくために（1-1ページ）

- ケーブルの接続やソフトウェアのインストールなど本機を使用するための準備については、次を参照してください。

➡ 設置と機械のセットアップ（2-1ページ）

- 用紙のセット、共有フォルダーやアドレス帳の登録については、次を参照してください。

➡ 本機を使用する前に（3-1ページ）

本機の特長

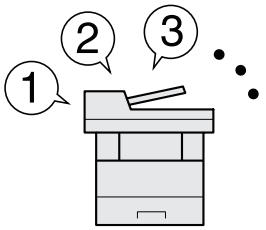
本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

➡ さまざまな機能を使う（6-1ページ）

ここでは一例を紹介します。

効率よく作業したい

よく使う機能をワンタッチで呼び出す（お気に入り）

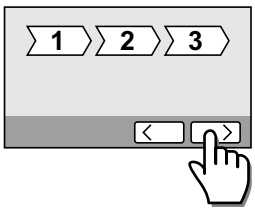


よく使う機能を簡単に設定したいときに便利です。

よく使う設定をお気に入りに登録すると、簡単にその設定を呼び出すことができます。ワンタッチで呼び出せるので、別の人が代わりに作業することもできます。

➡ よく使う機能を呼び出す（お気に入り）（5-8ページ）

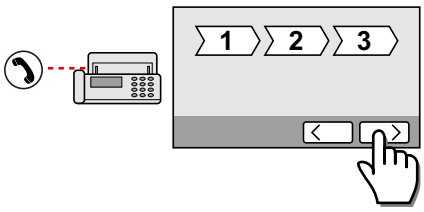
セットアップを簡単に行う（簡単セットアップウィザード）



本機を使用する前に必要な設定をウィザード形式で行うことができます。

➡ 簡単セットアップウィザードを設定する（2-35ページ）

ファクスのセットアップを簡単に行う（ファクスのセットアップ）

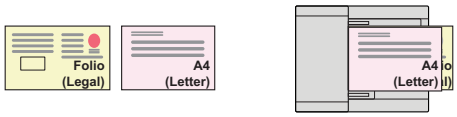


ファクスを使用する前に必要な設定をウィザード形式で行うことができます。

➡ ファクスのセットアップ（2-35ページ）

効率よく作業したい

サイズが違う原稿を一度に読み込む（原稿サイズ混載）

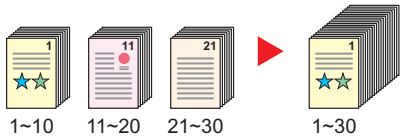


会議の資料を作るときなどに便利です。

サイズの異なる原稿を一緒にセットすることができるので、原稿サイズが変わるたびに、原稿をセットし直す必要がなくなります。

➡ 原稿サイズ混載（6-18ページ）

数回に分けて読み込んだ原稿をまとめて処理する（連続読み込み）

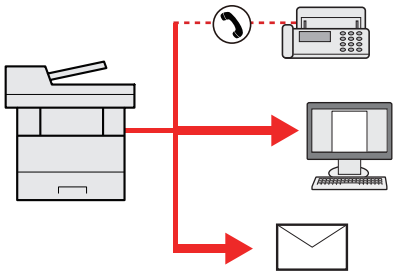


枚数の多い資料を作るときなどに便利です。

原稿の量が多くて原稿送り装置に一度にセットできないようなとき、数回に分けて読み込み、一度にまとめて印刷や送信することができます。

➡ 連続読み込み（6-24ページ）

複数の送信方法で同時に送信する（複合送信）

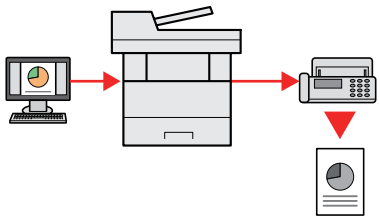
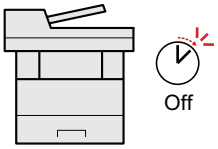
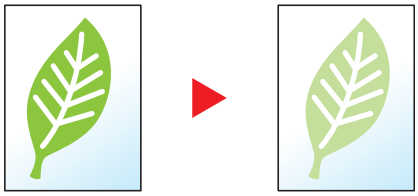


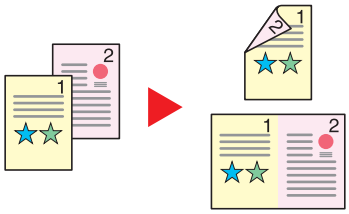
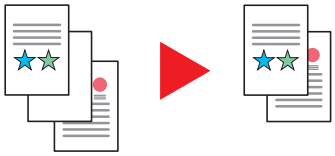
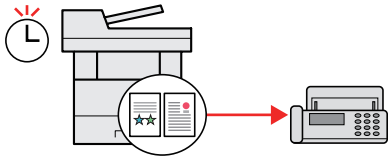
送信方法が違う宛先に、簡単に送りたいときに便利です。

メール送信やSMB送信、ファクス送信など、種類の違う宛先を指定して送信できます。

1回の操作で送信できるので、作業の効率がアップします。

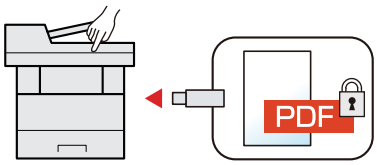
➡ 種類の異なる相手への送信（複合送信）（5-29ページ）

効率よく作業したい	経費を節約したい	
パソコンからファクスを送信する （Network FAX）  ファクスするときの用紙を節約したいときに便利です。 ファクスする文書を印刷することなく、パソコンから送信ができるので、用紙などの削減と共に作業の効率がアップします。 ➡ ファクス使用説明書	使いかたに合わせて節電する （省エネ機能）  本機はスリープ状態になる省エネ機能を備えています。操作に応じて節電復帰レベルを設定できます。 ➡ 省エネ機能を使う（2-32ページ）	トナーの消費をおさえて印刷する （エコプリント）  トナーを節約したいときに便利です。 試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときに使用すると、トナーを節約できます。 高品質な印刷が必要でないときに利用できます。 ➡ エコプリント（6-19ページ）

経費を節約したい		
用紙を節約して印刷する （用紙節約印刷）  用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。 ➡ よく使う機能を呼び出す（お気に入り）（5-8ページ）	白紙ページをスキップして印刷する （白紙ページスキップ）  読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページをスキップし、白紙以外のページだけを印刷します。 ➡ 白紙ページスキップ（6-23ページ）	通信費を削減してファクスする （タイマー送信）  通信費を削減したいときに便利です。 通信費が安い時間帯にタイマーをセットして、通信費を削減できます。 ➡ ファクス使用説明書

セキュリティーを強化したい

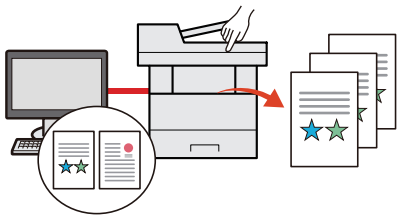
PDFにパスワードを設定する（PDF暗号化機能）



ファイル形式がPDFの時に、パスワードによるセキュリティーを使って、文書の表示、印刷、編集に制限を追加することができます。

➡ PDF暗号化機能（6-28ページ）

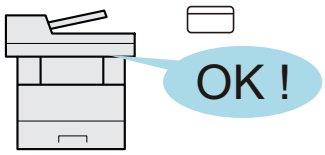
印刷した原稿の持ち去りを防ぐ（プライベートプリント）



プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。

➡ プライベートプリントボックスからジョブを印刷する（4-12ページ）

ICカードでログインする（ICカード認証）



ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、IC カードをタッチするだけでログインできます。

➡ オプションのアプリケーションについて（11-6ページ）

セキュリティーを強化したい

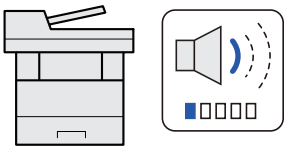
セキュリティーを強化する（管理者向け各種設定）

本機では、セキュリティーを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。

➡ セキュリティーを強化する（2-51ページ）

もっと使いこなしたい

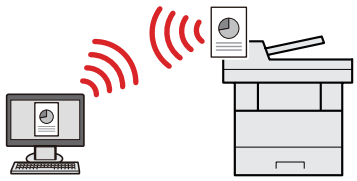
静かに使用する（静音モード）



本機の動作音を抑えて静かに使用することができます。ワンタッチでON/OFFの切り替えが可能です。

➡ 静音モードを使う（2-34ページ）

ネットワークを気にせずに設置したい（ワイヤレスネットワーク）



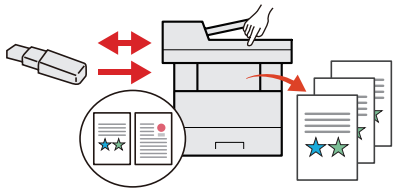
無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。また、Wi-Fi Directにも対応しています。

➡ ワイヤレスネットワークを設定する（2-25ページ）

Wi-Fi Directを設定する（2-30ページ）

もっと使いこなしたい

USBメモリーを使う（USBメモリー）



外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。

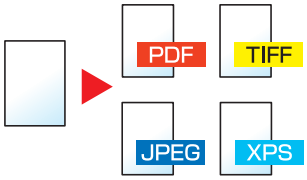
USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。

また、本機で読み込んだ文書をメモリーに保存することもできます。

➡ USBメモリーの操作（5-39ページ）

USBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）（5-40ページ）

画像のファイル形式を設定する（ファイル形式）



画像を送信/保存する際、さまざまなファイル形式に対応しています。

➡ ファイル形式（6-27ページ）

リモートで本機を操作する（Command Center RX）

パソコンからリモートで、本機にアクセスし、データの印刷、送信、ダウンロードなどの操作ができます。

管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができます。

➡ Command Center RXとは（2-52ページ）

カラーや画質の機能について

本機はさまざまなカラーや画質の調整機能を搭載しています。読み込んだ原稿をお好みの色合いや画質に調整できます。

基本的なカラーモード

基本となるカラーモードは次のとおりです。

カラーモード	説明	参考画像		参照ページ
		設定前	設定後	
フルカラー	フルカラーで読み込みます。			6-16ページ
グレースケール	グレースケールで読み込みます。			6-16ページ
白黒	白黒で読み込みます。			6-16ページ

詳しくは次を参照してください。

➡ カラー選択（6-16ページ）

画質やカラーを調整する

画質を変更したりカラー原稿の色合いを変更したりしたいときは、次の機能を設定します。

やりたいこと	参考画像		設定する機能	参照ページ
	設定前	設定後		
より細かく色を調整する				
濃度をこくしたい、またはうすくしたい。			濃度	6-11ページ
青を強くしたり、赤を強くしたりして色を調整したい。 例：赤を強くする			カラーバランス	6-21ページ
赤、青、緑、シアン、マゼンタ、黄色の6色の色合いを個別に調整してイメージを変えたい。 例：黄色に近い赤を黄色に、青に近いシアンを青にする			色相調整	6-20ページ
鮮やかさを調整したい。			彩度	6-24ページ
より細かく画質を調整する				
画像の輪郭を強めたい、または弱めたい。 例：輪郭を強める			シャープネス	6-22ページ
画像の暗い部分と明るい部分の差を調整したい。			コントラスト	6-22ページ
原稿の地色（文字や画像のない部分）をこくしたい、またはうすくしたい。 例：地色をうすくする			地色調整	6-23ページ
スキャンする画像を調整する				
ファイルのサイズを小さく、かつ文字をくっきりみせたい。			ファイル形式 ［高圧縮PDF］	6-27ページ

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

本機をセットアップするには	**セットアップガイド** 本機で印刷できるまでのセットアップ手順について説明しています。
早く使ってみたい	**クイックガイド** 本機の基本的な使いかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルで困ったときの対処方法などについて説明しています。
安全に使うためには	**セーフティーガイド** 本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。 **セーフティーガイド（ECOSYS M5526cdw）** 本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD（Product Library）収録のマニュアル（PDF）

本機を使いこなすには	**使用説明書（本書）*1** 用紙のセットやコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
ファクス機能を使いこなすには	**ファクス使用説明書*1** ファクスの機能について説明しています。
ICカードを使うには	**ICカード認証キット（B）使用説明書** ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。
登録・設定を簡単にしたい	**Command Center RX操作手順書** パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
パソコンから印刷したい	**プリンタードライバー操作手順書** プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
PDFを直接印刷したい	**KYOCERA Net Direct Print操作手順書** Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
ネットワーク上の本機やプリンターの整理をしたい	**KYOCERA Net Viewer操作手順書** KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステム（本機）を監視する方法について説明しています。
画像データを読み込み、情報とともに保存したい	**File Management Utility操作手順書** File Management Utilityを使って各種条件を設定し、スキャンした文書を送信して保存する方法について説明しています。
プリンタードライバーを介さずに印刷したい	**プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル** ネイティブプリンター言語（プリスクライブコマンド）について説明しています。 **プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス** プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。
印刷またはスキャン位置を調整したい	**Maintenance Menu 操作手順書** Maintenance Menuから、印刷やスキャンなどの設定を行う手順について説明しています。

*1　弊社のホームページからダウンロードすることができます。
（http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/）

DVDのマニュアルをご覧になるためにはAdobe Readerの以下のバージョンをインストールする必要があります。

バージョン8.0以上

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

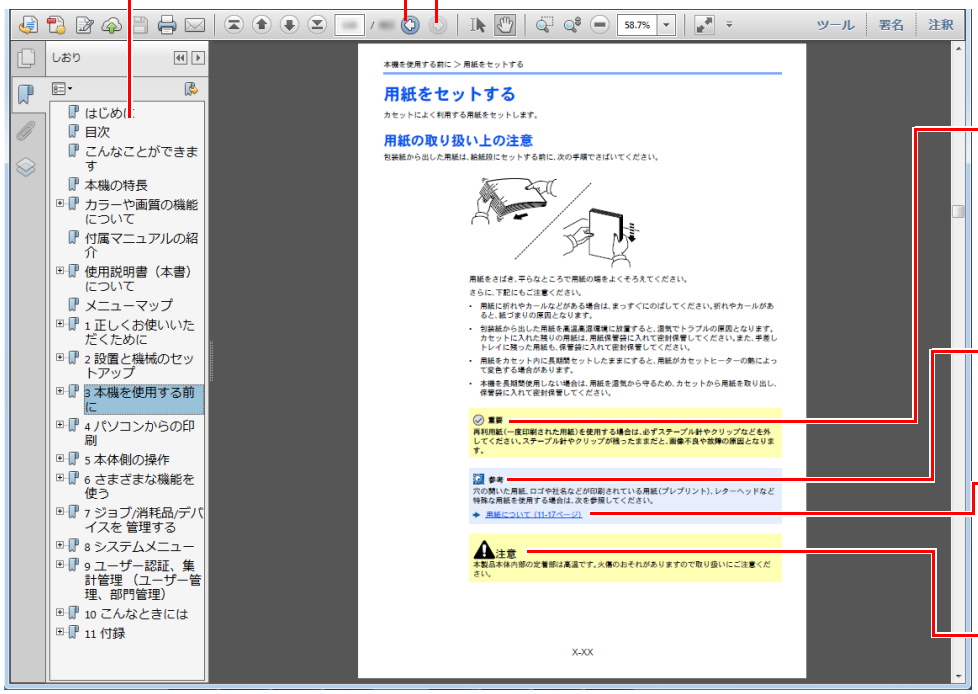
章		内容
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	用紙のセット、アドレス帳の登録など、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。
5	本体側の操作	原稿のセット方法や、コピー、送信、文書ボックスの基本的な使いかたを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。
8	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	付録	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示していた内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻るときに便利です。



重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

参考

補足説明や操作の参考となる情報です。

参照

下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目を示します。

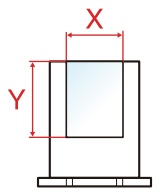
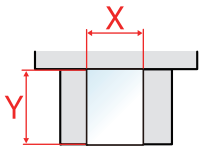
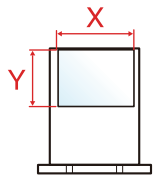
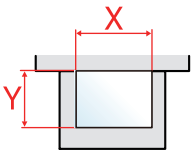
操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[**システムメニュー/カウンター**]キーを選択する ▼ [∨]を選択する ▼ [**共通設定**]を選択する ▼ [**音設定**]を選択する	[**システムメニュー/カウンター**]キー > [**共通設定**] > [**音設定**]

用紙サイズについて

本書中で使用する用紙サイズはA5やStatementのように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、用紙の向きを区別するために、縦向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、タッチパネルでは、用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き		セットのしかた （**X**=長さ、**Y**=幅）	タッチパネルに 表示されるアイコン	本書での表記サイズ*1
縦向き（-R）	カセット			A5-R、Statement-R
	手差しトレイ			A5-R、Statement-R
横向き	カセット			A5
	手差しトレイ			A5、Statement

*1　使用できる用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。

➡ 仕様（11-25ページ）

オプションの表記について

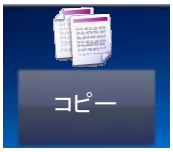
この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-5110	ペーパーフィーダー
IC カード認証キット（B）	IC カード認証キット
UG-33	ThinPrint Option

メニューマップ

タッチパネルに表示されるメニューの一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルはメニューの名称と異なる場合があります。

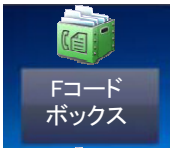


用紙選択（6-9ページ）	
縮小/拡大（6-10ページ）	
濃度（6-11ページ）	
両面/分割（6-12ページ）	
ページ集約（6-14ページ）	
カラー選択（6-16ページ）	
機能一覧	ソート（6-16ページ）
	原稿サイズ（6-17ページ）
	原稿セット向き（6-18ページ）
	原稿サイズ混載（6-18ページ）
	原稿の画質（6-19ページ）
	エコプリント（6-19ページ）
	色相調整（6-20ページ）
	カラーバランス（6-21ページ）
	シャープネス（6-22ページ）
	コントラスト（6-22ページ）
	地色調整（6-23ページ）
	白紙ページスキップ（6-23ページ）
	彩度（6-24ページ）
	連続読み込み（6-24ページ）
	ジョブ終了通知（6-25ページ）
	文書名入力（6-26ページ）
	優先印刷（6-26ページ）

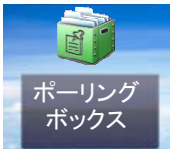
ワンタッチキー(5-35ページ)	
アドレス帳(5-32ページ)	
拡張アドレス帳(Command Center RX操作手順書参照)	
メール(5-35ページ)	
フォルダー(5-18ページ)、(5-21ページ)	
ファクス(ファクス使用説明書参照)	
WSDスキャン(5-28ページ)	
機能一覧	カラー選択(6-16ページ)
	ファイル形式(6-27ページ)
	原稿サイズ(6-17ページ)
	原稿セット向き(6-18ページ)
	原稿サイズ混載(6-18ページ)
	両面(6-30ページ)
	送信サイズ(6-31ページ)
	ファイル分割(6-31ページ)
	読み込み解像度(6-32ページ)
	濃度(6-11ページ)
	原稿の画質(6-19ページ)
	シャープネス(6-22ページ)
	コントラスト(6-22ページ)
	地色調整(6-23ページ)
	白紙ページスキップ(6-23ページ)
	ファクス送信解像度(ファクス使用説明書参照)
	縮小/拡大(6-10ページ)
	連続読み込み(6-24ページ)
	文書名入力(6-26ページ)
	メール件名/本文(6-32ページ)
	ジョブ終了通知(6-25ページ)
	FTP暗号送信(6-33ページ)
	ファクスタイマー送信(ファクス使用説明書参照)
	ファクスダイレクト送信(ファクス使用説明書参照)
	ファクスポーリング受信(ファクス使用説明書参照)
	ファクス送信レポート(ファクス使用説明書参照)

ジョブボックス	プライベートプリント/ジョブ保留（4-12ページ）
	クイックコピー/試し刷り後保留（4-14ページ）

外部メモリー	印刷	用紙選択(6-9ページ)		
		ソート(6-16ページ)		
		両面(6-13ページ)		
		カラー選択(6-16ページ)		
		機能一覧	エコプリント(6-19ページ)	
			ジョブ終了通知(6-25ページ)	
			優先印刷(6-26ページ)	
			暗号化PDFパスワード(6-34ページ)	
			JPEG/TIFF印刷方法(6-34ページ)	
			XPS印刷サイズ調整(6-34ページ)	
	メニュー	文書保存	ファイル形式(6-27ページ)	
			両面(6-30ページ)	
			読み込み解像度(6-32ページ)	
			濃度(6-11ページ)	
			文書名入力(6-26ページ)	
			カラー選択(6-16ページ)	
			機能一覧	原稿サイズ(6-17ページ)
				原稿セット向き(6-18ページ)
				原稿サイズ混載(6-18ページ)
				保存サイズ(6-33ページ)
				原稿の画質(6-19ページ)
				シャープネス(6-22ページ)
				コントラスト(6-22ページ)
				地色調整(6-23ページ)
				白紙ページスキップ(6-23ページ)
				縮小/拡大(6-10ページ)
				連続読み込み(6-24ページ)
				ジョブ終了通知(6-25ページ)
				ファイル分割(6-31ページ)



Fコードボックス（ファクス使用説明書参照）



ポーリングボックス（ファクス使用説明書参照）

状況確認 / ジョブ中止

または

印刷ジョブ状況（7-3ページ）
送信ジョブ状況（7-4ページ）
保存ジョブ状況（7-5ページ）
予約ジョブ（7-6ページ）
印刷ジョブ履歴（7-8ページ）
送信ジョブ履歴（7-8ページ）
保存ジョブ履歴（7-8ページ）
ファクスジョブ履歴（ファクス使用説明書参照）
スキャナー（7-11ページ）
プリンター（7-11ページ）
ファクス（ファクス使用説明書参照）
トナー状況（7-12ページ）
用紙状況（7-12ページ）
外部メモリー（7-11ページ）
USBキーボード（7-11ページ）
ネットワーク接続状態（7-11ページ）
Wi-Fi Direct（7-11ページ）
Wi-Fi（7-11ページ）

システムメニュー / カウンター

または

簡単セットアップウィザード	ファクスのセットアップ(2-35ページ)	
	用紙のセットアップ(2-35ページ)	
	省エネのセットアップ(2-35ページ)	
	ネットワークのセットアップ(2-35ページ)	
言語選択(8-5ページ)		
レポート	レポート印刷	ステータスページ(8-5ページ)
		フォントリスト(8-5ページ)
		ネットワークステータス(8-6ページ)
		サービスステータスページ(8-6ページ)
		部門管理レポート(8-6ページ)
		Fコードボックスリスト(ファクス使用説明書参照)
		ファクスリスト(見出し)(ファクス使用説明書参照)
		ファクスリスト(番号)(ファクス使用説明書参照)
		ファクス発信レポート(ファクス使用説明書参照)
		ファクス着信レポート(ファクス使用説明書参照)
	管理レポート設定	ファクス発信レポート(ファクス使用説明書参照)
		ファクス着信レポート(ファクス使用説明書参照)
	結果通知設定	送信結果レポート(8-7ページ)
		ファクス受信結果通知(ファクス使用説明書参照)
		終了通知設定(8-7ページ)
	履歴送信	履歴送信(8-7ページ)
		自動送信(8-7ページ)
		宛先(8-7ページ)
		ジョブ履歴件名(8-7ページ)
		個人情報(8-7ページ)
カウンター	印刷ページ数(2-50ページ)	
	読み込みページ数(2-50ページ)	
ユーザー情報(9-8ページ)		

カセット/ 手差しトレイ設定	カセット1(8-8ページ)	
	カセット2(8-8ページ)	
	手差しトレイ(8-9ページ)	
共通設定	初期画面(8-10ページ)	
	音設定	ブザー(8-10ページ)
		ファクススピーカー音量(ファクス使用説明書参照)
		ファクスモニター音量(ファクス使用説明書参照)
	原稿設定	カスタム原稿サイズ登録(8-11ページ)
		原稿自動検知(原稿送り装置)(8-11ページ)
		原稿サイズ初期値(8-12ページ)
		原稿サイズ初期値(原稿ガラス)(8-12ページ)
	用紙設定	カスタム用紙サイズ登録(8-13ページ)
		用紙種類の設定(8-14ページ)
		優先給紙元(8-14ページ)
		用紙選択(8-14ページ)
		自動用紙の用紙種類(カラー)(8-14ページ)
		自動用紙の用紙種類(白黒)(8-14ページ)
		特定用紙種類の動作設定(8-14ページ)
		用紙セット時の確認(8-14ページ)
	機能初期値	ファイル形式(8-16ページ)
		原稿セット向き(8-16ページ)
		ソート(8-16ページ)
		ファイル分割(8-16ページ)
		読み込み解像度(8-16ページ)
		カラー選択(コピー)(8-16ページ)
		カラー選択(送信/保存)(8-16ページ)
		原稿の画質(コピー)(8-16ページ)
		原稿の画質(送信/保存)(8-16ページ)
		地色調整(コピー)(8-16ページ)
		地色調整(送信/保存)(8-16ページ)
		エコプリント(8-16ページ)
		白紙ページスキップ(コピー)(8-16ページ)
		白紙ページスキップ(送信/保存)(8-16ページ)
		ファクス送信解像度(ファクス使用説明書参照)
		縮小/拡大(8-16ページ)

共通設定	**機能初期値**	連続読み込み（コピー）（8-16ページ）	
		連続読み込み（ファクス）（**ファクス使用説明書**参照）	
		連続読み込み（送信/保存）（8-16ページ）	
		文書名入力（8-17ページ）	
		メール件名/本文（8-17ページ）	
		FTP暗号送信（8-17ページ）	
		JPEG/TIFF印刷方法（8-17ページ）	
		XPS印刷サイズ調整（8-17ページ）	
		詳細設定	画質（8-17ページ）
			PDF/A（8-17ページ）
			高圧縮PDF（8-17ページ）
			白紙検知レベル（コピー）（8-17ページ）
			白紙検知レベル（送信/保存）（8-17ページ）
	部数制限（8-17ページ）		
	エラー処理設定	両面エラー（8-18ページ）	
		用紙ミスマッチエラー（8-18ページ）	
	カラートナーなし時の印刷（8-18ページ）		
	入力長さ単位（8-18ページ）		
	トナー残量少の通知（8-18ページ）		
	キーボード入力方式（8-19ページ）		
	SDカードフォーマット（8-19ページ）		
	状況/履歴の表示（8-19ページ）		
	電源オフ時の確認（8-19ページ）		
ホーム	デスクトップの設定（2-13ページ）		
	タスク画面の設定（2-13ページ）		
	壁紙（2-13ページ）		
コピー	自動用紙動作設定（8-20ページ）		
	自動倍率優先（8-20ページ）		
	原稿送り装置動作（8-20ページ）		
	原稿ガラススキャン動作（8-20ページ）		
送信	送信前の宛先確認（8-21ページ）		
	新規宛先の入力確認（8-21ページ）		
	送信控え転送（8-21ページ）		
	カラーTIFF圧縮方式（8-21ページ）		
	初期画面（8-21ページ）		
	新規宛先の入力（8-21ページ）		
	再宛先（8-21ページ）		

文書ボックス	Fコードボックス(ファクス使用説明書参照)		
	ジョブボックス	クイックコピージョブ保持数(8-22ページ)	
		一時保存文書の自動消去(8-22ページ)	
	ポーリングボックス(ファクス使用説明書参照)		
ファクス(ファクス使用説明書参照)			
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳(3-21ページ)		
	ワンタッチキー(3-28ページ)		
	アドレス帳初期設定	表示順(8-23ページ)	
		アドレス帳(8-23ページ)	
	リスト印刷(ファクス使用説明書参照)		
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理(9-3ページ)	
		ローカルユーザーリスト(9-5ページ)	
		ICカード設定	キーボードログイン(9-26ページ)
			追加認証(9-26ページ)
		PINコード認証(9-27ページ)	
		簡単ログイン設定	簡単ログイン(9-23ページ)
			簡単ログイン情報(9-23ページ)
		ユーザーアカウントロックアウト設定	ロックアウト(9-4ページ)
			ロックアウトポリシー(9-4ページ)
			ロックされているユーザーのリスト(9-4ページ)
		グループ認可設定	グループ認可(9-15ページ)
			グループリスト(9-16ページ)
		ゲスト認可設定	ゲスト認可(9-18ページ)
			ゲストプロパティ(9-19ページ)
		ネットワークユーザー情報の取得(9-21ページ)	

ユーザー/部門管理	部門管理設定	部門管理(9-30ページ)	
		部門管理方式(9-30ページ)	
		部門管理レポート印刷(9-41ページ)	
		全部門集計(9-40ページ)	
		部門別集計(9-40ページ)	
		部門リスト(9-31ページ)	
		初期設定	制限超過時設定(9-39ページ)
			コピー/プリンターカウント方法(9-39ページ)
			カウンター制限初期値(9-39ページ)
	不明ユーザー設定	ID不明ジョブ処理(9-43ページ)	
		ユーザー情報(9-44ページ)	
プリンター	エミュレーション(8-23ページ)		
	カラー設定(8-23ページ)		
	エコプリント(8-23ページ)		
	A4/Letterの共通使用(8-24ページ)		
	両面印刷(8-24ページ)		
	部数(8-24ページ)		
	印刷向き(8-24ページ)		
	ワイドA4(8-24ページ)		
	改ページ待ち時間(8-24ページ)		
	改行(LF)動作(8-24ページ)		
	復帰(CR)動作(8-24ページ)		
	ジョブ名(8-24ページ)		
	ユーザー名(8-24ページ)		
	印刷範囲補正(8-24ページ)		
	手差しトレイ優先(8-24ページ)		
	給紙指定動作(8-24ページ)		
	自動カセット切り替え(8-25ページ)		
	解像度(8-25ページ)		
	光沢モード(8-25ページ)		

システム/ ネットワーク	ネットワーク	ホスト名(8-26ページ)	
		Wi-Fi Direct設定	Wi-Fi Direct(8-26ページ)
			デバイス名(8-26ページ)
			IPアドレス(8-26ページ)
			自動切断(8-26ページ)
		Wi-Fi 設定	Wi-Fi(8-26ページ)
			セットアップ(8-27ページ)
			TCP/IP設定(8-28ページ)
			ネットワークの再起動(8-29ページ)
		有線設定	TCP/IP設定(8-30ページ)
			LANインターフェイス(8-30ページ)
		Bonjour	プロトコル設定(8-30ページ)
			利用可能なネットワーク(Wi-Fi Direct)(8-30ページ)
			利用可能なネットワーク(Wi-Fi) (8-30ページ)
			利用可能なネットワーク(有線) (8-30ページ)
		IPSec(8-30ページ)	
		プロトコル設定(8-30ページ)	
		セキュリティー設定	SSL(8-36ページ)
			IPPセキュリティー(8-36ページ)
			HTTPセキュリティー(8-36ページ)
			SMTPセキュリティー(8-36ページ)
			POP3 セキュリティー(ユーザー1)(8-36ページ)
			POP3 セキュリティー(ユーザー2)(8-36ページ)
			POP3 セキュリティー(ユーザー3)(8-36ページ)
		Ping(8-36ページ)	
		ネットワークの再起動(8-36ページ)	
	優先ネットワーク(クライアント)(8-36ページ)		
	インターフェイス ブロック設定	USB ホスト(8-36ページ)	
		USB デバイス(8-37ページ)	
		USBストレージ(8-37ページ)	
	セキュリティーレベル(8-37ページ)		
	再起動(8-37ページ)		
	RAMディスク設定(8-37ページ)		
	オプションメモリー使用量(8-38ページ)		
	オプション機能(8-38ページ)		

日付/タイマー/節電	日付/時刻(8-39ページ)	
	日付形式(8-39ページ)	
	時差(8-39ページ)	
	オートパネルリセット(8-39ページ)	
	パネルリセット時間(8-39ページ)	
	スリープレベル(8-39ページ)	
	スリープ時間(8-39ページ)	
	節電復帰レベル(8-40ページ)	
	エラー後自動継続(8-40ページ)	
	エラー後自動継続時間(8-40ページ)	
	使用禁止時間(ファクス使用説明書参照)	
	Pingタイムアウト時間(8-40ページ)	
調整/メンテナンス	濃度調整	コピー(8-40ページ)
		送信/ボックス(8-40ページ)
	コントラスト	コピー(8-40ページ)
		送信/ボックス(8-40ページ)
	黒筋軽減処理(8-40ページ)	
	画面の明るさ(8-40ページ)	
	カラー印刷位置補正(8-40ページ)	
	ドラムリフレッシュ(8-41ページ)	
	キャリブレーション(8-41ページ)	
	レーザースキャナークリーニング(8-41ページ)	
	サービス設定(8-41ページ)	

1　正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

注意事項 1-2
本書中の注意表示について 1-2
設置環境について 1-3
取り扱い上のご注意 1-4
コピー/スキャン禁止事項 1-5
法律上のご注意 1-6
本製品の省エネ制御機能について 1-12
自動両面機能について 1-12
印刷用紙 1-12
電力管理 1-12
国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム 1-12
無線LAN使用時のご注意 1-13
電波の種類と干渉距離 1-13
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 1-13
本製品の使用限定 1-14

注意事項

使用にあたって、注意すべき事項を説明します。

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」

「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」

「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」

「電源プラグをコンセントから抜け」

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10～32.5℃
湿度	10～80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて

注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されている事項

① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。

② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。

③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき（料額印面付き）の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。

④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

（関係法律）

- 通貨及ビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要する事項

① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。

② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作物の取り扱いについて

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシス、ECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2012、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10およびInternet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST™ MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラドキュメントソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のAdvanced Wnnを使用しています。
  "Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- GoogleおよびGoogle Cloud Print™はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- Mopria™は、Mopria™Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL（http://www.gnu.org/licenses/gpl.html）もしくはLGPL（http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html）が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたは LGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.
   For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeayライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”
   The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imaging**ライセンス契約**

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

   いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。

10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。

    さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.
http://www.knopflerfish.org

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPFLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apacheライセンス（Version 2.0）

以下は英語の原文です。

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   “License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   “Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   “Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   “You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

   (a)You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

   (b)You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

   (c)You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

   (d)If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

   You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

➡ スリープとは（2-32ページ）

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

➡ 両面/分割（6-12ページ）

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。
また、本製品は64 g/m^2 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* ：印刷及びビジネス用紙　－　乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用されることをお勧めします。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

無線LAN使用時のご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：弊社お客様相談窓口

電波の種類と干渉距離

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式がDS-SS方式であることを表す。（IEEE802.11bのとき）
「OF」：変調方式がOFDM方式であることを表す。（IEEE802.11g/nのとき）
「4」：想定される与干渉距離が40 m以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本製品の使用限定

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」

に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

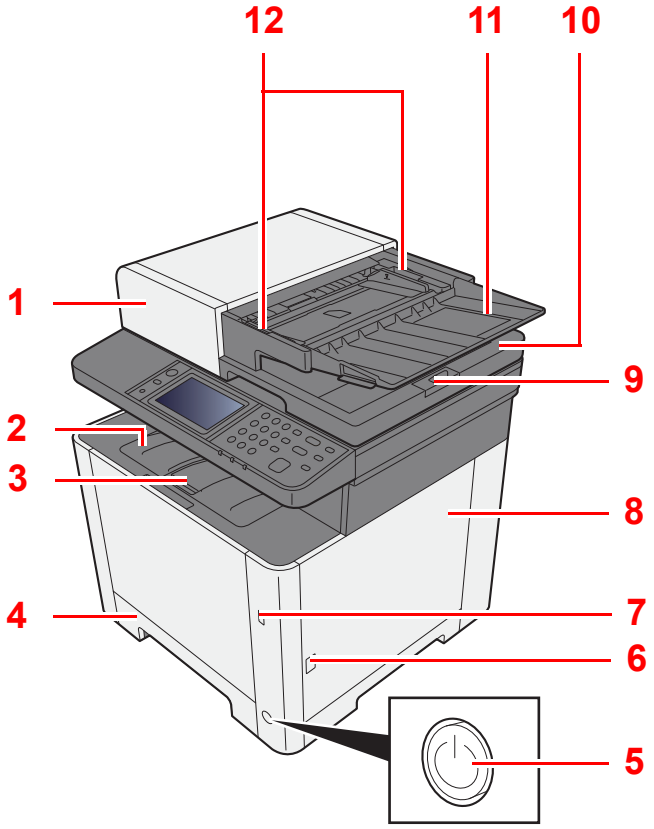
この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

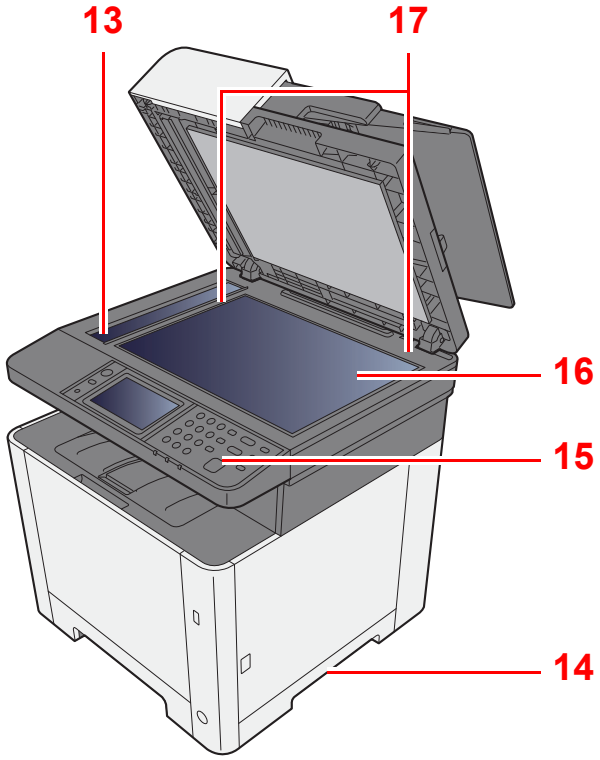
2　設置と機械のセットアップ

この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

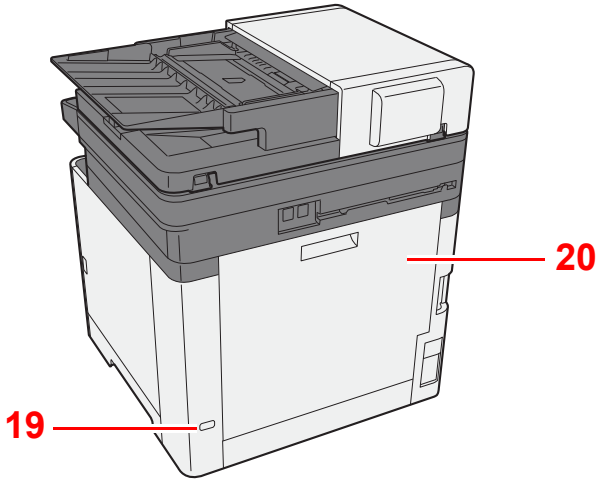
各部の名称（本体外観） 2-2
各部の名称（コネクター・内部） 2-4
各部の名称（オプション装着時） 2-6
本機とその他デバイスを接続する 2-7
ケーブルを接続する 2-8
　ネットワークケーブルを接続する 2-8
　USBケーブルを接続する 2-9
　電源コードを接続する 2-9
電源を入/切する 2-10
　電源を入れる 2-10
　電源を切る 2-10
操作パネルの使いかた 2-11
　操作パネルキー 2-11
タッチパネルの表示 2-12
　ホーム画面 2-12
　機器情報を表示する 2-16
　機能キーを表示する 2-17
　設定できないキーの表示 2-18
　[エンター]キーの使いかた 2-19
　[短縮]キーの使いかた 2-19
　ヘルプ画面の使いかた 2-20
本機にログイン・ログアウトする 2-21
　ログインする 2-21
　ログアウトする 2-22
機械の初期設定をする 2-23
　日付と時刻を設定する 2-23
ネットワークを設定する 2-24
　有線でネットワークを設定する 2-24
　ワイヤレスネットワークを設定する 2-25
　Wi-Fi Directを設定する 2-30
省エネ機能を使う 2-32
　スリープとは 2-32
　オートスリープとは 2-32
　スリープレベルとは
　（節電優先と復帰優先） 2-33
静音モードを使う 2-34
簡単セットアップウィザードを設定する 2-35
ソフトウェアをインストールする 2-37
　収録ソフトウェア（Windows） 2-37
　Windowsにソフトウェアを
　インストールする 2-38
　ソフトウェアをアンインストールする 2-44
　Macintoshにソフトウェアを
　インストールする 2-45
　TWAINドライバーを設定する 2-47
　WIAドライバーを設定する 2-49
カウンターを確認する 2-50
管理者に準備していただきたいこと 2-51
　パソコンに文書を送信するためには 2-51
　セキュリティーを強化する 2-51
Command Center RXとは 2-52
　Command Center RX へアクセスする 2-53
　セキュリティー設定を変更する 2-54
　デバイス情報を変更する 2-56
　SMTPおよびメール送信の設定をする 2-58
　宛先を登録する 2-62
弊社の他製品からデータを移行する 2-63
　アドレス帳を移行する 2-63

各部の名称（本体外観）





1 原稿送り装置
2 内部トレイ
3 排紙ストッパー
4 カセット1
5 電源スイッチ
6 ボタン（右カバーオープン）
7 USB メモリースロット
8 右カバー
9 原稿ストッパー
10 原稿排紙テーブル
11 原稿トレイ
12 原稿幅ガイド
13 スリットガラス
14 搬送用取っ手
15 操作パネル
16 原稿ガラス
17 原稿サイズ指示板

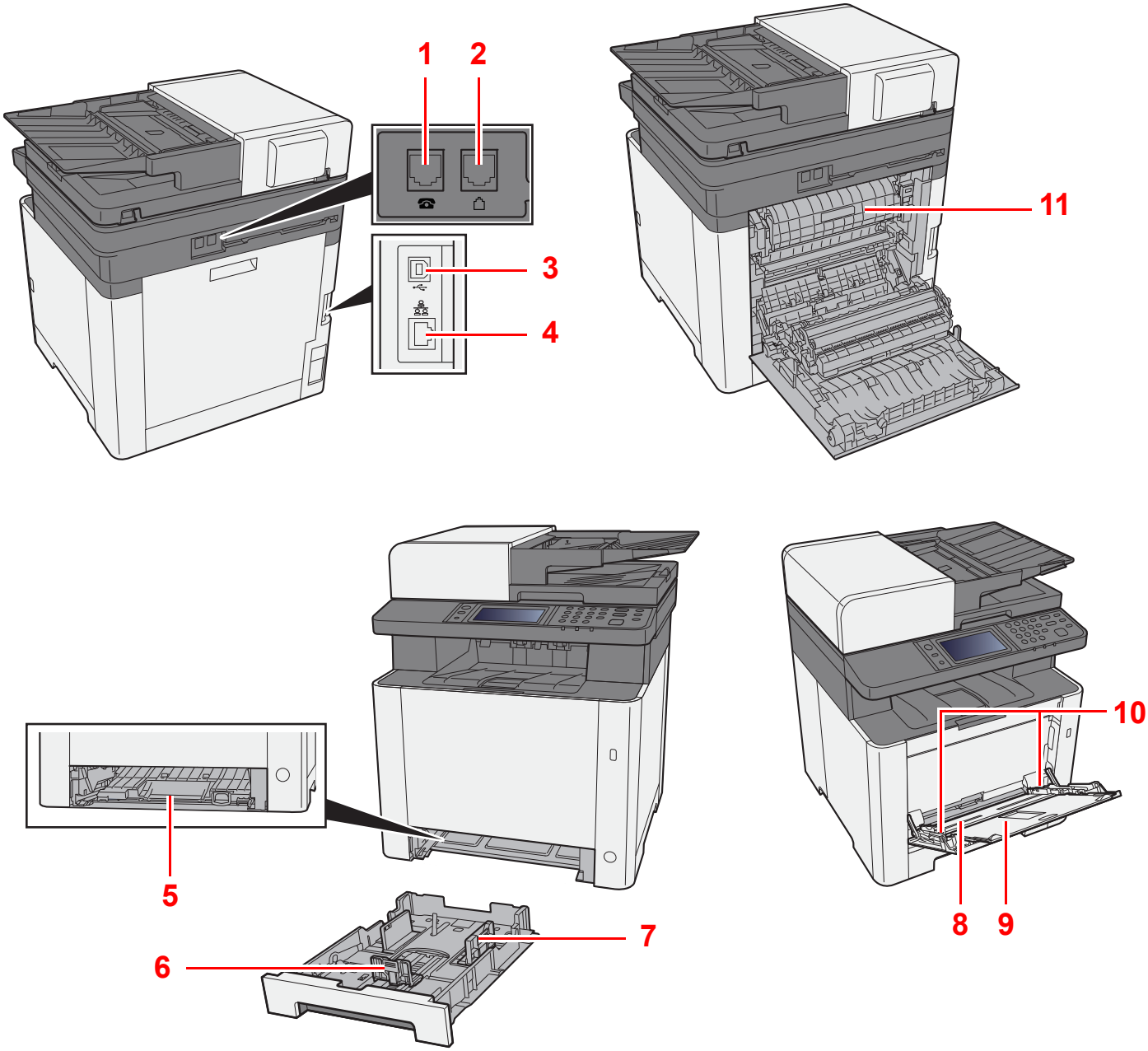


18 搬送用取っ手

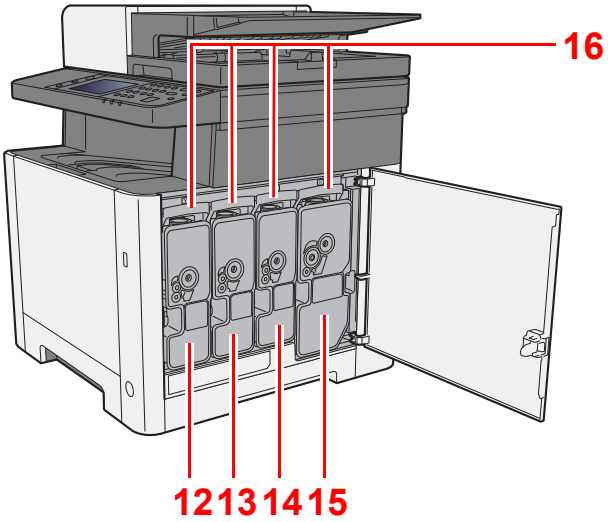
19 盗難防止ロック用スロット

20 後ろカバー1

各部の名称（コネクター・内部）

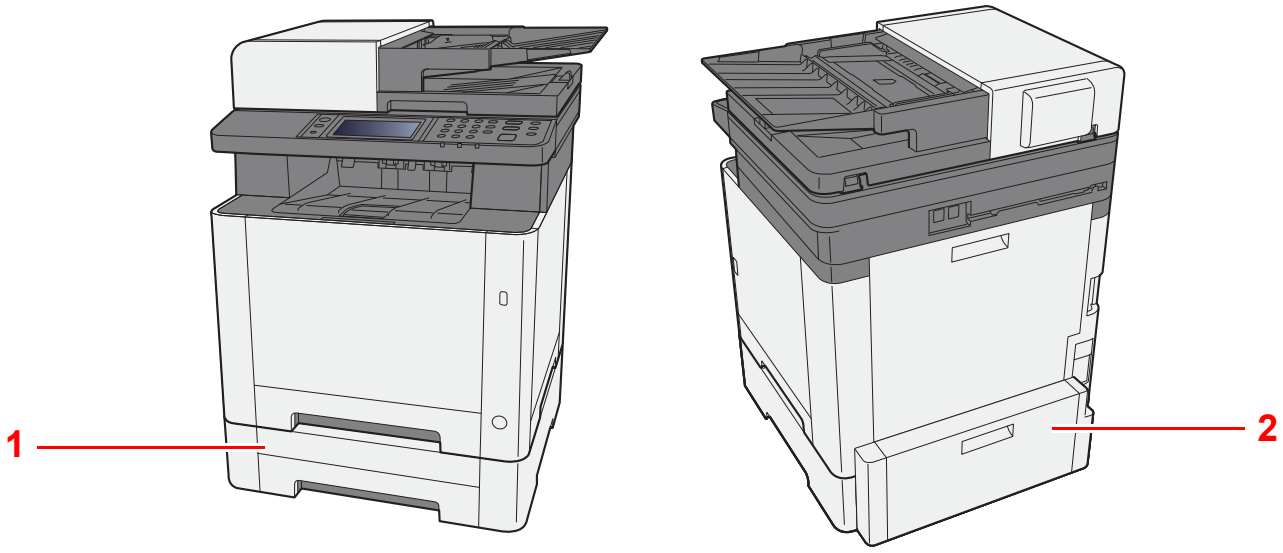


1 TELコネクター
2 LINEコネクター
3 USBインターフェイスコネクター
4 ネットワークインターフェイスコネクター
5 搬送カバー
6 用紙長さガイド
7 用紙幅ガイド
8 手差しトレイ
9 補助トレイ
10 用紙ガイド
11 定着カバー



12 トナーコンテナ（イエロー）
13 トナーコンテナ（シアン）
14 トナーコンテナ（マゼンタ）
15 トナーコンテナ（ブラック）
16 トナーコンテナロックレバー

各部の名称（オプション装着時）



1　カセット2

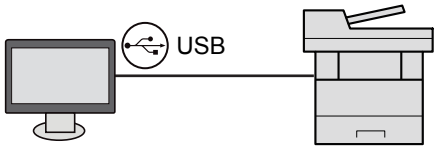
2　後ろカバー2

オプションについて（11-2ページ）

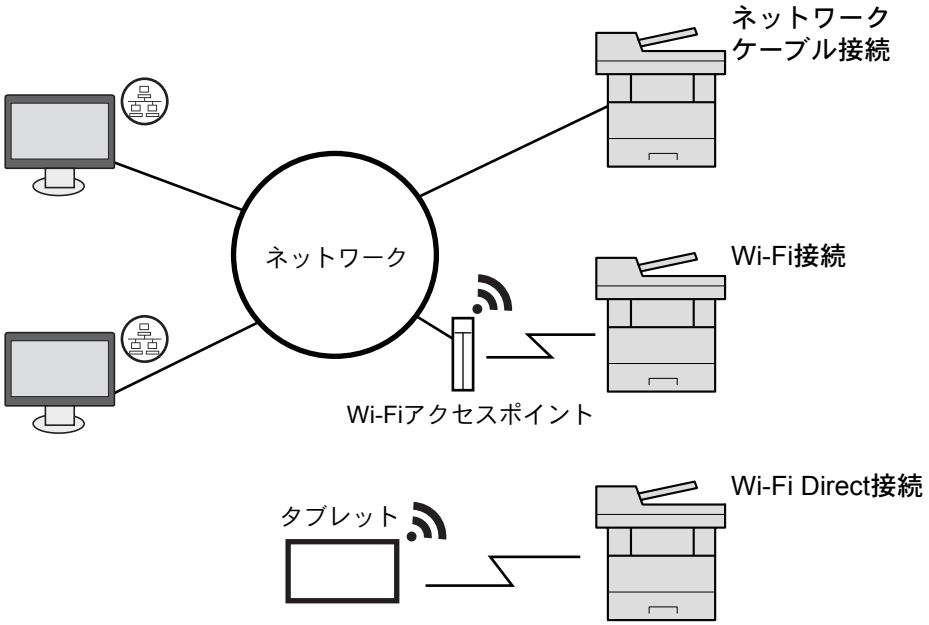
本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fi Directで接続する場合



参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

➡ ワイヤレスネットワークを設定する（2-25ページ）

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター/スキャナー/Network FAX	ネットワークケーブル（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T）
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター/スキャナー（TWAIN/WIA）	USB2.0 適合ケーブル（Hi-Speed USB 準拠5.0 m 以下、シールド付）

重要

USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルを接続する

ネットワークケーブルを接続する

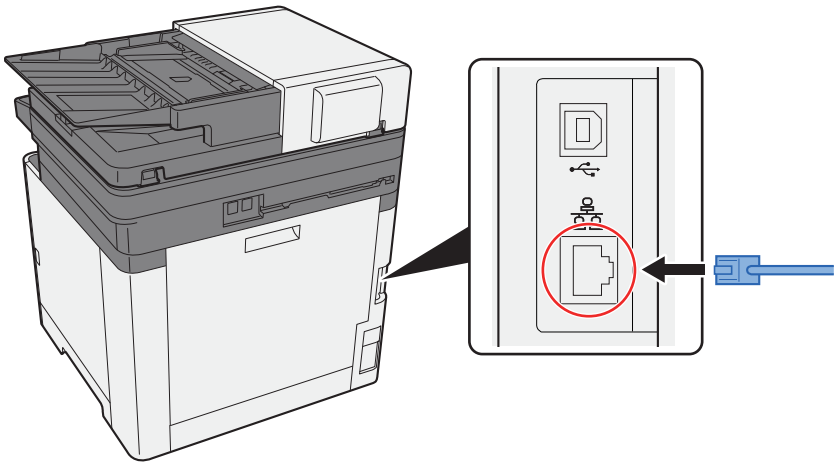
重要

本機の電源が入っていないことを確認してください。

電源を切る（2-10ページ）

1 接続する

1 ネットワークインターフェイスコネクターに、ネットワークケーブルを接続します。



2 ケーブルのもう一方を、HUB（集線装置）またはPCに接続します。

2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

ネットワークを設定する（2-24ページ）

USBケーブルを接続する

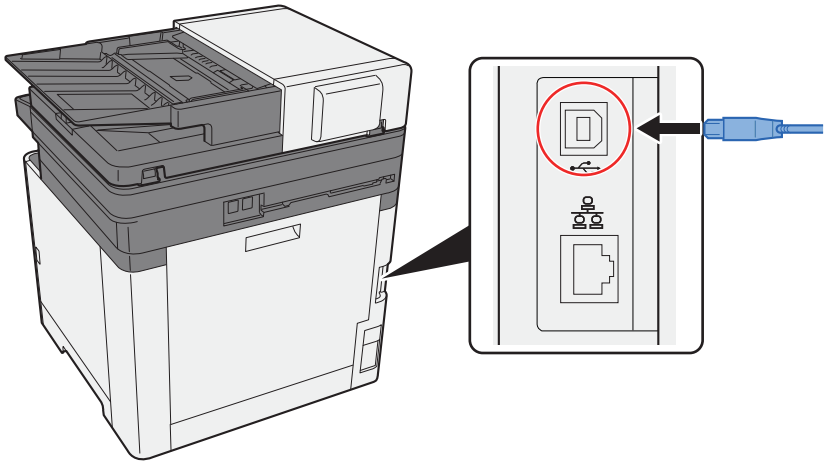
重要

本機の電源が入っていないことを確認してください。

電源を切る（2-10ページ）

1 接続する

1 USBインターフェイスコネクターに、USBケーブルを接続します。



2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

2 本体の電源を入れる

電源コードを接続する

1 コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

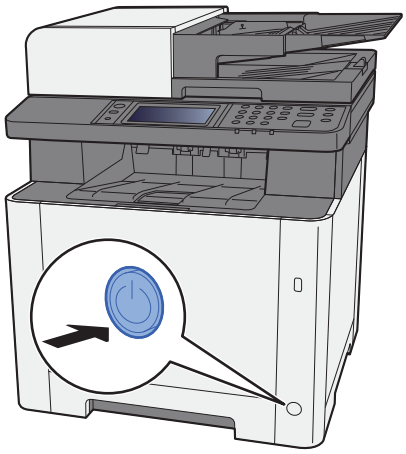
重要

電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

電源を入/切する

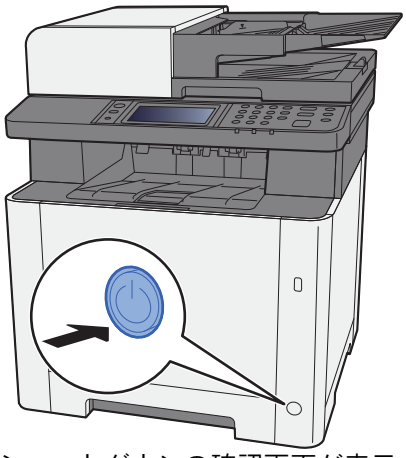
電源を入れる

1 **電源スイッチを入れる**



電源を切る

1 **電源スイッチを切る**



シャットダウンの確認画面が表示されます。

➡ 電源オフ時の確認（8-19ページ）

電源が切れるまでに、約3分かかる場合があります。

注意

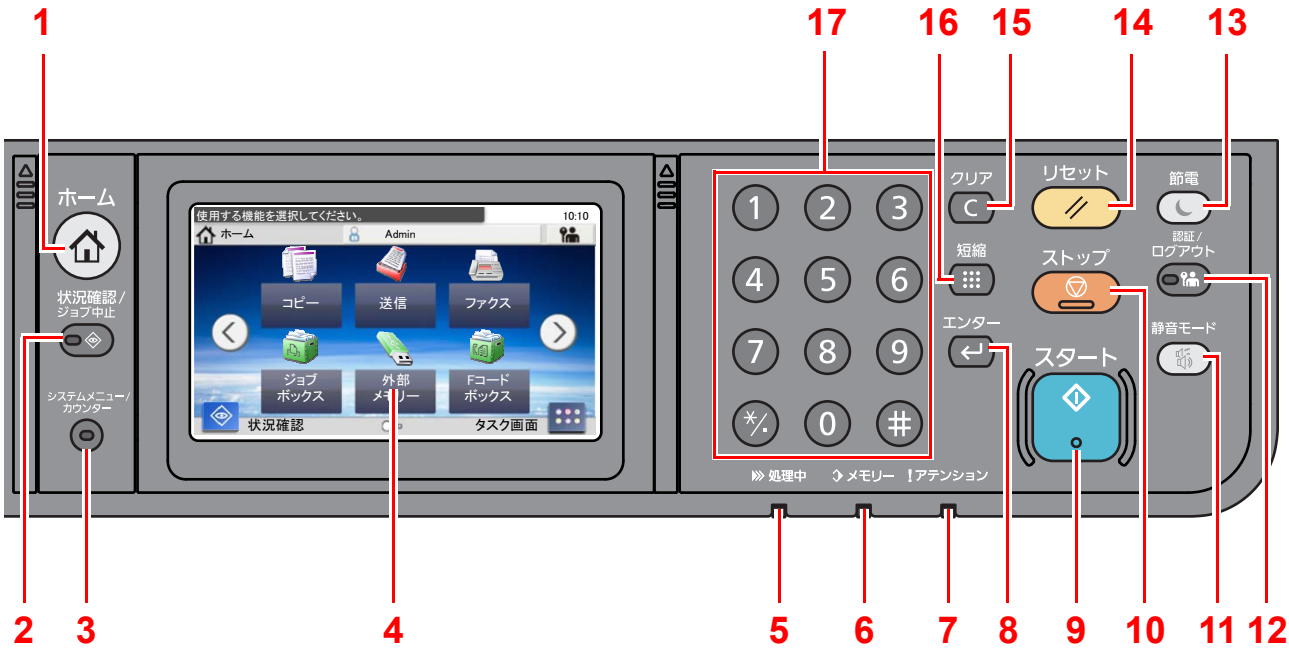
夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

重要

- 電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。
- 用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

操作パネルの使いかた

操作パネルキー



1 [**ホーム**]キー：ホーム画面を表示します。

2 [**状況確認/ジョブ中止**]キー：状況確認/ジョブ中止画面を表示します。

3 [**システムメニュー/カウンター**]キー：システムメニュー/カウンター画面を表示します。

4 タッチパネル：タッチパネルです。アイコンに触れて、各種設定を行います。

5 [**処理中**]ランプ：印刷中や送受信の処理中に点滅します。

6 [**メモリー**]ランプ：本体メモリー、ファクス用メモリーにアクセス中に点滅します。

7 [**アテンション**]ランプ：エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

8 [**エンター**]キー：テンキーの入力や、機能設定中の内容を確定します。タッチパネル上の[OK]と連動しています。

9 [**スタート**]キー：コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。

10 [**ストップ**]キー：動作中のジョブを中止、または一時停止します。

11 [**静音モード**]キー：本機の動作音を抑えることができます。

12 [**認証/ログアウト**]キー：ユーザー認証と各ユーザーの操作を終了（ログアウト）します。

13 [**節電**]キー：本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。

14 [**リセット**]キー：設定値を初期状態に戻します。

15 [**クリア**]キー：入力した数値や文字を消去します。

16 [**短縮**]キー：アドレス番号、ユーザーIDなど、番号で登録内容を指定します。

17 テンキー：数字や記号を入力します。

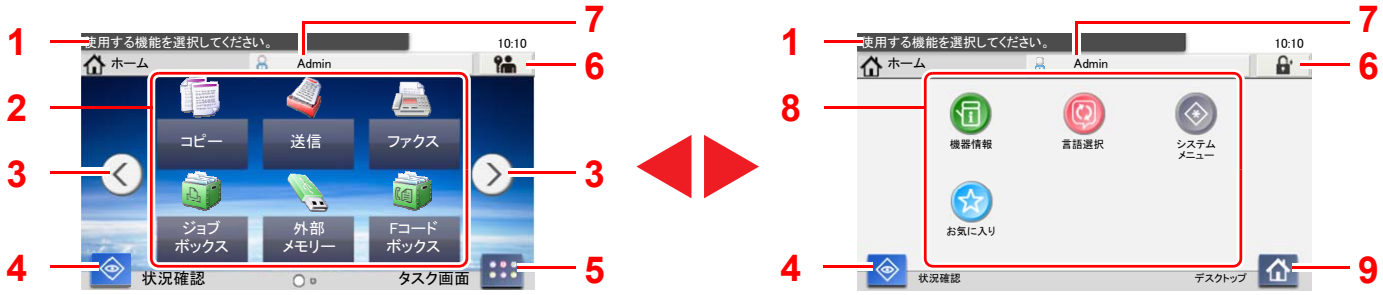
タッチパネルの表示

ホーム画面

操作パネルの[**ホーム**]キーを選択すると表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。

➡ ホーム画面を編集する（2-13ページ）

デスクトップ　　タスク画面



*　設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。複数ページがある場合に、表示されます。
4	[**状況確認**]	状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。
5	[**タスク画面**]	タスク画面を表示します。
6	[**ログアウト**]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
7	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。
8	タスク画面	タスクアイコンを表示します。
9	[**デスクトップ**]	デスクトップを表示します。

ホーム画面を編集する

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景を編集します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ホーム]

参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。*1 [✚]を選択すると、表示する機能の選択画面が表示されます。表示する機能を選択して[OK]を選択します。 アイコンを選択して[前へ]または[後ろへ]を選択すると、デスクトップに表示する順序を入れ替えることができます。 アイコンを選択して[🗑]を選択すると、デスクトップから削除することができます。
タスク画面の設定	タスク画面に表示するタスクアイコンを設定します。*2
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。 設定値：画像1～8

*1　43個のアイコンが表示できます。

*2　5個のタスクアイコンが表示できます。

デスクトップに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
コピー*1		コピー画面を表示します。	5-15ページ
送信*1		送信画面を表示します。	5-16ページ
ファクス*1		ファクス画面を表示します。	ファクス使用説明書参照
ジョブボックス*2		ジョブボックス画面を表示します。	4-11ページ
外部メモリー*1		外部メモリー画面を表示します。	5-39ページ
Fコードボックス*1		Fコードボックス画面を表示します。	ファクス使用説明書参照
ポーリングボックス*1		ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用説明書参照
自分に送信（メール）*3		送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユーザーのメールアドレスが登録されています。	5-30ページ
お気に入り		登録されているお気に入りを呼び出します。アイコンはお気に入りの機能により変わります。	5-8ページ

*1　工場出荷時に選択されています。
*2　拡張メモリーまたはSD/SDHCメモリカードを装着しているときに、表示されます。
*3　ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

タスク画面に表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
状況確認/ジョブ中止		状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。	–
機器情報		機器情報画面を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。 また、使用しているオプションの情報も確認できます。	2-16ページ
言語選択		システムメニューの言語選択設定画面を表示します。	8-5ページ
Wi-Fi Direct		Wi-Fi Directが設定され、ネットワークが使用できる状態の本機の情報を一覧で表示します。	8-26ページ
システムメニュー		システムメニュー画面を表示します。	8-2ページ
お気に入り		お気に入りの一覧画面を表示します。	5-8ページ

機器情報を表示する

システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認できます。

1 画面を表示する

［ホーム］キー > ［タスク画面］ > ［機器情報］

2 機器情報を確認する

タブ	説明
識別情報/有線	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IPアドレスを確認できます。
Wi-Fi	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、無線ネットワークのIPアドレスを確認できます。
ファクス	ファクス回線（自局ファクス番号、自局名、自局ファクスID）などファクスの情報を確認できます。
ソフトウェアバージョン/性能	ソフトウェアのバージョンや性能を確認できます。
オプション	使用しているオプションの情報を確認できます。

機能キーを表示する

機能アイコンを選択すると、表示される画面です。

1 機能が表示されます。

2 [**機能一覧**]を選択すると、その他の機能が表示されます。

3 [∧]または[∨]を選択すると、上下にスクロールします。

設定できないキーの表示

複数の機能の組み合わせやオプションの装着状態などによって、設定できない機能のキーは選択できない状態になります。

通常	キーが薄く表示される場合
	 次の場合、キーは薄く表示されて設定できなくなります。 ・ 先に設定している機能に対して組み合わせることができない場合

参考

設定したいキーが薄く表示される場合は、先に使用していたユーザーの設定が保持されている場合があります。このときは、[**リセット**]キーを選択してから操作し直してください。

[エンター]キーの使いかた

[**エンター**]キーは、[OK ↵]や[**閉じる** ↵]のように、エンターのマーク(↵)が表示されているキーと同じ働きをします。

[短縮]キーの使いかた

[**短縮**]キーは、送信するときの宛先を短縮番号で指定するときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

短縮番号については、次を参照してください。

➡ 宛先を確認または変更する (5-35ページ)

ヘルプ画面の使いかた

操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

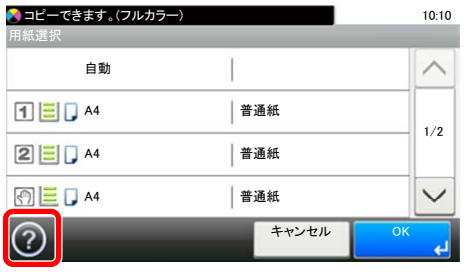
タッチパネルに[？](ヘルプ)が表示されている場合、[？](ヘルプ)を選択すると各機能のヘルプ画面を表示します。ヘルプ画面では機能説明や操作方法を確認できます。

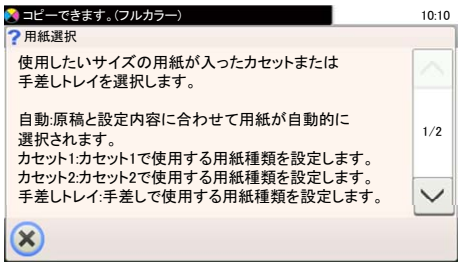
例)用紙選択のヘルプ画面を確認する場合

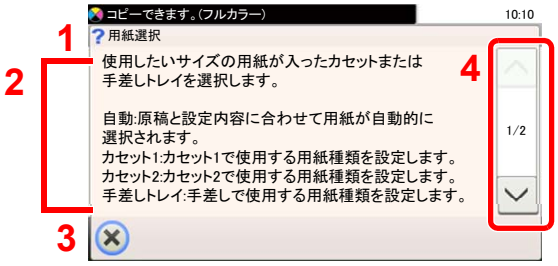
1 用紙選択の画面を表示する

➡ (6-17ページ)

2







1 ヘルプタイトル
2 機能説明や操作方法が表示されます。
3 ヘルプ画面を閉じて、元の画面に戻ります。
4 説明文が表示しきれない場合に、上下にスクロールします。

本機にログイン･ログアウトする

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

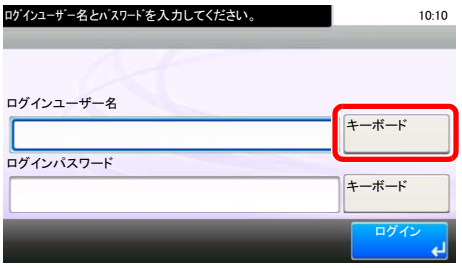
ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600
ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログインする

通常のログイン

1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する

1 操作中にこの画面が表示されたら、「**ログインユーザー名**」の［**キーボード**］を選択してログインユーザー名を入力します。



文字の入力（11-8ページ）

2 ［**パスワード**］> ログインパスワードを入力 > ［OK］

参考

ユーザーの認証方法が［**ネットワーク認証**］に設定されている場合、認証先が表示され、認証先を［**ローカル**］または［**ネットワーク**］から選択できます。

2 ［ログイン］を選択する

簡単ログイン

操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。

> **参考**
> ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

簡単ログイン設定を有効にする（9-23ページ）

ログアウトする

ログアウトするときは、[**認証/ログアウト**]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

機械の初期設定をする

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。本機は、設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。さらに必要な場合は以下の設定を行ってください。

参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

システムメニュー（8-1ページ）

日付と時刻を設定する

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT（世界標準時）からの時差を設定してください。

参考

- 設定後に変更する場合は、次を参照してください。

日付/タイマー/節電（8-39ページ）

- ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

Command Center RX操作手順書

1 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キー > ［日付/タイマー/節電］

2 設定する

［時差］> ［日付/時刻］> ［日付形式］の順に選択して設定します。

項目	説明
時差	GMT（世界標準時）からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値：年（2000～2037）、月（1～12）、日（1～31）、時（00～23）、分（00～59）、秒（00～59）
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値：月/日/年、日/月/年、年/月/日

ネットワークを設定する

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP（IPv4）、TCP/IP（IPv6）、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ここでは、TCP/IP（IPv4）でネットワークに接続するときの設定を行います。

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

➡ ネットワークケーブルを接続する（2-8ページ）

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➡ ネットワーク（8-26ページ）

参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。
ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

TCP/IP（IPv4）を設定する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [有線設定] > [TCP/IP設定] > [IPv4設定]

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

- [DHCP]：[使用する]

固定IPを使用する場合

- [DHCP]：[使用しない]
- [IPアドレス]：アドレスを入力します。
- [サブネットマスク]：4つのドットで区切った10進数表記（0～255）で、サブネットマスクを入力します。
- [デフォルトゲートウェイ]：アドレスを入力します。
- [Auto-IP]：[使用しない]

Auto-IPを使用する場合

IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。

重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➡ ネットワークの再起動（8-36ページ）

参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合は、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を[**使用しない**]でホスト名を使用する場合
- DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

ワイヤレスネットワークを設定する

接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク（無線LAN）環境で印刷および送信ができるようになります。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	簡単セットアップウィザードを設定する（2-35ページ）
	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定を使用します。	Wi-Fi設定（8-26ページ）
Wi-Fiセットアップツールの使用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする（2-25ページ）
ウェブページからの設定	Command Center RXから設定できます。	Command Center RX操作手順書

参考

有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク（クライアント）」で適切な設定値に変更してください。

➡ 優先ネットワーク（クライアント）（8-36ページ）

Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続（Wi-Fi Direct）の2つがあります。

参考

- Wi-Fi Directを使用するには、Wi-Fi Directで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fi Directを有効（[**使用する**]を選択）にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- ネットワークケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス（リンクローカルアドレス）が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

  ➡ Wi-Fi設定（8-26ページ）

ネットワークケーブルを使用して有線で接続する

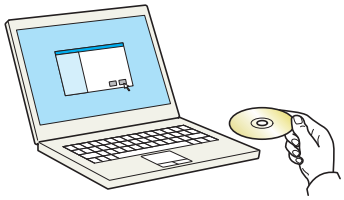
1 本機とパソコンを接続する

1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接ネットワークケーブルで接続します。

2 コンピューターの電源をオンにします。

本機とコンピューターのIPアドレス（リンクローカルアドレス）がそれぞれ自動的に生成されます。

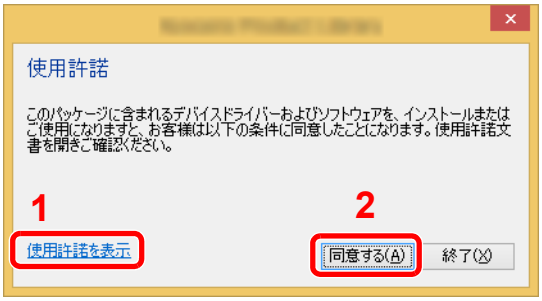
2 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[**キャンセル**] をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[**setup.exeの実行**] をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[**はい**] をクリックしてください。

3 画面を表示する

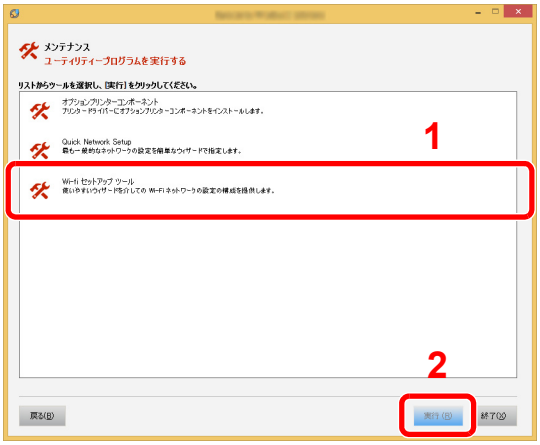


1 [**使用許諾を表示**] をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

2 [**同意する**] をクリックします。

4 [メンテナンス] を選択する

5 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



6 設定する

1 ［WPSを使用しません］＞［次へ］＞［次へ］

2 ［LANケーブル］＞［次へ］＞［次へ］

3 ［簡単設定］＞［次へ］

本機が検出されます。

参考

- Wi-Fi セットアップ ツールで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、［**詳細設定**］＞［**次へ**］の順に選択します。本機の検出方法から［**エクスプレス**］または［**カスタム**］を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 ＞［次へ］

5 ［認証モード］から［**デバイス設定を使用します。**］を選択し、［**ログインユーザー名**］および［**ログインパスワード**］（ともにAdmin）を入力 ＞［次へ］

6 通信設定を行い、［次へ］をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 ＞［次へ］

ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを使用して無線で接続する

1 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キー ＞［システム/ネットワーク］＞［ネットワーク］＞［Wi-Fi Direct設定］＞［Wi-Fi Direct］

2 設定する

［使用する］＞［OK］

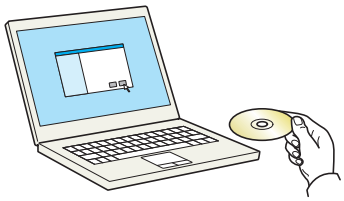
3 ネットワークを再起動する

［システムメニュー/カウンター］キー ＞［システム/ネットワーク］＞［ネットワーク］＞［ネットワークの再起動］＞［はい］

4 パソコンまたは携帯端末を本機に接続する

➡ Wi-Fi Directを設定する（2-30ページ）

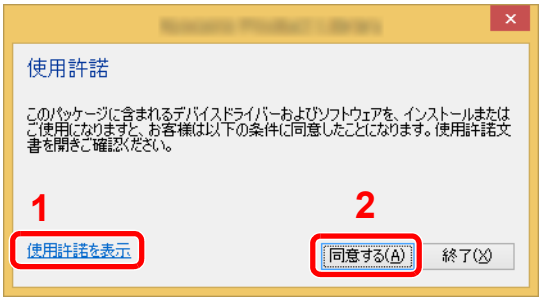
5 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[**キャンセル**] をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行] をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[**はい**] をクリックしてください。

6 画面を表示する

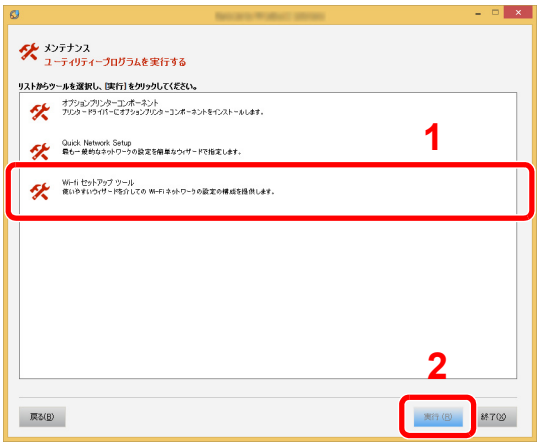


1 [**使用許諾を表示**] をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

2 [**同意する**] をクリックします。

7 [メンテナンス] を選択する

8 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



9 設定する

1 ［WPSを使用しません］ > ［次へ］ > ［次へ］

2 ［Wi-Fi Direct］ > ［次へ］ > ［次へ］

3 ［詳細設定］ > ［次へ］

本機の検出方法から［エクスプレス］または［カスタム］を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > ［次へ］

5 ［認証モード］から［デバイス設定を使用します。］を選択し、［ログインユーザー名］および［ログインパスワード］（ともにAdmin）を入力 > ［次へ］

6 通信設定を行い、［次へ］をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > ［次へ］

ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを設定する

接続設定をすると、Wi-Fi Direct環境で印刷ができるようになります。設定する方法には、次の3種類があります。

本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > [Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動] > [はい]

4 コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fi Direct未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > [Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動] > [はい]

4 [ホーム]キー > [タスク画面] > [Wi-Fi Direct]

5 ネットワーク名(SSID)、IPアドレス、およびパスワードをメモする

6 携帯端末を設定する

1 [設定] > [Wi-Fi]

2 リストから、手順5で表示されたネットワーク名(SSID)を選択します。

3 手順5でメモしたパスワードを入力 > [接続]

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fi Direct未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > [Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動] > [はい]

4 [ホーム] > [タスク画面] > [Wi-Fi Direct]

5 パソコンまたは携帯端末のプッシュボタンと、操作パネルに表示されている[プッシュボタン接続]を同時に押す

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

重要

Wi-Fi Directで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- 操作パネルですべて切断する

  [ホーム] > [タスク画面] > [Wi-Fi Direct] > [接続デバイスリスト] > [すべて切断]の順に選択します。
- システムメニューから自動切断時間を設定する

  Wi-Fi Direct設定（8-26ページ）
- Command Center RXから自動切断時間を設定する

  Command Center RX操作手順書

省エネ機能を使う

本機は、最後に使用してから一定時間操作がないと、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

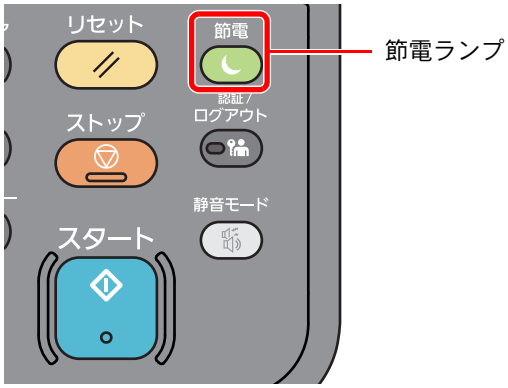
参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。
ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

スリープとは

[**節電**]キーを選択すると節電ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- [**節電**]キーを選択する。

スリープからの復帰時間は次のとおりです。

- 13秒以内

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープとは

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。スリープ状態への移行時間は次のとおりです。

- 1分（工場出荷時）

切り替わる時間を変更する場合は、次を参照してください。

➡ 簡単セットアップウィザードを設定する（2-35ページ）

スリープレベルとは（節電優先と復帰優先）

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。

操作パネルの［**節電**］キーを選択するとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

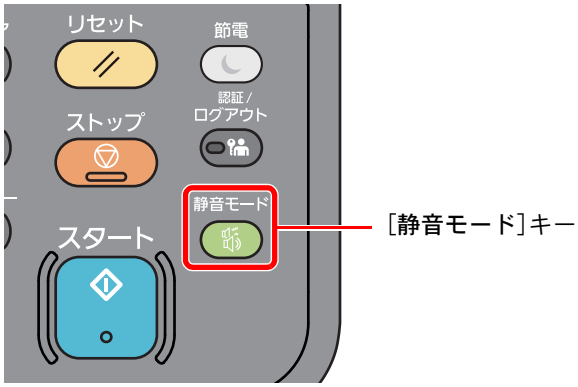
スリープレベルの設定に関しては、次を参照してください。

➡ 簡単セットアップウィザードを設定する（2-35ページ）

静音モードを使う

本機の動作音を抑えることができます。動作音が気になる場合は設定してください。

[**静音モード**]キーを選択すると、[**静音モード**]キーが点灯し、静音モードが設定されます。



参考

静音モード時は、通常よりも処理スピードが遅くなります。

簡単セットアップウィザードを設定する

ファクス機能と用紙の設定、省エネ機能、ネットワークについては、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。 ➡ ファクス使用説明書		
	1. 回線設定		回線種類 受信方式
	2. 自局情報		自局名登録 自局名登録（フリガナ） 自局ファクス番号 自局ファクスID 発信元記録
	3. 音		スピーカー音量 モニター音量 正常終了音
	4. ベル回数		普通 留守番電話 ファクス/電話切替
	5. リダイヤル		リダイヤル回数
	6. Fネット		Fネット無鳴動受信
	7. ナンバーディスプレイ		ナンバーディスプレイ設定
用紙のセットアップ	カセットと手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。		
	1. カセット1		用紙サイズ 用紙種類
	2. カセット2*1		用紙サイズ 用紙種類
	3.手差しトレイ		用紙サイズ 用紙種類
省エネのセットアップ	スリープモードを設定します。		
	1. スリープモード		スリープ時間 スリープレベル
ネットワークのセットアップ	ネットワークを設定します。		
	1. ネットワーク	Wi-Fi	Wi-Fi 利用可能なネットワーク
		有線	IPアドレスの取得 IPアドレス*2 サブネットマスク*2 デフォルトゲートウェイ*2

*1　オプションのペーパーフィーダーを装着している場合に表示されます。
*2　「IPアドレスの取得」で［自動（DHCP）］を選択した場合は設定できません。

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 2600
ログインパスワード: 2600

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [**簡単セットアップウィザード**]

2 機能を選択する

3 設定する

ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

参考

設定で困ったときは、次を参照してください。

ヘルプ画面の使いかた（2-20ページ）

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ	次の画面に進みます。
戻る	前の画面に戻ります。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

ソフトウェアをインストールする

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD（Product Library）から必要なソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア（Windows）

インストール方法は、[**エクスプレスインストール**]と[**カスタムインストール**]の2 通りから選ぶことができます。[**エクスプレスインストール**]が標準のインストール方法になります。[**エクスプレスインストール**]でインストールされないものは、[**カスタムインストール**]でインストールしてください。

[**カスタムインストール**]でのインストールについては、次を参照してください。

➡ カスタムインストールの場合（2-40ページ）

ソフトウェア	説　明	エクスプレスインストール
KXドライバー（KX DRIVER）	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語（PCL XL、KPDLなど）をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
KX XPSプリンタードライバー （KX XPS DRIVER）	マイクロソフト社が開発したXPS（XML Paper Specification）フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	–
Mini プリンタードライバー （PCL/KPDL） （KPDL mini-driver/PCL mini-driver）	PCL、KPDLのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	–
Kyocera Network FAXドライバー （FAX Driver）	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由してファクス送信することができます。	–
Kyocera TWAIN ドライバー （Kyocera TWAIN Driver）	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバーです。	○
Kyocera WIAドライバー （Kyocera WIA Driver）	WIA（Windows Imaging Acquisition）は、スキャナーなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindows の機能です。WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストールされていない場合などに便利です。	–
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティーです。	–
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティーです。	○
File Management Utility	スキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーに送信し、保存することができます。	–
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	–
フォント（FONTS）	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○

参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- WIAドライバーおよびKX XPSドライバーは、Windows XPにはインストールできません。

Windowsにソフトウェアをインストールする

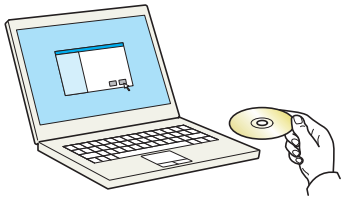
エクスプレスインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[**エクスプレスインストール**]でインストールする場合を例に説明します。

[**カスタムインストール**]でのインストールについては、次を参照してください。

➡ カスタムインストールの場合（2-40ページ）

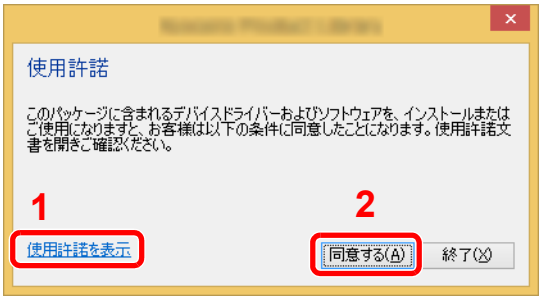
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[**キャンセル**]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[**はい**]をクリックしてください。

2 画面を表示する

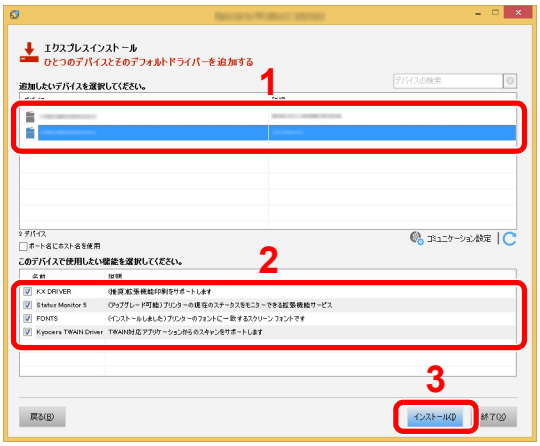


1 [**使用許諾を表示**]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

2 [**同意する**]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する

4 インストールする



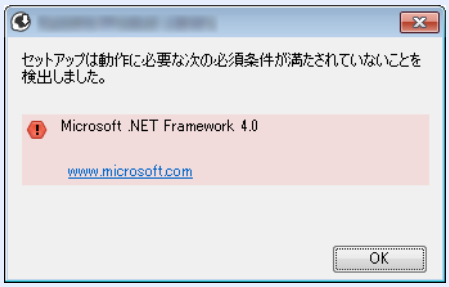
本機のモデル名を選択します。[**ポート名にホスト名を使用**]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

重要

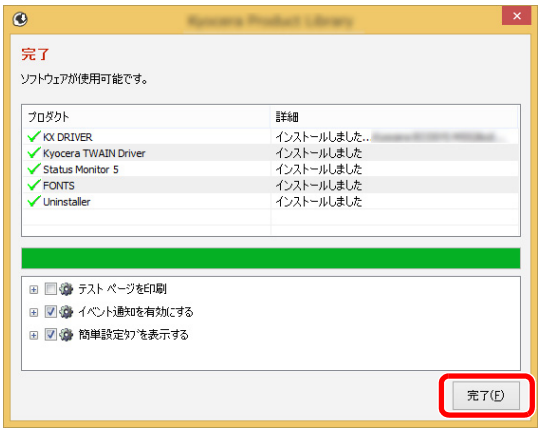
Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、(更新)をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[**このドライバーソフトウェアをインストールします**]をクリックしてください。
- Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

参考

Windows XPの場合、[デバイス設定]を選択すると、[完了]をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。

➡ プリンタードライバー操作手順書

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

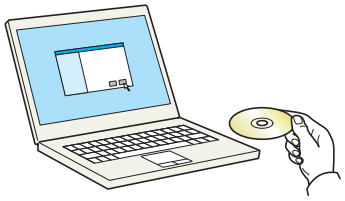
TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

➡ TWAINドライバーを設定する（2-47ページ）

カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

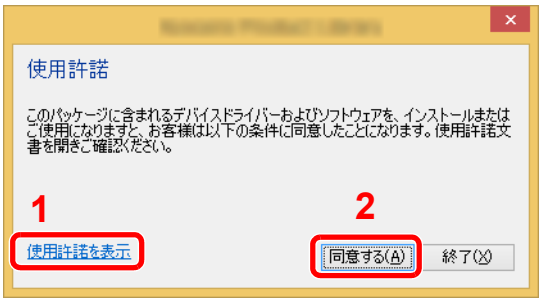
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する



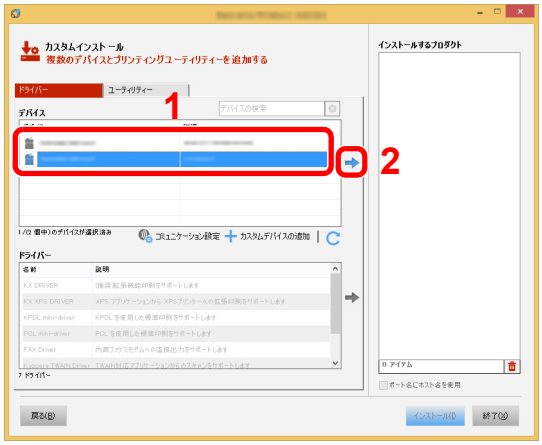
1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

2 [同意する]をクリックします。

3 [カスタムインストール]を選択する

4 インストールする

1 インストールするデバイスを選択します。



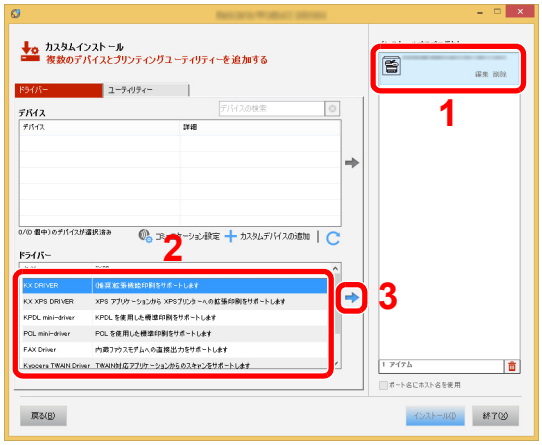
重要

Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

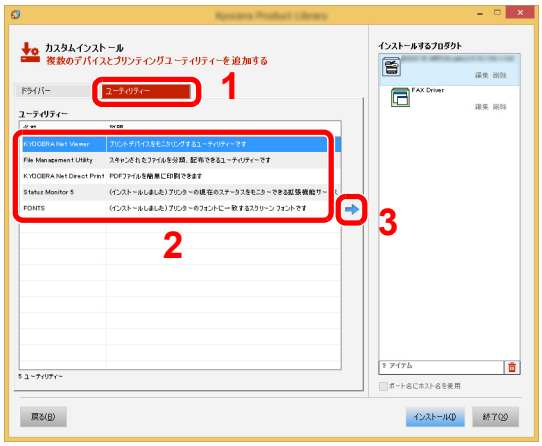
参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、(更新)をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加]を選択して使用したいデバイスを直接選びます。

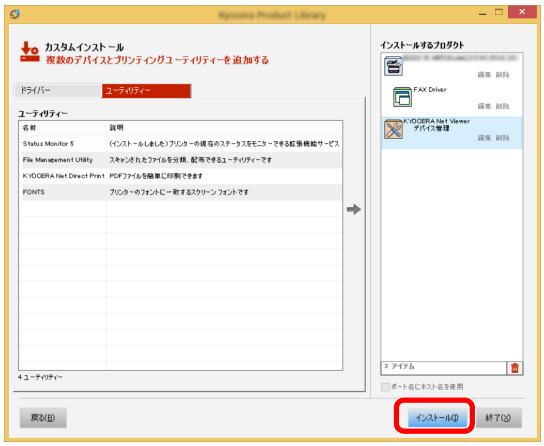
2 インストールするドライバーを選択します。



3 [ユーティリティー]タブをクリックして、インストールするユーティリティーを選択します。

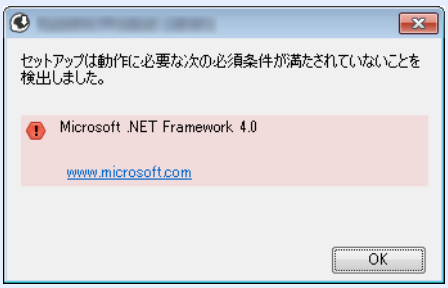


4 [インストール]をクリックします。

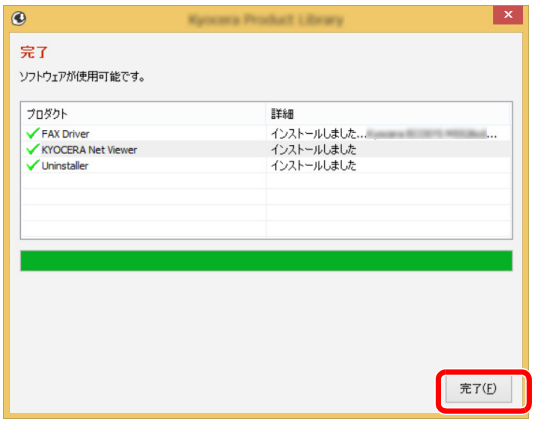


参考

Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[**完了**]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

参考

Windows XPの場合、[**デバイス設定**]を選択すると、[**完了**]をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。

➡ プリンタードライバー操作手順書

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

➡ TWAINドライバーを設定する（2-47ページ）

ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

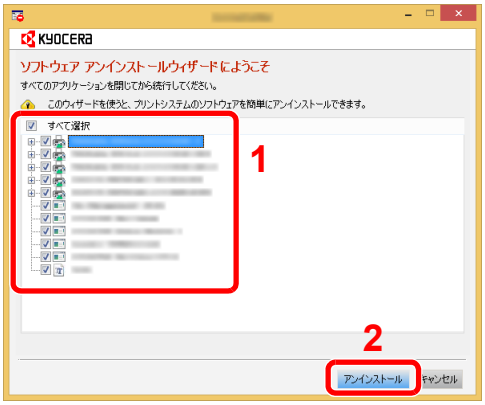
デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[**プロダクトライブラリーのアンインストール**]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

参考

Windows 7の場合は、Windowsの[**スタート**]ボタン→[**すべてのプログラム**]→[Kyocera]→[**プロダクトライブラリーのアンインストール**]を選択します。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。

参考

- ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。
- Product Libraryの画面で[**アンインストール**]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

Macintoshにソフトウェアをインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL（自動）]に設定してください。

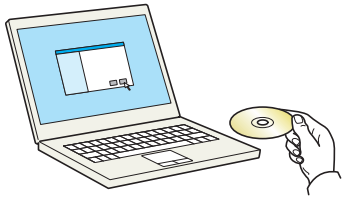
➡ プリンター（8-23ページ）

- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。

➡ Bonjour（8-30ページ）

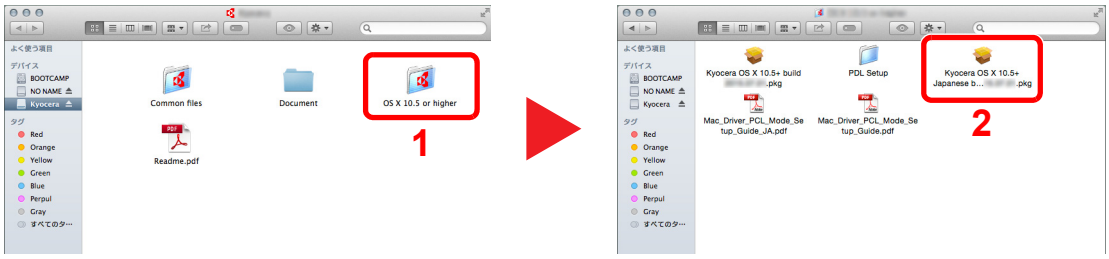
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

1 DVDを挿入する



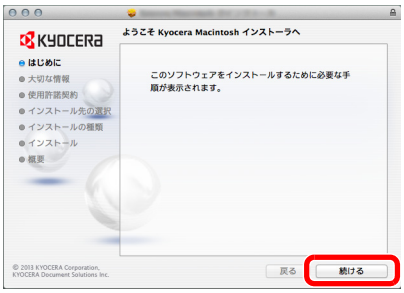
[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

3 インストールする



インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

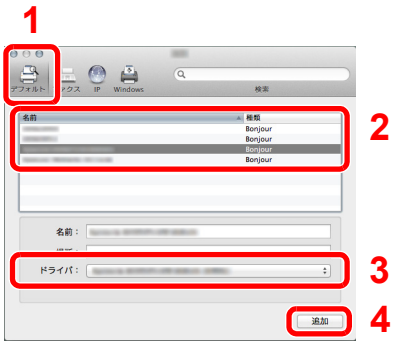
以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。

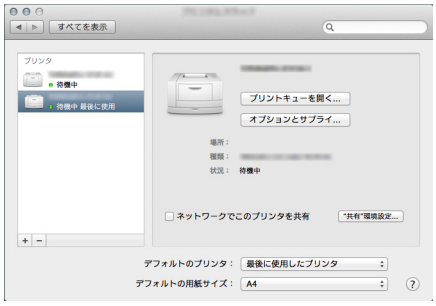
2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



> **参考**
> IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

3 本機に装備されているオプションを選択します。

4 設定したプリンターが追加されます。



TWAINドライバーを設定する

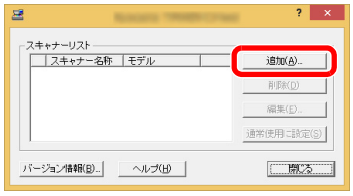
TWAINドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

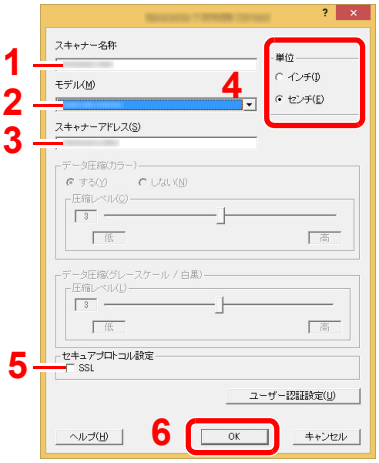
> **参考**
> Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

2 [追加]をクリックします。



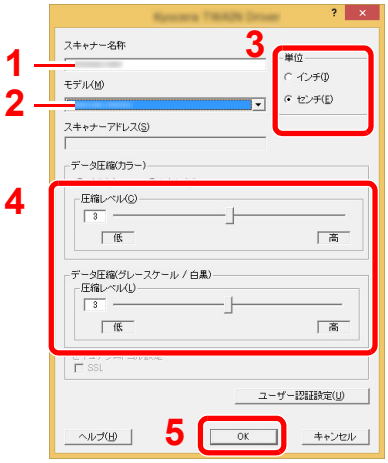
2 設定する

(Network)



1 本機の名称を入力します。
2 リストから本機を選択します。
3 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
4 使用する単位を選択します。
5 SSLを設定する場合は選択します。
6 [OK]をクリックします。

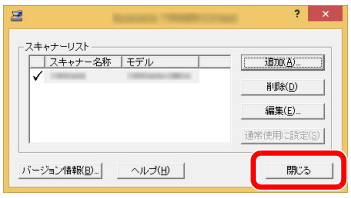
(USB)



1 本機の名称を入力します。
2 リストから本機を選択します。
3 使用する単位を選択します。
4 圧縮レベルを設定します。
5 [OK]をクリックします。

> **参考**
> 本機のIPアドレスまたはホスト名は管理者に確認してください。

3 終了する



参考

[削除]をクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]をクリックすると、名称などの変更ができます。

WIAドライバーを設定する

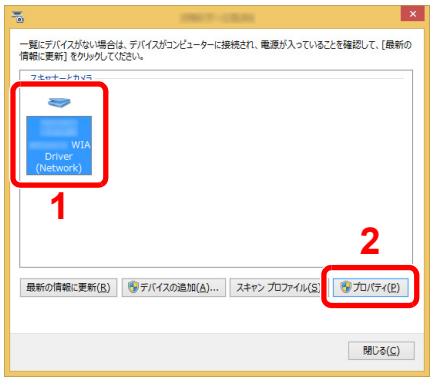
WIAドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]を選択すると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

> **参考**
> Windows 7の場合は、Windowsの[**スタート**]ボタンをクリックし、[**プログラムとファイルの検索**]欄に「スキャナー」と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[**プロパティ**]ボタンをクリックします。



2 設定する

(Network)

1 [**設定**]タブをクリックします。
2 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
3 SSLを利用する場合は選択します。
4 使用する単位を選択します。
5 [OK]をクリックします。

(USB)

1 [**設定**]タブをクリックします。
2 圧縮レベルを設定します。
3 使用する単位を選択します。
4 [OK]をクリックします。

カウンターを確認する

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

1 **画面を表示する**

［システムメニュー/カウンター］キー > ［カウンター］

2 **カウンターを確認する**

管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

パソコンに文書を送信するためには

共有フォルダーに送信する（SMB送信）

読み込んだ文書をパソコンに送信するには、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作成する必要があります。

➡ パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備（3-10ページ）

スキャンした画像をメールする（メール送信）

読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。

➡ SMTPおよびメール送信の設定をする（2-58ページ）

セキュリティーを強化する

本機は、機器管理者の権限を持つユーザーと、管理者の権限を持つユーザーがそれぞれ1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、ログインユーザー名やログインパスワードを変更してください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。

➡ 9 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理）（9-1ページ）

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	9-2ページ
	オートパネルリセット	8-39ページ
	ICカード設定*1	9-26ページ
使用できる基本機能を制限したい	グループ認可設定	9-15ページ
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	PDF暗号化機能	6-28ページ
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	8-33ページ
	HTTPS	8-33ページ
	LDAPセキュリティー	Command Center RX操作手順書参照
	SMTPセキュリティー	8-36ページ
	POP3セキュリティー	8-36ページ
	FTP暗号送信	6-33ページ
	Enhanced WSD over SSL	8-35ページ
	IPSec	8-30ページ
	SNMPv3	8-32ページ

*1　オプションのICカード認証キットが必要です。

Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。

ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティー設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

➡ Command Center RX操作手順書

参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名： Admin
ログインパスワード： Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷やスキャンジョブ、保存ジョブ、予約ジョブ、およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス*1	ジョブボックスの設定を行います。	○	-
アドレス帳管理	アドレスおよびアドレスグループの新規作成および編集、削除を行います。	○	○*2
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティー設定	セキュリティーの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

*1　拡張メモリーまたはSD/SDHCメモリカードが必要です。
*2　ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

参考

ここではファクスの設定に関しては省略しています。

➡ ファクス使用説明書

Command Center RX へアクセスする

1 画面を表示する

1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の［**機器情報**］＞［**識別情報/有線**］

例）https://192.168.48.21/（IPアドレスの場合）

https://MFP001（ホスト名がMFP001の場合）

本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

➡ Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。

参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名： Admin
ログインパスワード： Admin

セキュリティー設定を変更する

1 画面を表示する

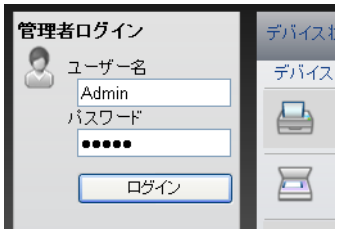
1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の［**機器情報**］＞［**識別情報/有線**］

3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名：　Admin
ログインパスワード：　Admin

4 ［**セキュリティー設定**］をクリックします。

2 設定する

［セキュリティー設定］メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。

参考

証明書に関する設定については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

デバイス情報を変更する

1 画面を表示する

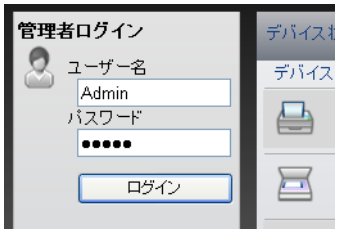
1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の［**機器情報**］＞［**識別情報/有線**］

3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名：　Admin
ログインパスワード：　Admin

4 ［**デバイス設定**］メニューの［**システム**］をクリックします。

2 設定する

デバイス情報を入力して、[**設定**]をクリックします。

重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークの再起動ができます。

SMTPおよびメール送信の設定をする

SMTPを設定すると、本機で読み取った画像をメールに添付して送信したり、ジョブが終了したことをメールで通知したりすることができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

- SMTPの設定
  設定項目：「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
  設定項目：「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
  設定項目：「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

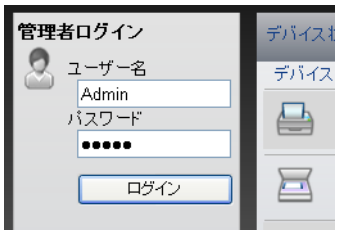
1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の［**機器情報**］＞［**識別情報/有線**］

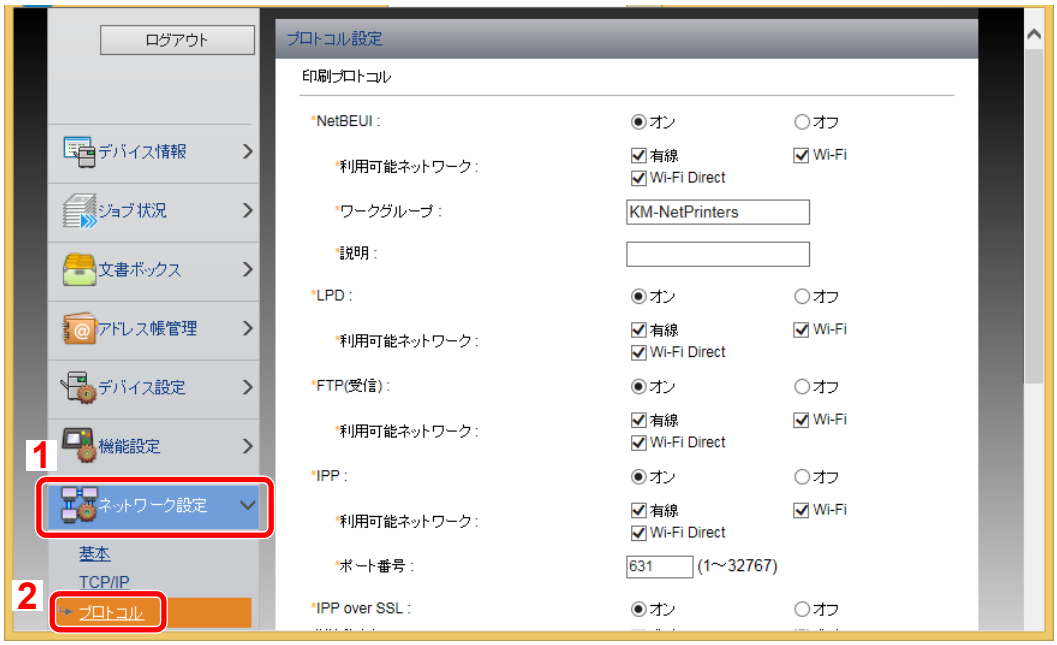
3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

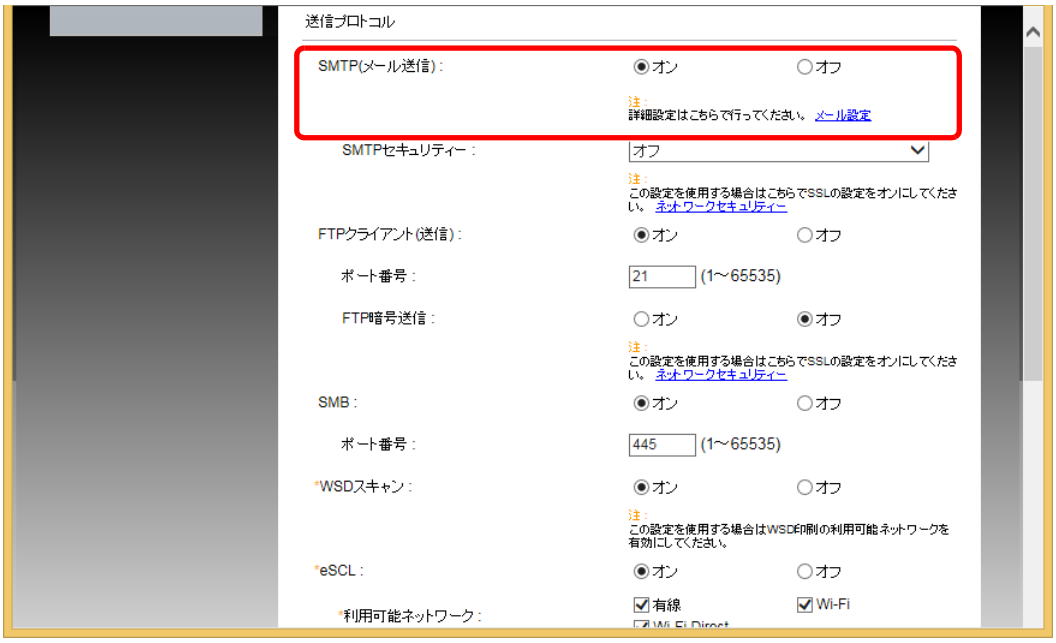
ログインユーザー名：　Admin
ログインパスワード：　Admin

4 ［ネットワーク設定］メニューの［プロトコル］をクリックします。



2 設定する

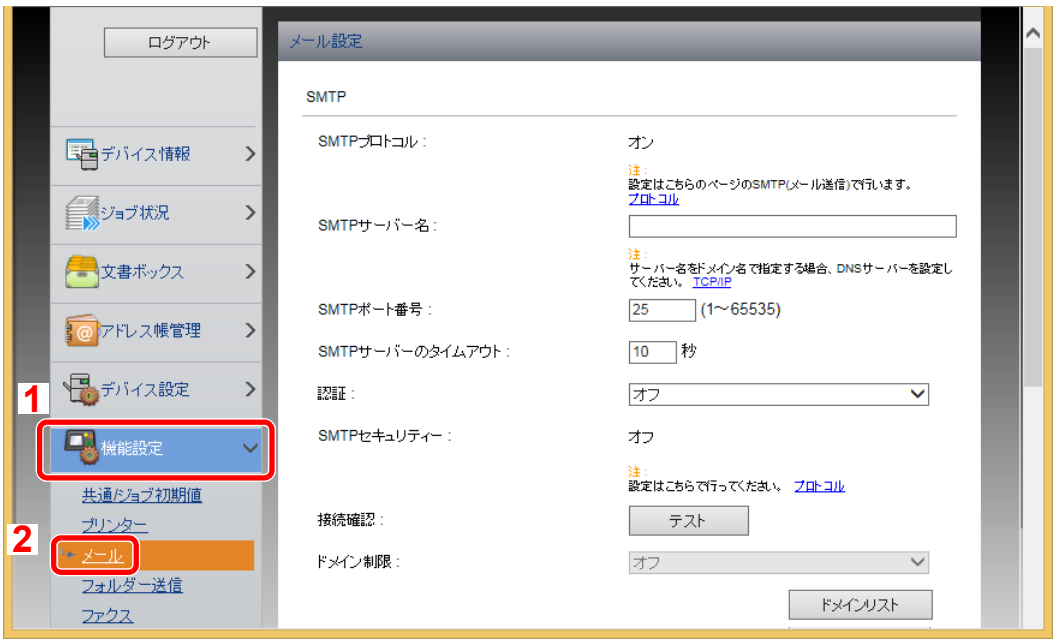
「送信プロトコル」の「SMTP（メール送信）」で設定を［オン］にしてください。



3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定] メニューの [メール] をクリックします。



4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目		説明
SMTP		本体からメールを送信するときに設定します。
	SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が［**オン**］になっているか確認してください。［**オフ**］の場合は、［**プロトコル**］をクリックして、SMTPプロトコルの設定を［**オン**］にしてください。
	SMTPサーバー名*1	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
	SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25を使用します。
	SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
	認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
	SMTPセキュリティー	SMTPセキュリティーを設定します。 「プロトコル」ページで「SMTP（メール送信）」の「SMTPセキュリティー」を設定してください。
	接続確認	メールを送信せずに、設定した内容で正しく動作するかどうかをテストします。
	ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、［**ドメインリスト**］をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
POP3	POP3プロトコル	本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はありません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。 ➡ Command Center RX操作手順書
	着信チェック間隔	
	直ちに実行	
	ドメイン制限	
	POP3ユーザー設定	
メール送信設定	メール送信のサイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。ここで入力したサイズより大きいメールになった場合、エラーを表示し、メール送信しません。SMTPサーバーの送信メールのサイズを制限している場合は、入力してください。SMTPサーバーの送信メールのサイズに制限が無い場合、0を入力してください。0を入力するとメールサイズの制限に関係なくメール送信します。
	差出人アドレス*1	本機がメールを送信するときの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。差出人アドレスは最大128文字まで入力できます。
	署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもあります。署名は最大512文字まで入力できます。
	機能初期値	機能の初期値を変更する場合は、［**共通/ジョブ初期値**］で行ってください。

*1　入力が必要な項目です。

5 ［設定］をクリックする

宛先を登録する

1 画面を表示する

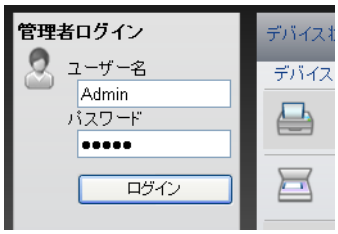
1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の［**機器情報**］＞［**識別情報/有線**］

3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名：　Admin
ログインパスワード：　Admin

4 ［**アドレス帳管理**］メニューで［**本体アドレス帳**］をクリックします。

5 ［**追加**］をクリックします。

2 設定する

1 宛先情報を入力します。

登録する宛先の情報を入力してください。入力する項目は本機で登録するときと同じです。

➡ アドレス帳の登録（3-21ページ）

2 ［**設定**］をクリックします。

弊社の他製品からデータを移行する

本機のユーティリティーを使用すると、機械の置き換えの際に、アドレス帳をスムーズに移行することができます。

ここでは弊社の製品間でのデータ移行方法について説明しています。

アドレス帳を移行する

機械に登録されているアドレス帳は、付属のDVDに収録されているKYOCERA Net Viewerを使用することでバックアップや移行ができます。

KYOCERA Net Viewerの操作方法については、次を参照してください。

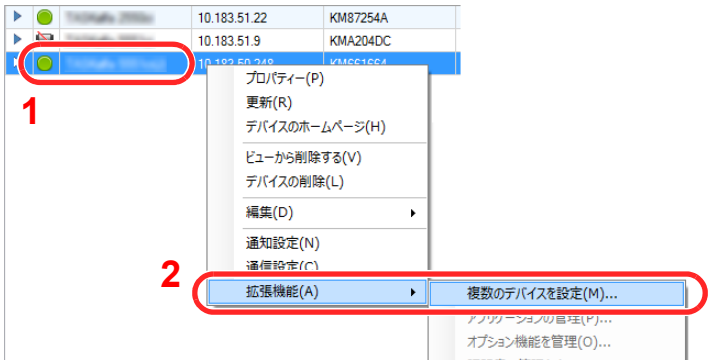
➡ KYOCERA Net Viewer操作手順書

アドレス帳データをパソコンにバックアップする

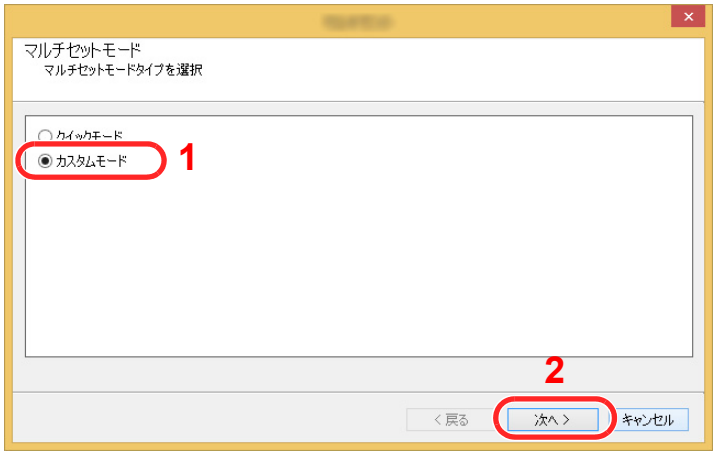
1 **KYOCERA Net Viewerを起動する**

2 **バックアップを行う**

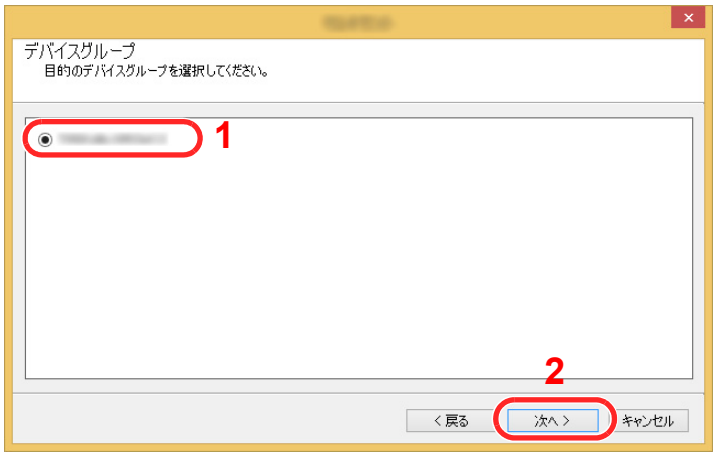
1 アドレス帳をバックアップしたいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



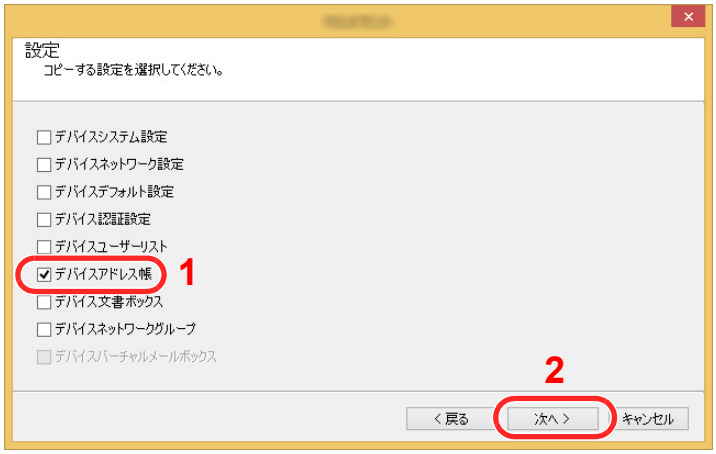
2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



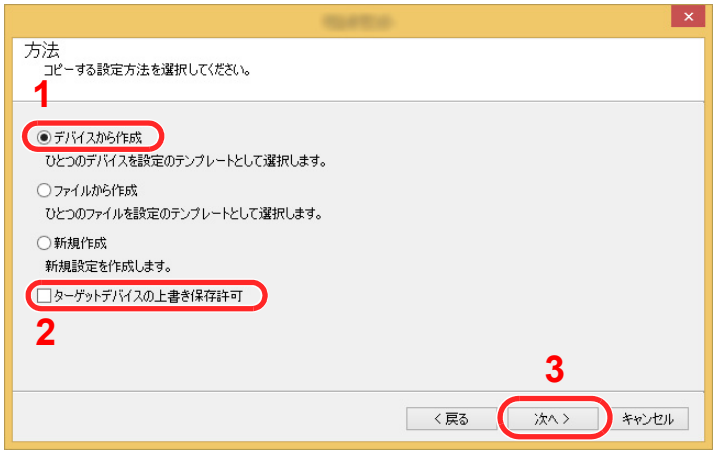
3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



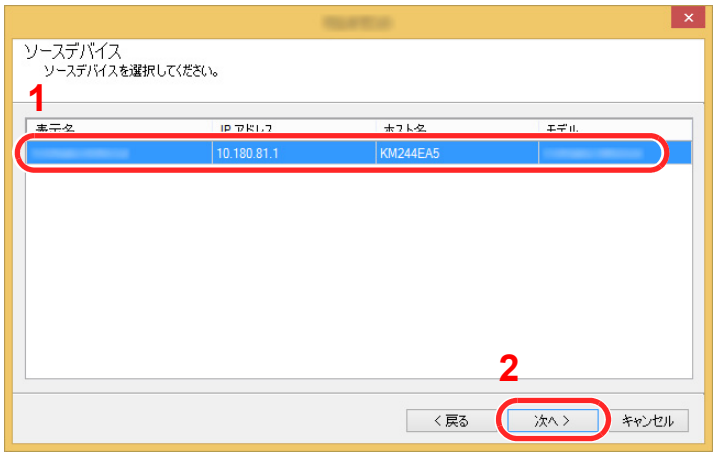
4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。



5 [デバイスから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



6 バックアップしたい機種を選択し、[**次へ**]をクリックします。

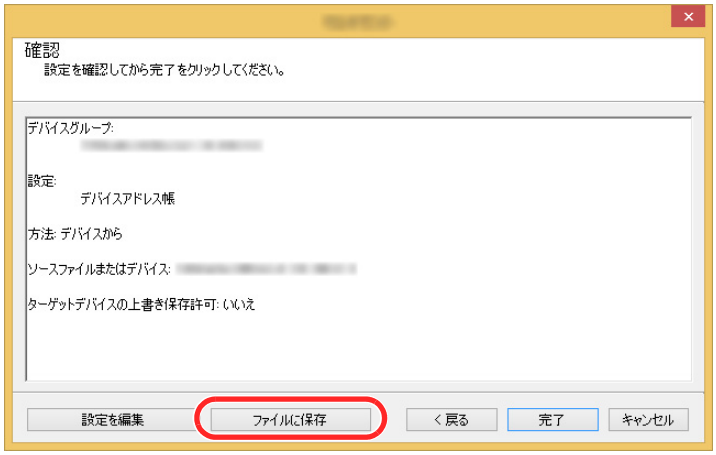


参考

「管理者ログイン」の画面が表示されたときは、「管理者ログイン」と「ログインパスワード」を入力して[OK]を選択します。初期設定は下記が設定されています（大文字・小文字は区別されます。）。

ログインユーザー名： Admin
ログインパスワード： Admin

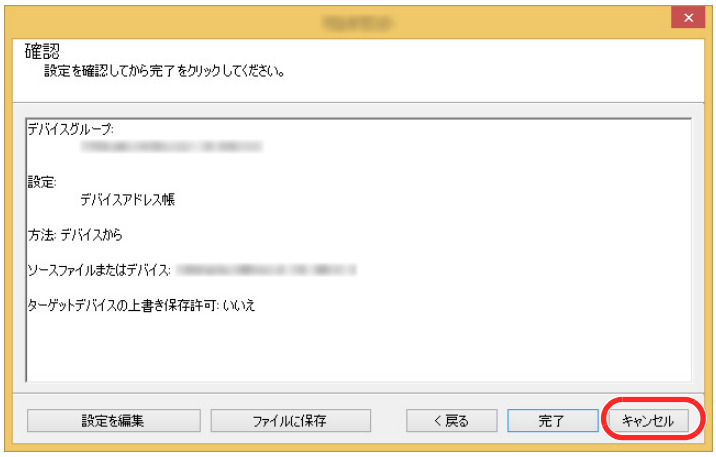
7 [**ファイルに保存**]をクリックします。



8 保存する場所とファイル名を設定し、[**保存**]をクリックします。

「ファイルの種類」は必ず「XMLファイル」を選択してください。

9 ファイルを保存後は、必ず[キャンセル]をクリックして画面を閉じます。



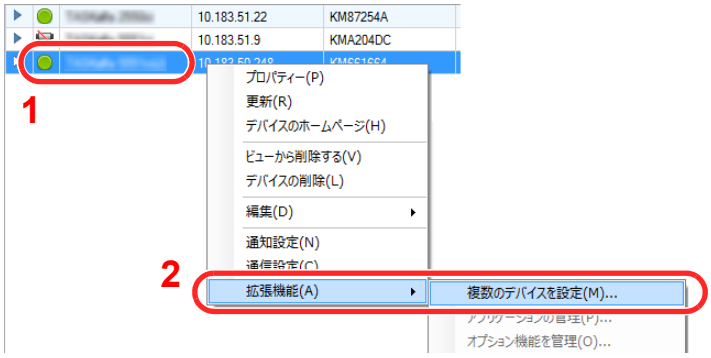
[完了]を選択すると本体のアドレス帳にデータを書き込みますのでご注意ください。

アドレス帳データを機械に書き込む

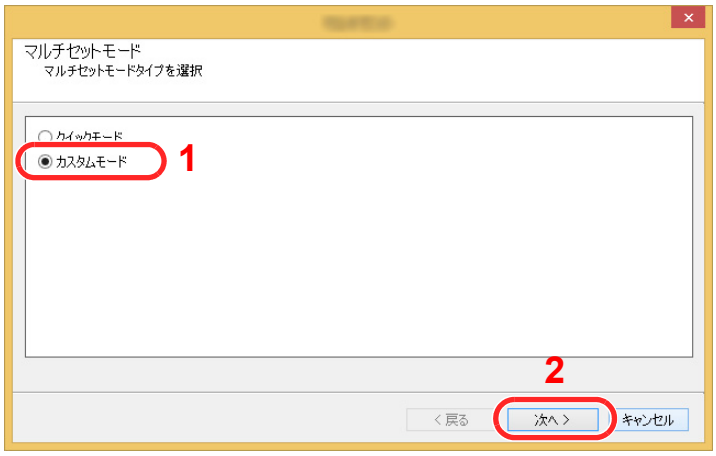
1 KYOCERA Net Viewerを起動する

2 アドレス帳データを取り込む

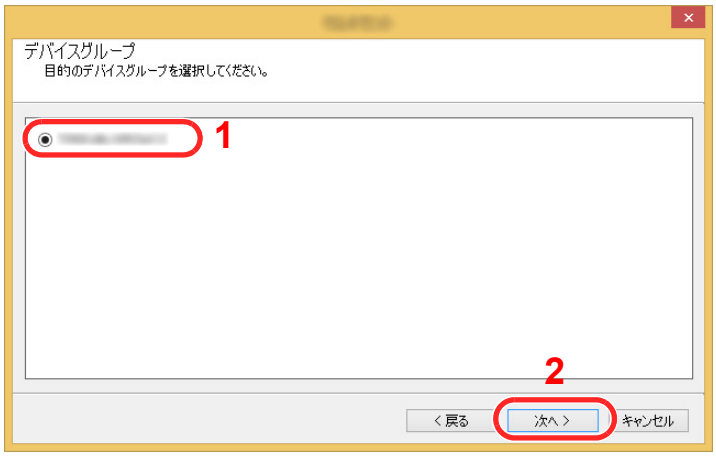
1 アドレス帳を転送したいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



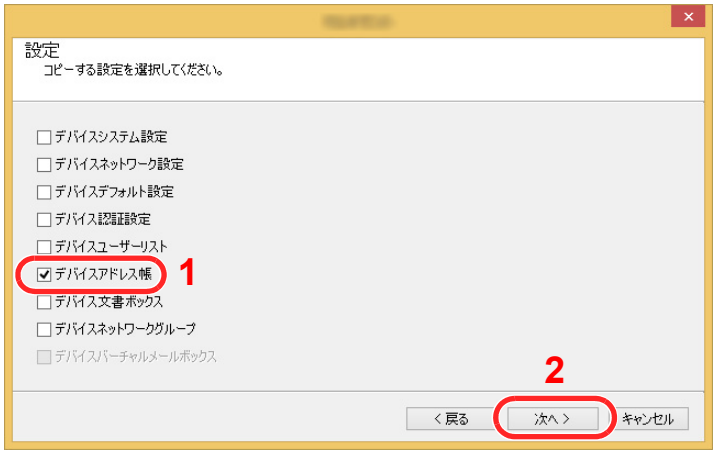
2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



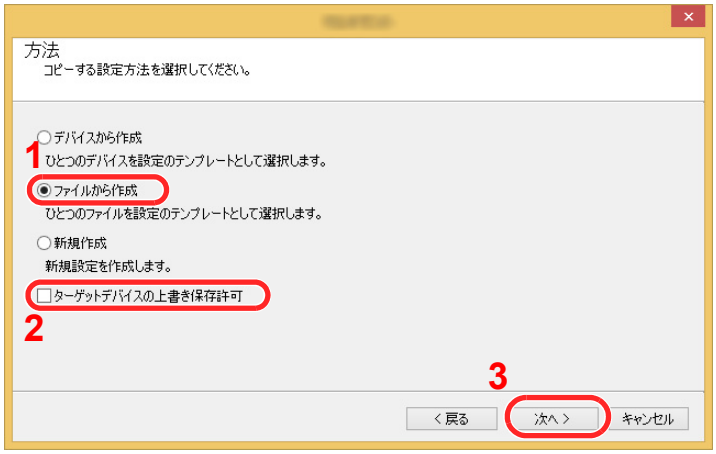
3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。

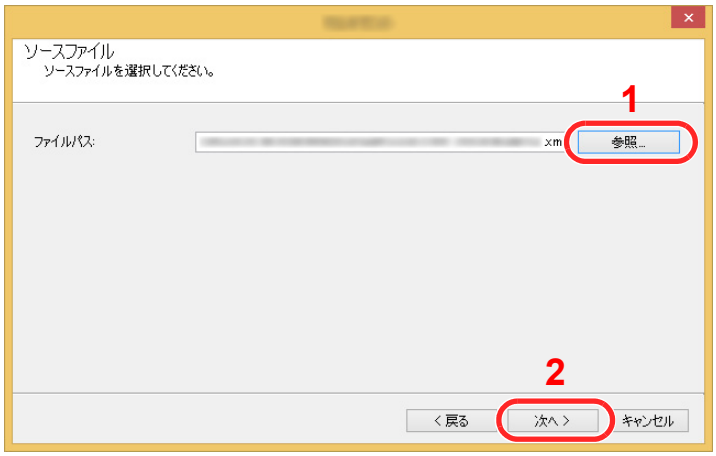


5 [ファイルから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。

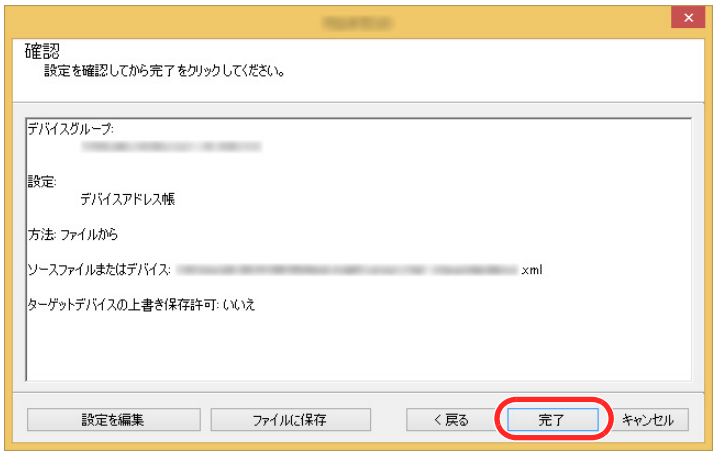


[ターゲットデバイスの上書き保存許可]にチェックを付けた場合、本体アドレス帳のNo.1から上書き保存されます。

6 [参照]をクリックしてバックアップしたアドレス帳ファイルを選択し、[次へ]をクリックします。



7 [完了]をクリックします。



アドレス帳データの書き込みを開始します。

8 書き込みが完了したら[閉じる]をクリックします。

3　本機を使用する前に

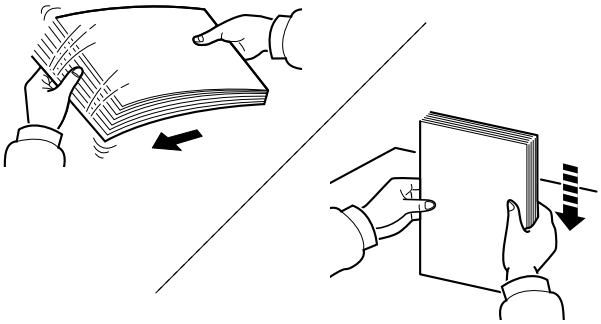
この章では、本機の基本的な操作について説明します。

用紙をセットする 3-2
用紙の取り扱い上の注意 3-2
給紙段の選択 3-3
カセット1に用紙をセットする 3-4
カセット2に用紙をセットする 3-7
用紙を排出するときの留意点 3-9
排紙ストッパー 3-9
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 3-10
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする 3-10
ユーザー名とドメイン名をメモする 3-12
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする 3-13
Windowsファイアウォールの確認 3-16
アドレス帳の登録 3-21
アドレス帳に宛先を登録する 3-21
ワンタッチキーを登録する 3-28

用紙をセットする

用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、給紙段にセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

重要

再利用紙（一度印刷された用紙）を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

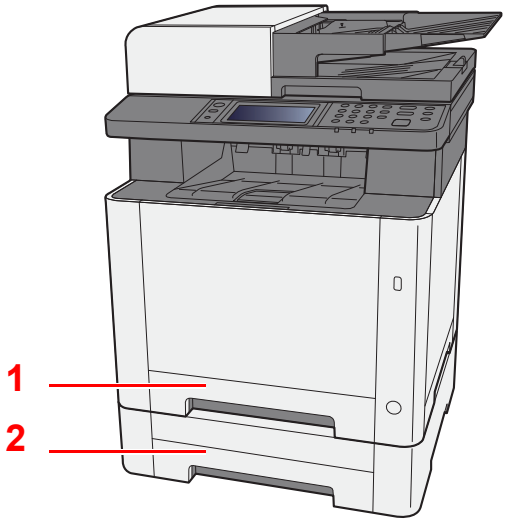
参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙（プレプリント）、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、次を参照してください。

用紙について（11-17ページ）

給紙段の選択

用紙のサイズや種類に応じて、用紙をセットする給紙段を選択します。



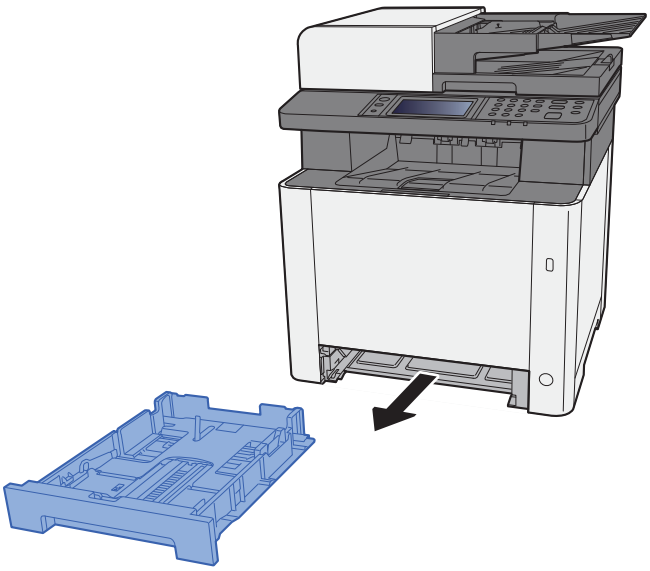
番号	名称	用紙サイズ	用紙種類	収納枚数	参照先
1	カセット1	A4、B5、A5-R、A5、A6、B6、Legal、Oficio II、Letter、Executive、Statement-R、Folio、16K、216 × 340 mm、B5（ISO）、カスタム	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、厚紙、上質紙、カスタム1～8	250枚（80 g/m^2）	3-4ページ
2	カセット2				3-7ページ

参考

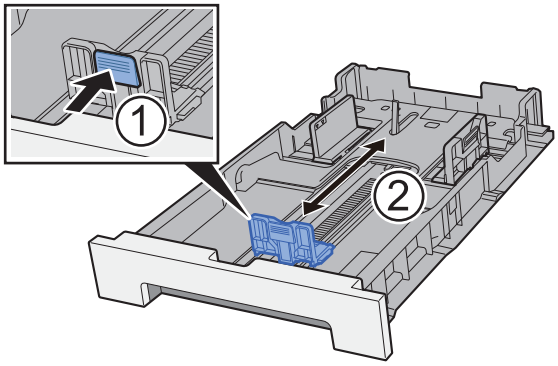
- お使いの環境や用紙の種類（厚さ）によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）
- より高品質なカラー印刷を求められる場合は、カラー専用の用紙をお使いください。

カセット1に用紙をセットする

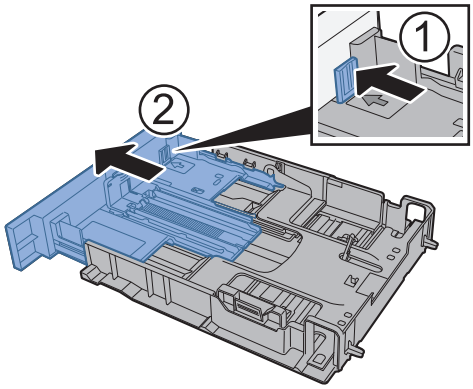
1 **カセット1を本機から引き出す**



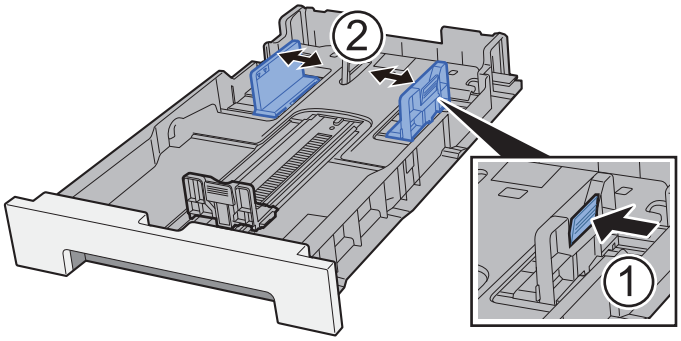
2 **カセット1の用紙長さガイドを調節する**



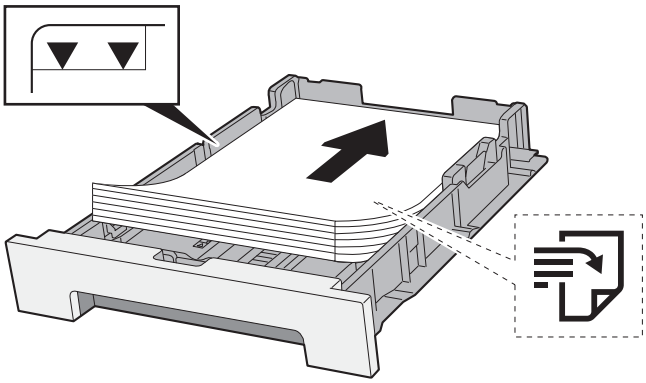
Folio、Oficio II、Legalを使用する場合



3 カセット1の用紙幅ガイドを調節する



4 用紙をセットする



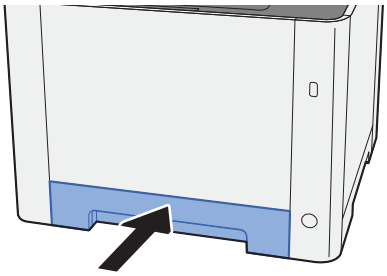
重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

➡ 用紙の取り扱い上の注意（3-2ページ）

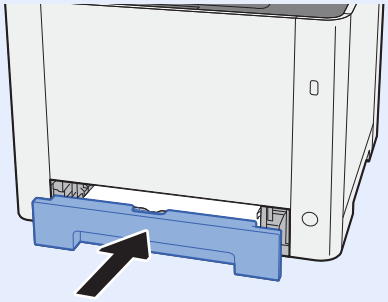
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、用紙上限表示以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 カセット1をゆっくり奥まで押し込む



参考

Folio、Oficio II、Legalを使用する場合は、カセットが本体より前に出ます。



6 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キー > ［カセット/手差しトレイ設定］> ［カセット1］

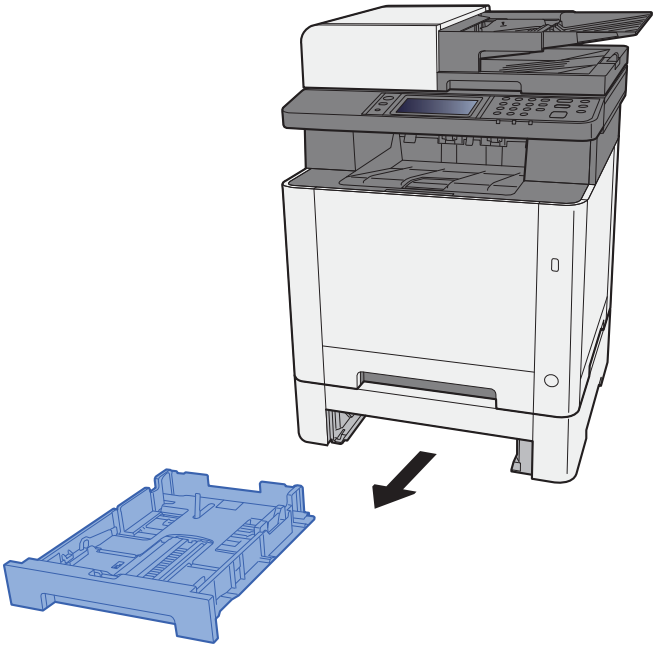
7 設定する

用紙サイズと用紙種類を選択します。

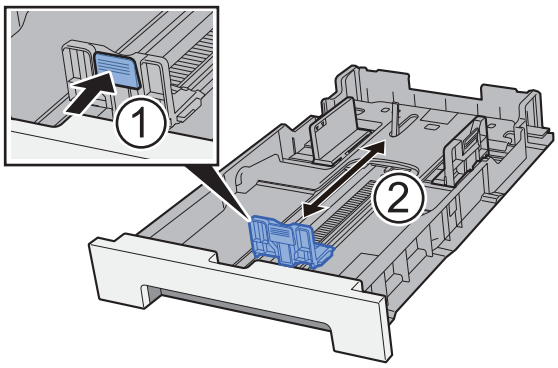
➡ カセット1(2)（8-8ページ）

カセット2に用紙をセットする

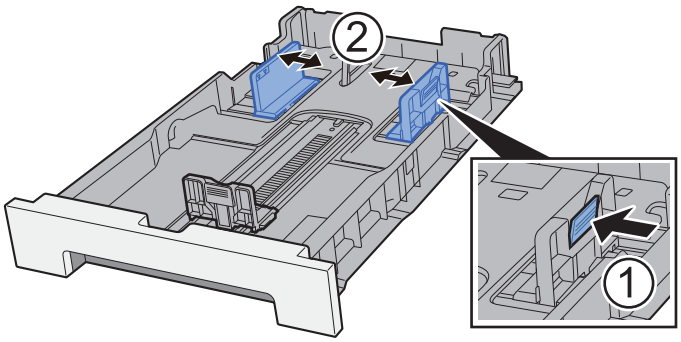
1 **カセット2を本機から引き出す**



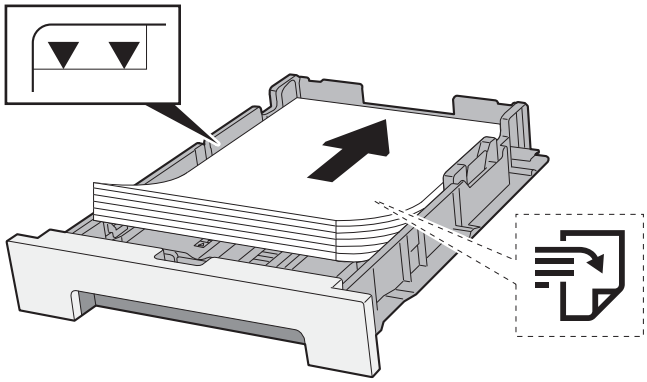
2 **カセット2の用紙長さガイドを調節する**



3 **カセット2の用紙幅ガイドを調節する**



4 用紙をセットする



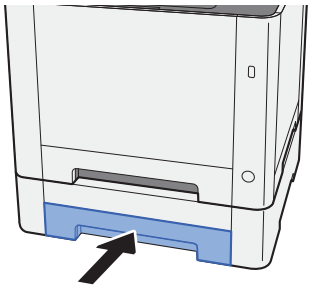
重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

➡ 用紙の取り扱い上の注意（3-2ページ）

- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、用紙上限表示以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 カセット2をゆっくり奥まで押し込む



6 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キー > ［カセット/手差しトレイ設定］> ［カセット2］

7 設定する

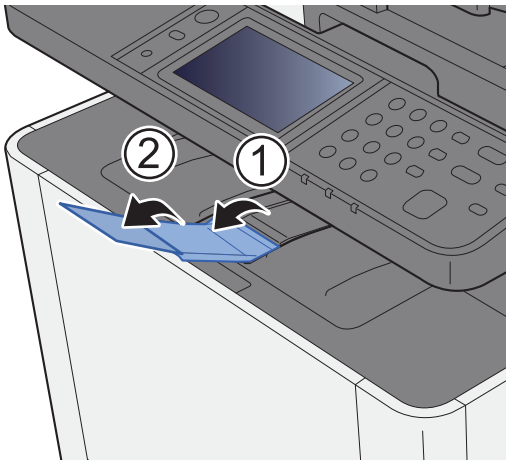
用紙サイズと用紙種類を選択します。

➡ カセット1(2)（8-8ページ）

用紙を排出するときの留意点

排紙ストッパー

B5/Letter以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。



パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 8.1をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

文書の宛先となるコンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

1 画面を表示する

Windows 8.1の場合は、スタート画面で[PC]を右クリックして[**プロパティ**]を選択します。またはウィンドウアイコンを右クリックして[**システム**]を選択します。

Windows 8の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[**ライブラリ**]から[**コンピューター**]を右クリックして[**プロパティ**]を選択して、「システムのプロパティ画面」を開きます。

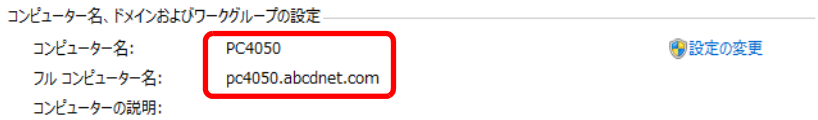
参考

Windows XPの場合は、[**マイコンピュータ**]を右クリックし、[**プロパティ**]を選択して、「システムのプロパティ」画面を開きます。表示される画面で[**コンピュータ名**]タブをクリックします。

Windows 7の場合は、Windowsの[**スタート**]ボタン→[**コンピューター**]→[**システムのプロパティ**]の順で選択します。

Windows 10の場合は、ウィンドウアイコンを右クリックして[**システム**]を選択します。

2 確認する



コンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

画面例：
　コンピューター名: PC4050
　フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com

Windows XPの場合

フルコンピューター名にドット(.)がない場合、コンピューター名とフルコンピューター名は同じです。
フルコンピューター名にドット(.)がある場合、フルコンピューター名に表示されている文字列のドット(.)の前までがコンピューター名になります。

例：pc4050.abcdnet.com
　pc4050がコンピューター名
　pc4050.abcdnet.comがフルコンピューター名

確認後、× [閉じる]ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

Windows XPの場合は、確認後、[キャンセル]ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

参考

コンピューター名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。コンピューター名を半角英数字に変更してください。

〇良い例：PC4050
× 悪い例：営業部 01

ユーザー名とドメイン名をメモする

Windowsにログオンする際のユーザー名とドメイン名をメモします。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「コマンドプロンプト」と入力します。検索された一覧の中から[**コマンドプロンプト**]を選択します。

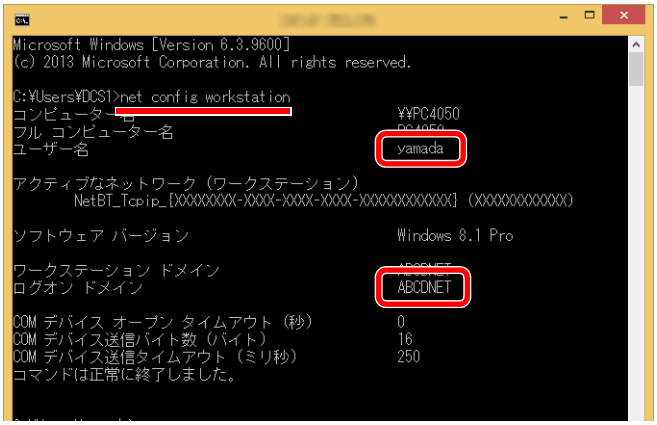
Windows 7の場合は、[**スタート**]ボタン→[**すべてのプログラム**]（または[**プログラム**]）→[**アクセサリ**]→[**コマンドプロンプト**]の順に選択します。

Windows 10の場合は、ウィンドウアイコンを右クリックして[**コマンドプロンプト**]を選択します。

コマンドプロンプトが起動します。

2 確認する

コマンドプロンプトに「net config workstation」と入力し、[Enter]キーを押します。



ユーザー名とドメイン名を確認します。

画面例：
　ユーザー名: yamada
　ドメイン名: ABCDNET

参考

ログインユーザー名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。ログインユーザー名を半角英数字で新たに追加（新しいアカウントの作成）してください。

〇良い例：yamada
× 悪い例：ユーザー01

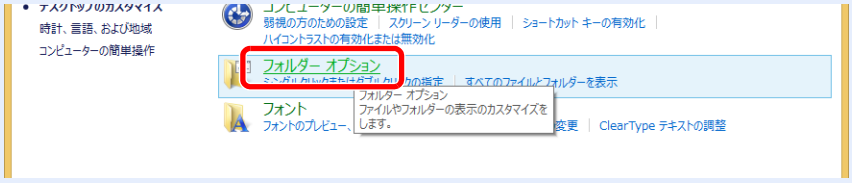
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

1 デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

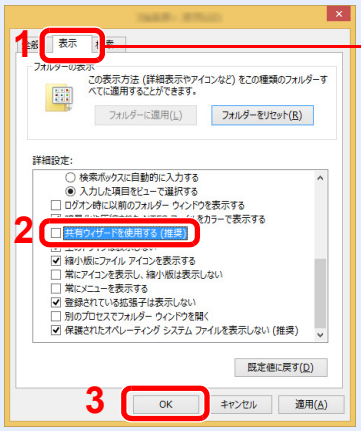


Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]をクリックし、[ツール]の[フォルダオプション]を選択します。

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示]→[オプション]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

2



[表示]タブが選択されていることを確認します。

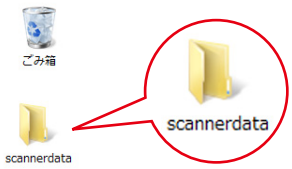
「詳細設定」の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。

Windows XPの場合は、[表示]タブをクリックし、「詳細設定」の[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]のチェックを外してください。

1 フォルダーを作成する

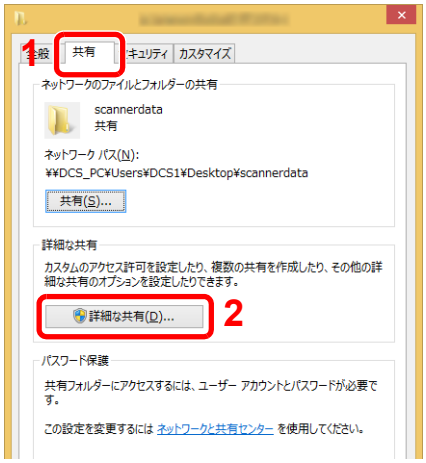
パソコン上でフォルダーを作成します。

例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをデスクトップに作成します。



2 共有を設定する

1 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[プロパティ]→[共有]タブ→[詳細な共有]の順にクリックします。



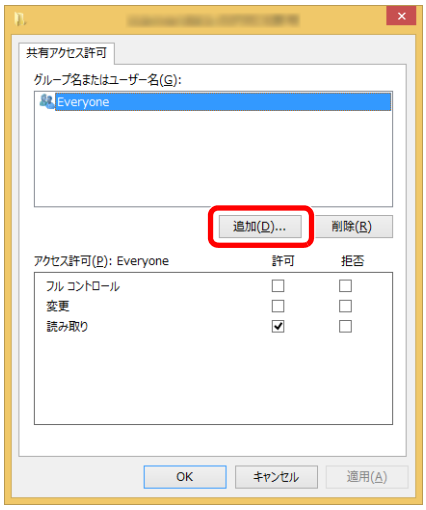
Windows XPの場合は、「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ]（または[共有]）を選択してください。

2 [このフォルダーを共有する]にチェックを付け、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

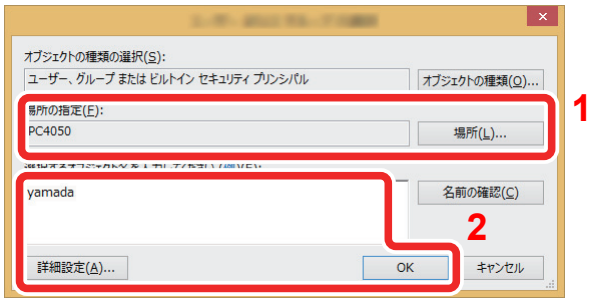
Windows XPの場合は、[このフォルダを共有する]を選択し、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

3 表示されている共有名をメモします。

4 [追加]ボタンをクリックします。



5 場所を指定します。

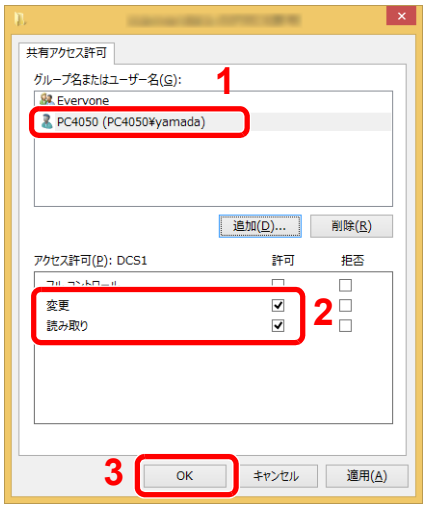


1 メモしたコンピューター名とドメイン名が同じ場合：
「場所の指定」にコンピューター名が表示されていなければ、[**場所**]ボタンをクリックしてコンピューター名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
例）pc4050
メモしたコンピューター名とドメイン名が違う場合：
「場所の指定」にメモしたフルコンピューター名で最初のドット(.)以降の文字が表示されていなければ、[**場所**]ボタンをクリックしてドット(.)以降の文字を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
例）abcdnet.com

➡ コンピューター名とフルコンピューター名をメモする（3-10ページ）

2 メモしたユーザー名をテキストボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックします。
また[**詳細設定**]をクリックしてユーザーを選択することもできます。

6 選択したユーザーのアクセス許可を設定します。



1 入力したユーザーを選択します。
2 「変更」と「読み取り」の[許可]にチェックをつけます。
3 [OK]ボタンをクリックします。

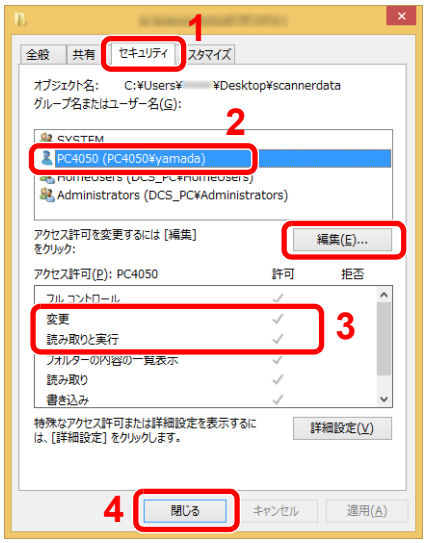
Windows XPの場合は、手順8へ進んでください。

参考

「Everyone」とはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティー強化のため、「Everyone」を選択し、「読み取り」の[**許可**]のチェックを外すことをお勧めします。

7 「詳細な共有」画面の[OK]ボタンをクリックし、この画面を閉じます。

8 ［セキュリティ］タブで設定した内容を確認します。



1 ［セキュリティ］タブを選択します。

2 入力したユーザーを選択します。
グループ名またはユーザー名欄に入力したユーザーが表示されていない場合は、［編集］をクリックして、共有を設定すると同様にユーザーを追加してください。

3 「変更」と「読み取りと実行」の［許可］にチェックが付いていることを確認します。

4 ［閉じる］ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は、「変更」と「読み取りと実行」の［許可］にチェックが付いていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

Windowsファイアウォールの確認

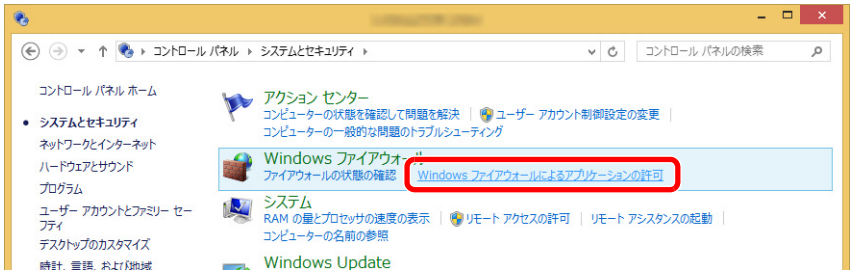
ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。

参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

1 ファイルとプリンターの共有を確認する

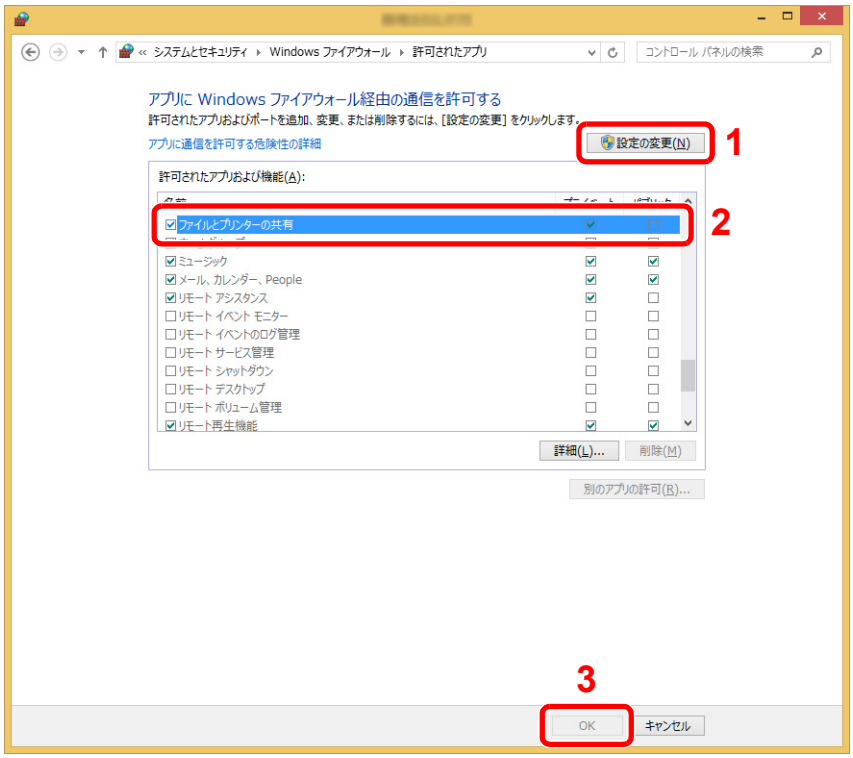
1 デスクトップのチャームから［設定］→［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可］の順で選択します。



参考

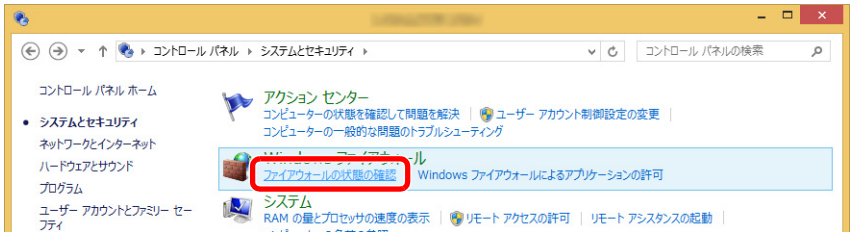
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックしてください。

2 ［ファイルとプリンターの共有］にチェックを付けます。

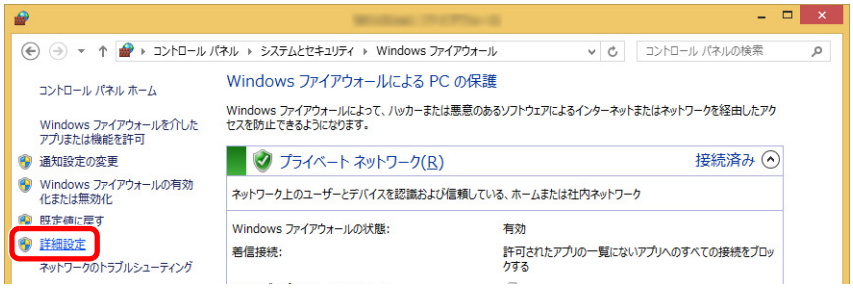


2 追加するポートを設定する

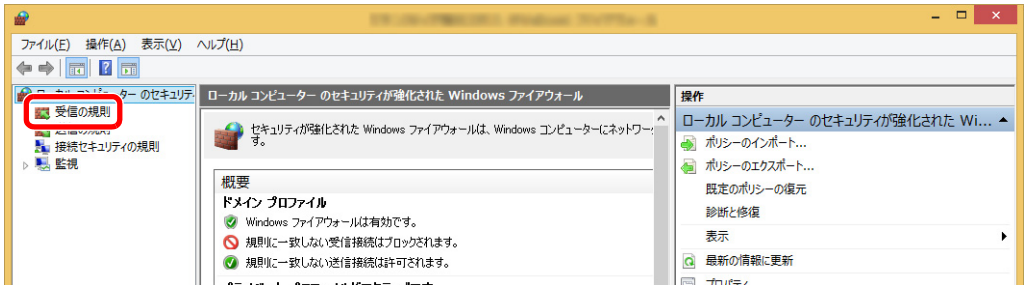
1 デスクトップのチャームから［設定］→［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［ファイアウォールの状態の確認］の順で選択してください。



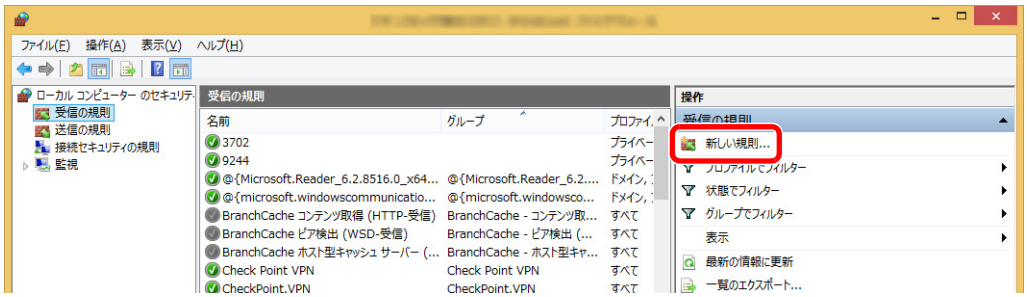
2 ［詳細設定］をクリックします。



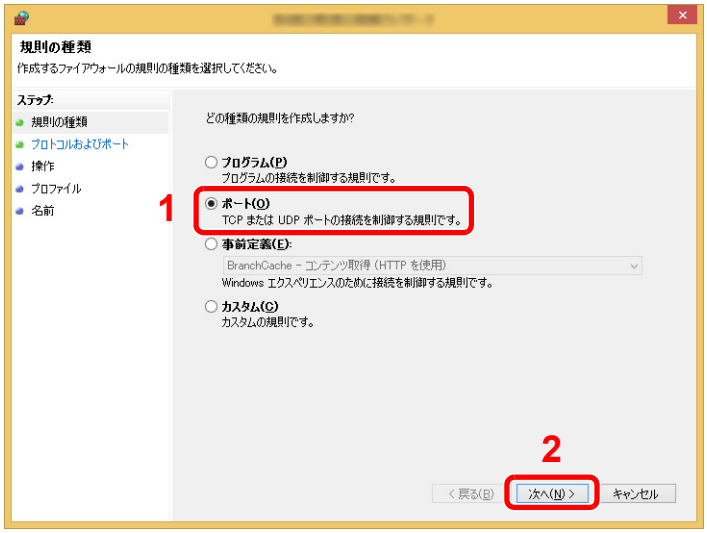
3 ［受信の規則］をクリックします。



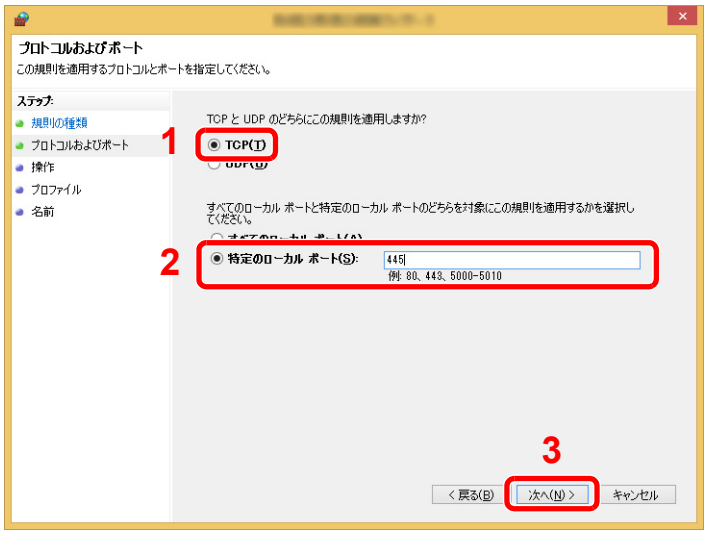
4 [新しい規則]をクリックします。



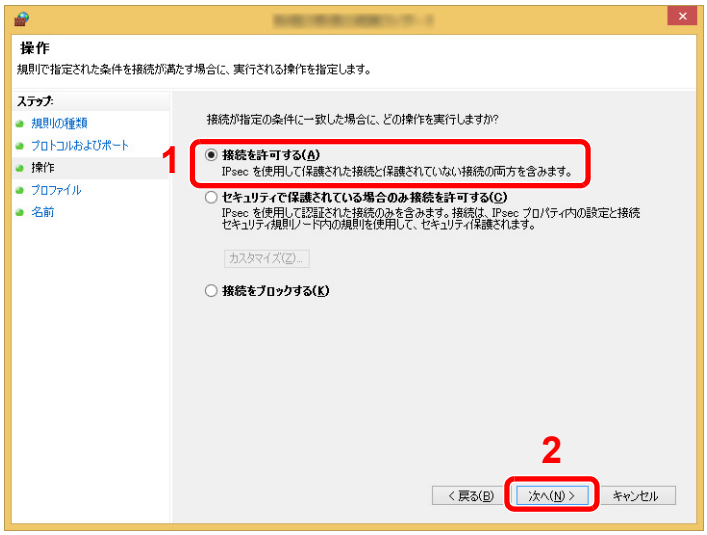
5 規則から[ポート]を選択します。



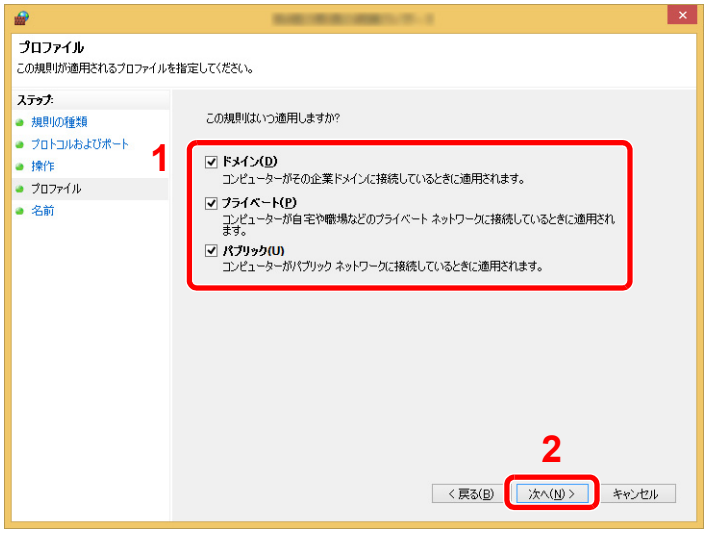
6 適用するポートとして[TCP]を選択します。そして[特定のローカルポート]をチェック後、「445」を入力してから[次へ]をクリックします。



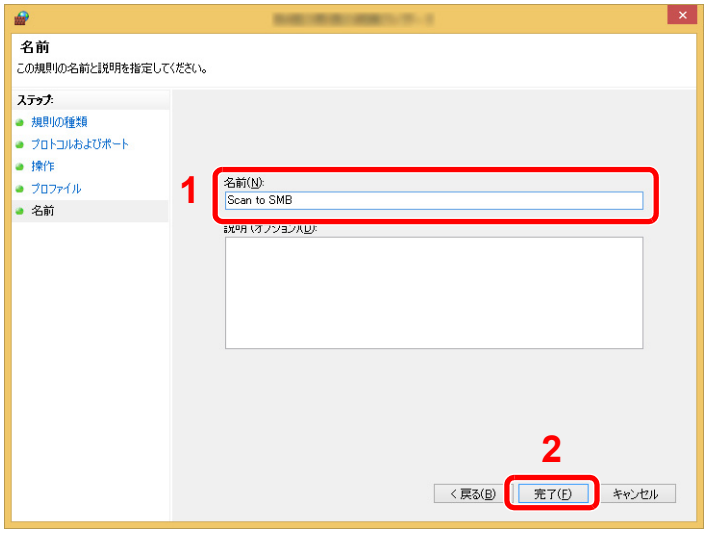
7 [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックします。



8 すべてにチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックします。



9 「名前」に「Scan to SMB」と入力して、[完了]をクリックします。



Windows 7の場合

1 Windowsの[**スタート**]ボタン→[**コントロールパネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**Windowsファイアウォールによるプログラムの許可**]の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[**続行**]ボタンをクリックします。

2 設定を行います。

➡ Windowsファイアウォールの確認（3-16ページ）

Windows XP、Windows Vistaの場合

1 Windows XPの場合は、Windowsの[**スタート**]ボタン→[**コントロールパネル**]→[**Windows ファイアウォール**]の順で選択します。
Windows Vistaの場合はWindowsの[**スタート**]ボタン→[**コントロールパネル**]→[**セキュリティ**]→[**Windows ファイアウォールの有効化または無効化**]の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[**続行**]ボタンをクリックします。

2 [**例外**]タブをクリックし、[**ポートの追加**]ボタンをクリックします。

3 ポートの追加の設定を行ってください。
「名前」では、任意の名前（例:Scan to SMB）を登録します。追加するポートの名前になります。「ポート番号」には、「445」を入力します。「プロトコル」では、[TCP]を選択します。

4 [OK]ボタンをクリックします。

Windows 10の場合

1 ウィンドウアイコンを右クリックして[**コントロールパネル**]を選択し、[**システムとセキュリティ**]→[**Windowsファイアウォールによるプログラムの許可**]の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[**続行**]ボタンをクリックします。

2 設定を行います。

➡ Windowsファイアウォールの確認（3-16ページ）

アドレス帳の登録

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

宛先を登録する（2-62ページ）

アドレス帳に宛先を登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。

参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

個人アドレスを登録する

各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などが最大100件登録できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳] > [✚] > [個人]

2 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示される宛先名を入力 > [次へ]

参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

2 宛先名のフリガナを入力 > [次へ]

参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

3 アドレスを登録する

アドレスがメールの場合
[メールアドレス] > メールアドレスを入力 > [OK]

参考

128文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

アドレスがフォルダー（SMB）の場合

[SMB] > [**ホスト名**]、[**パス**]、[**ポート**]、[**ログインユーザー名**]および[**ログインパスワード**] > [OK]

参考

コンピューター名、共有名、ドメイン名、ユーザー名については、共有フォルダー作成時にメモした内容を入力します。
共有フォルダーの作成方法については、次を参照してください。

パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備（3-10ページ）

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	コンピューター名	64文字以内
パス	共有名 例 ）scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以内
ポート	ポート番号 （通常は445です。）	1-65535
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例）yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例）abcdnet¥yamada	64文字以内
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード （大文字・小文字は区別されます。）	64文字以内

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、次の順に選択します。
[**メニュー**] > [**ネットワークからフォルダーを検索する**]または[**ホスト名でフォルダーを検索する**]

[**ネットワークからフォルダーを検索する**]を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンより宛先を検索することができます。

[**ホスト名でフォルダーを検索する**]を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ名」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

500件まで表示することができます。

ログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面を表示するには、次の順に選択します。
表示された画面で指定したいホスト名（コンピューター名）を選択 > [**次へ**]

参考

- 文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

- ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名に2バイト文字が使われている場合は、検索や送信ができません。
- [**メニュー**] > [**接続確認**]の順に選択すると、設定したパソコンへの接続が確認できます。接続できない場合は、入力した項目を確認してください。

アドレスがフォルダー（FTP）の場合

[FTP] > [**ホスト名**]、[**パス**]、[**ポート**]、[**ログインユーザー名**]および[**ログインパスワード**] > [OK]

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以内
パス*1	保存したいファイルのパス 例）¥User¥ScanData 何も入力しないと、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以内
ポート	ポート番号（通常は21です。）	1-65535
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以内
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字以内

*1　Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/（スラッシュ）です。

参考

- 文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

- [**メニュー**] > [**接続確認**]の順に選択すると、設定したFTPサーバーへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。
- [**セキュアプロトコル**]の[SSL]を有効にしている場合、[**メニュー**] > [**接続確認（暗号送信）**]の順に選択すると、FTP暗号送信の接続が確認できます。送信できない場合は、入力した項目を確認してください。

1 アドレス番号を指定したい場合は、[**アドレス番号**]を選択します。

2 [+]、[−]またはテンキーで、任意のアドレス番号（001～120）を入力します。

自動で番号を割り当てる場合は、000を設定してください。

参考

- アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され、登録できません。

3 [OK]を選択します。

4 宛先が正しく設定できているか確認 > [登録]

アドレス帳に宛先が追加されます。

グループを登録する

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして最大20件登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利です。

参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。

1つのグループに、個人登録された宛先を100件まで、SMBとFTPの宛先は合わせて5件まで登録できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳] > [✚] > [グループ]

2 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示されるグループ名を入力 > [次へ]

参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

2 グループ名のフリガナを入力 > [次へ]

参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

3 メンバー（宛先）を選択する

1 [メンバー]を選択します。

2 [✚]を選択します。

3 グループに登録する宛先（個人）を選択します。選択された宛先はチェックマークが付きます。

参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

4 [OK]を選択します。

宛先を追加するときは、手順2～4を繰り返してください。

5 [終了]を選択します。

6 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。

7 ［+］、［−］またはテンキーで、任意のアドレス番号（001～120）を入力します。

自動で割り当てる場合は、000を設定してください。

参考

- アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され、登録できません。

8 ［OK］を選択します。

4 選択した宛先がグループに追加されたことを確認 > ［登録］

アドレス帳にグループが追加されます。

アドレス帳を変更する

登録した宛先（個人）やグループを変更します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]

2 変更する

参考

宛先とグループは、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

➡ アドレス帳から宛先を選ぶ（5-32ページ）

個人登録の宛先を変更する場合

1 編集する宛先の [ ] を選択します。

2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」、送信先の種類やアドレスを変更します。
変更方法は、次を参照してください。

➡ 個人アドレスを登録する（3-21ページ）

3 変更が終わったら、[登録] > [はい]

変更した宛先が登録されます。

グループを編集する場合

1 編集するグループの [ ] を選択します。

2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」を変更します。
変更方法は、次を参照してください。

➡ グループを登録する（3-24ページ）

3 [メンバー] を選択します。

4 グループから宛先を削除する場合は、宛先を選択 > [ ] > [はい]

宛先を追加する場合は、[ ] を選択します。

5 変更が終わったら、[登録] > [はい]

変更したグループが登録されます。

アドレス帳を削除する

登録した宛先（個人）やグループを削除します。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［アドレス帳/ワンタッチ］ > ［アドレス帳］

2 削除する宛先またはグループを選択します。

参考

宛先とグループは、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

➡ アドレス帳から宛先を選ぶ（5-32ページ）

2 ［🗑］ > ［はい］

個人登録の宛先またはグループが削除されます。

ワンタッチキーを登録する

ワンタッチキーに宛先（個人またはグループ）を登録することができます。100件まで登録できます。

参考

- ワンタッチキーの使用方法は、次を参照してください。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

- ワンタッチキーの登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

➡ 宛先を登録する（2-62ページ）

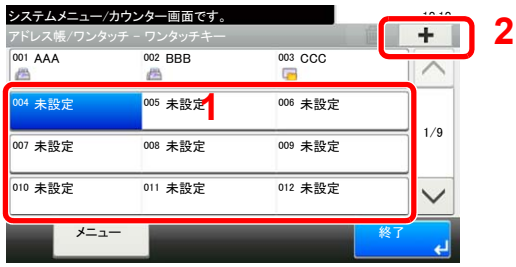
1 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キー > ［アドレス帳/ワンタッチ］ > ［ワンタッチキー］

2 ワンタッチキーを登録する

1 宛先を登録するワンタッチキー番号（001～100）を選択 > ［＋］
［短縮］キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。

登録されていないワンタッチキーを選択してください。



2 ワンタッチキーに登録する宛先（個人またはグループ）を選択します。

［…］を選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

➡ アドレス帳から宛先を選ぶ（5-32ページ）

3 送信の基本画面に表示されるワンタッチキー名を入力 > ［次へ］

参考

24文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

4 ［登録］を選択します。

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を変更する

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［アドレス帳/ワンタッチ］ > ［ワンタッチキー］

2 編集するワンタッチキー番号（001～100）を選択します。［短縮］キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。

2 登録内容を変更する

1 ［メニュー］ > ［編集］ > ［宛先］

2 新しい宛先（個人またはグループ）を選択してください。［ ］を選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

3 ［OK］ > ［登録］ > ［はい］

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を削除する

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［アドレス帳/ワンタッチ］> ［ワンタッチキー］

2 編集するワンタッチキー番号（001～100）を選択します。［短縮］キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。

編集したい内容によって、操作手順が異なります。

2 登録内容を削除する

［🗑］> ［はい］の順に選択します。

ワンタッチキーの登録内容が削除されます。

4　パソコンからの印刷

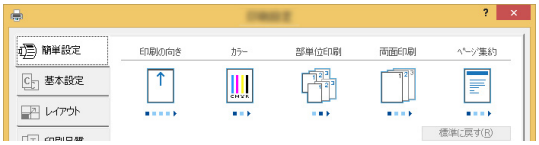
この章では、次の項目について説明します。

プリンタードライバーのプロパティ画面 4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する 4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する（Windows 8.1の場合） 4-3
パソコンから印刷する 4-4
定形サイズの用紙に印刷する 4-4
不定形サイズの用紙に印刷する 4-6
パソコンで印刷を中止する 4-9
携帯端末から印刷する 4-10
AirPrintで印刷 4-10
Google Cloud Printで印刷 4-10
Mopriaで印刷 4-10
Wi-Fi Directで印刷 4-10
本体に保存したデータを印刷する 4-11
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-11
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する 4-12
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する 4-12
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する 4-13
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する 4-13
クイックコピーボックスからジョブを印刷する 4-14
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する 4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する 4-15
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する 4-15
本機の状態をパソコンから確認するには（ステータスモニター） 4-16
ステータスモニターを起動する 4-16
ステータスモニターを終了する 4-16
Quick View State 4-16
印刷情報アイコンタブ 4-17
用紙情報アイコンタブ 4-17
トナー情報アイコンタブ 4-17
アラート情報アイコンタブ 4-18
ステータスモニターコンテキストメニュー 4-18
ステータスモニターの通知機能を設定する 4-19

プリンタードライバーのプロパティ画面

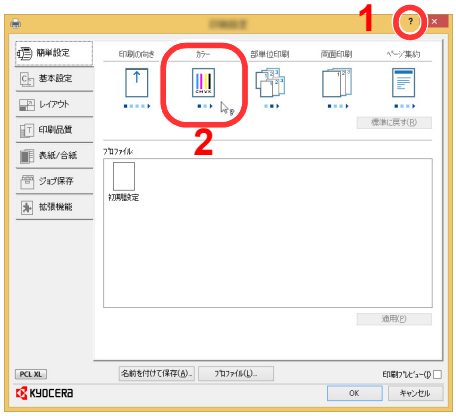
プリンタードライバーのプロパティ画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

➡ プリンタードライバー操作手順書

No.	説明
1	[簡単設定]タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。  [基本設定]タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。 [レイアウト]タブ ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 [印刷品質]タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。 [表紙/合紙]タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。 [ジョブ保存]タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくと簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 [拡張機能]タブ 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。
2	[プロファイル] プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくと便利です。
3	[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバーのヘルプを表示する

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



1 設定画面右上の[？]ボタンをクリックします。

2 知りたい設定項目をクリックします。

参考

知りたい設定項目をクリックした後、キーボードの[F1]キーを押した場合もヘルプを表示することができます。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する（Windows 8.1の場合）

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、次を参照してください。

➡ プリンタードライバー操作手順書

1 **デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックする**

2 **本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックする**

3 **[全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする**

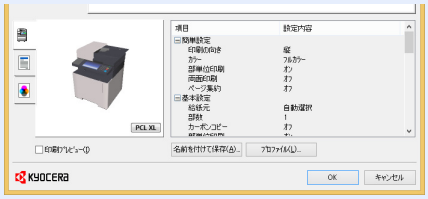
4 **初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする**

パソコンから印刷する

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD（Product Library）を使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。

➡ はがき、封筒をセットする（5-7ページ）

定形サイズの用紙に印刷する

本機の出力用紙サイズにある用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある［基本設定］タブで用紙サイズを選択します。

参考

本機の操作パネルから、印刷する用紙のサイズと種類を設定してください。

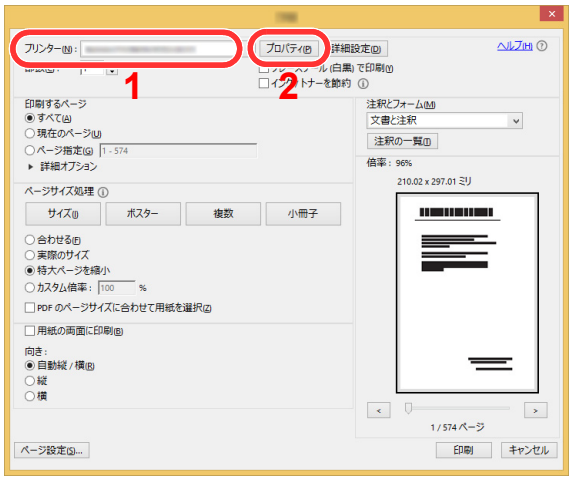
➡ 用紙設定（8-13ページ）

1 画面を表示する

［ファイル］をクリックし、［印刷］を選択します。

2 設定する

1 「プリンター」メニューから本機を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



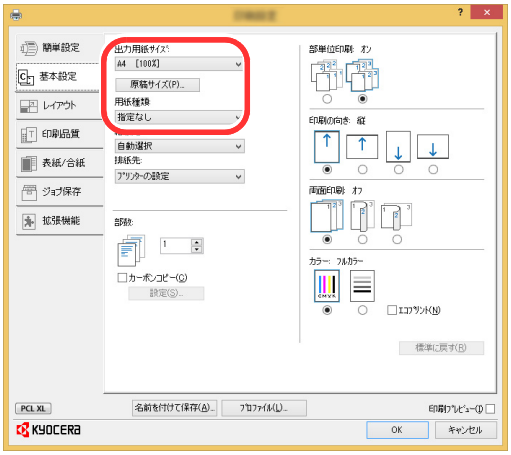
2 ［**基本設定**］タブを選択します。

3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。

はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

➡ 不定形サイズの用紙に印刷する（4-6ページ）

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



4 ［OK］ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

［OK］ボタンをクリックします。

不定形サイズの用紙に印刷する

本機の出力用紙サイズにはない用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[**基本設定**]タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。

参考

本機の操作パネルから、印刷する用紙のサイズと種類を設定してください。

➡ 用紙設定（8-13ページ）

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**設定**]→[**コントロールパネル**]→[**デバイスとプリンターの表示**]を選択します。

参考

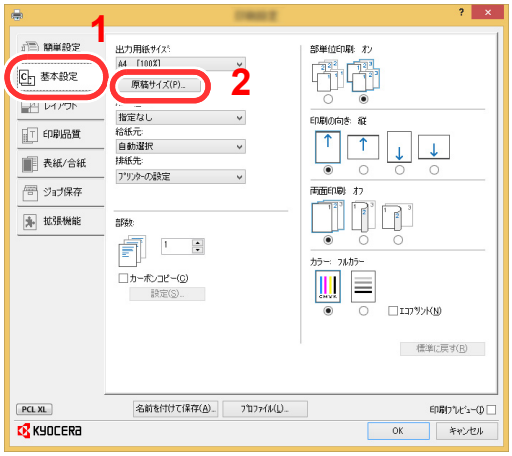
Windows 7の場合は[**スタート**]ボタン→[**デバイスとプリンター**]を選択します。

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[**プリンターのプロパティ**]メニューをクリックします。

3 [**全般**]タブの[**基本設定**]をクリックします。

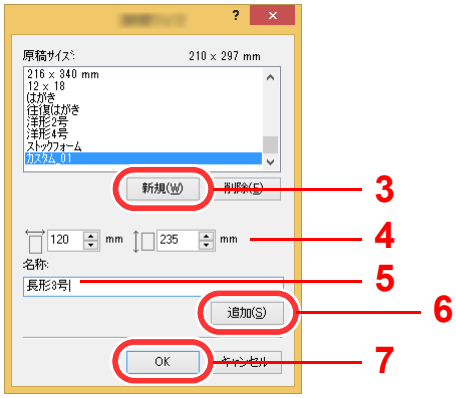
2 登録する

1 [**基本設定**]タブをクリックします。



2 [**原稿サイズ**]ボタンをクリックします。

3 [**新規**]ボタンをクリックします。



4 用紙サイズを入力します。

5 用紙の名前を入力します。

6 [追加]ボタンをクリックします。

7 [OK]ボタンをクリックします。

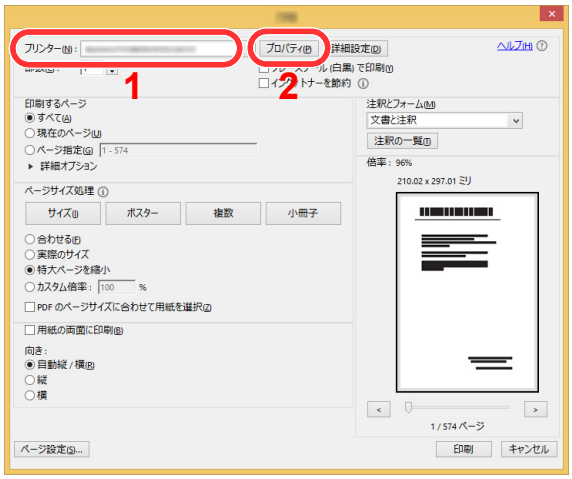
8 [OK]ボタンをクリックします。

3 印刷設定画面を表示する

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

4 不定形サイズの用紙サイズと種類を選択する

1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 [基本設定]タブを選択します。

3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、手順2で登録した原稿サイズ（名）を選択します。

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。

参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで［**はがき**］または［**封筒**］を選択してください。

4 「給紙元」メニューで給紙元を選択します。

5 ［OK］ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

5 印刷を開始する

［OK］ボタンをクリックします。

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

➡ 印刷ジョブをキャンセルする（5-15ページ）

1 **Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン（ ）をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示する**

2 **印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから［キャンセル］を選択する**

携帯端末から印刷する

本機は、AirPrint、Google Cloud Print、Mopria、Wi-Fi Directに対応しています。

アプリケーションとOSの対応状況によって、機種ごとにプリンタードライバーをインストールしなくても、携帯端末やパソコンから印刷できます。

AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

AirPrintを使用するには、Command Center RXでAirPrintが有効に設定されていることを確認してください。

➡ Command Center RX操作手順書

Google Cloud Printで印刷

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

➡ Command Center RX操作手順書

参考

Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに接続されているパソコンで行います。

Mopriaで印刷

Mopria（モプリア）は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがインストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。

Wi-Fi Directで印刷

Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一対一で直接通信できます。

Wi-Fi Directで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fi Direct接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

本体に保存したデータを印刷する

ジョブボックスを使用して本機に印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。ジョブ保留ボックス、クイックコピーボックスを使用するには、SD/SDHCメモリーカードが必要です。プライベートプリントボックス、試し刷り後保留ボックスを使用するには、拡張メモリーまたはSD/SDHCメモリーカードが必要です。

重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。

機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

参考

- 拡張メモリーを使用する場合は、[RAMディスク設定]が[設定する]に設定されている必要があります。

RAMディスク設定（8-37ページ）

- SD/SDHCメモリーカードを使ってジョブボックスを使用する場合は、[RAMディスク設定]を[設定しない]に設定してください。

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス（メモリー）に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する。（4-11ページ）

▼

操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

- プライベートプリントボックス（4-12ページ）
- ジョブ保留ボックス（4-13ページ）
- クイックコピーボックス（4-14ページ）
- 試し刷り後保留ボックス（4-15ページ）

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

1 アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選ぶ

印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選択する

3 [プロパティ]ボタンをクリックする

プロパティダイアログボックスが表示されます。

4 [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定する

参考

プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。

- プリンタードライバー操作手順書

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバーで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

1 画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]

2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

1 印刷する文書を選択 > [印刷]

2 アクセスコードを入力します。

3 必要に応じて、印刷部数を入力します。

4 [OK]を選択します。

印刷を開始します。

印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]

2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

削除する文書を選択 > [🗑] > アクセスコードを入力

文書が削除されます。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

1 画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]

2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

1 印刷する文書を選択 > [印刷]

> **参考**
> 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

2 必要に応じて、印刷部数を入力します。

3 [OK]を選択します。

印刷を開始します。

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]

2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > [🗑]

2 [はい]を選択します。

文書が削除されます。

> **参考**
> 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。

参考

- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。

➡ クイックコピージョブ 保持数（8-22ページ）

1 画面を表示する

1 ［ホーム］キー > ［ジョブボックス］

2 ［クイックコピー/試し刷り後保留］を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

1 印刷する文書を選択 > ［印刷］

2 必要に応じて、印刷部数を入力します。

3 ［OK］を選択します。

印刷を開始します。

クイックコピーボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

1 ［ホーム］キー > ［ジョブボックス］

2 ［クイックコピー/試し刷り後保留］を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > ［🗑］

2 ［はい］を選択します。

文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

1 画面を表示する

1 ［ホーム］キー > ［ジョブボックス］

2 ［クイックコピー/試し刷り後保留］を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

1 印刷する文書を選択 > ［印刷］

2 必要に応じて、印刷部数を入力します。

3 ［OK］を選択します。

印刷を開始します。

試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

1 ［ホーム］キー > ［ジョブボックス］

2 ［クイックコピー/試し刷り後保留］を選択します。

3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

1 削除する文書を選択 > ［🗑］

2 ［はい］を選択します。

文書が削除されます。

本機の状態をパソコンから確認するには（ステータスモニター）

ステータスモニターは、本機の状態を監視し、報告する機能を備えています。

参考

ステータスモニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- KX Driverがインストールされている。
- 「ネットワーク」で［Enhanced WSD］か、［Enhanced WSD over SSL］が［使用する］に設定されている。

ネットワーク（8-26ページ）

ステータスモニターを起動する

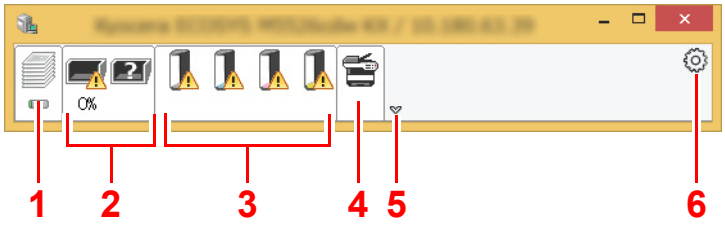
印刷を開始すると、同時にステータスモニターも起動します。

ステータスモニターを終了する

- 手動による終了：
  設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスモニターが終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスモニターが自動的に終了します。

Quick View State

本機の状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。

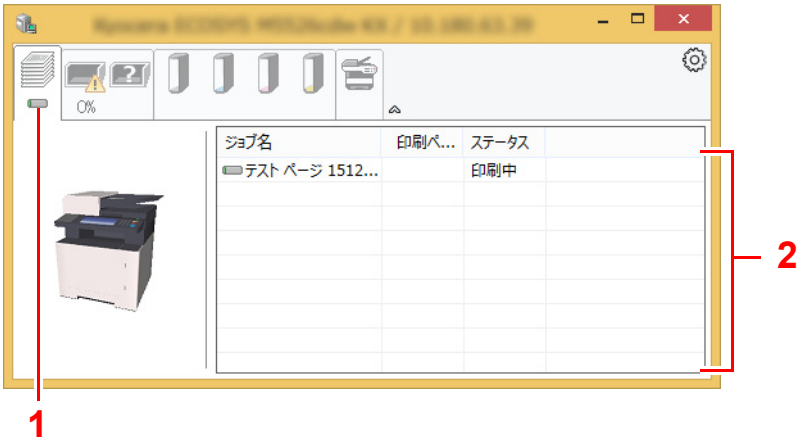


1 印刷情報アイコンタブ
2 用紙情報アイコンタブ
3 トナー情報アイコンタブ
4 アラート情報アイコンタブ
5 Expandボタン
6 設定アイコン

各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブ

印刷ジョブの状況が表示されます。



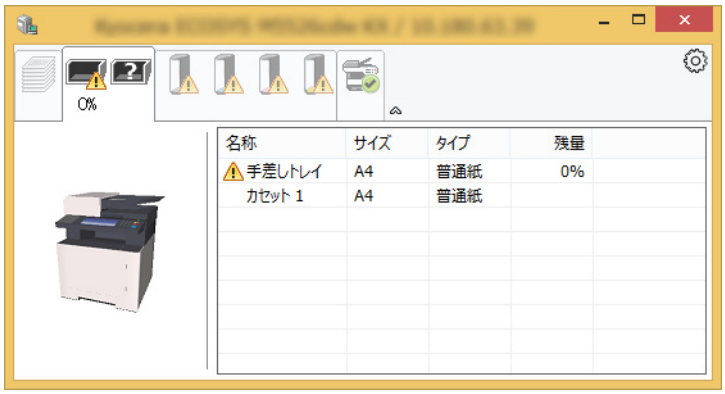
1　ステータスアイコン

2　ジョブリスト

ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

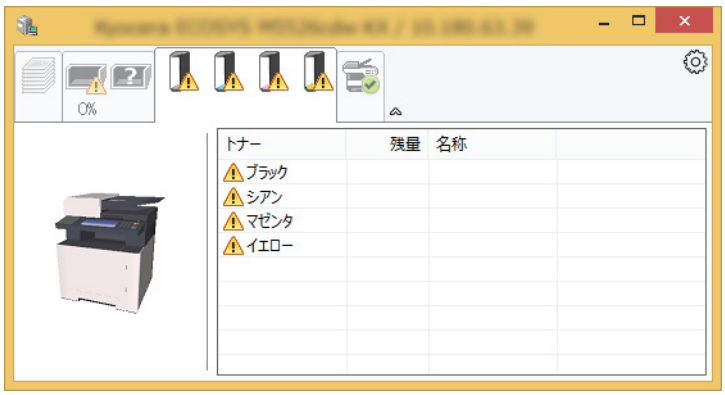
用紙情報アイコンタブ

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



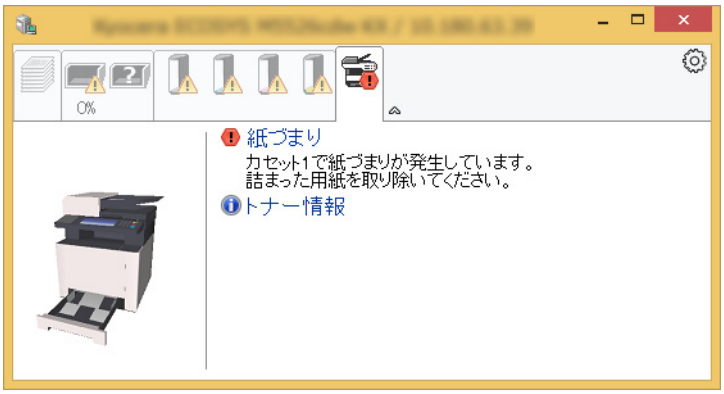
トナー情報アイコンタブ

トナー残量が表示されます。



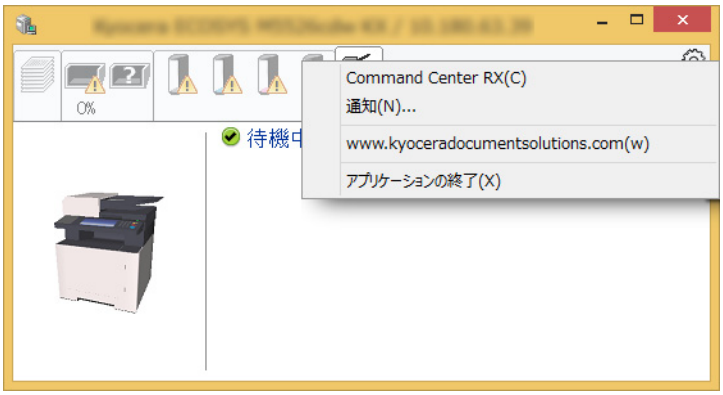
アラート情報アイコンタブ

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスモニターコンテキストメニュー

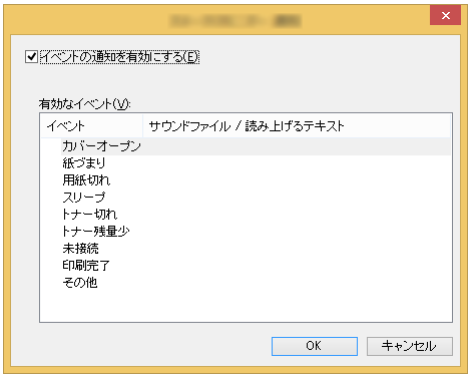
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- Command Center RX
  TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザーを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。
  ➡ Command Center RX操作手順書
- 通知
  ステータスモニターの表示の設定を行います。
  ➡ ステータスモニターの通知機能を設定する（4-19ページ）
- www.kyoceradocumentsolutions.com
  弊社のホームページを開きます。
- アプリケーションの終了
  ステータスモニターが終了します。

ステータスモニターの通知機能を設定する

設定アイコンをクリックすると、ステータスモニター通知画面に有効なイベントが表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

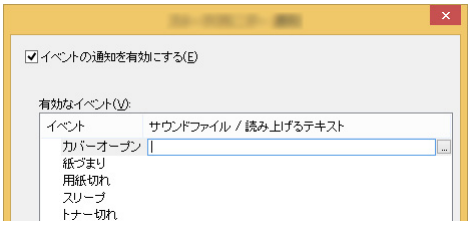
1 **イベントの通知を有効にするを選択します。**

この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスモニターが起動しません。

2 **有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。**

3 **サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。**

ブラウズ(...)ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5　本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

原稿をセットするには 5-2
　原稿ガラスにセットする 5-2
　原稿送り装置にセットする 5-3
手差しトレイに用紙をセットする 5-5
よく使う機能を呼び出す（お気に入り） 5-8
　お気に入りをウィザード形式で登録する 5-9
　お気に入りをプログラム形式で登録する ... 5-10
　お気に入りをウィザード形式で実行する 5-11
　お気に入りをプログラム形式で実行する ... 5-12
　お気に入りを編集する 5-12
　お気に入りを削除する 5-12
よく使う機能を登録するには
（ショートカット登録） 5-13
　ショートカットを登録する 5-13
　ショートカットを編集する 5-14
　ショートカットを削除する 5-14
コピーのしかた 5-15
　コピーする 5-15
　印刷ジョブをキャンセルする 5-15
基本的なスキャン（送信）のしかた 5-16
メールで送信する 5-17
　送信前の設定をする 5-17
　スキャンした文書をメールで送信する 5-17
パソコンの共有フォルダーに送信する
（SMB送信） 5-18
　送信前の設定をする 5-18
　パソコンの共有フォルダーに送信する 5-18
FTPのフォルダーに送信する（FTP送信） 5-21
　送信前の設定をする 5-21
　FTPサーバーのフォルダーに送信する 5-21
TWAINまたはWIAを使って読み込む 5-23
　送信前の設定をする 5-23
　アプリケーションで画像を読み込む 5-23
便利なスキャン（送信）のしかた 5-24
WSDスキャン 5-25
　ドライバーをインストールする 5-25
　WSDスキャンを実行する 5-27
File Management Utilityを使って読み込む 5-28
　読み込み前の設定をする 5-28
　FMUで設定したお気に入りを呼び出して
　読み込む 5-28
種類の異なる相手への送信（複合送信） 5-29
ログインユーザーのメールアドレスに送信する ... 5-30
　送信前の設定をする 5-30
　ログインしているユーザーの
　メールアドレスに送信する 5-30
スキャン（送信）をキャンセルする 5-31
宛先を操作する 5-32
　宛先の選びかた 5-32
　アドレス帳から宛先を選ぶ 5-32
　拡張アドレス帳から宛先を選ぶ 5-34
　ワンタッチキーから宛先を選ぶ 5-35
　宛先を確認または変更する 5-35
　送信前に宛先を確認する 5-36
　再宛先を呼び出す 5-36
ファクスのしかた 5-37
文書ボックスを使用する 5-38
　ジョブボックスとは 5-38
　外部メモリーボックスとは 5-38
　Fコードボックス/ポーリングボックスとは ... 5-38
USBメモリーの操作 5-39
　USBメモリー内のデータを印刷する 5-39
　USBメモリーに文書を保存する
　（Scan to USB） 5-40
　USBメモリー情報を確認する 5-42
　USBメモリーを取り外す 5-42

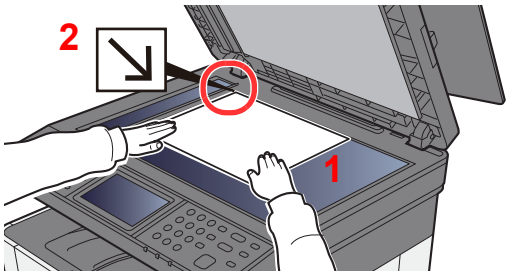
原稿をセットするには

原稿は、サイズや種類、枚数、使用する機能に応じて、次のどちらかにセットしてください。

- 原稿ガラス：通常のシート以外に、本や雑誌、はがき、封筒などを読み込む場合は、ここにセットします。
- 原稿送り装置：複数ページのシート原稿をまとめて読み込む場合は、ここにセットします。また、両面原稿を読み込むこともできます。

原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。



1 読み取り面を下にします。

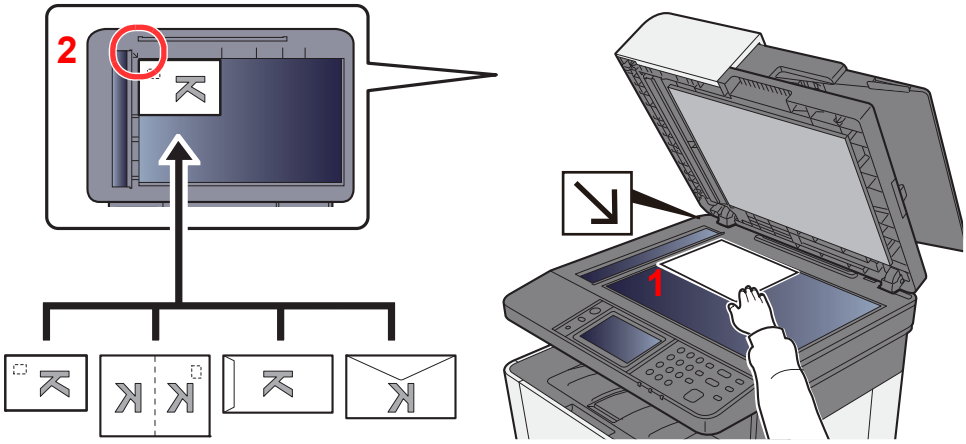
2 原稿ガラスの左上に当てます。

参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

原稿セット向き（6-18ページ）

はがき、封筒の場合



1 読み取り面を下にします。

2 原稿ガラスの左上に当てます。

参考

はがき、封筒の給紙方法については、次を参照してください。

はがき、封筒をセットする（5-7ページ）

注意

原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となるおそれがあります。

重要

- 原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- 本や雑誌をセットする場合は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

原稿送り装置にセットする

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

原稿送り装置に使用できる原稿は次のとおりです。

厚さ	50～160 g/m^2 （両面時：50～160 g/m^2）
サイズ	最大A4/Legal（216×356 mm）～最小A6/Statement（105×148 mm）
セットできる枚数	普通紙（80 g/m^2）：50枚以下（原稿混載機能時：30枚）

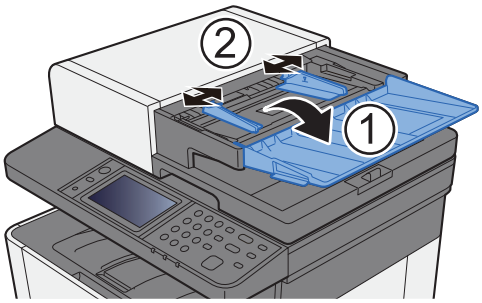
次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。原稿つまりや原稿送り装置の汚れの原因になります。

- クリップやステープルで止めてある原稿（使用するときは、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります）
- 粘着テープや糊などが付着した原稿
- 切り抜きの原稿
- カールした原稿
- 折り目のついた原稿（使用するときは、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります）
- カーボン紙
- シワや折れのひどい原稿

重要

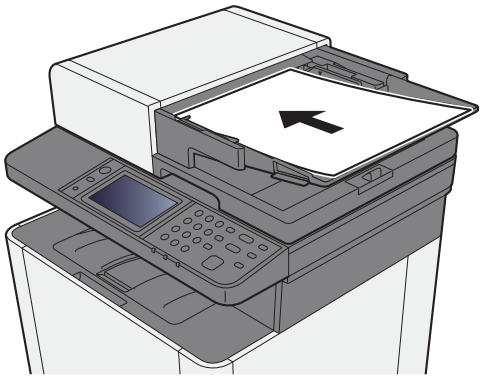
- 原稿をセットする前に、排紙された原稿が原稿排紙テーブルに残っていないことを確認してください。原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。
- 原稿送り装置上カバーの上で原稿をそろえるなど、カバーに衝撃を与えないでください。原稿送り装置が誤動作する原因になります。

1 原稿トレイを開き、原稿幅ガイドを原稿サイズに合わせる



2 原稿をセットする

1 読み取り面を上にして（両面原稿の場合は表面を上にして）、原稿の先端を原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。



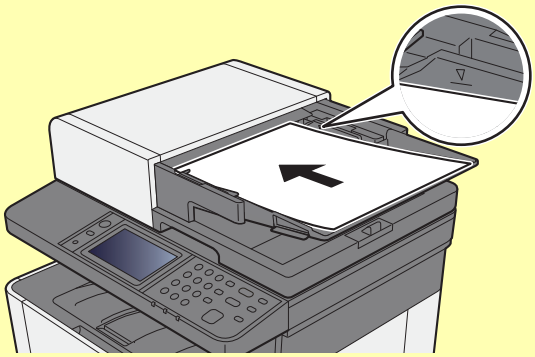
参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

原稿セット向き（6-18ページ）

重要

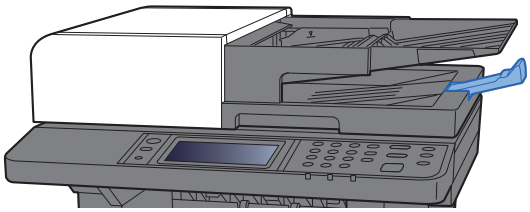
原稿幅ガイドが原稿に当たっていることを確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直してください。隙間があると原稿がつまる原因となります。



原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。

パンチ穴やミシン目のある原稿は、パンチ穴やミシン目が手前になるように（先に読み込まれないように）セットしてください。

2 原稿ストッパーを開きます（原稿サイズがLegalの場合）。



手差しトレイに用紙をセットする

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➡ 適正な用紙の選択（11-18ページ）

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➡ 用紙種類の設定について（8-15ページ）

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

重要

- 106 g/m^{2}以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとに内部トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- 普通紙（80 g/m^2）、再生紙：50枚
- 厚紙（209 g/m^2）：15枚
- 厚紙（157 g/m^2）：30枚
- 厚紙（104.7 g/m^2）：50枚
- はがき：15枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、洋形4号、洋形2号：5 枚
- OHP フィルム：1枚
- 加工紙：30枚

参考

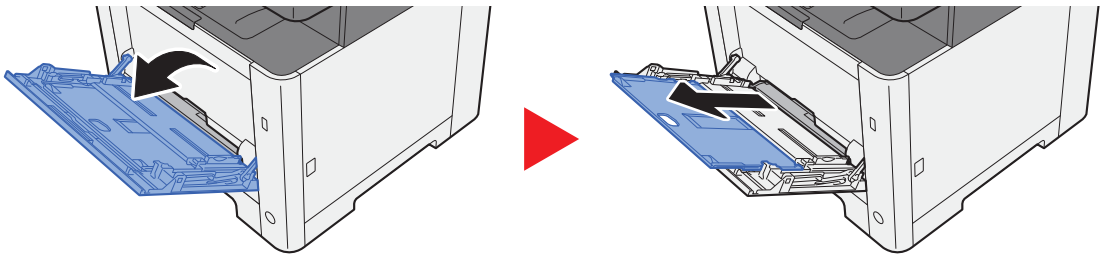
- 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。

➡ 用紙設定（8-13ページ）

- OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。

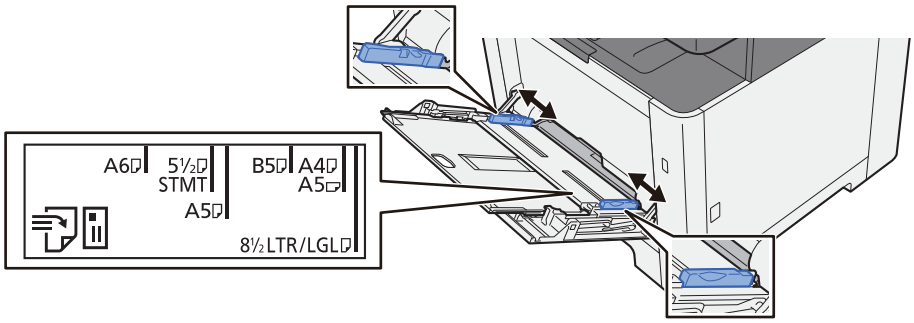
➡ 手差しトレイ（8-9ページ）

1 手差しトレイを開ける

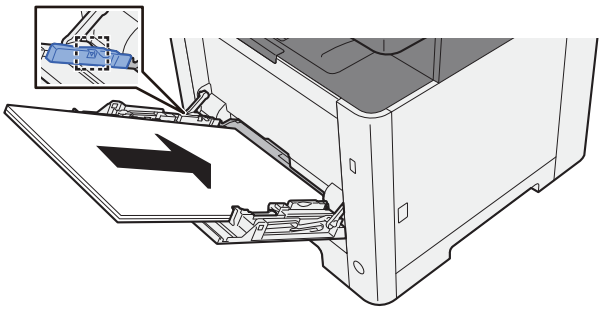


2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



3 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。

包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

➡ 用紙の取り扱い上の注意（3-2ページ）

重要

- 印刷する面を上にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示す用紙上限表示以下にしてください。

4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

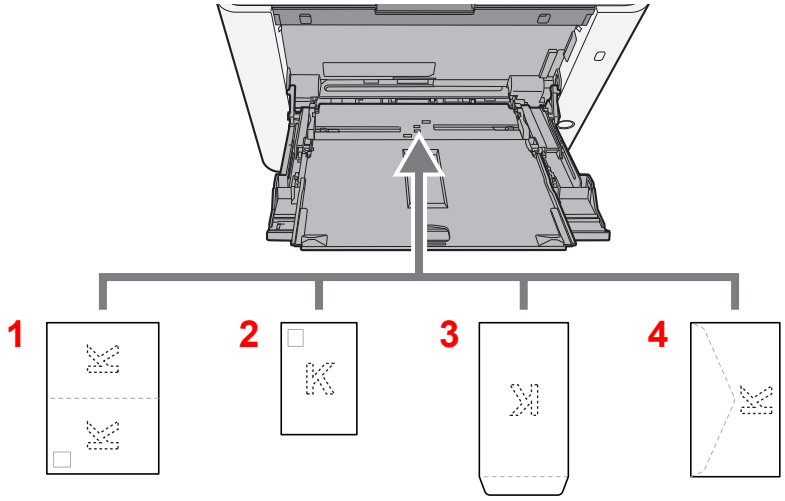
➡ 手差しトレイ（8-9ページ）

はがき、封筒をセットする

印刷する面を上にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

➡ プリンタードライバー操作手順書

例）宛名を印刷する場合



1 往復はがき
2 はがき
3 縦長の封筒（開封口を開く）
4 横長の封筒（開封口を閉じる）

重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

参考

手差しトレイに封筒を補給するときは、封筒の種類を設定してください。

➡ 手差しトレイ（8-9ページ）

よく使う機能を呼び出す（お気に入り）

よく使う機能をお気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。

本機には、あらかじめ次の機能が登録されていますが、これらを削除したり、新たな機能を登録したりできます。

お気に入り名	説明	登録されている機能
IDカードコピー	免許証や保険証などのIDカードをコピーしたいときに使用します。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面集約してコピーされます。	• コピー機能 • プログラム形式 • ページ集約：[2in1] カラー選択：[**白黒**] 連続読み込み：[**設定する**] 原稿サイズ：[A5/Statement] 用紙選択：カセット1 縮小/拡大：[**自動**]
用紙節約コピー	用紙を節約したいときに使用します。画面にしたがって、ページ集約や両面コピーが設定できます。	• コピー機能 • ウィザード形式 • ページ集約：[2in1] 原稿：[**片面**] 両面/分割：[**両面**] 用紙選択：カセット1 印刷部数：1
簡単フォルダー送信（宛先入力）	任意のパソコンの共有フォルダーまたはFTPサーバーのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	• 送信機能 • ウィザード形式 • 宛先：新規のフォルダー カラー選択：[**フルカラー**] 文書名入力：初期値 ファイル形式：[PDF] 連続読み込み：[**設定しない**] 読み込み解像度：[300 × 300 dpi]
簡単フォルダー送信（アドレス帳）	アドレス帳に登録されているパソコンの共有フォルダーまたはFTPサーバーのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	• 送信機能 • ウィザード形式 • 宛先：アドレス帳 カラー選択：[**フルカラー**] 文書名入力：初期値 ファイル形式：[PDF] 連続読み込み：[**設定しない**] 読み込み解像度：[300 × 300 dpi]
簡単メール送信（宛先入力）	任意のメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	• 送信機能 • ウィザード形式 • 宛先：新規のメールアドレス カラー選択：[**フルカラー**] 文書名入力：初期値 ファイル形式：[PDF] 連続読み込み：[**設定しない**] 読み込み解像度：[300 × 300 dpi] メール件名：初期値 メール本文：初期値

お気に入り名	説明	登録されている機能
簡単メール送信（アドレス帳）	アドレス帳に登録されているメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	• 送信機能 • ウィザード形式 • 宛先：アドレス帳 カラー選択：[**フルカラー**] 文書名入力：初期値 ファイル形式：[PDF] 連続読み込み：[**設定しない**] 読み込み解像度：[300 × 300 dpi] メール件名：初期値 メール本文：初期値

参考
20件までお気に入りを登録できます。

お気に入りは2種類の呼び出し方法から選択して登録します。

- ウィザード形式（対話選択形式）：登録した設定を順番に呼び出し、確認/変更しながら設定します。
- プログラム形式：お気に入りに登録されているキーを選択すると、すぐに設定を呼び出します。

お気に入りをウィザード形式で登録する

1 画面を表示する

[**ホーム**]キー > [**タスク画面**] > [**お気に入り**]

2 お気に入りを登録する

1 [**メニュー**] > [**新規登録**]

2 ジョブの種類を選択します。

3 [**ウィザード形式**]を選択します。

4 呼び出す機能を選択 > [**次へ**]

選択した項目が、ウィザードで表示されます。

参考
ジョブの種類が[**コピー**]の場合は、「宛先の呼び出し方法」の選択画面は表示されません。

5 お気に入りの名称を入力 > [**次へ**]

文字の入力（11-8ページ）

6 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号*1	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
宛先*2	宛先を確認します。
機能一覧	ウィザードで表示する機能を選択します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1　ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。
*2　「ジョブの種類」が［**送信**］または［**ファクス**］の場合に表示されます。

7 ［**登録**］を選択します。

お気に入りが登録されます。

8 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は［**はい**］を選択して、アイコンを表示させたい位置を指定して、［**登録**］を選択します。

お気に入りをプログラム形式で登録する

プログラム形式を選択する場合は、登録するコピー機能、送信機能、ファクス機能や送信先などを先に設定します。

ここでは、送信を例に説明します。

1 画面を表示する

1 ［**ホーム**］キー > ［**送信**］

2 プログラムに登録したい送信機能や送信先を設定します。

3 ［**お気に入り**］を選択します。

2 お気に入りを登録する

1 ［**メニュー**］> ［**新規登録**］

2 ジョブの種類を選択します。

3 ［**プログラム形式**］を選択します。

4 お気に入りの名称を入力 > ［**次へ**］

➡ 文字の入力（11-8ページ）

5 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号*1	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1　ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

6 ［登録］を選択します。

お気に入りが登録されます。

7 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は［はい］を選択して、アイコンを表示させたい位置を指定して、［登録］を選択します。

お気に入りをウィザード形式で実行する

1 お気に入りを呼び出す

ホーム画面に登録した［お気に入り］を選択、または［タスク画面］＞［お気に入り］で表示されるアイコンを選択します。

2 お気に入りを実行する

1 画面が順番に表示されるので、設定を行い、［次へ］を選択します。

最後まで設定したら確認画面が表示されます。

> **参考**
> 設定を変更するときは、［<戻る］を選択して、設定しなおしてください。

2 原稿をセット＞［スタート］キーを押します。

お気に入りをプログラム形式で実行する

1 **お気に入りを呼び出す**

ホーム画面に登録した［**お気に入り**］を選択、または［**タスク画面**］＞［**お気に入り**］で表示されるアイコンを選択します。

2 **お気に入りを実行する**

原稿をセット＞［**スタート**］キー

お気に入りを編集する

お気に入り番号やお気に入り名を変更できます。

1 **画面を表示する**

［**ホーム**］キー＞［**タスク画面**］＞［**お気に入り**］

2 **お気に入りを編集する**

1 ［**メニュー**］＞［**編集**］

2 変更するお気に入りを選択します。

3 お気に入り名、お気に入り番号を変更します。

➡ お気に入りをウィザード形式で登録する（5-9ページ）

4 ［**登録**］＞［**はい**］

お気に入りを削除する

1 **画面を表示する**

［**ホーム**］キー＞［**タスク画面**］＞［**お気に入り**］

2 **お気に入りを削除する**

1 ［**メニュー**］＞［**削除**］

2 削除するお気に入りを選択します。

3 ［**はい**］を選択します。

よく使う機能を登録するには(ショートカット登録)

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。

ショートカットを登録する

ショートカットの登録は、機能一覧画面で行います。

1 画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。
[**機能一覧**] > [**ショートカット追加/編集**]

> **参考**
> ユーザー管理がローカル認証で、ユーザー権限でログインしている場合、[ショートカット追加/編集]は表示されません。

2 ショートカットを登録する

1 [**新規登録**]を選択します。

2 共有ショートカットの番号を選択します。

> **参考**
> すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

3 登録したい設定を選択します。

4 名前を入力 > [**次へ**]

> **参考**
> 24文字まで入力できます。
>
> 文字の入力 (11-8ページ)

5 [登録]を選択します。

登録したショートカットが追加されます。

ショートカットを編集する

1 **機能一覧画面で、画面下の［ショートカット追加/編集］を選択する**

2 **ショートカットを編集する**

1 ［編集］を選択します。

2 編集するショートカットを選択します。

3 ［番号］または［名前］を選択します。

4 設定を変更 > ［OK］

5 ［登録］ > ［はい］

ショートカットを削除する

1 **機能一覧画面で、画面下の［ショートカット追加/編集］を選択する**

2 **ショートカットを削除する**

1 ［削除］を選択します。

2 削除するショートカットを選択します。

3 ［はい］を選択します。

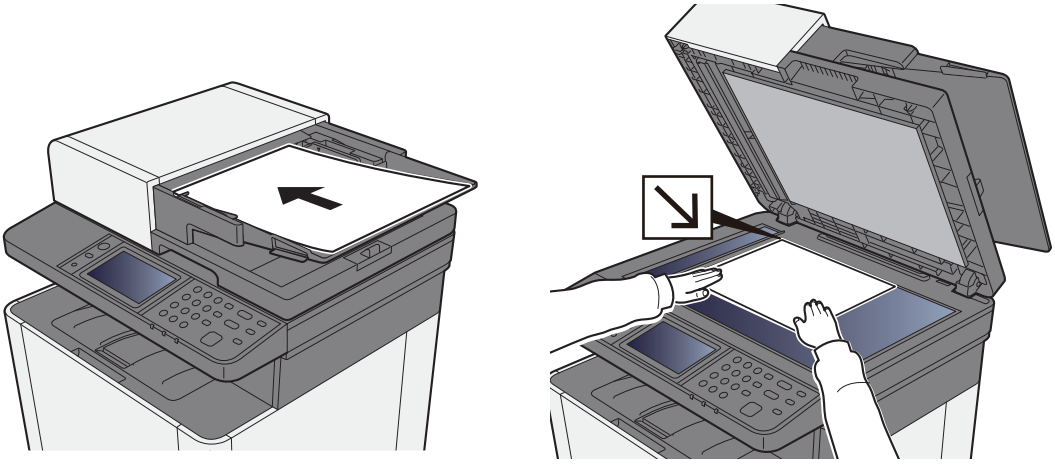
コピーのしかた

ここでは、コピー操作の基本的な流れとキャンセルのしかたについて説明します。

コピーする

1 **[ホーム]キー > [コピー]**

2 **原稿をセットする**



原稿をセットするには（5-2ページ）

3 **機能を設定する**

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を選択すると、その他の機能が設定できます。

本機に用意されている機能について（6-2ページ）

4 **テンキーで部数を入力する**

999部まで指定できます。

5 **[スタート]キーを押す**

コピーが開始されます。

印刷ジョブをキャンセルする

1 **コピー画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する**

2 **キャンセルする**

読み込み中のジョブがある場合

ジョブはキャンセルされます。

印刷中、待機中のジョブがある場合

印刷を一時停止し、ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [削除] > [はい]

基本的なスキャン（送信）のしかた

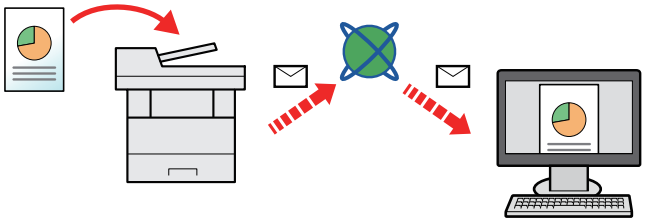
本機を使用して読み取った画像をメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりすることができます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先（受信者）のネットワークアドレスを登録しておいてください。

メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティーの面からLANによる接続を推奨します。

基本的なスキャン（送信）の方法について説明します。次の4種類があります。

- メール送信（新規メール）：読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。

➡ メールで送信する（5-17ページ）

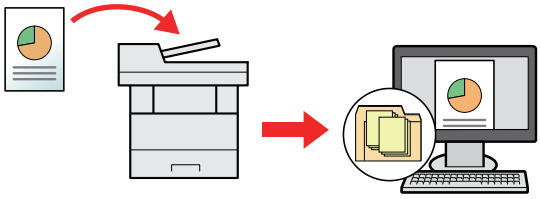


- フォルダー（SMB）送信：読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。

➡ パソコンの共有フォルダーに送信する（SMB送信）（5-18ページ）

- フォルダー（FTP）送信：読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。

➡ FTPのフォルダーに送信する（FTP送信）（5-21ページ）



- TWAIN/WIAでの画像データ読み込み：TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込みます。

➡ TWAINまたはWIAを使って読み込む（5-23ページ）

参考

- これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。

➡ 種類の異なる相手への送信（複合送信）（5-29ページ）

- 送信にはファクス機能が使用できます。

➡ ファクス使用説明書

メールで送信する

無線LANを使って送信する場合は、送信専用のインターフェイスをあらかじめ選択してください。

➡ 優先ネットワーク（クライアント）（8-36ページ）

送信前の設定をする

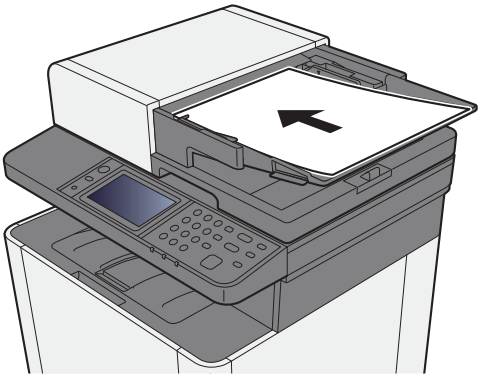
送信をする前に、Command Center RXからSMTPおよびメール送信の設定をする必要があります。

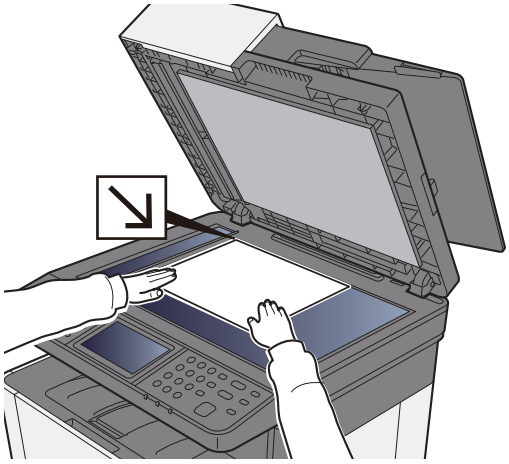
➡ SMTPおよびメール送信の設定をする（2-58ページ）

スキャンした文書をメールで送信する

1 **[ホーム]キー > [送信]**

2 **原稿をセットする**





➡ 原稿をセットするには（5-2ページ）

3 **送信の基本画面で[メール]を選択する**

4 **アドレスを入力 > [OK]**

128文字まで入力できます。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

複数の宛先を入力する場合は、[**次の宛先**]を選択して宛先を入力します。100件までメールアドレスを指定することができます。
[メニュー] > [**アドレス帳に登録**]を選択すると、入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することができます。また、すでに登録されている宛先を置き換えることもできます。
宛先は後で変更できます。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

5 **カラーモードを選択する**

➡ カラー選択（6-16ページ）

6 **機能を設定する**

[**機能一覧**]を選択すると機能が表示されます。

➡ 送信（6-4ページ）

7 **[スタート]キーを押す**

送信が開始されます。

パソコンの共有フォルダーに送信する（SMB送信）

送信前の設定をする

送信をする前に、次の設定をする必要があります。

- コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

➡ コンピューター名とフルコンピューター名をメモする（3-10ページ）

- ユーザー名とドメイン名をメモする

➡ ユーザー名とドメイン名をメモする（3-12ページ）

- 共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

➡ 共有フォルダーを作成する、共有名をメモする（3-13ページ）

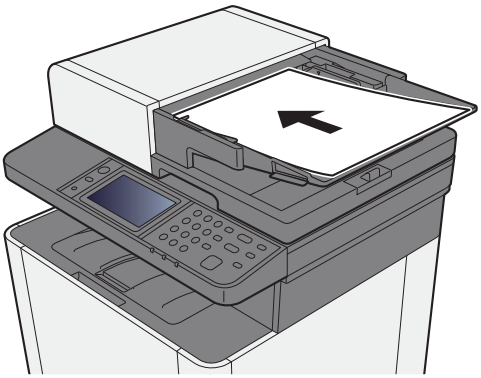
- Windowsファイアウォールを確認する

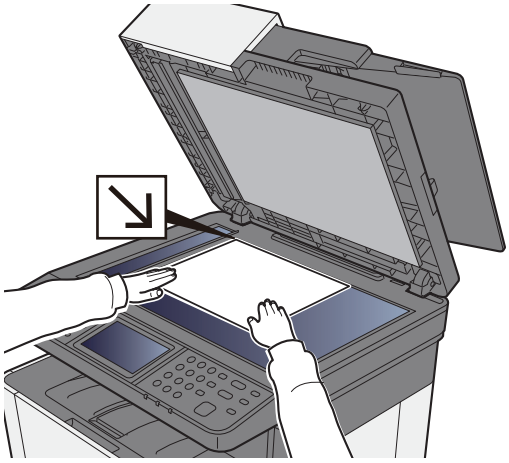
➡ Windowsファイアウォールの確認（3-16ページ）

パソコンの共有フォルダーに送信する

1 **[ホーム]キー > [送信]**

2 **原稿をセットする**





➡ 原稿をセットするには（5-2ページ）

3 **送信の基本画面で[フォルダー]を選択する**

4 **フォルダーの種類から[SMB]を選択する**

5 フォルダーの指定方法を選択する

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、[**ネットワークからフォルダーを検索する**]または[**ホスト名でフォルダーを検索する**]を選択してください。

[**ネットワークからフォルダーを検索する**]を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンから宛先を検索することができます。

[**ホスト名でフォルダーを検索する**]を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

ホスト名（コンピューター名）は500件まで表示することができます。

表示された画面で指定したいホスト名（コンピューター名）を選択し、[**次へ**]を選択するとログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面が表示されます。

ログインユーザー名、ログインパスワードを入力すると共有フォルダーが表示されるので、指定したいフォルダーを選択して[**次へ**]を選択してください。選択した共有フォルダーが宛先に設定されます。

重要

ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名に2バイト文字が使われている場合は、検索や送信ができません。

検索結果のリストからフォルダーを選択します。

6 宛先情報を入力する

宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[**次へ**]を選択して、次の項目に進みます。

文字の入力（11-8ページ）

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名*1	コンピューター名	64文字以内
パス	共有名 例 ）scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以内
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例）yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例）abcdnet¥yamada	64文字以内
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード （**大文字・小文字は区別されます。**）	64文字以内

*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。
「ホスト名：ポート番号」または「IPアドレス：ポート番号」
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。
（例: [2001:db8:a0b:12f0::10]:445）
なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は445です。

7 確認する

1 宛先情報を確認します。

必要に応じて変更してください。

2 接続状況を確認します。

［**メニュー**］＞［**接続確認**］

宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、［**次の宛先**］を選択して宛先を入力してください。

［**アドレス帳に登録**］を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

8 ［OK］を選択する

宛先は後で変更できます。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

9 機能を設定する

［**機能一覧**］を選択すると機能が表示されます。

➡ 送信（6-4ページ）

10 ［スタート］キーを押す

送信が開始されます。

FTPのフォルダーに送信する(FTP送信)

送信前の設定をする

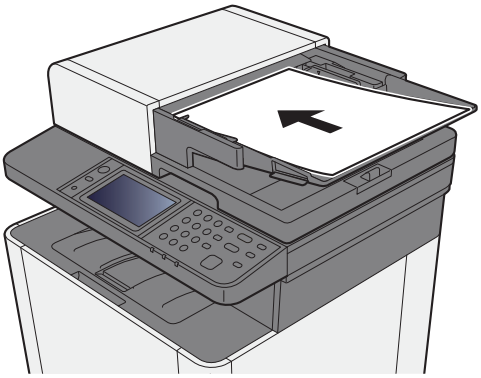
送信をする前に、FTPクライアント(送信)プロトコルを設定する必要があります。

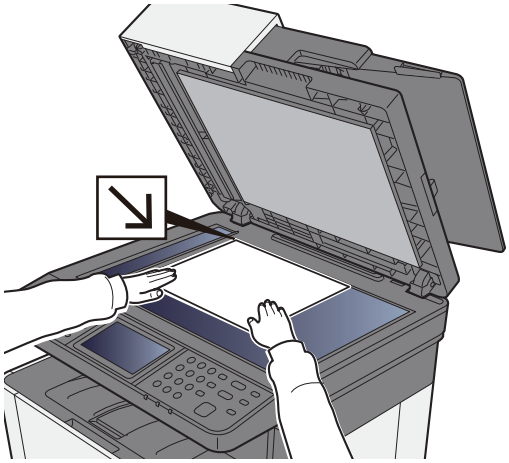
➡ プロトコル設定 (8-30ページ)

FTPサーバーのフォルダーに送信する

1 **[ホーム]キー > [送信]**

2 **原稿をセットする**





➡ 原稿をセットするには (5-2ページ)

3 **送信の基本画面で[フォルダー]を選択する**

4 **フォルダーの種類から[FTP]を選択する**

5 **宛先情報を入力する**

宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[次へ]を選択して、次の項目に進みます。

➡ 文字の入力 (11-8ページ)

入力する項目は次のとおりです。

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名*1	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以内
パス*2	保存したいフォルダーのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以内
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以内
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以内

*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。
「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。
(例:[2001:db8:a0b:12f0::1]:21)
なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は21です。

*2 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

6 確認する

1 宛先情報を確認します。

必要に応じて変更してください。

2 接続状況を確認します。

[メニュー] > [接続確認]

宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、[次の宛先]を選択して宛先を入力してください。

[アドレス帳に登録]を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

7 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

➡ 宛先を確認または変更する (5-35ページ)

8 機能を設定する

[機能一覧]を選択すると機能が表示されます。

➡ 送信 (6-4ページ)

9 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

TWAINまたはWIAを使って読み込む

送信前の設定をする

送信をする前に、コンピューターにTWAIN/WIAドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

➡ TWAINドライバーを設定する（2-47ページ）

➡ WIAドライバーを設定する（2-49ページ）

アプリケーションで画像を読み込む

ここでは、TWAIN ドライバー対応のアプリケーションで読み込むときの操作手順を例として説明します。WIAドライバーも同様の方法で操作してください。

1 画面を表示する

1 TWAIN 対応アプリケーションを起動します。

2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。

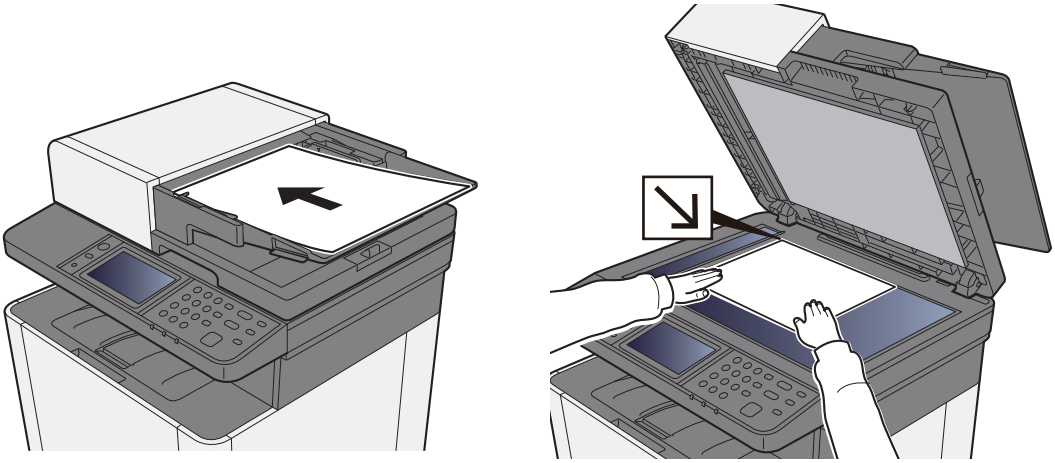
> **参考**
> 本機の選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

2 設定する

表示されるダイアログボックスで読み込みの設定を行ってください。

> **参考**
> 設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

3 原稿をセットする



➡ 原稿をセットするには（5-2ページ）

4 スキャンする

[スキャン]ボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データが保存されます。

便利なスキャン（送信）のしかた

便利なスキャン（送信）の方法について説明します。

- WSDスキャン：本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

➡ WSDスキャン（5-25ページ）

- File Management Utilityを使ったスキャン：File Management Utilityで設定した内容に従って原稿を読み込み、画像データと読み込み情報を指定のサーバーやフォルダーに保存します。

➡ File Management Utilityを使って読み込む（5-28ページ）

- 種類の異なる相手に送信する（複合送信）：一度の操作で、種類の異なる宛先（メール、フォルダーなど）に送信できます。

➡ 種類の異なる相手への送信（複合送信）（5-29ページ）

- 自分に送信：ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

➡ ログインユーザーのメールアドレスに送信する（5-30ページ）

WSDスキャン

WSDスキャンは、本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

参考

- WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されているか、ネットワーク設定の「WSDスキャン」が[**使用する**]に設定されているか確認してください。

WSDスキャン（8-31ページ）

- パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ドライバーをインストールする

Windows 8、Windows 8.1、Microsoft Windows Server 2012の場合

1 **チャームの[検索]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択する**

2 **ドライバーをインストールする**

[**デバイスの追加**]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[**次へ**]をクリックします。

「**デバイスとプリンター**」画面の「**プリンター**」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

Windows 7の場合

1 **スタートメニューの[ネットワーク]を表示する**

Windowsの[**スタート**]ボタンをクリックし、[**ネットワーク**]をクリックします。

参考

スタートメニューに[**ネットワーク**]が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

1. [**スタート**]を右クリックし、表示されたメニューで[**プロパティ**]をクリックします。
2. 「タスクバーと[**スタート**]メニューのプロパティ」画面で[[**スタート**]**メニュー**]タブを選択し、[**カスタマイズ**]をクリックします。
3. 「[スタート]メニューのカスタマイズ」画面が表示されたら、「ネットワーク」にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

2 ドライバーをインストールする

本機の機種名が表示されたアイコンを右クリックして、[**インストール**]をクリックします。

> **参考**
> 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[**続行**]をクリックしてください。
> 「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示された場合、[**キャンセル**]をクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が表示されます。「ドライバーソフトウェアのインストール」画面上に、「デバイスを使用する準備ができました。」が表示されたら、インストール完了です。

Windows10の場合

1 Windowsの[スタート]ボタンを右クリックし、[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択する

2 ドライバーをインストールする

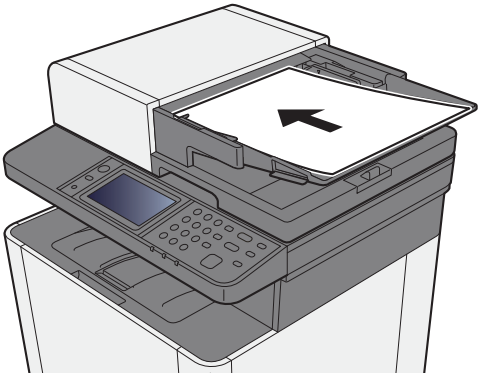
[**デバイスの追加**]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[**次へ**]をクリックします。

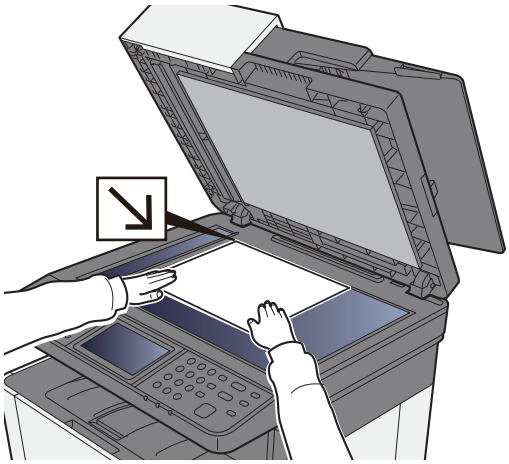
「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

WSDスキャンを実行する

1 ［ホーム］キー > ［送信］

2 原稿をセットする





➡ 原稿をセットするには（5-2ページ）

3 画面を表示する

［WSDスキャン］を選択します。

4 スキャンする

本機で操作する場合

1 ［パネルから操作］を選択します。

2 送信先のパソコンを選択 > ［OK］

［更新］を選択すると、リストを更新します。

［…］を選択すると、送信先のパソコンの情報が参照できます。

3 ［スタート］キーを押します。

送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができます。

パソコンから操作する場合

1 ［PC操作］> ［OK］

2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

File Management Utilityを使って読み込む

File Management Utility（FMU）は、本機でスキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーまたはPCに送信し、保存するアプリケーションです。スキャンした文書を処理するためのワークフローをFMUで作成し、本機にお気に入りとして登録することができます。

読み込み前の設定をする

読み込みをする前に、パソコンにFile Management Utilityをインストールし、使用する複合機、読み込み条件や保存場所の設定を行う必要があります。

➡ ソフトウェアをインストールする（2-37ページ）

参考

File Management Utilityの使用方法については、次を参照してください。

➡ File Management Utility操作手順書

FMUで設定したお気に入りを呼び出して読み込む

1 **File Management Utilityがインストールされているパソコン（またはサーバー）でFile Management Utilityが起動していることを確認する**

2 **原稿をセットする**

3 **お気に入りを呼び出す**

ホーム画面に登録した［お気に入り］を選択、または［タスク画面］>［お気に入り］で表示されるアイコンを選択します。

4 **画面の指示に従って必要事項を入力し、［次へ］を選択する**

5 **読み込み設定画面が表示されたら、各項目を選択して必要な設定を行う**

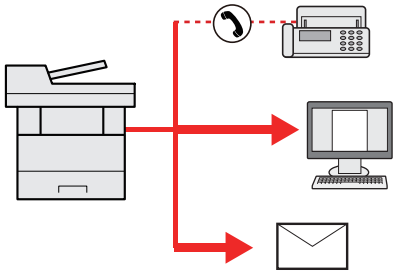
設定できる機能はFile Management Utilityに依存します。

6 **［スタート］キーを押す**

送信が開始されます。

種類の異なる相手への送信（複合送信）

宛先は、メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクスを組み合わせて指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先（メール、フォルダーなど）に送信できて便利です。



同報件数：最大100件

ただし、下記の送信方法は、件数の制限があります。

フォルダー（SMB、FTP）：SMB、FTP合わせて5件

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先リストに表示させてください。［**スタート**］キーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。

参考

宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。

ログインユーザーのメールアドレスに送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

参考

- この機能を使用するには、ユーザー管理がネットワーク認証で、ネットワーク認証サーバーにユーザーのメールアドレスが登録されている必要があります。
- メールアドレスの設定方法については、ネットワーク認証サーバーの管理者に確認してください。

送信前の設定をする

この機能を使用する前に、次の設定をする必要があります。

- ホーム画面に機能アイコンを表示させる

ホーム画面を編集する（2-13ページ）

ログインしているユーザーのメールアドレスに送信する

1 **操作パネルの［ホーム］キーを選択する**

2 **［自分に送信（メール）］を選択する**

参考

ネットワーク認証サーバーにメールアドレスが登録されていない場合、メール送信できません。

スキャン(送信)をキャンセルする

1 **送信画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する**

2 **キャンセルする**

読み込み中のジョブがある場合

ジョブがキャンセルされます。

送信中、待機中のジョブがある場合

ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [**削除**] > [**はい**]

参考

送信ジョブの場合、[**ストップ**]キーを選択しても一時停止しません。

宛先を操作する

ここでは、宛先の選びかたや確認のしかたについて説明します。

宛先の選びかた

宛先は、直接入力するほかに、次の方法から指定できます。

- アドレス帳から宛先を選ぶ

➡ アドレス帳から宛先を選ぶ（5-32ページ）

- 拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

- ワンタッチキーから宛先を選ぶ

➡ ワンタッチキーから宛先を選ぶ（5-35ページ）

- ファクスから宛先を選ぶ

➡ ファクス使用説明書

参考

- ［送信］キーを選択するとアドレス帳の画面を表示するように設定することができます。

➡ 初期画面（8-21ページ）

- 宛先にはファクスの宛先を指定することができます。テンキーで相手先の番号を入力します。

アドレス帳から宛先を選ぶ

アドレス帳に宛先を登録する方法は、次を参照してください。

➡ アドレス帳の登録（3-21ページ）

1 送信の基本画面で［アドレス帳］を選択する

参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークがつきます。

［メニュー］を選択すると、より詳しい検索ができます。

参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。

使用するキー		検索方法	検索語句など
1		宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
2	絞り込み	宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
	検索(フリガナ)	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
	番号検索	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
	表示順(フリガナ)	表示順変更	登録されているフリガナで並べ替えます。
	表示順(番号)		登録されているアドレス番号で並べ替えます。
3		フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。

参考

[短縮]キーを選択すると、アドレス番号で宛先を指定できます。

3 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

➡ 宛先を確認または変更する (5-35ページ)

参考

「表示順」の初期値を変更することができます。

➡ 表示順 (8-23ページ)

拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

1 送信の基本画面で[拡張アドレス帳]を選択する

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークがつきます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

参考

別の拡張アドレス帳に変更する場合は、[拡張アドレス帳]を選択して、変更したい拡張アドレス帳を選択してください。

3 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

➡ 宛先を確認または変更する（5-35ページ）

参考

「表示順」の初期値を変更することができます。

➡ 表示順（8-23ページ）

ワンタッチキーから宛先を選ぶ

参考

ここでは、すでにワンタッチキーが登録されているものとします。
ワンタッチキーの登録については、次を参照してください。

ワンタッチキーを登録する（3-28ページ）

1 送信の基本画面で[ワンタッチキー]を選択する

2 宛先が登録されているワンタッチキーを選択する

タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、[∨]/[∧]を選択してください。表示されていないワンタッチキーが表示されます。

参考

[短縮]キーを選択すると、ワンタッチ番号でワンタッチキーが指定できます。

3 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

宛先を確認または変更する（5-35ページ）

宛先を確認または変更する

1 画面を表示する

1 宛先を選択します。

宛先の選びかた（5-32ページ）

2 [確認]を選択します。

2 確認/変更する

[+]を選択すると宛先を追加します。

[…]を選択すると、その宛先の内容の確認ができます。新規メールアドレス、パソコンのフォルダーを指定した宛先は、その内容を変更できます。

宛先を選択 > [🗑]

その宛先がリストから削除されます。

参考

- 「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、確認画面が表示されます。もう一度同じホスト名、パスを入力して[OK]を選択してください。

新規宛先の入力確認（8-21ページ）

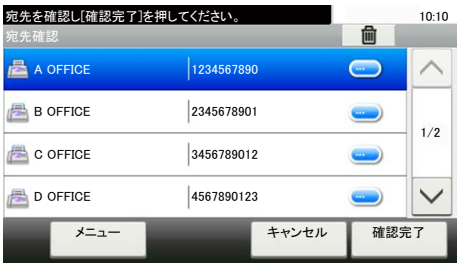
- 「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、確認画面が表示されます。

送信前の宛先確認（8-21ページ）
送信前に宛先を確認する（5-36ページ）

送信前に宛先を確認する

「送信前の宛先確認」を[**設定する**]に設定している場合は、[**スタート**]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。

送信前の宛先確認（8-21ページ）



1 [∨]または[∧]を選択して、すべての宛先を確認する

[ ]を選択すると、その宛先の詳しい情報が参照できます。

宛先を削除するときは、削除する宛先を選択 > [ ] > [**はい**]

宛先を追加するときは、[**キャンセル**]を選択して元の画面に戻ってください。

2 [確認完了]を選択する

参考

必ずすべての宛先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[**確認完了**]は機能しません。

再宛先を呼び出す

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ宛先に送りたい。そんなときに[**再宛先**]を選択すると、直前に送信した宛先を宛先リストに呼び出すことができます。

1 [再宛先]を選択する

直前の相手先が宛先リストに表示されます。

参考

直前の送信がファクスやフォルダー、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。必要に応じて相手先の追加や削除などを行ってください。

2 [スタート]キーを押す

送信を開始します。

参考

- 「送信前の宛先確認」を[**設定する**]に設定している場合は、[**スタート**]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

送信前に宛先を確認する（5-36ページ）

- 次の条件で再宛先情報は破棄されます。
  - 電源を切ったとき
  - 次の送信操作を行ったとき（新しい再宛先情報が登録されます。）
  - ログアウトしたとき

ファクスのしかた

本機はファクス機能を使用することができます。

➡ ファクス使用説明書

文書ボックスを使用する

文書ボックスにはジョブボックス、外部メモリーボックス、Fコードボックス、ポーリングボックスがあります。

ジョブボックスとは

「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の総称です。これらのボックスをユーザーが削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。

参考

- ジョブ保留ボックスとクイックコピーボックスを使用するには、SD/SDHCメモリーカードが必要です。
- プライベートプリントボックスと試し刷り後保留ボックスを使用するには、拡張メモリーまたはSD/SDHCメモリーカードが必要です。
- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。

一時保存文書の自動消去（8-22ページ）

- ジョブボックスの操作については、次を参照してください。

本体に保存したデータを印刷する（4-11ページ）

重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。

機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

外部メモリーボックスとは

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。また、本機で読み込んだ画像データを、PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、高圧縮PDFいずれかのファイル形式で、USBメモリーに保存することもできます（Scan to USB）。

Fコードボックス/ポーリングボックスとは

ファクスのデータを保存するためのボックスです。

ファクス使用説明書

USBメモリーの操作

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル（バージョン 1.7以下）
- TIFFファイル（TIFF V6/TTN2形式）
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 暗号化PDFファイル

また、本機に接続したUSBメモリーに読み込んだ画像データを保存することができます。

保存できるファイル形式は、次のとおりです。

- PDFファイル
- TIFFファイル
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 高圧縮PDFファイル

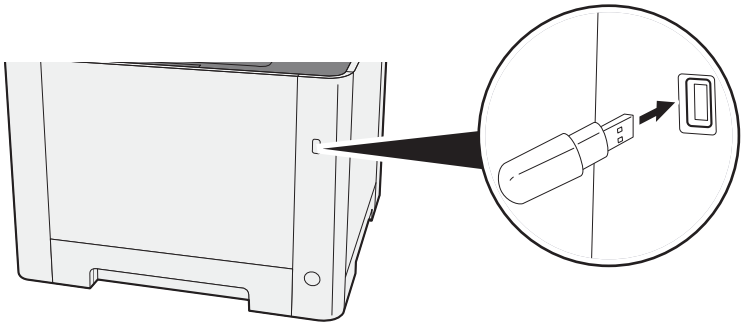
USBメモリー内のデータを印刷する

参考

- 印刷するPDFファイルには拡張子（.pdf）が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

1 USBメモリーを接続する

1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[**はい**]を選択します。

外部メモリー画面が表示されます。

参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[**外部メモリー**]を選択してください。

2 文書を印刷する

1 印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択します。

ルートディレクトリーを含め、3階層目までのフォルダーにある文書が表示できます。

> **参考**
> - 表示できる文書数は1,000件までです。
> - 1つ上の階層に戻る場合は、[**戻る**]を選択してください。

2 印刷するファイルを選択 > [**印刷**]

3 必要に応じて、印刷部数や片面 / 両面印刷などを変更します。

設定できる機能については、次を参照してください。

➡ 外部メモリー（文書保存、印刷）（6-6ページ）

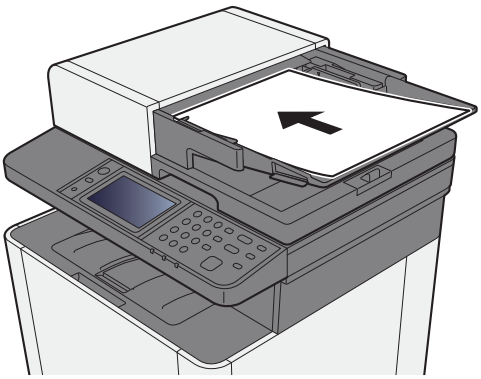
4 [**スタート**]キーを押します。

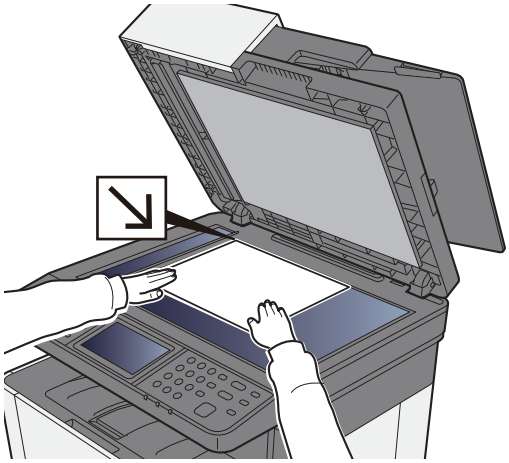
選択したファイルの印刷を開始します。

USBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）

> **参考**
> 保存できるファイルの件数は最大で1,000件です。

1 原稿をセットする

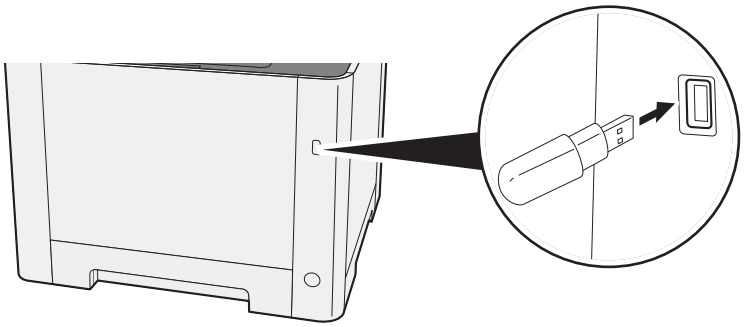




➡ 原稿をセットするには（5-2ページ）

2 USBメモリーを接続する

1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[**はい**]を選択します。

外部メモリー画面が表示されます。

> **参考**
> メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[**外部メモリー**]を選択してください。

3 文書を保存する

1 文書を保存するフォルダーを選択します。

ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。

2 [+]を選択します。

3 必要に応じて、カラーモード、原稿の種類やファイル形式などを設定します。

設定できる機能については、次を参照してください。

➡ 外部メモリー（文書保存、印刷）（6-6ページ）

4 [**スタート**]キーを押します。

原稿が読み込まれ、USBメモリーに保存されます。

USBメモリー情報を確認する

1 **外部メモリーの基本画面で[メニュー] > [外部メモリー情報]**

2 **情報を確認したら[終了]を選択する**

USBメモリーを取り外す

重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 **画面を表示する**

[ホーム]キー > [外部メモリー]

2 **[メニュー] > [メモリー取り外し]**

「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を選択してUSBメモリーを取り外してください。

参考

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

➡ デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する (7-11ページ)

6　さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

さまざまな機能を使う 6-2
本機に用意されている機能について 6-2
コピー 6-2
送信 6-4
外部メモリー（文書保存、印刷） 6-6
各種機能 6-8
用紙選択 6-9
縮小/拡大 6-10
濃度 6-11
両面/分割 6-12
ページ集約 6-14
カラー選択 6-16
ソート 6-16
原稿サイズ 6-17
原稿セット向き 6-18
原稿サイズ混載 6-18
原稿の画質 6-19
エコプリント 6-19
色相調整 6-20
カラーバランス 6-21
シャープネス 6-22
コントラスト 6-22
地色調整 6-23
白紙ページスキップ 6-23
彩度 6-24
連続読み込み 6-24
ジョブ終了通知 6-25
文書名入力 6-26
優先印刷 6-26
ファイル形式 6-27
両面（両面原稿） 6-30
送信サイズ 6-31
ファイル分割 6-31
読み込み解像度 6-32
メール件名/本文 6-32
FTP暗号送信 6-33
保存サイズ 6-33
暗号化PDFパスワード 6-34
JPEG/TIFF印刷方法 6-34
XPS印刷サイズ調整 6-34

さまざまな機能を使う

本機に用意されている機能について

本機にはさまざまな機能が用意されています。

コピー

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また[**機能一覧**]を選択すると、その他の機能が設定できます。

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-9ページ
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-10ページ
濃度	濃度を調整します。	6-11ページ
両面/分割	用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。	6-12ページ
ページ集約	2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。	6-14ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-16ページ

機能一覧	説明	参照ページ
ソート	用紙を部数ごとに仕分けします。	6-16ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-17ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-18ページ
原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-18ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-19ページ
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-19ページ
色相調整	色相(色合い)を調整し、イメージを変えます。	6-20ページ
カラーバランス	シアン(青系色)、マゼンタ(赤系色)、イエロー(黄色)、ブラック(黒)のそれぞれの色の強弱を調整します。	6-21ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-22ページ
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-22ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-23ページ

機能一覧	説明	参照ページ
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-23ページ
彩度	画像の彩度（鮮やかさ）を調整します。	6-24ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を選択するまで、原稿を読み込みます。	6-24ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-25ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-26ページ
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-26ページ

送信

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また[**機能一覧**]を選択すると、その他の機能が設定できます。

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能一覧	説明	参照ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-16ページ
ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-27ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-17ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-18ページ
原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-18ページ
両面	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	6-30ページ
送信サイズ	送信する画像のサイズを選択します。	6-31ページ
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	6-31ページ
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-32ページ
濃度	濃度を調整します。	6-11ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-19ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-22ページ
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-22ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-23ページ
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-23ページ
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用説明書参照
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-10ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を選択するまで、原稿を読み込みます。	6-24ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-26ページ
メール件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	6-32ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-25ページ
FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	6-33ページ
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	ファクス使用説明書参照

機能一覧	説明	参照ページ
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	ファクス使用説明書参照
ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信用の文書を受け取ります。	ファクス使用説明書参照
ファクス送信レポート	ファクスの送信結果をレポートで印刷します。	ファクス使用説明書参照

外部メモリー（文書保存、印刷）

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また［**機能一覧**］を選択すると、その他の機能が設定できます。

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

文書保存の機能

機能キー	説明	参照ページ
ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-27ページ
両面	原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。	6-30ページ
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-32ページ
濃度	濃度を調整します。	6-11ページ
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-26ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-16ページ

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-17ページ
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-18ページ
原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-18ページ
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	6-33ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-19ページ
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-22ページ
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-22ページ
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-23ページ
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-23ページ
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-10ページ
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。［読み込み終了］を選択するまで、原稿を読み込みます。	6-24ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-25ページ
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	6-31ページ

印刷の機能

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-9ページ
ソート	用紙を部数ごとに仕分けします。	6-16ページ
両面	用紙の両面に印刷します。	6-13ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-16ページ

機能一覧	説明	参照ページ
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-19ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-25ページ
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-26ページ
暗号化PDFパスワード	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	6-34ページ
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。	6-34ページ
XPS印刷サイズ調整	XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	6-34ページ

各種機能

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。

印刷：コピー　USBメモリーからの印刷

送信：送信

保存：USBメモリーへの保存

用紙選択

コピー　USBメモリーからの印刷

使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

[**自動**]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

参考

- カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください。

➡ カセット/手差しトレイ設定（8-8ページ）

- オプションのペーパーフィーダーが装着された場合、カセット2が表示されます。

[**手差しトレイ**]を選択する場合は、[**用紙サイズ**]と[**用紙種類**]を選択して用紙サイズと用紙種類を変更してください。選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

設定項目		設定値	説明
用紙サイズ	A系/B系	A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
	インチ系	Letter、Legal、Statement-R、Statement、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
	その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム*1	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。
	サイズ入力	センチ X: 70～216 mm（1 mm単位） Y: 148～356 mm（1 mm単位）	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。*2 [**サイズ入力**]を選択した場合は、[+]、[−]またはテンキーで、「X」（よこ）と「Y」（たて）のサイズを設定してください。
		インチ X: 2.76～8.50"（0.01"単位） Y: 5.83～14.02"（0.01"単位）	
用紙種類		普通紙（60～105 g/m^2）、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント*3、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙*3、レターヘッド*3、封筒、厚紙（106～220 g/m^2）、加工紙、上質紙、カスタム1～8*3	

*1　カスタム用紙サイズの登録方法は、次を参照してください。

➡ カスタム用紙サイズ登録（8-13ページ）

*2　入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

➡ 入力長さ単位（8-18ページ）

*3　用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、次を参照してください。

➡ 用紙種類の設定について（8-15ページ）

プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ 特定用紙種類の動作設定（8-14ページ）

参考

- よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておくと便利です。

➡ 手差しトレイ（8-9ページ）

- 指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が表示されます。手差しトレイに使用したい用紙を補給して[**継続**]を選択してください。コピーが開始されます。

縮小/拡大

コピー　送信　USBメモリーへの保存

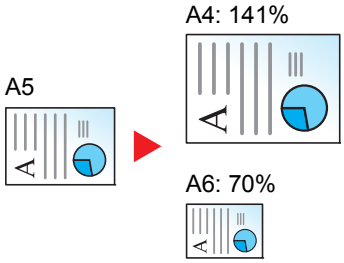
倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

コピー時

縮小/拡大には次の方法があります。

自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。



定形倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

400％	最大	115％	B5→A4	70％	A4→A5
200％	—	100％	—	50％	—
141％	A5→A4	86％	A4→B5	25％	最小

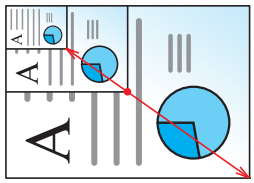
その他

定形倍率以外の倍率で縮小/拡大します。

129％	Statement→Letter	78％	Legal→Letter
90％	Folio→A4	64％	Letter→Statement

倍率入力

25～400％の範囲で、1％刻みに倍率を選択できます。[＋]、[－]またはテンキーで倍率を入力します。



送信/保存時

設定項目	説明
100％	原稿と同じサイズで処理します。
自動	送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。

参考

縮小または拡大する場合は、用紙サイズ、送信サイズまたは保存サイズを選択してください。

用紙選択（6-9ページ）
送信サイズ（6-31ページ）
保存サイズ（6-33ページ）

濃度

コピー　送信　USBメモリーへの保存

濃度を調整します。

（設定値：[-4]～[+4]（うすく～こく））

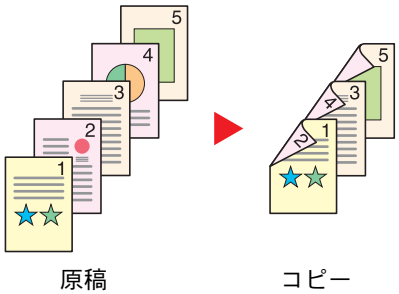
両面/分割

コピー　USBメモリーからの印刷

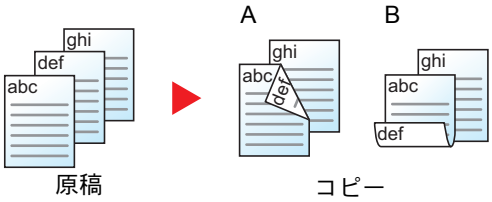
用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。

両面/分割には次の方法があります。

片面→両面



片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



とじ方法は次の2とおりです。

A　仕上がり左/右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。

B　仕上がり上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

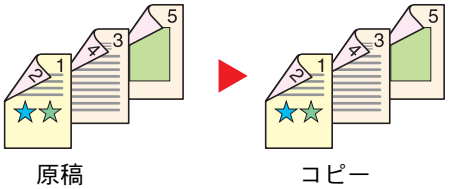
両面→片面

両面原稿を1ページずつ片面コピーします。

とじ方法は次の2とおりです。

- 左/右とじ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- 上とじ：うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。

両面→両面



両面原稿を両面コピーします。

参考

両面→両面に使用できる用紙サイズ：A4、B5、A5-R、Folio、Legal、Letter、Statement、Oficio II、Executive、216 × 340 mm、ISO B5、Envelope C5、16K

コピー時

片面原稿を両面に印刷したり、両面原稿を片面に印刷します。原稿および仕上がりのとじ方向を指定してください。

設定項目		設定値	説明
片面→片面		—	この機能を設定しません。
片面→両面		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ 機能初期値（8-16ページ）
両面→片面		—	
両面→両面		—	
その他	両面/分割	片面→片面、 片面→両面、 両面→片面、 両面→両面	両面/分割の設定を選択します。
	原稿とじ方向*1	左/右とじ、上とじ	原稿のとじ方向を設定します。
	仕上がりとじ方向*2	左/右とじ、上とじ	仕上がりのとじ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「両面/分割」で［**両面→片面**］、［**両面→両面**］を設定したときに表示されます。
*2 「両面/分割」で［**片面→両面**］、［**両面→両面**］を設定したときに表示されます。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、次の原稿に入れ替えて［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］を選択してください。コピーが開始されます。

印刷時

用紙の両面に印刷します。

設定項目	説明
片面	この機能を設定しません。
両面	用紙を左/右でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。
両面	用紙を上でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。

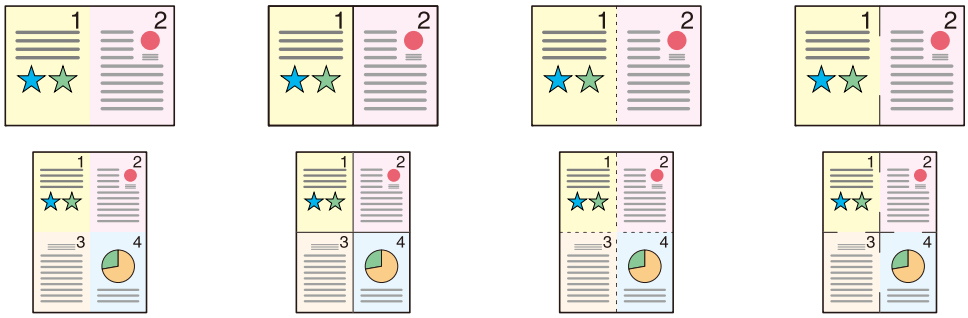
ページ集約

コピー

2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。

ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れることもできます。

境界線の線種は次のとおりです。

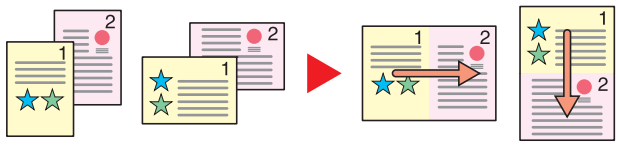
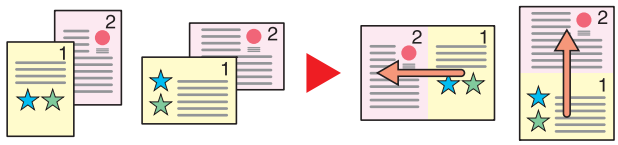
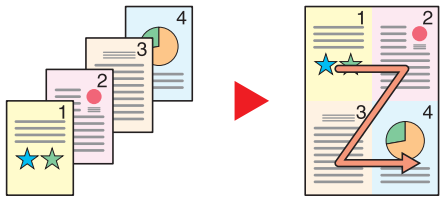
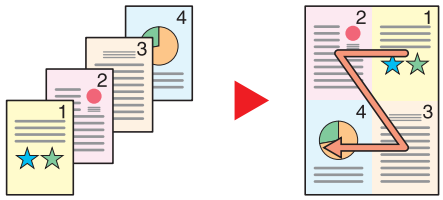
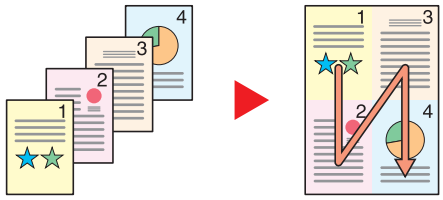
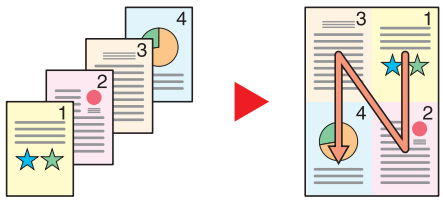


なし　実線　点線　マーク

設定項目		設定値	説明
設定しない		—	この機能を設定しません。
2 in 1		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ 機能初期値（8-16ページ）
4 in 1		—	
その他	ページ集約	設定しない、 2 in 1（左→右/上→下）、 2 in 1（右→左/下→上）、 4 in 1（左上→右）、 4 in 1（右上→左）、 4 in 1（左上→下）、 4 in 1（右上→下）	読み込んだ原稿の並べかたを選択します。
	境界線*1	なし、実線、点線、マーク	境界線の線種を選択します。
	原稿セット向き*1	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「ページ集約」で［2 in 1］、［4 in 1］を設定したときに表示されます。

レイアウトイメージ

設定項目		イメージ
2 in 1	左→右/上→下	
	右→左/下→上	
4 in 1	左上→右	
	右上→左	
	左上→下	
	右上→下	

参考

- 集約に使用できる用紙サイズ：A4、A5-R、B5、Folio、216 × 340 mm、Letter、Legal、Statement、Oficio II、16K
- 原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

カラー選択

コピー　送信　USBメモリーからの印刷　USBメモリーへの保存

カラーのモードを選択します。

コピー/印刷時

設定項目	説明
フルカラー	フルカラーで印刷します。
白黒	白黒で印刷します。

送信/保存時

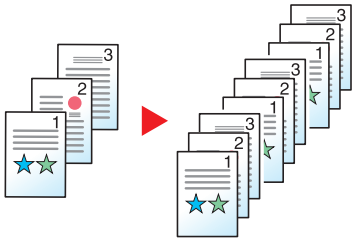
設定項目	説明
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。

ソート

コピー　USBメモリーからの印刷

用紙を部数ごとに仕分けします。

（設定値：[設定しない]/[設定する]）



原稿サイズ

コピー　送信　USBメモリーへの保存

原稿の読み込みサイズを設定します。

[**自動（原稿送り装置）**]、[**A系/B系**]、[**インチ系**]、または[**その他**]を選択して、原稿サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
自動（原稿送り装置）	－	原稿のサイズを自動検知させます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	原稿のサイズをA系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II	原稿のサイズをインチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム*1	特殊な定形サイズ、カスタム原稿サイズから選択します。

*1　カスタム原稿サイズの登録方法は、次を参照してください。

➡ カスタム原稿サイズ登録（8-11ページ）

参考

- 原稿送り装置で原稿サイズを自動検知するかどうかを設定できます。

➡ 原稿自動検知（原稿送り装置）（8-11ページ）

- 不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

原稿セット向き

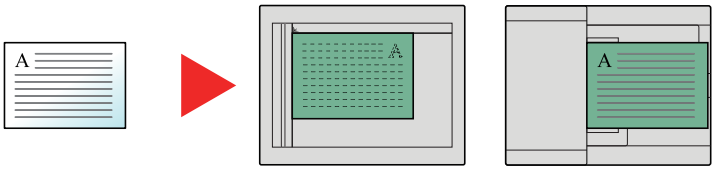
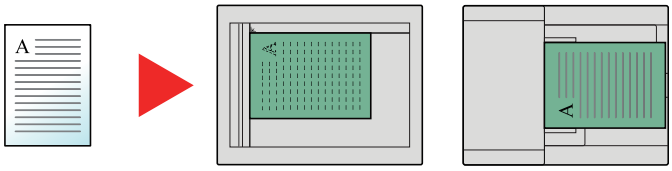
コピー　送信　USBメモリーへの保存

文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- 両面/分割
- ページ集約
- 両面（両面原稿）

原稿のセット向きを、[**上辺を奥向き**]または[**上辺を左向き**]から選択してください。

設定項目	イメージ
上辺を奥向き	 原稿　原稿セット向き
上辺を左向き	 原稿　原稿セット向き

参考

原稿セット向きの初期値を変更することができます。

➡ 原稿セット向き（8-16ページ）

原稿サイズ混載

コピー　送信　USBメモリーへの保存

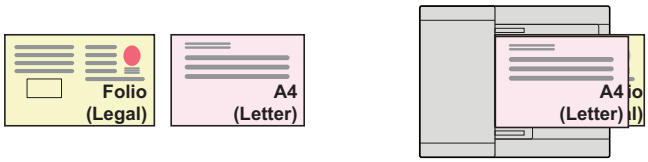
原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。

原稿ガラスの場合は、使用できません。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）

原稿サイズの組み合わせ

A4とFolio（LegalとLetter）



原稿の画質

コピー　送信　USBメモリーへの保存

原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

コピー/印刷時

設定項目	説明
文字＋写真[*1]	文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真	写真原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
図表/地図[*2]	地図原稿に適しています。
プリンター印刷物[*2]	本機で印刷された文書に適しています。

*1　[**文字+写真**]の印字で、グレーの文字切れが起こるときは、[**文字**]を選択することで改善することがあります。
*2　コピー時のみ表示されます。

送信/保存時

設定項目	説明
文字＋写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
うすい文字 / 細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。
文字（OCR用）[*1]	OCR処理に適した画像で読み込みます。

*1　カラー選択で、白黒選択時のみ利用できます。
➡ カラー選択（6-16ページ）

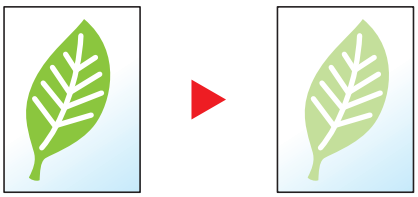
エコプリント

コピー　USBメモリーからの印刷

エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。

試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）



色相調整

コピー

色相（色合い）を調整し、イメージを変えます。
赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージを変えることができます。

原稿

イエローに近いグリーンをイエロー側に、ブルーに近いマゼンタをブルー側に調整（▼の部分）

イエローに近いレッドをイエロー側に、ブルーに近いシアンをブルー側に調整（▼の部分）

設定項目	説明
設定しない	
全体	色全体にわたり、色調を調整できます。 [<]または[>]を選択して色合いを調整してください。
個別	個別にカラーを選択し、色合いを調整できます。 [**レッド**]、[**イエロー**]、[**グリーン**]、[**シアン**]、[**ブルー**]または[**マゼンタ**]を選択し、[<]または[>]を選択して色合いを調整してください。

参考

フルカラーコピー時に機能します。

この調整は色の鮮やかな画像で効果的です。

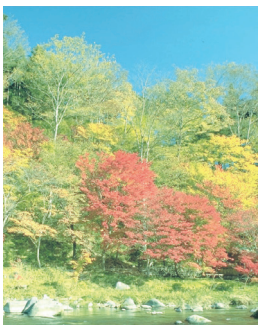
カラーバランス

コピー

シアン（青系色）、マゼンタ（赤系色）、イエロー（黄色）、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を調整します。

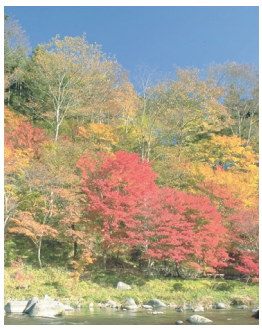
例

マゼンタを弱く



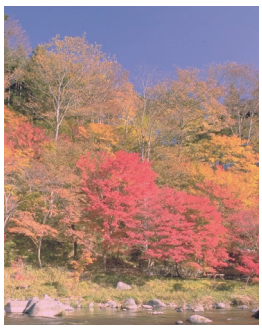
◀

原稿



▶

マゼンタを強く



設定項目		説明
設定しない		
設定する	シアン	調整する色（「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」、「ブラック」）の両側にある、[<]または[>]キーで、各色を調整してください。
	マゼンタ	
	イエロー	
	ブラック	

参考

フルカラーコピー時に機能します。

シャープネス

コピー　送信　USBメモリーへの保存

画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを「強く」に調整すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ[*1]が発生する場合、シャープネスを「弱く」に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。

シャープネス弱く

原稿

シャープネス強く

設定項目	説明
[＋1]～[＋3]（強く）	画像の輪郭を強調します。
[－1]～[－3]（弱く）	画像の輪郭をぼかします。モアレ[*1]を弱めることができます。

*1　網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

コントラスト

コピー　送信　USBメモリーへの保存

画像の濃淡のコントラストを調整します。

コントラスト低く

原稿

コントラスト高く

設定項目	説明
[＋1]～[＋4]（高く）	メリハリのある色合いにします。
[－1]～[－4]（低く）	なめらかな色合いにします。

地色調整

コピー　送信　USBメモリーへの保存

新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。

フルカラー選択時に機能します。

設定項目	説明
設定しない	地色を調整しません。
手動	[1]～[5]（うすく～こく）を選択して、手動で地色の濃度を調整します。

白紙ページスキップ

コピー　送信　USBメモリーへの保存

読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。

[**強**]に設定すると、白紙を認識するレベルが上がります。

本機が白紙のページを判断するため、原稿内の白紙の有無を確認しなくても無駄な印刷を省きます。

[**設定する**]を選択して、[**弱**]、[**中**]、[**強**]のいずれかを選択してください。

参考

パンチ穴のある原稿や、下地に色がある原稿は白紙と認識できないことがあります。

彩度

コピー

画像の彩度（鮮やかさ）を調整します。

彩度を弱く　　原稿　　彩度を強く

色彩のうすい色に調整します。　　鮮やかな色に調整します。

参考

フルカラー選択時に機能します。

設定項目	説明
[－1]～[－3]（弱く）	色彩のうすい色に調整します。
[＋1]～[＋3]（強く）	鮮やかな色に調整します。

連続読み込み

コピー　送信　USBメモリーへの保存

原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[**読み込み終了**]を選択するまで、原稿を読み込みます。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）

ジョブ終了通知

コピー　USBメモリーからの印刷　送信　USBメモリーへの保存

ジョブが終了したことをメールで通知します。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。

参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。

➡ Command Center RXとは（2-52ページ）

メールを送る宛先は1件です。

設定項目	説明
設定しない	この機能を設定しません。
設定する	宛先のリストが表示されます。
	宛先の追加 ［**メニュー**］＞［**新規登録**］を選択すると宛先を追加できます。 • **アドレス帳**：アドレス帳画面が表示されるので、通知先を選択し、［OK］を選択します。 • **拡張アドレス帳**[*1]：拡張アドレス帳から通知先を選択します。 • **アドレス入力**：通知先を直接入力します。メールアドレスを128文字以内で入力し、［OK］を選択します。 • **自分のアドレス**[*2]：ログインしているユーザーのメールアドレスに通知します。
	宛先の確認 ［…］を選択すると、宛先の詳しい情報が参照できます。
	宛先の削除 ［🗑］を選択すると、宛先を削除します。

*1　拡張アドレス帳については、次を参照してください。
➡ Command Center RX操作手順書

*2　ユーザー管理を行っているときに表示されます。

文書名入力

コピー　USBメモリーからの印刷　送信　USBメモリーへの保存

文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を32文字以内で入力し、[OK]を選択してください。

日時を付加する場合は[**日時**]を、ジョブ番号を付加する場合は[**番号**]を選択してください。両方付加する場合は[**ジョブ番号 & 日時**]または[**日時 & ジョブ番号**]を選択してください。

優先印刷

コピー　USBメモリーからの印刷

印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。

優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）

参考

- 印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- 印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。

ファイル形式

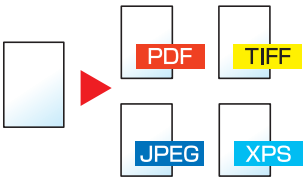
送信　USBメモリーへの保存

画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。

ファイル形式を[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]、[OpenXPS]または[**高圧縮**PDF]から選択してください。

読み込み時のカラーモードを、グレースケールまたはフルカラーに選択している場合は、画質を設定してください。

[PDF]または[**高圧縮**PDF]を選択した場合は、暗号化やPDF/Aの設定を行うことができます。



設定項目		設定値	説明
PDF		—	選択したファイル形式を設定します。 画質、PDF/Aの設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ 機能初期値（8-16ページ）
高圧縮PDF		—	
TIFF		—	
JPEG		—	
XPS		—	
OpenXPS		—	
その他	ファイル形式	PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS	ファイル形式を選択します。
	画質*1	圧縮率優先、標準、画質優先	高圧縮PDFの画質を選択します。
	画質*2	1 低画質（高圧縮）～ 5 高画質（低圧縮）	画質のレベルを調整します。
	PDF/A*3	設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b	PDFのファイル形式を選択します。
	暗号化*3	—	PDF暗号化機能を使用することができます。 ➡ PDF暗号化機能（6-28ページ）

*1 「ファイル形式」で[**高圧縮**PDF]を設定したときに表示されます。
*2 「ファイル形式」で[**高圧縮**PDF]以外を設定したときに表示されます。
*3 「ファイル形式」で[PDF]または[**高圧縮**PDF]を設定したときに表示されます。

参考

暗号化が設定されている場合は、PDF/Aの設定を行うことができません。

PDF暗号化機能

ファイル形式でPDFまたは高圧縮PDFを選択した場合、パスワードによるセキュリティーを使用し、PDFの表示、印刷および編集に対して、制限を追加することができます。

[**その他**]から[**ファイル形式**]で[PDF]または[**高圧縮PDF**]を選択し、[**暗号化**]を選択します。

[**互換性のある形式**]で選択した設定値により、設定できる項目が変わります。

[Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レベル: 中(40-bit)]を選択した場合

設定項目		設定値	説明
文書を開くパスワード		使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [**使用する**]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[**次へ**]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。
文書編集/印刷のパスワード		使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [**使用する**]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[**次へ**]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作の制限ができます。
	印刷を許可	許可しない、許可する	PDFファイルの印刷を制限します。
	変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
		注釈の追加	注釈の追加のみできます。
		ページの抽出を除くページレイアウトの変更	PDFファイルのページを抽出する以外の、ページレイアウトの変更ができます。
		ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
	画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

[Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レベル: 高（128-bit）]を選択した場合

設定項目		設定値	説明
文書を開くパスワード		使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [使用する]を選択して、パスワード（最高256文字まで）を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。
文書編集/印刷のパスワード		使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [使用する]を選択して、パスワード（最高256文字まで）を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作の制限ができます。
	印刷を許可	許可しない	PDFファイルが印刷できなくなります。
		許可する（低解像度のみ）	PDFファイルを低解像度でのみ印刷できます。
		許可する	PDFファイルを本来の解像度で印刷できます。
	変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
		ページの挿入、削除、回転	PDFファイルのページの挿入、ページの削除、およびページの回転のみができます。
		注釈の追加	注釈の追加のみできます。
		ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
	画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

両面（両面原稿）

送信　USBメモリーへの保存

原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

設定項目		設定値	説明
片面		—	この機能を設定しません。
両面		—	左/右とじ、上とじの両面原稿を設定します。
その他	両面	片面、 両面（とじ方向左/右とじ）、 両面（とじ方向上とじ）	原稿の種類を選択します。
	原稿セット向き*1	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「両面」で［**両面（とじ方向左/右とじ）**］、［**両面（とじ方向上とじ）**］を設定したときに表示されます。

サンプルイメージ

設定値		イメージ
両面	とじ方向左/右とじ	
	とじ方向上とじ	

送信サイズ

送信

送信する画像のサイズを選択します。

[**原稿サイズと同じ**]、[**A系/B系**]、[**インチ系**]または[**その他**]を選択して、送信サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ送信サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ（6-17ページ）	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[**原稿サイズと同じ**]を選択	送信したいサイズを選択
縮小/拡大（6-10ページ）	[100%]（または[**自動**]）を選択	[**自動**]を選択

参考

原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます（縮小/拡大は行われません）。

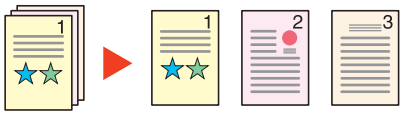
ファイル分割

送信　USBメモリーへの保存

読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。

（設定値：[設定しない]/[ページごと]）

[**ページごと**]を選択すると、ファイル分割が設定されます。



参考

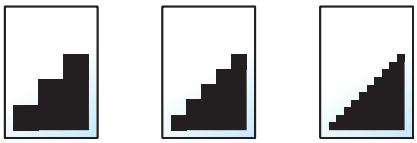
ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf、xxx_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。

読み込み解像度

送信　USBメモリーへの保存

画像の細かさを設定します。

（設定値：[600 × 600 dpi]/[400 × 400 dpiウルトラ]/[300 × 300 dpi]/[200 × 400 dpiスーパー]/[200 × 200 dpiファイン]/[200 × 100 dpiノーマル]）



参考

数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。

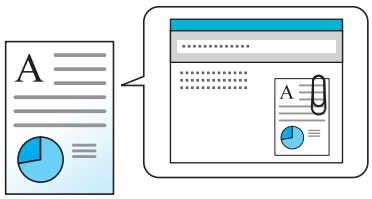
フルカラーまたはグレースケールで両面原稿を読み込む場合、[600 × 600 dpi]、[400 × 400 dpiウルトラ]および[200 × 400 dpiスーパー]が選択できません。

メール件名/本文

送信

メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。

「件名」の欄を選択して件名の入力を、「本文」の欄を選択して本文の入力をしてください。



参考

件名は60文字、本文は500文字まで入力できます。

FTP暗号送信

送信

FTPで送信する際に画像を暗号化します。

暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）

参考

Command Center RXで[**セキュリティー設定**]→[**ネットワークセキュリティー**]の順にクリックしてください。セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定が「オン」になっていることと、クライアント機能時の設定で有効な暗号方式が1つ以上選択されていることを確認してください。

Command Center RX操作手順書

保存サイズ

USBメモリーへの保存

保存する画像のサイズを選択します。

[**原稿サイズと同じ**]、[**A系/B系**]、[**インチ系**]または[**その他**]を選択して、保存サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ保存サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと保存するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ（6-17ページ）	必要に応じて設定	必要に応じて設定
保存サイズ	[**原稿サイズと同じ**]を選択	保存したいサイズを選択
縮小/拡大（6-10ページ）	[100%]（または[**自動**]）を選択	[**自動**]を選択

参考

原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で保存されます（縮小/拡大は行われません）。

暗号化PDFパスワード

USBメモリーからの印刷

あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

パスワードを入力し、[OK] を選択してください。

参考

パスワードの入力については、次を参照してください。

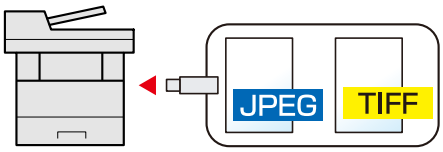
文字の入力（11-8ページ）

JPEG/TIFF印刷方法

USBメモリーからの印刷

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。

（設定値：[**用紙サイズ**]/[**画像解像度**]/[**印刷解像度**]）



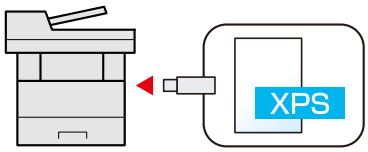
設定項目	説明
用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

XPS印刷サイズ調整

USBメモリーからの印刷

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

（設定値：[**設定しない**]/[**設定する**]）



7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況を確認する 7-2
状況確認画面の内容 7-3
ジョブの詳細情報を確認する 7-7
ジョブの履歴を確認する 7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する 7-9
ジョブ履歴を送信する 7-9
ジョブの操作 7-10
ジョブの一時停止と再開 7-10
ジョブをキャンセルする 7-10
デバイスの状態（デバイス/通信）を確認する 7-11
トナーや用紙の残量（用紙/消耗品）を確認する 7-12

ジョブの状況を確認する

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類の画面に分けてタッチパネルに表示されます。
各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ	• コピー印刷 • プリンター印刷 • ファクス受信印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷 • レポート/リスト印刷
送信ジョブ	• ファクス送信 • メール送信 • フォルダー送信 • アプリケーション送信 • 複合送信
保存ジョブ	• スキャン保存 • ファクス保存 • プリンター保存
予約ジョブ	• タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブ

状況確認画面の表示

1 画面を表示する

[**状況確認/ジョブ中止**]キーを選択する。

2 確認したいジョブを選択する

[**印刷ジョブ状況**]、[**送信ジョブ状況**]、[**保存ジョブ状況**]、[**予約ジョブ**]から確認するジョブを選択します。

➡ 印刷ジョブ状況画面（7-3ページ）
送信ジョブ状況画面（7-4ページ）
保存ジョブ状況画面（7-5ページ）
予約ジョブ画面（7-6ページ）

状況確認画面の内容

参考

すべてのユーザーのジョブ状況や、自分だけのジョブ状況を表示することができます。

状況/履歴の表示（8-19ページ）

この設定は、Command Center RXからも変更できます。

Command Center RX操作手順書

印刷ジョブ状況画面

番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン コピー印刷 プリンター印刷 文書ボックスからの印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷 レポート/リスト印刷
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[ ]	詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。 ジョブの詳細情報を確認する（7-7ページ）
5	状況	ジョブの状態を示します。 (印刷枚数)/(合計枚数)：印刷中 処理中：印刷を開始する前の状態 待機中：印刷待機中 一時停止：印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 中止中：ジョブのキャンセル中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。
7	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度選択すると印刷が再開されます。

送信ジョブ状況画面

番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン ファクス送信 メール送信 フォルダー（SMB/FTP）送信 アプリケーション送信 複合送信
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[ ]	詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。 ジョブの詳細情報を確認する（7-7ページ）
5	状況	ジョブの状態 処理中：原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態 送信中：送信中 待機中：送信待機中 中止中：ジョブのキャンセル中 一時停止：ジョブの一時停止中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。

保存ジョブ状況画面

番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン スキャン保存 プリンター保存 ファクス保存
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[ ]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ジョブの詳細情報を確認する（7-7ページ）
5	状況	ジョブの状態 処理中：原稿の読み込み中など、保存を開始する前の状態 保存中：データ保存中 中止中：ジョブのキャンセル中 一時停止：ジョブの一時停止中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。

予約ジョブ画面

番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン ファクス保存
3	宛先	送信先（宛先名/ファクス番号/同報件数のいずれか）
4	[ ]	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。 ジョブの詳細情報を確認する（7-7ページ）
5	開始時刻	このジョブを開始する時間
6	[メニュー]	このキーを選択すると、[**今すぐ開始**]が表示されます。 すぐに送信したいジョブを一覧で選択 > [**メニュー**] > [**今すぐ開始**]
7	[**中止**]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを選択してください。

ジョブの詳細情報を確認する

参考

ユーザー権限でログインしている場合は、ログインしているユーザーのジョブのみ確認できます。管理者の権限でログインしている場合は、すべてのジョブを確認できます。

1 画面を表示する

状況確認画面の内容（7-3ページ）

2 確認する

1 詳細を確認したいジョブの[ ]を選択します。

詳細情報が表示されます。

[∨]または[∧]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。白い項目を選択するとさらに詳細情報を確認できます。

送信ジョブでは、「状況/ 宛先」を選択して、送信先を確認できます。

2 確認が終了したら、[終了]を選択します。

ジョブの履歴を確認する

参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。

➡ Command Center RX操作手順書

➡ KYOCERA Net Viewer操作手順書

- すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

➡ 状況/履歴の表示（8-19ページ）

この設定は、Command Center RXからも変更できます。

➡ Command Center RX操作手順書

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、ファクスジョブの4種類の履歴画面に分けて表示されます。
各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	• コピー印刷 • プリンター印刷 • ファクス受信印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • レポート/リスト印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷
送信ジョブ	• ファクス送信 • メール送信 • フォルダー送信 • アプリケーション送信 • 複合送信
保存ジョブ	• スキャン保存 • ファクス保存 • プリンター保存
ファクスジョブ	➡ ファクス使用説明書

ジョブの履歴画面を表示する

1 画面を表示する

［状況確認/ジョブ中止］キーを選択します。

2 確認したいジョブを選択する

ジョブ履歴の詳細情報を確認する

1 画面を表示する

➡ ジョブの履歴画面を表示する（7-8ページ）

2 確認する

1 確認するジョブの[ ]を選択します。

選択したジョブの詳細情報が表示されます。

参考

[∨]または[∧]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。

2 確認が終了したら、[**閉じる**]を選択します。

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

➡ 履歴送信（8-7ページ）

ジョブの操作

ジョブの一時停止と再開

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

1 **画面を表示する**

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 **印刷ジョブ状況確認画面の[全印刷一時停止]を選択する**

印刷が一時停止します。

一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[全印刷再開]を選択します。

ジョブをキャンセルする

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

1 **画面を表示する**

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 **キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、[中止]を選択する**

3 **確認画面で[はい]を選択する**

デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

1 画面を表示する

1 [**状況確認/ジョブ中止**]キーを選択します。

2 確認する項目を選択します。

デバイスの状態を確認または、操作するための画面が表示されます。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「スキャナー」

原稿読み込み状態や待機中などの状態が表示されます。

「プリンター」

待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「ファクス」

- 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。
- [**回線を切る**]を選択すると、送/受信中のファクスを中止することができます。

➡ ファクス使用説明書

「外部メモリー(USBメモリー)」

- 本機に接続した外部メディアの使用量/全容量/空き容量が表示されます。
- [**メニュー**] > [**フォーマット**]の順に選択すると、外部メディアをフォーマットできます。

> **重要**
> [**フォーマット**]を選択すると外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

- [**メモリーの取り外し**]を選択すると、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「USBキーボード」

USBキーボードの状態が表示されます。

「ネットワーク接続状態」

ネットワークの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi Direct」

- Wi-Fi Directで接続しているデバイスの情報が表示されます。
- [**接続デバイスリスト**]を選択すると、接続されているデバイスのリストが表示されます。接続デバイスリスト画面で、[**更新**]を選択すると、リストが更新されます。[**すべて切断**]を選択すると、接続されているすべての接続が切断されます。
- [**プッシュボタン接続**]を選択して、接続したいデバイスのプッシュボタンを実行すると、本機との接続が開始されます。

「Wi-Fi」

Wi-Fiの接続状態と本機のネットワーク名(SSID)が表示されます。

トナーや用紙の残量（用紙/消耗品）を確認する

タッチパネルで、トナーや用紙の有無を確認できます。

1 画面を表示する

1 ［状況確認/ジョブ中止］キーを選択します。

2 確認する項目を選択します。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

トナー残量が段階的に表示されます。

「用紙状況」

用紙の有無を表示します。

8 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定（システムメニュー） 8-2
操作方法 8-2
システムメニューの項目 8-3
言語選択 8-5
レポート 8-5
ユーザー情報 8-7
カセット/手差しトレイ設定 8-8
共通設定 8-10
ホーム 8-19
コピー 8-20
送信 8-21
文書ボックス 8-22
ファクス 8-22
アドレス帳/ワンタッチ 8-22
ユーザー/部門管理 8-23
プリンター 8-23
システム/ネットワーク 8-26
日付/タイマー/節電 8-39
調整/メンテナンス 8-40

本機の初期設定（システムメニュー）

システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

操作方法

1 画面を表示する

［システムメニュー/カウンター］キーを選択します。

2 機能を選択する

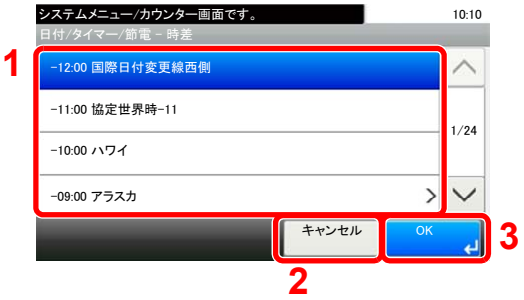
1 システムメニューの項目を表示します。

2 画面をスクロールして、表示されていない項目を表示します。

3 設定項目を表示します。
各項目のキーを選択して設定画面を表示します。

4 前の画面に戻ります。

3 設定する



1 設定項目を選択すると、設定が確定します。

2 設定を変更せずに前の画面に戻ります。

3 設定を確定して終了します。

参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

  ログインユーザー名：　2600
  ログインパスワード：　2600
- 機能初期値を変更した場合、各機能の画面で［リセット］キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

システムメニューの項目

ここでは、システムメニューで設定できる機能を説明しています。システムメニューの項目を選択して、さらに設定項目を選択すると、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

システムメニューの項目	説明	参照ページ
簡単セットアップウィザード	ウィザード形式でファクス、用紙、省エネ、ネットワークの設定を行います。	2-35ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。	8-5ページ
レポート印刷	本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	8-5ページ
管理レポート設定		ファクス使用説明書参照
結果通知設定		8-7ページ
履歴送信		8-7ページ
カウンター	印刷ページ数および読み込みページ数を参照します。	2-50ページ
ユーザー情報	現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。	8-7ページ
カセット1（2）	カセット1～2の用紙サイズと用紙種類について設定します。	8-8ページ
手差しトレイ	手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。	8-9ページ
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面（初期画面）を選択します。	8-10ページ
音設定	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	8-10ページ
原稿設定	原稿に関する設定を行います。	8-11ページ
用紙設定	用紙に関する設定を行います。	8-13ページ
機能初期値	電源を入れてウォームアップが終了した後や［リセット］キーを選択した後に、自動的に設定される内容を初期値と呼びます。 ここでは、コピー機能や送信機能など、本機で使用できる機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。	8-16ページ
部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。	8-17ページ
エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	8-18ページ
カラートナーなし時の印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で印刷するかを設定します。	8-18ページ
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。	8-18ページ
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。	8-18ページ
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	8-19ページ
SDカードフォーマット	SDカードをフォーマットします。	8-19ページ
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。	8-19ページ
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。	8-19ページ
ホーム	ホーム画面の設定を行います。	2-12ページ
コピー	コピー機能に関する設定を行います。	8-20ページ
送信	送信機能に関する設定を行います。	8-21ページ

システムメニューの項目	説明	参照ページ
文書ボックス	ジョブボックスやFコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。Fコードボックス、ポーリングボックスの詳細は、**ファクス使用説明書**を参照してください。	8-22ページ
ファクス	ファクスに関する設定を行います。 ➡ **ファクス使用説明書**	—
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳とワンタッチキーの設定を行います。 アドレス帳の詳細は、次を参照してください。 ➡ アドレス帳の登録（3-21ページ） ワンタッチキーの詳細は、次を参照してください。 ➡ ワンタッチキーを登録する（3-28ページ）	8-22ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。 ユーザー管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ ユーザー管理を有効にする（9-3ページ） 部門管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ 部門管理を有効にする（9-30ページ）	—
プリンター	パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	8-23ページ
ネットワーク	ネットワークに関する設定を行います。	8-26ページ
優先ネットワーク（クライアント）	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークを設定します。	8-36ページ
インターフェイスブロック設定	USBホストなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	8-36ページ
セキュリティーレベル	セキュリティーレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	—
再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください（パソコンの再起動と同様です）。	8-37ページ
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	8-37ページ
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。	8-38ページ
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。	8-38ページ
日付/タイマー/節電	日付や時間に関する設定を行います。	8-39ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	8-40ページ

言語選択

[システムメニュー/カウンター] キー > [言語選択]

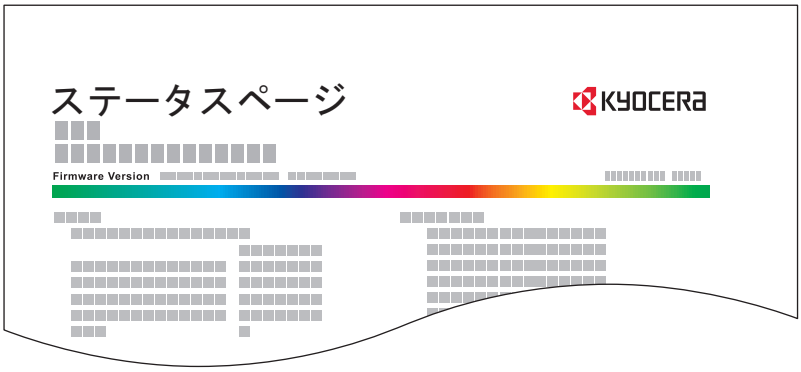
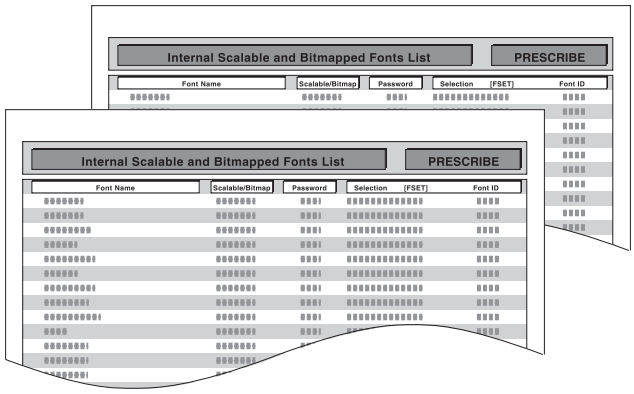
項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。

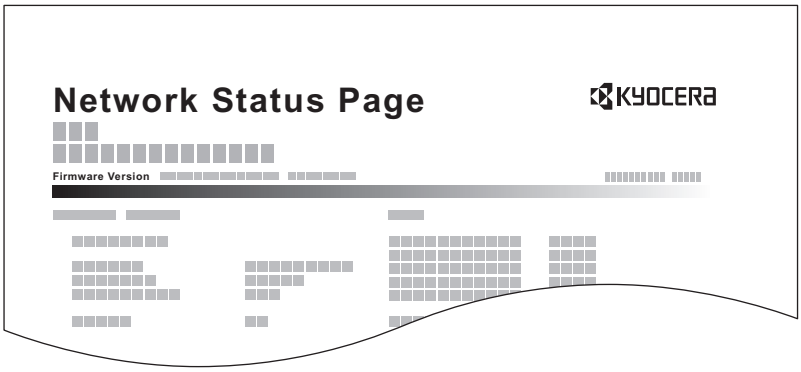
レポート

本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。

レポート印刷

[システムメニュー/カウンター] キー > [レポート] > [レポート印刷]

項目	説明
ステータスページ	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、メモリー容量、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。 
フォントリスト	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。 

項目	説明
ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。 
サービスステータスページ	サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。
部門管理レポート	部門管理レポートを印刷します。部門管理を実行してる際に、全部門で集計されたページ数を確認できます。
Fコードボックスリスト	ファクス機能に関するレポートを印刷します。 ➡ ファクス使用説明書
ファクスリスト（見出し）	
ファクスリスト（番号）	
ファクス発信レポート	
ファクス着信レポート	

管理レポート設定

［システムメニュー/カウンター］キー > ［レポート］ > ［管理レポート設定］

ファクスの発信、または受信レポートの設定を行います。

➡ ファクス使用説明書

結果通知設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定]

項目		説明
送信結果レポート		送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。
	メール/フォルダー	メール/フォルダーの送信結果をレポートで印刷します。 設定値：設定しない、設定する、エラー時のみ
	ファクス	➡ ファクス使用説明書
	送信前の中止レポート*1	送信を開始する前のジョブを中止した場合にレポートを印刷します。 設定値：設定しない、設定する
	宛先の表示形式*1	送信結果レポートの宛先の表示形式を設定します。 設定値：名前または宛先、名前と宛先
ファクス受信結果通知		➡ ファクス使用説明書
終了通知設定		ジョブ終了通知に画像を添付することができます。 設定値：画像を添付しない、画像を添付する

*1 [メール/フォルダー]と[ファクス]がどちらも[設定しない]の場合は表示されません。

履歴送信

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [履歴送信]

項目	説明
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値：設定しない、設定する 参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。設定範囲は1～16件です。
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値：60 字以内
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値：含める、含めない

ユーザー情報

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー情報]

現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。

➡ ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）

カセット/手差しトレイ設定

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

カセット1（2）

［システムメニュー/カウンター］キー > ［カセット/手差しトレイ設定］ > ［カセット1（2）］

カセット1～2の用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値：A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値：Letter、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値：16K、ISO B5、カスタム*1
用紙種類*2		用紙種類を選択します。 設定値：普通紙（60～105 g/m^2）、再生紙、プレプリント*3、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙*3、レターヘッド*3、厚紙（106～163 g/m^2）、上質紙、カスタム1～8

*1 カスタム用紙サイズはカセット毎に設定します。

➡ 用紙種類の設定について（8-15ページ）

*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ 用紙種類の設定について（8-15ページ）

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ 特定用紙種類の動作設定（8-14ページ）

手差しトレイ

［システムメニュー/カウンター］キー > ［カセット/手差しトレイ設定］ > ［手差しトレイ］

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

項目		説明
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値：A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Folio、216 × 340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値：Letter、Legal、Statement-R、Statement、Executive、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値：16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム*1
用紙種類*2		用紙種類を選択します。 設定値：普通紙（60～105 g/m^2）、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント*3、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙*3、レターヘッド*3、封筒、厚紙（106～220 g/m^2）、加工紙、上質紙、カスタム1～8

*1 カスタム用紙サイズはカセット毎に設定します。
➡ カスタム用紙サイズ登録（8-13ページ）

*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。
➡ 用紙種類の設定について（8-15ページ）

*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。
➡ 特定用紙種類の動作設定（8-14ページ）

共通設定

本機全般について設定します。

初期画面

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［初期画面］

項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面（初期画面）を選択します。 設定値：ホーム、コピー、送信、ファクス、ジョブボックス、外部メモリー、Fコードボックス、ポーリングボックス、お気に入り、状況確認

音設定

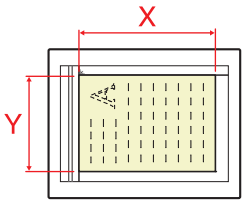
［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［音設定］

項目		説明
ブザー		本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。
	操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを選択したときに鳴る音、またはオートクリアが働くときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する
	正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する、ファクス受信時のみ
	準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する
	注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する
	操作確認音（USBキーボード）	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 設定値：使用しない、使用する
ファクススピーカー音量		➡ ファクス使用説明書
ファクスモニター音量		➡ ファクス使用説明書

原稿設定

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［原稿設定］

原稿に関する設定を行います。

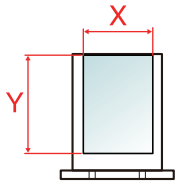
項目		説明
カスタム原稿サイズ登録		よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 ［サイズ入力］を選択して、サイズを入力してください。 設定値 センチ X : 50～356 mm（1 mm単位） Y : 50～216 mm（1 mm単位） インチ X : 1.97～14.02"（0.01"単位） Y : 1.97～8.50"（0.01"単位） X=長さ、Y=幅 横向き 
原稿自動検知（原稿送り装置）		原稿送り装置で原稿サイズを自動検知するか選択します。
	自動検知	原稿サイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値：設定しない、設定する
	長さ単位系	原稿サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値：A系/B系、インチ系
	Legal/OficioII/ 216 × 340 mm	LegalとOficioIIおよび216 × 340 mmはサイズが似ているため、原稿サイズを自動検知するときに、どちらとして検知するか設定します。 設定値：Legal、OficioII、216 × 340 mm 参考 ［長さ単位系］が［A系/B系］の場合は表示されません。

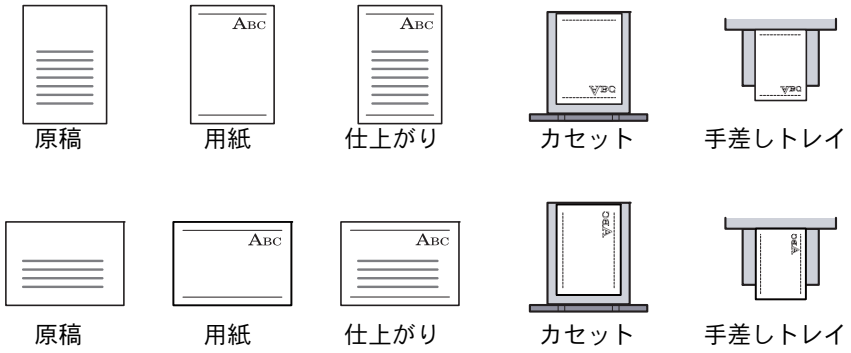
項目	説明
原稿サイズ初期値	原稿サイズの初期値を設定します。 設定値 A系/B系：A4、A5、A6、B5、B6 インチ系：Letter、Statement、Executive その他：16K 参考 ［**自動検知**］が［**設定する**］の場合は表示されません。
原稿サイズ初期値（原稿ガラス）	原稿ガラスにセットされた原稿サイズの初期値を設定します。 ［**設定しない**］を選択すると、ジョブの実行前に確認画面を表示します。 設定値 設定しない A系/B系：A4、A5、A6、B5、B6 インチ系：Letter、Statement、Executive その他：16K 参考 ［**自動検知**］が［**設定しない**］の場合は表示されません。

用紙設定

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［用紙設定］

用紙に関する設定を行います。

項目	説明
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。 カスタムサイズは各給紙元に1種類ずつ登録します。登録したサイズは、用紙サイズ選択時に表示されます。
カセット1サイズ	カセット1で使用するカスタムサイズを登録します。 設定値 センチ X：105～216 mm（1 mm単位） Y：148～356 mm（1 mm単位） インチ X：4.13～8.50"（0.01"単位） Y：5.83～14.02"（0.01"単位） X=長さ、Y=幅 縦向き 
カセット2サイズ	カセット2で使用するカスタムサイズを登録します。 設定値 センチ X：105～216 mm（1 mm単位） Y：148～356 mm（1 mm単位） インチ X：4.13～8.50"（0.01"単位） Y：5.83～14.02"（0.01"単位）
手差しトレイサイズ	手差しトレイで使用するカスタムサイズを登録します。 設定値 センチ X：70～216 mm（1 mm単位） Y：148～356 mm（1 mm単位） インチ X：2.76～8.50"（0.01"単位） Y：5.83～14.02"（0.01"単位） X=長さ、Y=幅 縦向き　横向き

項目	説明
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ（用紙の厚さ）を設定します。 また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 用紙種類の設定について（8-15ページ）
優先給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。 設定値：**カセット1～2、手差しトレイ** **参考** ［**カセット2**］はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。
用紙選択	原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。 設定値 **自動：原稿と同じサイズの用紙が入ったカセットが自動的に選択されます。** **優先給紙元：優先給紙元で設定されている給紙元が選択されます。**
自動用紙の用紙種類（カラー） **自動用紙の用紙種類（白黒）**	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。例えば［**普通紙**］を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットされている給紙元が選択されます。［**全用紙種類**］を選択すると、用紙の種類に関係なく、指定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。 設定値：**全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム1～8**
特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で［**印刷方向を合わせる**］を選択し、仕上がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、［**速度優先**］を選択します。 ［**印刷方向を合わせる**］を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。 例：レターヘッドにコピーする場合  設定値：**印刷方向を合わせる、速度優先**
用紙セット時の確認 **カセット1（2）** **手差しトレイ**	用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各カセットごとに設定します。 設定値：**設定しない、設定する** **参考** ［**カセット2**］は、オプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量（g/m²）、用紙種類	用紙の重さ	秤量（g/m²）、用紙種類
軽い	52 g/m^2～59 g/m^2	重い1*1	106 g/m^2～135 g/m^2
普通1	60 g/m^2～74 g/m^2	重い2*1	136 g/m^2～163 g/m^2
普通2	75 g/m^2～90 g/m^2	重い3*1	164 g/m^2～220 g/m^2
普通3	91 g/m^2～105 g/m^2	非常に重い*1	OHPフィルム

*1　通常よりも処理スピードが遅くなります。

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	パンチ済み紙	普通1
ラベル紙	重い1	レターヘッド	普通2
再生紙	普通1	封筒	重い2
プレプリント	普通2	厚紙	重い2
ボンド紙	普通3	上質紙	普通1
はがき	重い3	加工紙	普通3
カラー紙	普通1	カスタム1 ～ 8	普通1

また、カスタム1 ～ 8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		説明
両面印刷	許可する	両面印刷できます。
	禁止する	両面印刷は禁止されます。
名前		カスタム1～8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。 ➡ 文字の入力（11-8ページ）

機能初期値

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［機能初期値］

項目	説明
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値：PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS
原稿セット向き	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値：上辺を奥向き、上辺を左向き
ソート	ソートの初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する
ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。 設定値：設定しない、ページごと
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値：600 × 600 dpi、400 × 400 dpi ウルトラファイン、300 × 300 dpi、200 × 400 dpi スーパーファイン、200 × 200 dpi ファイン、200 × 100 dpi ノーマル
カラー選択（コピー）	コピーするときのカラーモードの初期値を設定します。 設定値：フルカラー、白黒
カラー選択（送信/保存）	原稿を読み込むときのカラーモードの初期値を設定します。 設定値：フルカラー、グレースケール、白黒
原稿の画質（コピー）	原稿の画質（コピー時）の初期値を設定します。 設定値：文字+写真、写真、文字、図表/地図、プリンター印刷物
原稿の画質（送信/保存）	原稿の画質（送信時/保存時）の初期値を設定します。 設定値：文字+写真、写真、文字、文字（OCR用）、うすい文字/細線 参考 ［文字（OCR用）］はカラー選択で白黒選択時のみ利用できます。
地色調整（コピー）	地色調整（コピー時）の初期値を設定します。 設定値：設定しない、手動（こく 5）
地色調整（送信/保存）	地色調整（送信時/保存時）の初期値を設定します。 設定値：設定しない、手動（こく 5）
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する
白紙ページスキップ（コピー）	白紙ページスキップ（コピー）の初期状態を設定します。 設定値：設定しない、設定する
白紙ページスキップ（送信/保存）	白紙ページスキップ（送信/保存）の初期状態を設定します。 設定値：設定しない、設定する
ファクス送信解像度	ファクス使用説明書
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値：100%、自動
連続読み込み（コピー）	連続読み込み（コピー）の初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する
連続読み込み（ファクス）	ファクス使用説明書
連続読み込み（送信/保存）	コピー、ファクス以外の連続読み込み初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する

項目	説明
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前（名前の初期値）を設定します。また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名：32文字以内で入力できます。 付加情報：なし、日時、番号、ジョブ番号 & 日時、日時 & ジョブ番号
メール件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文（件名と本文の初期値）を設定します。 設定値 件名：60文字以内で入力できます。 本文：500文字以内で入力できます。
FTP暗号送信	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する 参考 セキュリティー設定の［SSL］の設定が［使用する］の場合、表示されます。
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ（解像度）の初期値を設定します。 設定値：用紙サイズ、画像解像度、印刷解像度
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する
詳細設定	—
画質	PDFファイル、TIFFファイル、JPEGファイル、XPSファイル、OpenXPSファイルの画質の初期値を設定します。 設定値：［1］低画質（高圧縮）～［5］高画質（低圧縮）の5段階
PDF/A	PDF/Aの初期状態を設定します。 設定値：設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b
高圧縮PDF	ファイル形式が高圧縮PDF のときの、画質の初期値を設定します。 設定値：圧縮率優先、標準、画質優先
白紙検知レベル（コピー）	白紙検知レベル（コピー）の初期値を設定します。 設定値：弱、中、強
白紙検知レベル（送信/保存）	白紙検知レベル（送信/保存）の初期値を設定します。 設定値：弱、中、強

部数制限

［システムメニュー/カウンター］キー ＞ ［共通設定］ ＞ ［部数制限］

項目	説明
部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。 設定値：1～999部

エラー処理設定

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［エラー処理設定］

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 設定値 片面印刷：片面印刷で印刷します。 エラーで停止：メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する：設定を無視して印刷します。 エラーで停止：メッセージが表示され、印刷を停止します。

カラートナーなし時の印刷

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［カラートナーなし時の印刷］

項目	説明
カラートナーなし時の印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で印刷するかを設定します。 設定値：印刷しない、すべて白黒で印刷する

入力長さ単位

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［入力長さ単位］

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値：mm、inch

トナー残量少の通知

［システムメニュー/カウンター］キー > ［共通設定］ > ［トナー残量少の通知］

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。 設定値：設定しない、設定する この通知は、Event Report、Status Monitor、SNMP Trap（印刷機器管理システム等）に使用するものです。 参考 ［設定する］を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5～100%（1%単位）です。

キーボード入力方式

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [キーボード入力方式]

項目	説明
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。 設定値：ローマ字入力、かな入力

SDカードフォーマット

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [SDカードフォーマット]

SDカードをフォーマットします。

SDカードを使用するためには、最初に本機でSDカードをフォーマットする必要があります。

重要

SDカードをフォーマットすると、データはすべて消去されます。

状況/履歴の表示

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [状況/履歴の表示]

項目		説明
状況/履歴の表示		状況/履歴の表示を設定します。
	ジョブ状況の詳細の表示	設定値：すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
	ジョブ履歴の表示	設定値：すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
	ファクス通信履歴の表示	設定値：すべて表示、表示しない

電源オフ時の確認

[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [電源オフ時の確認]

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。 設定値：設定しない、設定する

ホーム

[システムメニュー/カウンター]キー > [ホーム]

ホーム画面の設定を行います。

ホーム画面を編集する（2-13ページ）

コピー

[システムメニュー/カウンター] キー > [コピー]

コピー機能に関する設定を行います。

項目	説明
自動用紙動作設定	用紙選択が [自動] に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。 設定値 最適サイズ：原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 原稿サイズと同じ：倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更（縮小/拡大）するかどうかを設定します。 設定値：設定しない、設定する
原稿送り装置動作	原稿送り装置を使用して原稿を読み込む際の動作を設定します。 設定値 速度優先：読み込み速度を優先します。 画質優先：読み込み速度を少し抑え、原稿の画質を優先します。
原稿ガラススキャン動作	原稿台を使用して原稿を読み込む際の動作を設定します。 設定値 速度優先：読み込み速度を優先します。 画質優先：読み込み速度を少し抑え、原稿の画質を優先します。

送信

[システムメニュー/カウンター]キー > [送信]

送信機能に関する設定を行います。

項目		説明
送信前の宛先確認		送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。*1 設定値：設定しない、設定する
新規宛先の入力確認		新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。*1 設定値：設定しない、設定する
送信控え転送		送信するとき、原稿を同時に別の宛先に転送するかどうかを設定します。
	転送	原稿を転送するかどうかを設定します。 設定値：設定しない、設定する 参考 [設定する]を選択した場合は、転送する条件を[ファクス]、[メール]、[フォルダー（SMB）]、[フォルダー（FTP）]の中から選択してください。
	宛先	原稿を転送する宛先を設定します。設定できる宛先は1件のみです。また、設定している宛先の確認および編集ができます。 宛先の登録方法は次のとおりです。 • アドレス帳 • 拡張アドレス帳 • アドレス入力（メール） • アドレス入力（フォルダー） 宛先を確認または変更する（5-35ページ）
カラーTIFF圧縮方式		本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。 設定値：TIFF V6、TTN2
初期画面		[送信]キーを選択すると、最初に表示される画面を設定します。 設定値：宛先、アドレス帳、拡張アドレス帳、ワンタッチ
新規宛先の入力		宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。 設定値：許可する、禁止する*1
再宛先		送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。*1 設定値：許可する、禁止する

*1　ファクスの送信時にも適用されます。

文書ボックス

[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス]

ジョブボックスやFコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。

項目		説明
Fコードボックス		ファクス使用説明書
ジョブボックス		ジョブボックスに関する設定を行います。
	クイックコピージョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値：0 ～300の範囲 参考 0 を設定するとクイックコピーは使用できません。
	一時保存文書の自動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値：設定しない、1時間、4時間、1日、1週間 参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
ポーリングボックス		ファクス使用説明書

ファクス

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス]

ファクスに関する設定を行います。

ファクス使用説明書

アドレス帳/ワンタッチ

アドレス帳

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]

アドレス帳に関する設定を行います。

アドレス帳に宛先を登録する（3-21ページ）

ワンタッチキー

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

ワンタッチキーに関する設定を行います。

ワンタッチキーを登録する（3-28ページ）

アドレス帳初期設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳初期設定]

設定項目	説明
表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。 設定値：番号、フリガナ
アドレス帳	拡張アドレス帳を表示する順番の初期値を設定します。

リスト印刷

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [リスト印刷]

➡ ファクス使用説明書

ユーザー/部門管理

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

本機の管理に関する設定を行います。

➡ ユーザー管理とは（9-2ページ）
部門管理とは（9-29ページ）
ID不明ジョブ処理を設定する（9-43ページ）

プリンター

[システムメニュー/カウンター]キー > [プリンター]

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

項目		説明
エミュレーション		本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値：PCL6、KPDL、KPDL（自動） 参考 [KPDL（自動）]を選択した場合は、「代替エミュレーション」の設定も行ってください。 [KPDL]または[KPDL（自動）]を選択した場合は、「KPDLエラーレポート」の設定も行ってください。
	代替エミュレーション	エミュレーションモードに[KPDL（自動）]を選択すると、印刷するデータに応じてKPDLともう1つのエミュレーションモード（代替エミュレーション）を自動的に切り替えることができます。 設定値：PCL6
	KPDLエラーレポート	KPDLエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値：設定しない、設定する
カラー設定		印刷をカラーかまたは白黒かを選択できます。 設定値：カラー、白黒
エコプリント		エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値：設定しない、設定する

項目	説明
A4/Letterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない：A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する：A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。
両面印刷	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値：片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
部数	印刷部数を1～999部まで設定します。 設定値：1～999部
印刷向き	印刷方向を［たて］または［よこ］に設定します。 設定値：たて、よこ
ワイドA4	この設定を［設定する］にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します（10 cpi）。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値：設定しない、設定する
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ（印刷）を行います。この待ち時間を5～495秒の範囲で設定します。 設定値：5～495秒（5秒単位）
改行（LF）動作	本機が改行コード（文字コード0AH）を受信したときの動作を設定します。 設定値：改行（LF）のみ、改行（LF）+復帰（CR）、改行（LF）を無視する
復帰（CR）動作	本機が復帰コード（文字コード0DH）を受信したときの動作を設定します。 設定値：復帰（CR）のみ、改行（LF）+復帰（CR）、復帰（CR）を無視する
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する 参考 ［使用する］を選択した場合は、使用するジョブ名を［ジョブ名］、［ジョブ番号&ジョブ名］、［ジョブ名&ジョブ番号］の中から選択してください。
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。用紙の全面に4.2 mmの非印刷領域があります。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものとは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。 設定値 たて：-76.0～+76.0 mm よこ：-76.0～+76.0 mm
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 設定しない：プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時：プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時：手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動：用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定：選択した給紙元の用紙で印刷します。

項目	説明
自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。 設定値：設定しない、設定する 参考 [設定しない]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に以下の用紙を補給してください。」（○はカセットの番号）または「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」と表示して印刷を停止します。 メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。 他のカセットから印刷する場合は、[用紙選択]を選択して給紙元を選択します。 [設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。
解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値：600 dpi、1200 dpi 参考 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
光沢モード	光沢モードを設定すると、印刷物の光沢を増やすことができます。ただし、印刷時間が長くなります。 設定値：設定しない、設定する 重要 この機能は、用紙種類が[ラベル紙]や[OHPフィルム]以外の設定で有効です。 カセット/手差しトレイ設定（8-8ページ） 光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙がカールすることがあります。その場合はカールしにくい用紙に代えてみてください。

システム/ネットワーク

本機のシステムについて設定します。

ネットワーク

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク]

ネットワークに関する設定を行います。

ホスト名

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ➡ デバイス情報を変更する（2-56ページ）

Wi-Fi Direct設定

Wi-Fi Directの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
デバイス名	デバイス名を設定します。 参考 • 32文字まで入力できます。 • この機能は、Wi-Fi Directが[使用する]の場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。 ➡ TCP/IP設定（8-28ページ） 参考 この機能は、Wi-Fi Directが[使用する]の場合に表示されます。
自動切断	Wi-Fi Directで接続された機器を自動的に切断します。 設定値：使用しない、使用する 参考 • [使用する]を選択した場合は、自動的に切断するまでの時間を設定してください。 • この機能は、Wi-Fi Directが[使用する]の場合に表示されます。

Wi-Fi設定

Wi-Fiの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうか設定します。 設定値：使用しない、使用する

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>セットアップ</td><td>－</td></tr>
<tr><td>接続の状態</td><td>無線LANの状態を確認できます。</td></tr>
<tr><td>簡単セットアップ</td><td>ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
参考
• ［更新］を選択すると、リストが更新されます。
• WEPが設定されているアクセスポイントと接続する場合は、［WEPキーインデックス］を選択してWEPキーインデックスを選択してください。</td></tr>
<tr><td>利用可能なネットワーク</td><td>接続可能なアクセスポイントを選択して［接続］を選択し、事前共有キーまたはWEPキーを入力すると接続を開始します。</td></tr>
<tr><td>WEPキーインデックス</td><td>アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。
設定値：0～3</td></tr>
<tr><td>プッシュボタン方式</td><td>アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。
参考
プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。</td></tr>
<tr><td>PINコード方式（本体）</td><td>本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。</td></tr>
<tr><td>カスタムセットアップ</td><td>無線LANの詳細設定を変更できます。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク名（SSID）</td><td>本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。
参考
32文字まで入力できます。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク認証</td><td>ネットワーク認証の方式を選んでください。
設定値：オープンシステム、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2-EAP</td></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>暗号化方式を設定します。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。
<table>
<tr><th>ネットワーク認証</th><th colspan="2">暗号化方式</th></tr>
<tr><td rowspan="2">オープンシステム</td><td>無効</td><td>—</td></tr>
<tr><td>WEP</td><td>WEPキー：26文字まで
WEPキーインデックス：0～3</td></tr>
<tr><td>WPA2/WPA-PSK</td><td colspan="2">データの暗号化：AES、自動
事前共有キー：64文字まで</td></tr>
<tr><td>WPA2-PSK</td><td colspan="2">データの暗号化：AES
事前共有キー：64文字まで</td></tr>
<tr><td>WPA2/WPA-EAP</td><td colspan="2">データの暗号化：AES、自動</td></tr>
<tr><td>WPA2-EAP</td><td colspan="2">データの暗号化：AES</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

項目	説明
TCP/IP設定	－
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
IPv4設定	TCP/IP（IPv4）でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
DHCP	DHCP（IPv4）サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値：###.###.###.### 参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値：###.###.###.### 参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値：###.###.###.### 参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレーアウトになり、入力できません。

重要

- Auto-IPを使用する場合、IPアドレスを0.0.0.0に設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
IPv6設定	TCP/IP（IPv6）でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPv6	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する 参考 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス（Link Local）/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP（IPv6）のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス（手動）：128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン（：）で分割 プレフィックス長：0～128 デフォルトゲートウェイ：128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン（：）で分割 参考 • この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 • [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA（Stateless）]を[使用しない]に設定します。
RA（Stateless）	RA（Stateless）を使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する 参考 • この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 • [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス（Stateless）/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
DHCP	DHCP（IPv6）サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する 参考 • この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 • [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス（Stateful）/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

有線設定

有線ネットワークの設定を行います。

項目	説明
TCP/IP設定	設定値は次を参照してください。 ➡ TCP/IP設定（8-28ページ）
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値：自動、10BASE-T Half、10BASE-T Full、100BASE-T Half、100BASE-TX Full、1000BASE-T

重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

Bonjour

項目	説明
プロトコル設定	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	

IPSec

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する

プロトコル設定

プロトコルの設定を行います。

項目	説明
NetBEUI	–
プロトコル設定	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。*1 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 **参考** この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	

項目	説明
LPD	–
プロトコル設定	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
SMTP（メール送信）	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
POP3（メール受信）	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
FTPクライアント（送信）	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、FTPが使用するポート番号を設定できます。ポート番号の工場出荷時の値は21です。 設定値：使用しない、使用する（ポート番号：1 – 65535）
FTPサーバー（受信）	–
プロトコル設定	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
SMBクライアント（送信）	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[使用する]の場合、SMBが使用するポート番号を設定できます。ポート番号の工場出荷時の値は445です。 設定値：使用しない、使用する（ポート番号：1 – 65535）
WSDスキャン	–
プロトコル設定	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	

項目	説明
WSD印刷	–
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーはこのEnhanced WSD のWeb サービスを利用します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定] を [使用する] にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
DSMスキャン	DSMスキャンを使用するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
SNMP	–
プロトコル設定	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定] を [使用する] にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
SNMPv3	–
プロトコル設定	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定] を [使用する] にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
HTTP	–
プロトコル設定	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定] を [使用する] にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	

項目	説明
HTTPS	–
プロトコル設定	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。[*1][*2] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
IPP	–
プロトコル設定	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、Command Center RXからセキュリティー設定で[非セキュア（IPPSとIPP）]を選択してください。[*1] 設定値：使用しない、使用する
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は631です。[*1] 設定値：1 – 32767 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
IPP over SSL	–
プロトコル設定	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。[*1][*2] 設定値：使用しない、使用する 参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。 ➡ Command Center RX操作手順書
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は443です。[*1] 設定値：1 – 32767 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

項目	説明
RAW Port	–
プロトコル設定	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
ThinPrint	–
プロトコル設定	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。[*1*2] 設定値：使用しない、使用する 参考 この機能は、オプションのThinPrint Optionが起動していない場合は表示されません。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 設定値：1 – 32767 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Thin Print over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[使用する]を選択してください。[*1*2] 設定値：使用しない、使用する 参考 • この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。 • 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。 ➡ Command Center RX操作手順書
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	
Enhanced WSD	–
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。[*1] 設定値：使用しない、使用する 参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAX ドライバーが使用できません。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi）	
利用可能なネットワーク（有線）	

項目	説明
Enhanced WSD over SSL	–
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。*1*2 設定値：使用しない、使用する 参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
eSCL	–
プロトコル設定	eSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。*1 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
eSCL over SSL	–
プロトコル設定	SSLで保護されたeSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。*1*2 設定値：使用しない、使用する
利用可能なネットワーク（Wi-Fi Direct） 利用可能なネットワーク（Wi-Fi） 利用可能なネットワーク（有線）	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値：無効、有効 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。
*2 「セキュリティー設定」で「SSL」を[使用する]にしてください。
➡ セキュリティー設定（8-36ページ）

重要
設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティー設定

項目	説明
SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値：使用しない、使用する
IPPセキュリティー	IPPセキュリティーレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値：IPP/IPP over SSL、IPP over SSLのみ
HTTPセキュリティー	HTTPセキュリティーレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値：HTTP/HTTPS、HTTPSのみ
SMTPセキュリティー	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「SMTP」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値：使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティー（ユーザー1）	POP3サーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「POP3」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値：使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティー（ユーザー2）	
POP3セキュリティー（ユーザー3）	

Ping

項目	説明
Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。

ネットワークの再起動

項目	説明
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

優先ネットワーク（クライアント）

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [優先ネットワーク（クライアント）]

項目	説明
優先ネットワーク（クライアント）	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークを設定します。 設定値：Wi-Fi、有線

インターフェイスブロック設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [インターフェイスブロック設定]

USBホストなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート（USBホスト）をブロックして保護します。 設定値：ブロックしない、ブロックする

項目	説明
USBデバイス	USBインターフェイスコネクター（USBデバイス）をブロックして保護します。 設定値：ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値：ブロックしない、ブロックする 参考 この機能は、USBホストを［ブロックしない］にしている場合に設定できます。

重要
設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティーレベル

［システムメニュー/カウンター］キー > ［システム/ネットワーク］ > ［セキュリティーレベル］

項目	説明
セキュリティーレベル	セキュリティーのレベルを設定します。 設定値 低い：メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 高い：弊社が推奨するセキュリティー設定です。通常はこの設定を使用してください。 最高：［高い］の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。

再起動

［システムメニュー/カウンター］キー > ［システム/ネットワーク］ > ［再起動］

項目	説明
再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください（パソコンの再起動と同様です）。

RAMディスク設定

［システムメニュー/カウンター］キー > ［システム/ネットワーク］ > ［RAMディスク設定］

項目	説明
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。 RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 設定値 RAMディスク設定：設定しない、設定する RAMディスクサイズ：搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。 参考 オプションの拡張メモリーを装着している場合に表示されます。

重要
設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

オプションメモリー使用量

［システムメニュー/カウンター］キー > ［システム/ネットワーク］> ［オプションメモリー使用量］

項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。 設定値：プリンター優先、標準、コピー優先

重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

オプション機能

［システムメニュー/カウンター］キー > ［システム/ネットワーク］> ［オプション機能］

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 オプションのアプリケーションについて（11-6ページ）

日付/タイマー/節電

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値：年（2000～2037）、月（1～12）、（1～31）、時（00～23）、分（00～59）、秒（00～59） ➡ 日付と時刻を設定する（2-23ページ） 参考 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値：月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT（世界標準時）からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値：設定しない、設定する 参考 リセットされるまでの時間は、次を参照してください。 ➡ パネルリセット時間（8-39ページ）
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値：5～495秒（5秒単位） 参考 この機能は、[オートパネルリセット]を[設定する]にしている場合に表示されます。
スリープレベル	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値：復帰優先、節電優先
節電優先	次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 ・ネットワーク接続時 ・ICカードリーダー接続時[*1] ・ファクス接続時 設定値：使用しない、使用する 参考 節電優先のスリープモードに入ると、ICカードは認識しません。
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値：1～240分（1分単位） ➡ スリープとは（2-32ページ）

項目	説明
節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。 設定値： 全体復帰：　すべての機能をすぐに使えるよう復帰するモードです。 ただし、節電効果は低いです。 通常復帰：　すべての機能をすぐに使えるよう復帰するか、使用したい機能のみ使えるよう復帰するか、操作に応じて使い分けることができるモードです。 すべての機能をすぐに使いたい場合は、[節電]キーを押すと復帰します。 省電力復帰：使用したい機能のみ使えるよう復帰するモードです。節電効果が一番高いです。
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値：設定しない、設定する
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値：5～495秒（5秒単位） 参考 この機能は、[エラー後自動継続]を[設定する]にしている場合に表示されます。
使用禁止時間	受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。 ファクス使用説明書
Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。 設定値：1～30秒（1秒単位）

*1　オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

調整/メンテナンス

[システムメニュー/カウンター]キー ＞ [調整/メンテナンス]

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目		説明
濃度調整		濃度を全体的にこく、またはうすくします。
	コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）
	送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）
コントラスト		コントラストを全体的に高く、または低くします。
	コピー	コピーのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値：-3（低く）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（高く）
	送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値：-3（低く）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（高く）
黒筋軽減処理		原稿送り装置を使用して読み込んだ画像に筋（原稿にない線状の汚れ）が発生した場合、この筋を目立たないようにします。 設定値：設定しない、設定する
画面の明るさ		タッチパネルの明るさを調整します。 設定値：1（暗く）、2、3、4、5（明るく）
カラー印刷位置補正		本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こる場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれを解消できます。 カラー印刷位置補正を実行する（10-28ページ）

項目	説明
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。約2分かかります。所要時間は使用環境により異なる場合や、時間がかかる場合があります。 ➡ ドラムリフレッシュを実行する（10-33ページ） 参考 印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。
キャリブレーション	印刷された画像の色ずれや原稿との色合いを改善します。 ➡ キャリブレーションを実行する（10-33ページ）
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦の白線を改善します。 ➡ レーザースキャナークリーニングを実行する（10-33ページ）
サービス設定	本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。

9 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理）

この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理とは 9-2
パソコンからユーザーを管理する 9-2
ユーザー管理を有効にする 9-3
ユーザー管理を設定する 9-4
認証セキュリティーを設定する 9-4
新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト） 9-5
ユーザー情報を変更する 9-8
印刷のユーザー管理 9-11
TWAINを使ったスキャンのユーザー管理 9-12
WIAを使ったスキャンのユーザー管理 9-13
パソコンから送信するファクスのユーザー管理 9-14
グループ認可を設定する 9-15
ゲスト認可を設定する 9-18
ネットワークユーザー情報を取得する 9-21
簡単ログイン設定とは 9-23
ICカード認証方法を設定する 9-26
PINコード認証を設定する 9-27
ユーザー管理の使いかた 9-28
ログイン/ログアウトをする 9-28
部門管理とは 9-29
パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する 9-29
部門管理を有効にする 9-30
部門管理方式を設定する 9-30
部門管理を設定する 9-31
部門を新規に登録する 9-31
使用制限を設定する 9-32
部門情報を編集する 9-33
部門を削除する 9-34
印刷の部門管理をする 9-35
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する 9-36
WIAを使ったスキャンジョブを管理する 9-37
パソコンから送信したファクスジョブを管理する 9-38
部門管理の運用 9-39
初期設定 9-39
使用枚数を集計する 9-40
部門管理レポートを印刷する 9-41
部門管理の使いかた 9-42
ログイン/ログアウトをする 9-42
不明ユーザー処理方法を設定する 9-43
ID不明ジョブ処理を設定する 9-43
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する 9-44

ユーザー管理とは

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

1 ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）

2 ユーザーを設定する（9-4ページ）

3 ログインユーザー名とパスワードを入力してジョブを実行する（2-21ページ）

ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

パソコンからユーザーを管理する

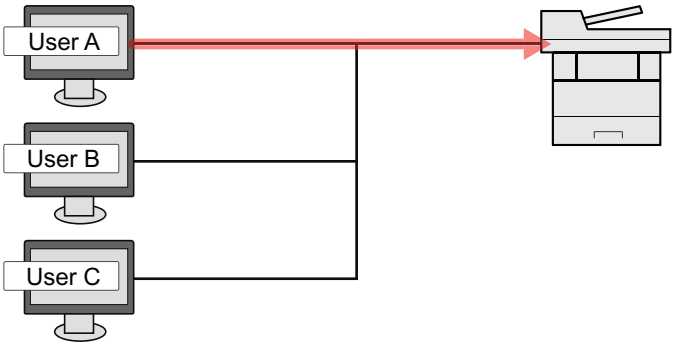
パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する場合

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

1 プリンタードライバーでユーザー管理を設定する（9-11ページ）

2 印刷する



TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

➡ TWAINを使ったスキャンのユーザー管理（9-12ページ）

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

➡ WIAを使ったスキャンのユーザー管理（9-13ページ）

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

➡ パソコンから送信するファクスのユーザー管理（9-14ページ）

ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。ユーザーの認証方法を次の2種類から選択してください。

項目	詳細
ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情報でログインしてください。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 ［**ユーザー管理設定**］> ［**ユーザー管理**］

2 設定する

1 ［**ローカル認証**］または［**ネットワーク認証**］を選択します。

ユーザー管理を無効にする場合は［**設定しない**］を選択します。

［**ネットワーク認証**］を選択した場合は、サーバータイプを［NTLM］［Kerberos］または［Ext.］から選択してください。また、認証サーバーのホスト名（64文字以内）とドメイン名（256文字以内）を入力してください。

サーバータイプで［Ext.］を選択した場合は、ポート番号を入力します。

参考

- ユーザー管理を無効にする場合は［**設定しない**］を選択します。
- ［ドメイン名］を選択するとドメイン入力画面が表示されます。ドメイン名を入力してください。ドメイン名は10件まで登録できます。

2 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。新しい機能をホーム画面に表示させたい場合は［**はい**］を選択して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

➡ デスクトップに表示できる機能（2-14ページ）

参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。

ユーザー管理を設定する

ユーザーの登録や変更、削除、ユーザー管理の設定を行います。

認証セキュリティーを設定する

ユーザー認証が有効な場合に、ユーザー認証のセキュリティーに関する設定を行います。

ユーザーアカウントロックアウトを設定する

ログイン時にパスワードを連続して間違えて入力した場合に、そのユーザー名でのログインを禁止する設定を行います。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
>
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
>
> ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［ユーザー管理設定］> ［ユーザーアカウントロックアウト設定］

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。 設定値：設定しない、設定する
ロックアウトポリシー	アカウントロックアウトが適用される条件と適用する範囲を設定します。 設定値 ロックまでの回数：何回ログインに失敗するとロックされるのかを設定します。（1～10回） ロックアウト期間：ロックが解除されるまでの時間を設定します。（1～60分） ロックアウト対象：アカウントロックアウトを適応する範囲を設定します。［リモートログインのみ］と［すべて］から選択できます。リモートログインのみは操作部以外からの操作をすべてロックします。
ロックされているユーザーのリスト	ロックされているユーザーがリストに表示されますので、ロックを解除するユーザーを選択し、［ロック解除］を選択すると、選択したユーザーのロックを解除します。 **参考** アカウントロックアウトポリシーを有効にしたときに表示されます。

新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト）

ユーザーは20人まで登録できます（ログインユーザー名の初期値を含む）。

参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。（大文字・小文字は区別されます。）

機器管理者

ユーザー名：	DeviceAdmin
ユーザー名（フリガナ）：	DeviceAdmin
ログインユーザー名：	2600
ログインパスワード：	2600
アクセスレベル：	機器管理者

管理者

ユーザー名：	Admin
ユーザー名（フリガナ）：	Admin
ログインユーザー名：	Admin
ログインパスワード：	Admin
アクセスレベル：	管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティー保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー ＞ ［ユーザー/部門管理］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名：	2600
ログインパスワード：	2600

2 ［ユーザー管理設定］ ＞ ［ローカルユーザーリスト］ ＞ ［＋］

2 ユーザー情報を入力する

[次へ]を選択します。

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名（フリガナ）	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
アクセスレベル	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

3 ユーザー情報を確認する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
ユーザー名*1	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名（フリガナ）*1	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名*1	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。 確認画面で、新しいパスワードをもう一度入力して、[OK]キーを選択してください。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 部門管理とは（9-29ページ） **参考** [メニュー] > [**検索（フリガナ）**]または[**部門コード検索**]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 [メニュー] > [**表示順（フリガナ）**]または[**表示順（ID）**]を選択すると、部門名の並べ替えができます。
アクセスレベル*1	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。
ICカード情報	ICカードの情報を登録します。ICカードリーダーにICカードをおいて、[**読み取り**]を選択してください。 **参考** この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 オプションのアプリケーションについて（11-6ページ）

*1　ユーザー登録のときの必須項目です。

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

文字の入力（11-8ページ）

4 ［登録］を選択する

ローカルユーザーリストに新しいユーザーが追加されます。

参考

簡単ログインを設定している場合、新規登録が完了したときに簡単ログインの設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。簡単ログインを設定する場合は［**はい**］を選択してください。［**いいえ**］を選択するとユーザーリスト画面に戻ります。
簡単ログインの設定方法については、次を参照してください。

簡単ログイン設定とは（9-23ページ）

ユーザー情報を変更する

変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。

参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

「管理者」の権限を持つユーザーでログインする

ユーザー情報の変更やユーザーの削除ができます。登録できるすべての項目を変更できます。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー ＞ ［**ユーザー/部門管理**］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

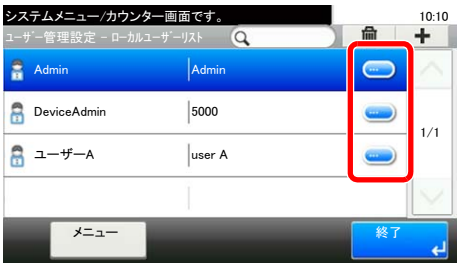
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 ［**ユーザー管理設定**］＞［**ローカルユーザーリスト**］

2 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する場合

1 ユーザー情報を変更するユーザーの［ ］を選択します。



参考

- ［**メニュー**］＞［**検索（フリガナ）**］または［**検索（ログインユーザー名）**］を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。
- ［**メニュー**］＞［**表示順（フリガナ）**］または［**表示順（ログインユーザー名）**］を選択すると、ユーザーリストの並べ替えができます。

2 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。

➡ 新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト）（9-5ページ）

3 ［登録］> ［はい］

ユーザー情報が変更されます。

ユーザーを削除する場合

1 削除するユーザーを選択します。

2 ［🗑］> ［はい］

ユーザーが削除されます。

参考

工場出荷時に登録されている、「機器管理者」の権限を持つデフォルトユーザーは削除できません。

ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する（ユーザー情報）

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。変更できる項目は、「ユーザー名」、「ユーザー名（フリガナ）」、「ログインパスワード」および「簡単ログイン」です。

「ログインユーザー名」、「アクセスレベル」および「部門名」の変更はできませんが、現在の登録を参照できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー > [ユーザー情報]

2 ユーザー情報を変更する

1 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。

➡ 新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト）（9-5ページ）

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。 32文字まで入力できます。
ユーザー名（フリガナ）	ユーザー名のフリガナを変更します。 32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。 64文字まで入力できます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
部門管理	ログインしているユーザーに設定されている使用制限を参照します。 参考 [部門管理] で、ログインしているユーザーに設定されている部門名および部門に設定されている使用制限を参照します。 この機能は、部門管理が [**設定する**] の場合に表示されます。 ➡ 部門管理を有効にする（9-30ページ）
ICカード情報	ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。 参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 ➡ オプションのアプリケーションについて（11-6ページ） この機能は、ネットワーク認証のサーバータイプで [Ext.] を選択していて、そのタイプのサーバーで管理されているユーザーでログインした場合は表示されません。
簡単ログイン	簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。 参考 この機能は、簡単ログインが [**設定しない**]、または簡単ログインに登録していない場合は表示されません。

2 [**登録**] を選択します。

ユーザー情報が変更されます。

印刷のユーザー管理

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理することができます。

プリンタードライバーを設定する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

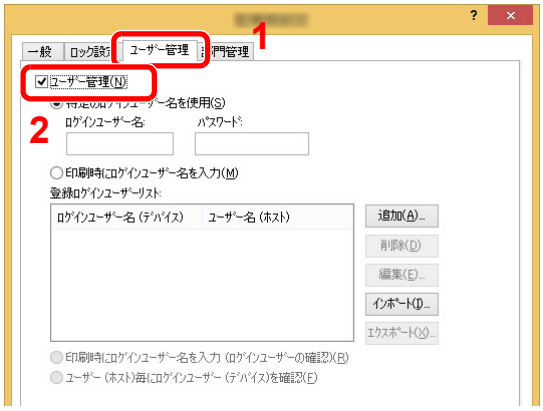
> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。

3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

1 [ユーザー管理]タブの[ユーザー管理]を選択します。



2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]：特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]：印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力（ログインユーザーの確認）]：印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー（ホスト）毎にログインユーザー（デバイス）を確認]：印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

> **参考**
> ユーザー管理についてのその他の設定は、次を参照してください。
> ➡ プリンタードライバー操作手順書

TWAINを使ったスキャンのユーザー管理

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

TWAINドライバーを設定する

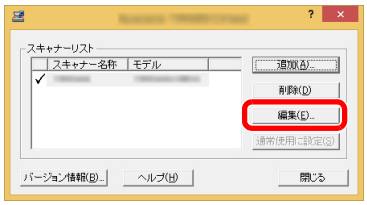
TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

> **参考**
> Windows 7の場合は、Windowsの[**スタート**]ボタン→[**すべてのプログラム**]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

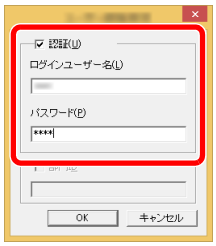
2 本機を選択し、[**編集**]をクリックします。



2 設定する

1 [**ユーザー認証設定**]をクリックします。

2 [**認証**]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキャンのユーザー管理

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

WIAドライバーを設定する

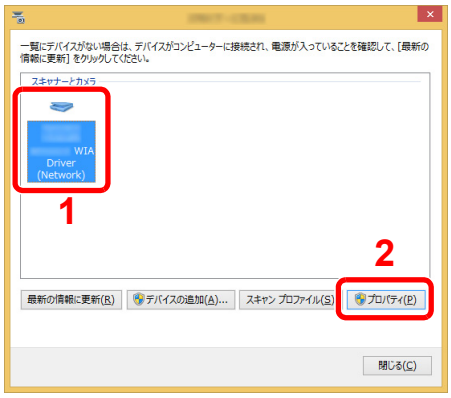
WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[**スタート**]ボタンをクリックし、[**プログラムとファイルの検索**]欄に[**スキャナー**]と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[**プロパティ**]ボタンをクリックします。



2 設定する

1 [**設定**]タブの[**認証**]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。

2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信するファクスのユーザー管理

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理することができます。

FAXドライバーを設定する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**設定**]→[**コントロールパネル**]→[**デバイスとプリンターの表示**]を選択します。

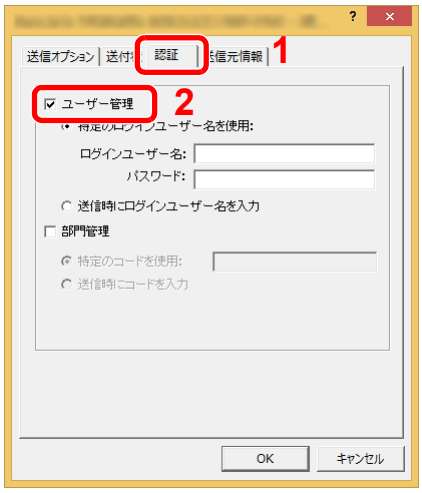
> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[**スタート**]ボタン→[**デバイスとプリンター**]を選択します。

2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[**印刷設定**]メニューをクリックします。

3 [**ファクス設定**]タブの[**ファクス送信設定**]をクリックします。

2 設定する

1 [**認証**]タブの[**ユーザー管理**]を選択します。



2 ユーザー管理を設定します。

[**特定のログインユーザー名を使用**]：特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[**送信時にログインユーザー名を入力**]：送信時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、送信するたびに入力する必要があります。

3 [OK]をクリックします。

グループ認可を設定する

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

参考

グループ認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を［**ネットワーク認証**］に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「使用する」に設定してください。

ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）
プロトコル設定（8-30ページ）

グループ認可設定を有効にする

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［**ユーザー/部門管理**］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

2 ［**ユーザー管理設定**］> ［**グループ認可設定**］> ［**グループ認可**］

2 ［設定する］を選択する

グループリストを登録する（最大登録件数：20件）

本機の使用を制限するグループを登録します。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、すべて「その他」になります。

登録する項目は、次のとおりです。

項目	詳細
グループID*1	グループリストに表示されるIDを、1～4294967295までの最大10桁で入力します。
グループ名	グループリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
アクセスレベル	グループ制限を、[**管理者**]または[**ユーザー**]から選択します。
プリンター制限	プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
プリンター制限（フルカラー）	プリンターのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
コピー制限	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
コピー制限（フルカラー）	コピーのフルカラーのみ、印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
両面制限	両面印刷のみを許可するかどうか設定します。
集約制限	ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。
エコプリント制限	エコプリントのみ許可するかどうか設定します。
送信制限	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ファクス送信制限	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ボックス保存制限	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
外部メモリー保存制限	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*1 「グループID」は、Windows ServerのADSIEditを使用して表示されるユーザー属性のPimaryGroupID値を設定してください。ADSIEditは、Windows Server 2003の場合、WindowsサーバーOSのインストールDVDに含まれるサポートツール（¥SUPPORT¥TOOLSフォルダー以下に収録されている）です。Windows Server 2008以降は、標準で実装されています。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［**ユーザー/部門管理**］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 ［ユーザー管理設定］>［グループ認可設定］>［グループリスト］>［＋］

2 設定する

1 グループIDを入力 >［次へ］

2 グループ名を入力 >［次へ］

> **参考**
> 文字の入力方法は、次を参照してください。
> ➡ 文字の入力（11-8ページ）

3 アクセスレベルを選択 >［次へ］

4 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

3 登録する

［登録］を選択します。

グループリストに新しいグループが追加されます。

ゲスト認可を設定する

ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。

参考

ゲスト認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

ユーザー管理を設定する（9-4ページ）

ゲスト認可設定を有効にする

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［**ユーザー/部門管理**］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 ［**ユーザー管理設定**］> ［**ゲスト認可設定**］> ［**ゲスト認可**］

2 ［設定する］を選択する

参考

ゲスト認可設定を有効にした場合、ログイン時に［**認証/ログアウト**］キーを選択する必要があります。

ゲストユーザーの初期設定では、モノクロコピーしか使用できません。それ以外の機能を使用したいときは、使用する機能の制限がないユーザーでログインするか、ゲストプロパティで設定を変更してください。

ゲストプロパティを設定する

ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。

登録する項目は、次のとおりです。

項目	詳細
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
ユーザー名（フリガナ）	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
アクセスレベル	ユーザーの権限が表示されます。変更はできません。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[**その他**]を選択してください。
認可情報	制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 **プリンター制限**： プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **プリンター制限（フルカラー）**： プリンターの印刷機能（フルカラー）を使用禁止にするかどうか設定します。 **コピー制限**： コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **コピー制限（フルカラー）**： コピーの印刷機能（フルカラー）を使用禁止にするかどうか設定します。 **両面制限**： 両面印刷のみを許可するかどうか設定します。 **集約制限**： ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。 **エコプリント制限**： エコプリントのみ許可するかどうか設定します。 **送信制限**： 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **ファクス送信制限**： ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **ボックス保存制限**： ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **外部メモリー保存制限**： 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

1 画面を表示する

1 [**システムメニュー/カウンター**]キー > [**ユーザー/部門管理**]

> **参考**
>
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
>
> ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> **ログインユーザー名**：　2600
> **ログインパスワード**：　2600

2 [**ユーザー管理設定**] > [**ゲスト認可設定**] > [**ゲストプロパティ**]

2 設定する

内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

3 登録する

［登録］を選択します。

ネットワークユーザー情報を取得する

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名は、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。

参考

LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を［**ネットワーク認証**］に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「**使用する**」に設定してください。

ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）
プロトコル設定（8-30ページ）

登録する項目は、次のとおりです。

項目	詳細
サーバー名*1	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを64文字以内で入力します。 サーバー名を入力しない場合、ネットワーク認証で設定しているサーバーからユーザー情報を取得します。
ポート	LDAPが使用するポート番号を設定します。通常は389を使用します。
名前1*2	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAP属性を32文字以内で入力します。
名前2*3	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAP属性を32文字以内で入力します。
認証方式*4	認証方式を設定します。［**簡易認証**］または［SASL］のどちらかを選択してください。設定変更後にシステムの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行ってください。
検索タイムアウト時間	タイムアウトするまでの時間を5～255秒の秒単位で入力します。

*1 WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。
*2 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。
*3 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActive Directoryの値がdisplayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。
*4 「ネットワーク認証」でサーバータイプを「Kerberos」に設定している場合に表示されます。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー ＞ ［**ユーザー/部門管理**］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 ［**ユーザー管理設定**］＞［**ネットワークユーザー情報の取得**］＞［**設定する**］

2 設定する

1 ［**サーバー名**］> LDAPサーバーのサーバー名または、IPアドレスを入力 >［OK］

2 ［**ポート**］> LDAPサーバーのポート番号を入力 >［OK］

3 ［**名前1**］> 表示するユーザー名を取得する際のLDAP属性を入力 >［OK］

4 手順3と同様にして、［**名前2**］を設定します。

5 サーバータイプを「Kerberos」に設定している場合は、［**認証方式**］を選択して認証方式を設定します。

6 LDAPサーバーからユーザー情報の検索を終了する時間を変更する場合は、［**検索タイムアウト時間**］を選択します。

7 ［＋］、［－］またはテンキーで検索する時間を入力 >［OK］ >［OK］

簡単ログイン設定とは

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があります。

参考

- ユーザーの登録は、次を参照してください。

➡ 新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト）（9-5ページ）

- 簡単ログインを使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

➡ ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）

- ゲスト認可を有効にした場合、簡単ログイン画面は表示されません。

簡単ログイン設定を有効にする

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

2 ［ユーザー管理設定］> ［簡単ログイン設定］> ［簡単ログイン］

2 ［設定する］または［設定しない］を選択する

簡単ログインのユーザー情報を登録する

簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

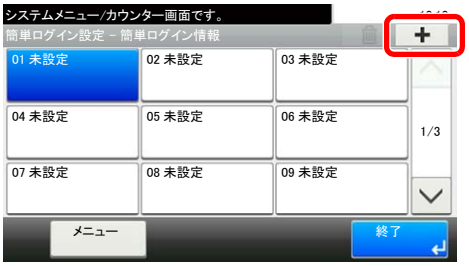
ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

2 ［ユーザー管理設定］> ［簡単ログイン設定］> ［簡単ログイン情報］

2 ユーザー情報を入力する

1 設定したいキーを選択します。

2 [＋]を選択します。



3 ユーザーをローカルユーザーから指定するときは[**ローカルユーザー**]を、ネットワークユーザーを指定するときは[**ネットワークユーザー**]を選択します。

選択した指定方法によって、操作手順が異なります。

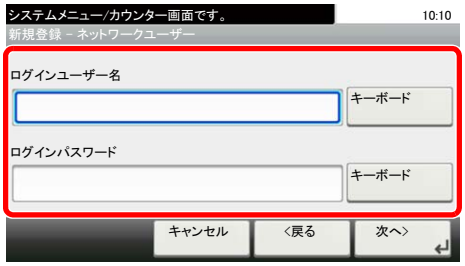
ローカルユーザーからユーザーを指定するとき

簡単ログインを設定するユーザーを選択してください。

参考

- [**メニュー**] > [**検索（フリガナ）**]または[**検索（ログインユーザー名）**]を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。
- [**メニュー**] > [**表示順（フリガナ）**]または[**表示順（ログインユーザー名）**]を選択すると、ユーザーリストの並べ替えができます。

ネットワークユーザーからユーザーを指定するとき



「ログインユーザー名」、「ログインパスワード」の[**キーボード**]を選択して登録するユーザーの情報を入力して、[OK]を選択してください。

ネットワーク認証でドメインを設定しているユーザーを指定するときは、「ドメイン」でユーザーを登録しているドメインを選択してください。

[**次へ**]を選択してください。

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

4 表示するユーザー名を入力して、[**次へ**]を選択します。

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ 文字の入力（11-8ページ）

5 ［**パスワード認証**］> ［**設定する**］または［**設定しない**］> ［**アイコン**］

6 表示するユーザーのアイコンを選択します。

3 登録する

［**登録**］を選択します。

ICカード認証方法を設定する

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。

参考

この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

オプションのアプリケーションについて（11-6ページ）

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

2 ［ユーザー管理設定］> ［ICカード設定］

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値：許可する、禁止する
追加認証*1	ICカードで認証した後に、ログインパスワードまたはPINコードを入力させるかどうかを設定します。 設定値：設定しない、パスワードを使う、PINコードを使う*2

*1　ネットワーク認証のサーバータイプを［NTLM］または［Kerberos］に設定している場合は表示されません。
*2　ネットワーク認証のサーバータイプを[ext.]にした場合に表示されます。

PINコード認証を設定する

参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

ユーザー管理を有効にする（9-3ページ）

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [**ユーザー/部門管理**]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 [PINコード認証]を選択します。

2 設定する

1 [**設定する**]または[**設定しない**]を選択します。

2 [OK]を選択します。

ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

➡ ログインする（2-21ページ）

ログアウトする

操作が終了したら、[**認証/ログアウト**]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

部門管理とは

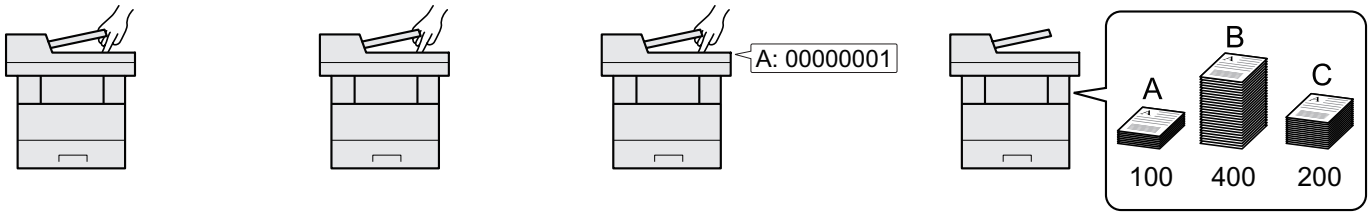
部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別にコピー/印刷/スキャン/ファクスの使用枚数を管理できる機能です。

1 部門管理を有効にする（9-30ページ）

2 部門を設定する（9-31ページ）

3 部門コードを入力してジョブを実行する（9-42ページ）

4 使用枚数が集計される。



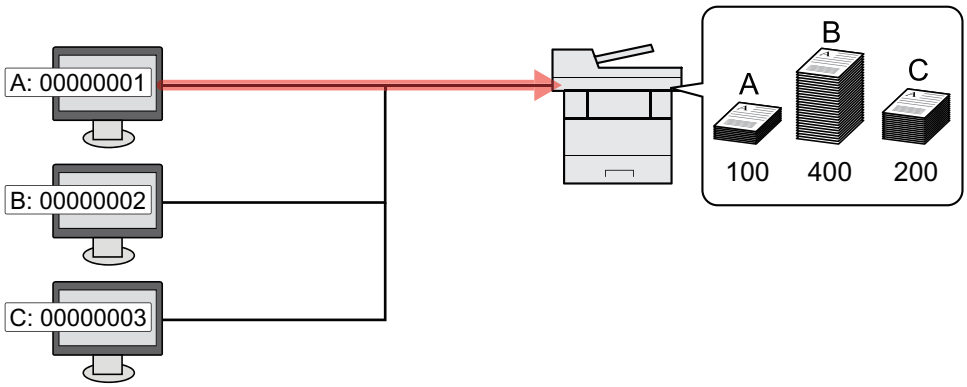
パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する（9-35ページ）

2 印刷する

3 使用枚数が集計される。



TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

➡ TWAINを使ったスキャンジョブを管理する（9-36ページ）

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

➡ WIAを使ったスキャンジョブを管理する（9-37ページ）

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

➡ パソコンから送信したファクスジョブを管理する（9-38ページ）

部門管理を有効にする

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［部門管理設定］> ［部門管理］

2 ［設定する］を選択する

> **参考**
> - 部門管理を無効にする場合は、［**設定しない**］を選択してください。
> - 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式を設定する

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［部門管理設定］> ［部門管理方式］

2 設定する

［**ローカル**］または［**ネットワーク管理**］を選択します。

部門管理を設定する

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門を新規に登録する

20部門まで登録できます。登録できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
部門名	部門名を、32文字以内で入力してください。
部門名（フリガナ）	部門名のフリガナを、32文字以内で入力してください。
部門コード	部門コードを、0～99999999までの最大8桁で入力してください。
使用制限	印刷/読み込みの禁止や、使用できる枚数を制限します。 ➡ 使用制限を設定する（9-32ページ）

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［部門管理設定］> ［部門リスト］> ［＋］

2 部門情報を入力する

1 部門名を入力 > ［次へ］

> **参考**
> 文字の入力方法は、次を参照してください。
> ➡ 文字の入力（11-8ページ）

2 「部門名（フリガナ）」を入力 > ［次へ］

3 「部門コード」を入力 > ［次へ］

> **参考**
> すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

4 使用制限の方法を選択します。

➡ 使用制限を設定する（9-32ページ）

5 ［登録］を選択します。

部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限を設定する

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

制限できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。

➡ コピー/プリンターカウント方法（9-39ページ）

使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合

項目	詳細
コピー制限（合計）	コピーの使用枚数を制限します。
コピー制限（フルカラー）	フルカラーコピーの使用枚数を制限します。
プリンター制限（合計）	印刷の使用枚数を制限します。
プリンター制限（フルカラー）	カラー印刷の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合

項目	詳細
印刷制限（合計）	コピーとプリンターの合計の使用枚数を制限します。
印刷制限（フルカラー）	フルカラーコピーとカラー印刷の合計の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限初期値	使用枚数を、1～9,999,999枚の範囲（1枚単位）で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

部門情報を編集する

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［**部門管理設定**］> ［**部門リスト**］

2 編集する

1 部門情報を変更する部門の［…］を選択します。

> **参考**
> - ［**メニュー**］> ［**検索（フリガナ）**］または［**部門コード検索**］を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。
> - ［**メニュー**］> ［**表示順（フリガナ）**］または［**表示順（ID）**］を選択すると、部門名の並べ替えができます。

2 変更する部門情報を選択して、部門情報を変更してください。

3 ［**登録**］> ［**はい**］

部門情報が変更されます。

部門を削除する

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［**ログイン**］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［部門管理設定］> ［部門リスト］

2 削除する

1 削除する部門を選択します。

2 ［🗑］> ［はい］

部門が削除されます。

印刷の部門管理をする

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

プリンタードライバーを設定する

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

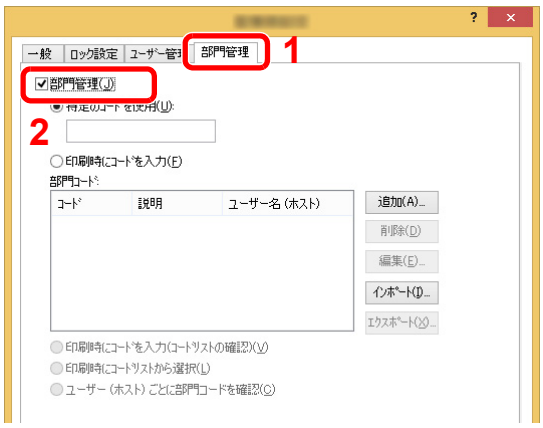
> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。

3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]：特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]：印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力（コードリストの確認）]：印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]：印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー（ホスト）ごとに部門コードを確認]：印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

> **参考**
> 部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。
> ➡ プリンタードライバー操作手順書

TWAINを使ったスキャンジョブを管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理することができます。

TWAINドライバーを設定する

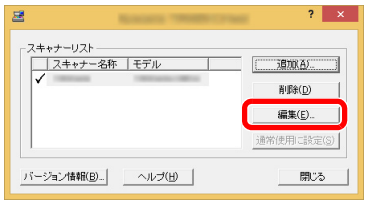
TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

> **参考**
> Windows 7の場合は、Windowsの[**スタート**]ボタン→[**すべてのプログラム**]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

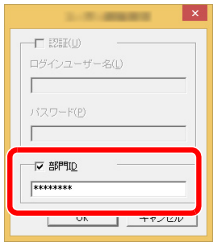
2 本機を選択し、[**編集**]をクリックします。



2 設定する

1 [**ユーザー認証設定**]をクリックします。

2 [**部門ID**]を選択して、部門コードを入力します。



3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキャンジョブを管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理することができます。

WIAドライバーを設定する

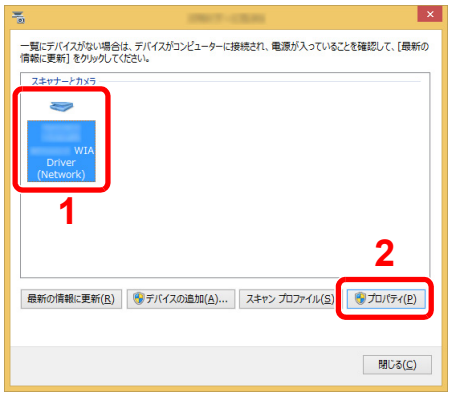
WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**検索**]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

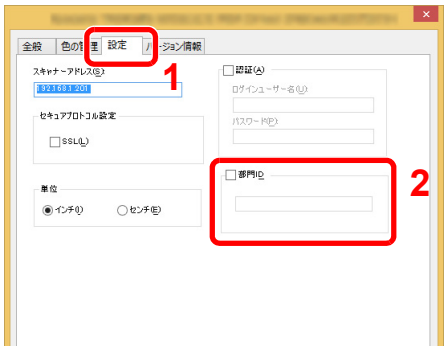
> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[**スタート**]ボタンをクリックし、[**プログラムとファイルの検索**]欄に[**スキャナー**]と入力します。検索された一覧の中から[**スキャナーとカメラの表示**]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[**プロパティ**]ボタンをクリックします。



2 設定する

1 [**設定**]タブの[**部門ID**]を選択して、部門コードを入力します。



2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信したファクスジョブを管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理することができます。

FAXドライバーを設定する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 デスクトップのチャームから[**設定**]→[**コントロールパネル**]→[**デバイスとプリンターの表示**]を選択します。

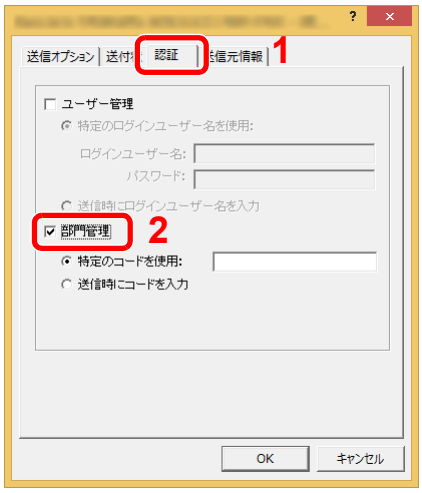
> **参考**
> Windows 7の場合はWindowsの[**スタート**]ボタン→[**デバイスとプリンター**]を選択します。

2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[**印刷設定**]メニューをクリックします。

3 [**ファクス設定**]タブの[**ファクス送信設定**]をクリックします。

2 設定する

1 [**認証**]タブの[**部門管理**]を選択します。



2 部門管理を設定します。

[**特定のコードを使用**]：特定の部門コードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとに部門コードを入力する必要がありません。

[**送信時にコードを入力**]：送信時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは送信するたびに入力する必要があります。

3 [OK]をクリックします。

部門管理の運用

初期設定

制限枚数に達したときの処理やコピーとプリンターの使用枚数の管理方法、使用制限の初期値を設定します。

［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］ > ［部門管理設定］ > ［初期設定］

詳細については、次の表を参照してください。

項目	説明
制限超過時設定	制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。 設定値 即時禁止：制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。 次ジョブから禁止：印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。 警告のみ：警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。
コピー/プリンターカウント方法	コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。この選択によって、使用枚数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。 設定値：合計、個別 ➡ 使用制限を設定する（9-32ページ） 部門管理レポートを印刷する（9-41ページ）
カウンター制限初期値	新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1 ～ 9,999,999 枚です。 設定できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。 ➡ コピー/プリンターカウント方法（9-39ページ）
コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合	
コピー制限（合計）	コピーの制限枚数の初期値を設定します。
コピー制限（フルカラー）	フルカラーコピーの制限枚数の初期値を設定します。
プリンター制限（合計）	印刷の制限枚数の初期値を設定します。
プリンター制限（フルカラー）	カラー印刷の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。
コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合	
印刷制限（合計）	コピーとプリンター合計の制限枚数の初期値を設定します。
印刷制限（フルカラー）	フルカラーコピーとカラー印刷の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。

使用枚数を集計する

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

［**システムメニュー/カウンター**］キー > ［**ユーザー/部門管理**］> ［**部門管理設定**］> ［**全部門集計**］または［**部門別集計**］

全部門集計

全部門の使用枚数を集計します。また、全部門の使用枚数を一括でリセットできます。

部門別集計

部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

使用枚数は次の項目別にカウントされています。

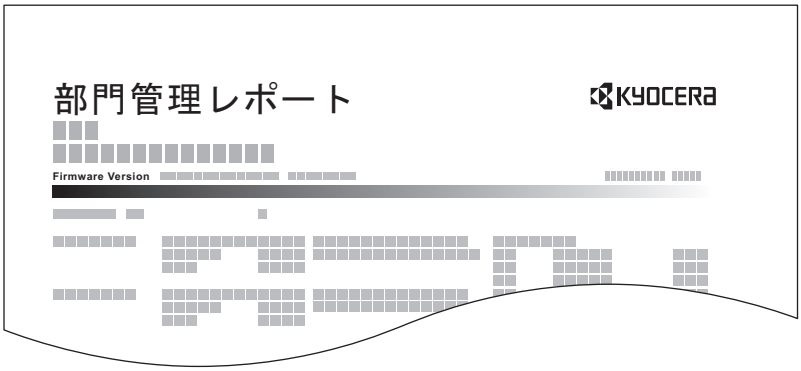
項目		説明
印刷ページ数		コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。また、「ファクス」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
	コピー（白黒）	白黒コピーの使用枚数が表示されます。
	コピー（フルカラー）	フルカラーコピーの使用枚数が表示されます。
	コピー（合計）	コピーの使用枚数が表示されます。
	プリンター（白黒）	白黒印刷の使用枚数が表示されます。
	プリンター（フルカラー）	フルカラー印刷の使用枚数が表示されます。
	プリンター（合計）	プリンターの使用枚数が表示されます。
	コピー/プリンター（白黒）	白黒コピーと白黒印刷の合計の使用枚数が表示されます。
	コピー/プリンター（フルカラー）	フルカラーコピーとフルカラー印刷の合計の使用枚数が表示されます。
	コピー/プリンター（合計）	コピーとプリンターの合計の使用枚数が表示されます。
	ファクス	ファクス受信の使用枚数が表示されます。
	合計	合計の使用枚数が表示されます。
	両面集計	［**片面**］、［**両面**］、およびその合計の使用枚数が確認できます。
	集約集計	［**なし**］（集約なし）、［2 in 1］、［4 in 1］、およびその合計の使用枚数が確認できます。
読み込みページ数		コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使用枚数が表示されます。
ファクス送信ページ		ファクス送信の使用枚数が表示されます。
ファクス送信時間		ファクス送信の使用時間が表示されます。
カウンターリセット		使用枚数をリセットします。 確認画面で［**はい**］を選択してください。

部門管理レポートを印刷する

全部門で集計された枚数を、部門管理レポートとして印刷できます。

レポートは、コピーとプリンターの枚数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。

コピーとプリンターの管理方法が「個別」の場合



部門管理レポートを印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理] > [部門管理設定]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名：　2600
ログインパスワード：　2600

3 印刷する

[部門管理レポート印刷] > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

部門管理の使いかた

部門管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、次の操作を行ってください。

1 **テンキーで部門コードを入力 > [ログイン]**

参考

- 入力を間違えたときは、[**クリア**]キーを選択して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- [**カウンター参照**]を選択すると、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

新しいユーザーを登録する（ローカルユーザーリスト）（9-5ページ）

2 **通常の操作を行います。**

ログアウトする

操作が終了したら、[**認証/ログアウト**]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

不明ユーザー処理方法を設定する

ID不明ジョブ処理を設定する

ログインユーザー名（ユーザーID）が不明なジョブ、またはログインユーザー名（ユーザーID）のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。
設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

1 ［システムメニュー/カウンター］キー > ［ユーザー/部門管理］

> **参考**
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
>
> ログインユーザー名：　2600
> ログインパスワード：　2600

2 ［不明ユーザー設定］> ［ID不明ジョブ処理］

2 設定する

［拒否する］または［許可する］を選択します。

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録すると、ジョブ状況画面やジョブ履歴画面で確認できるようになります。また、使用できる機能を制限することができます。

参考

この設定は、[**ID不明ジョブ処理**]を[**許可する**]にしている場合に表示されます。

ID不明ジョブ処理を設定する（9-43ページ）

1 画面を表示する

1 [**システムメニュー/カウンター**]キー > [**ユーザー/部門管理**]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名： 2600
ログインパスワード： 2600

2 [**不明ユーザー設定**] > [**ユーザー情報**]

2 ユーザー情報を入力する

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	ユーザー名を、32文字以内で入力します。 **参考** ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
ユーザー名（フリガナ）	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 **参考** ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[**その他**]を選択してください。 部門管理とは（9-29ページ） **参考** • [**メニュー**] > [**検索（フリガナ）**]または[**部門コード検索**]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 • [**メニュー**] > [**表示順（フリガナ）**]または[**表示順（ID）**]を選択すると、部門名の並べ替えができます。 • 部門管理が有効になっているときに表示されます。
認可情報	制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 **プリンター制限**： プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **プリンター制限（フルカラー）**： プリンターの印刷機能（フルカラー）を使用禁止にするかどうか設定します。

10　こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ 10-2
清掃について 10-2
原稿ガラスを清掃する 10-2
スリットガラスを清掃する 10-3
搬送ユニットを清掃する 10-4
消耗品の交換と補充 10-5
消耗品の交換と補充について 10-5
トナーコンテナを交換する 10-5
用紙を補給する 10-8
一般的なトラブル 10-9
トラブルが発生したら 10-9
機械動作のトラブル 10-9
画像のトラブル 10-12
カラー印刷のトラブル 10-15
こんな表示がでたら 10-16
メッセージが表示されたら 10-16
エラーメッセージ一覧 10-16
送信エラーコード一覧 10-25
調整/メンテナンスメニュー 10-28
調整/メンテナンスメニューについて 10-28
カラー印刷位置補正を実行する 10-28
ドラムリフレッシュを実行する 10-33
キャリブレーションを実行する 10-33
レーザースキャナークリーニングを実行する 10-33
紙づまりの解除 10-34
紙づまり表示の見かたと位置の確認 10-34
カセット1の紙づまりを除去する 10-35
カセット2の紙づまりを除去する 10-36
手差しトレイの紙づまりを除去する 10-38
後ろカバー1の紙づまりを除去する 10-41
原稿送り装置（自動両面）の紙づまりを除去する 10-43

日常のお手入れ

清掃について

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。

注意

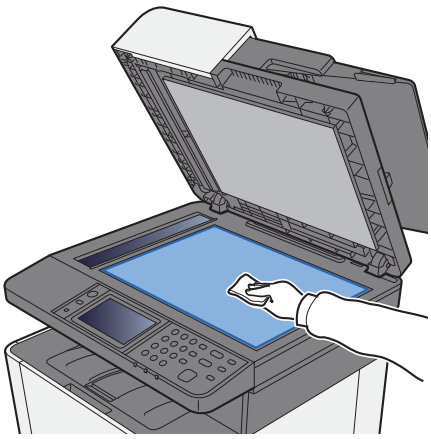
本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

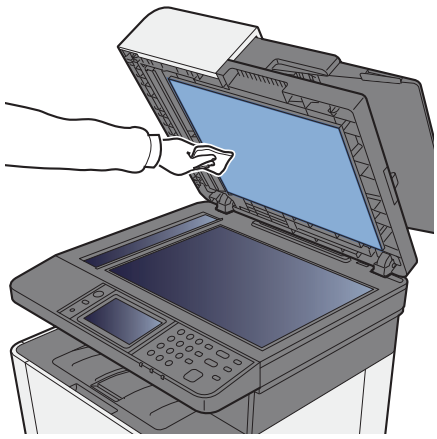
原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスをアルコールまたはうすい中性洗剤をつけた柔らかい布で拭いてください。

重要

シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。





スリットガラスを清掃する

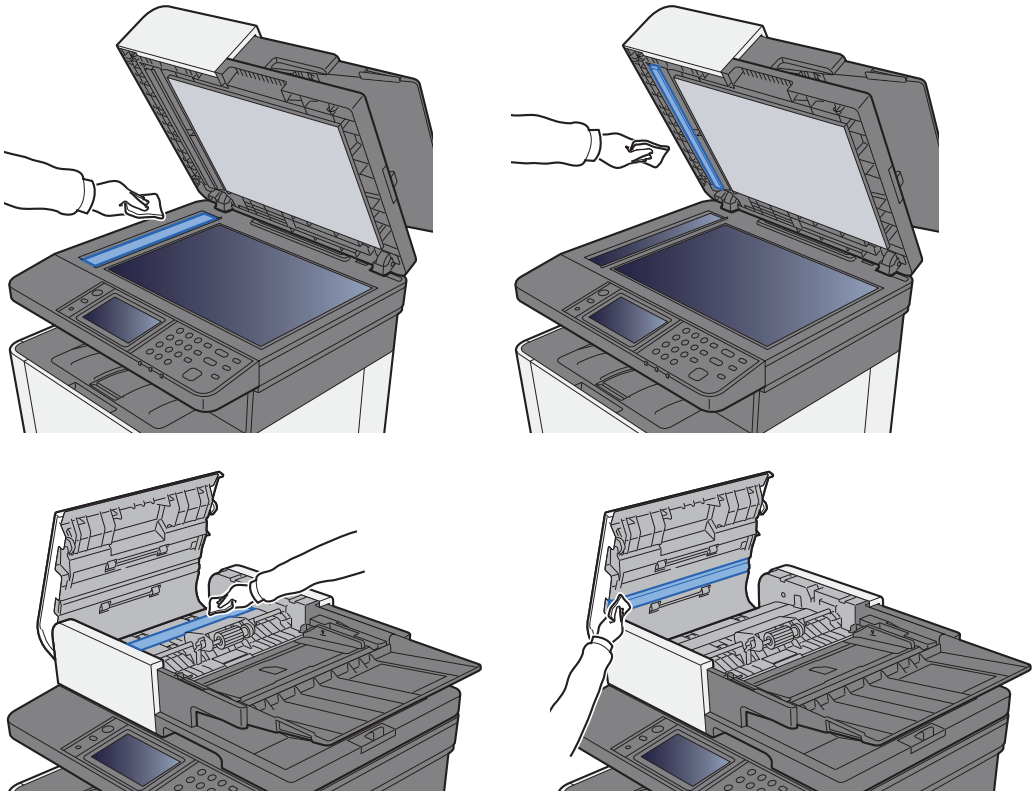
原稿送り装置を使用している場合、乾いた布でスリットガラスと読み取りガイドの表面を拭いてください。

重要

拭き取る際は水や洗剤を使用しないでください。

参考

スリットガラスや読み取りガイドの汚れは、出力紙に黒い筋などが写る原因となります。



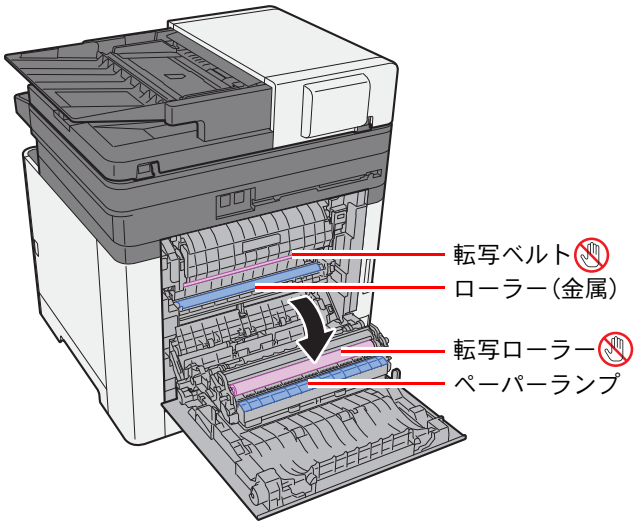
搬送ユニットを清掃する

トナーコンテナの交換時は、搬送ユニットの清掃をします。最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に1 回程度は本体内部を清掃することをお勧めします。

搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。

注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。



乾いた柔らかい布で、金属のローラーに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ります。

重要

清掃中は転写ローラーや転写ベルトに触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

消耗品の交換と補充

消耗品の交換と補充について

トナーがなくなったときやカセットの用紙がなくなったときは、本体の画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、消耗品を交換および補充してください。

トナーコンテナを交換する

トナーがなくなったときは、次のメッセージが表示されます。トナーコンテナを交換してください。

「トナー[C] [M] [Y] [K]がありません。」

また、トナー残量が少なくなると次のメッセージが表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

「トナーが残り少なくなっています。[C] [M] [Y] [K] (なくなったら交換)」

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック(K)	TK-5241K
シアン(C)	TK-5241C
マゼンタ(M)	TK-5241M
イエロー(Y)	TK-5241Y

トナーコンテナの交換時期

1本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ(どれだけのトナーを使うか)によって変わります。JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に準拠し、エコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです。(A4で印刷の場合。)

トナーの色	トナーコンテナの寿命(印刷枚数)
ブラック(K)	4,000枚
シアン(C)	3,000枚
マゼンタ(M)	3,000枚
イエロー(Y)	3,000枚

参考

- 本機に付属しているトナーコンテナの印刷枚数は、それぞれ1,200枚です。
- 品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。

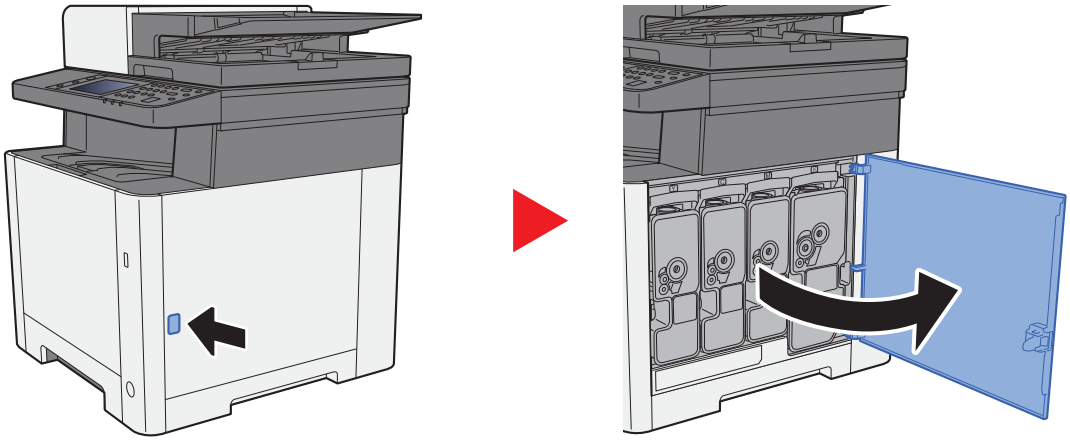
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

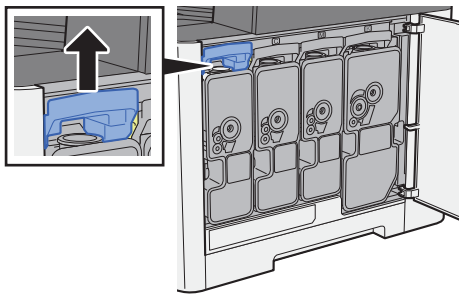
トナーコンテナの交換方法

トナーコンテナの交換手順は全色同じです。ここでは、イエローのトナーコンテナを例に説明します。

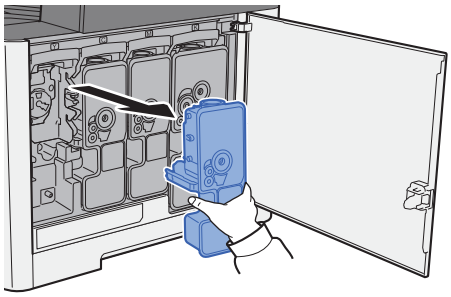
1 右カバーを開ける



2 ロックを解除する

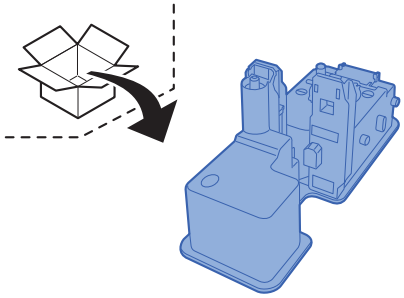


3 トナーコンテナを取り出す



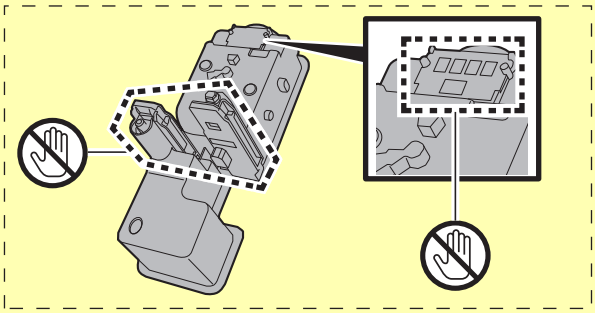
4 使用済みトナーコンテナを廃棄用ポリ袋に入れる

5 新しいトナーコンテナを取り出す

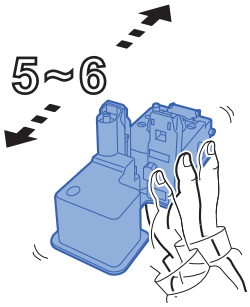


重要

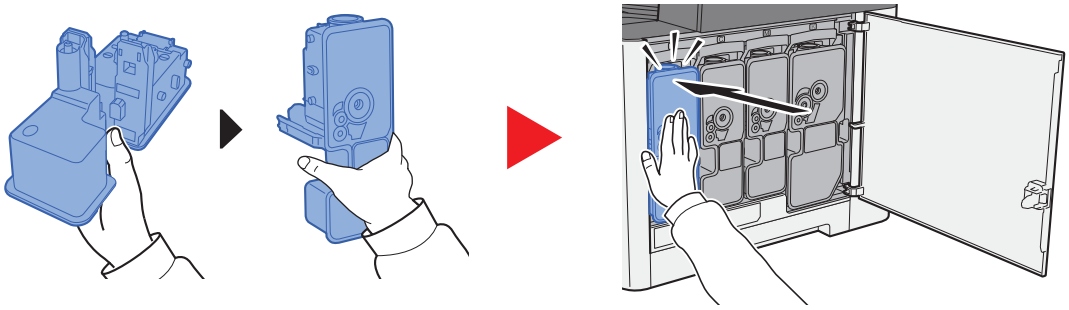
以下の箇所には手を触れないでください。



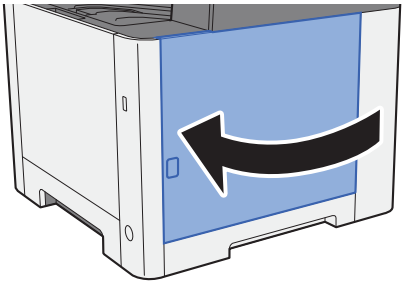
6 トナーコンテナを振る



7 トナーコンテナを装着する



8 右カバーを閉める



参考

- 右カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるかもう一度確認してください。
- 使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用紙を補給する

給紙段の用紙がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。用紙を補給してください。

「カセット○に以下の用紙を補給してください。」

「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」

用紙をセットする（3-2ページ）
手差しトレイに用紙をセットする（5-5ページ）

参考

用紙を補給したとき、[**用紙セット時の確認**] を [**設定する**] に設定している場合は、用紙設定の確認画面が表示されます。用紙を変更した場合、[**変更**] を選択して、用紙の設定を変更してください。

手差しトレイ（8-14ページ）
カセット1(2)（8-14ページ）

一般的なトラブル

トラブルが発生したら

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみてください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

参考

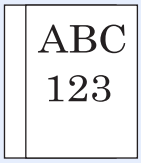
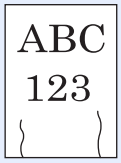
お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➡ 機器情報を表示する（2-16ページ）

機械動作のトラブル

機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処理を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-9ページ
[スタート]キーを押しても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていませんか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	10-16ページ
	スリープ状態になっていませんか？	[節電]キーを押してください。	2-32ページ
何も印刷されない。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	5-2ページ
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	5-3ページ
	―	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	―
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-4ページ
	―	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-4ページ
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-4ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-4ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	10-34ページ

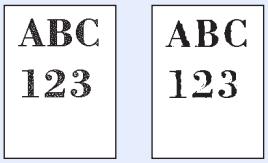
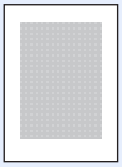
現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙が2枚以上重なってでる。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-2ページ
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-4ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-4ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-4ページ
用紙にカールが発生する。 	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-4ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-4ページ
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	電源が入っていますか？	電源スイッチを入れてください。	2-10ページ
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-8ページ
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	7-10ページ
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[**ブロックする**]になっていませんか？	USBホストの設定を、[**ブロックしない**]に変更してください。	8-36ページ
	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
[Auto-IP]を[使用する]に設定したが、IPアドレスが取得できない。	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0以外のアドレスが設定されていませんか？	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0を設定してください。	2-24ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-8ページ
	本体側のネットワーク設定は正しく設定されていますか？	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	8-30ページ
	フォルダーの共有設定は正しく設定されていますか？	フォルダーのプロパティで共有設定、アクセス許可を確認してください。	3-13ページ
	SMBプロトコルはオンになっていますか？	SMBプロトコルの設定を［**オン**］にしてください。	8-31ページ
	［**ホスト名**］を正しく入力しましたか？*1	データの宛先になるコンピューター名を確認してください。	5-18ページ
	［**パス**］を正しく入力しましたか？	共有フォルダーの共有名を確認してください。	5-18ページ
	［**ログインユーザー名**］を正しく入力しましたか？*1*2	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	5-18ページ
	［**ホスト名**］と［**ログインユーザー名**］のドメイン名が同じになっていませんか？	［**ログインユーザー名**］に入力されている「ドメイン名」と「¥」を削除してください。	5-18ページ
	［**ログインパスワード**］を正しく入力しましたか？	ログインパスワードを確認してください。	5-18ページ
	Windows ファイアウォールの例外設定は正しく設定されていますか？	Windows ファイアウォールの例外設定を正しく設定してください。	3-16ページ
	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定がずれていませんか？	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定を合わせてください。	―
	画面に「送信エラーです。」と表示されていませんか？	送信エラーコードを参照してください。	10-25ページ
メールが送信できない。	本機に登録しているSMTPサーバーでメールの送信サイズに制限がありませんか？	Command Center RX の［**メール**］＞「**メール送信のサイズ制限**」に制限値が入力されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。	2-58ページ
排紙口付近から湯気が出る。	本機を使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	―

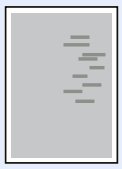
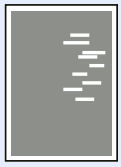
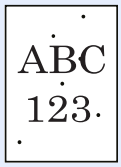
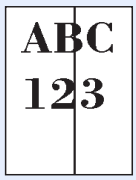
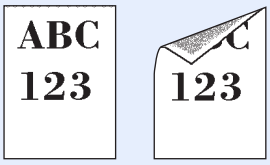
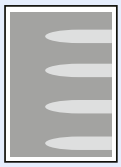
*1　ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。（例：pc001.abcdnet.com）
*2　ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。
ドメイン名¥ユーザー名（例：abcdnet¥yamada）
ユーザー名＠ドメイン名（例：yamada@abcdnet）

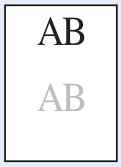
画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処理を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像が全体的にうすい。  	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-4ページ
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-11ページ 8-40ページ
	トナーコンテナをよく振りましたか？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	10-5ページ
	エコプリントを設定していませんか？	[**エコプリント**]の設定を、[**設定しない**]に切り替えてください。	8-16ページ
	—	[**キャリブレーション**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**ドラムリフレッシュ**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**レーザースキャナークリーニング**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**システムメニュー/カウンター**]キー > [**調整/メンテナンス**] > [**サービス設定**] > [DEV-CLN]を選択し、[OK]を選択してください。	—
画像の白地部分が全体的に色がついて見える。 	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-11ページ 8-40ページ
	—	[**キャリブレーション**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**ドラムリフレッシュ**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**システムメニュー/カウンター**]キー > [**調整/メンテナンス**] > [**サービス設定**] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。 	写真が印刷された原稿ですか？	原稿の画質を[**写真**]に設定してください。	6-19ページ
	—	【コピーの場合】 [**シャープネス**]を[-1]～[-3]に設定してください。	6-22ページ
	—	【コピーの場合】 [**システムメニュー/カウンター**]キー > [**コピー**] > [**原稿送り装置動作**]または[**原稿ガラススキャン動作**]を選択し、設定値を[**画質優先**]に設定してください。	8-20ページ 8-20ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
文字がはっきり印刷されない。 	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	6-19ページ
	—	【コピーの場合】 [シャープネス]を[+1]～[+3]に設定してください。	6-22ページ
画像の白地部分に黒点や色点が入る。 	原稿押さえ面や原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿押さえ面や原稿ガラスを清掃してください。	10-2ページ
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-33ページ
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
画像に白点や色点が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [DEV-CLN]を選択し、[OK]を選択してください。	—
画像がぼける。 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-33ページ
画像の位置がズレる。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	5-2ページ
		原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	5-3ページ
	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-4ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像に不規則な横筋が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に不規則な横白筋が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に色点が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—
縦線が入る。 	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを清掃してください。	10-3ページ
	—	[レーザースキャナークリーニング]を実行してください。	10-33ページ
用紙の先端や裏側が汚れる。 	本体内部が汚れていませんか？	本体内部を清掃してください。	10-4ページ
画像の一部が周期的にうすい、または白い筋が入る。 	—	後ろカバーを開けて、閉め直してください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ]を実行してください。	10-33ページ
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—

現象	確認事項	処置	参照ページ
前の画像が周期的にうすく残る。  	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	8-8ページ
	—	[**システムメニュー/カウンター**]キー > [**調整/メンテナンス**] > [**サービス設定**] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—

カラー印刷のトラブル

カラー印刷のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
色ずれが起こる。 	—	[**キャリブレーション**]を実行してください。	10-33ページ
	—	[**カラー印刷位置補正**]を実行してください。	10-28ページ
印刷で思ったとおりの色がでない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	6-19ページ
	給紙元にカラーコピー専用紙がセットされていますか？	カラーコピー専用紙をセットしてください。	—
	—	[**キャリブレーション**]を実行してください。	10-33ページ
	—	【コピーの場合】 カラーバランスを調整してください。	6-21ページ
	—	【パソコンからの印刷の場合】 プリンタードライバーでカラーの調整をしてください。	—
カラートナーがなくなった。	白黒で印刷しますか？	黒トナーがある場合、「カラートナーなし時の印刷」の[**すべて白黒で印刷する**]を設定すると、一時的に白黒で印刷できます。	8-18ページ

こんな表示がでたら

メッセージが表示されたら

画面にメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➡ 機器情報を表示する（2-16ページ）
よく使う機能を呼び出す（お気に入り）（5-8ページ）

エラーメッセージ一覧

画面に次のようなエラーメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
KPDLエラーです。*1	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
RAMディスクエラーです。	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04：RAMディスク上の空き容量が足りません。オプションのRAMディスクを装着している場合は、システムメニューの「RAMディスク設定」でRAMディスクサイズを大きくしてください。 **参考** RAMディスクサイズの設定範囲は、「オプションメモリー使用量」の設定で[**プリンター優先**]を選択すると大きくなります。	8-37ページ 8-38ページ

*1　エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検出できませんでした。	—	アクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。	—
以下の用紙は両面印刷できません。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[**用紙選択**]を選択してください。両面印刷を解除して印刷をする場合は、[**継続**]を選択してください。	—

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
外部メモリーエラーです。*1	外部メモリーが書き込み禁止になっていませんか？	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01：書込み可能な外部メモリーを接続してください。	—
	—	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01：一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ON してください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。本機で[フォーマット]を実行してください。フォーマットできない場合は外部メモリーが壊れています。適応する外部メモリーを接続してください。	7-11ページ
外部メモリーがフォーマットされていません。フォーマットします。よろしいですか？	外部メモリーを本機でフォーマットしましたか？	本機で[フォーマット]を実行してください。	7-11ページ
外部メモリーの容量がいっぱいです。*1	—	ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 外部メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除してください。	—
カセット○に以下の用紙を補給してください。	表示されている給紙元の用紙がなくなっていませんか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[用紙選択]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を選択してください。	3-2ページ
カバーが開いています。	開いているカバーはありませんか？	画面に表示されているカバーを閉じてください。	—
	トナーコンテナが正しく装着されていないか、抜けていませんか？	4色すべてのトナーコンテナを正しく装着し、右カバーを閉じてください。	10-5ページ
紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-34ページ
起動エラーです。	—	電源スイッチを入れ直してください。問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。	2-10ページ
キャリブレーション中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	10-43ページ
高温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
このジョブは実行できません。*1	—	ユーザー認可または部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
このユーザーはロックされています。	—	管理者に連絡してください。 ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

*1　エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
サーバーに接続できません。	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—
最大接続数を超えるため接続できません。	—	使用していない携帯端末の接続を解除するか、または、本機の自動切断時間を設定して、携帯端末の接続を切断してください。	—
システムエラーです。	—	システムエラーが発生しています。画面に表示された手順に従って処理してください。	—
指定外のトナーが装着されています。	装着されたトナーは純正消耗品（指定トナー）ですか？	純正消耗品以外の消耗品（指定外トナー）が原因の故障については、責任を負いかねます。	—
指定外のトナーが装着されています。PC [C][M][Y][K]	装着されたトナーの販売地域が、本体販売地域と一致していますか？	本体販売地域と一致したトナーを使用してください。	—
指定外のトナーに起因する不具合は責任を負いかねます。	装着されたトナーは純正消耗品（指定トナー）ですか？	純正消耗品以外の消耗品（指定外トナー）が原因の故障については、責任を負いかねます。このまま使用される場合は[次へ]を選択してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
指定された部数を印刷できません。*1	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[**継続**]を選択してください。ジョブを中止する場合は[**中止**]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • プリンターのプロパティ設定の「デバイス設定」タブで[**RAMディスク**]のチェックを外す **参考** [**RAMディスク**]のチェックを外した場合、印刷が終了したら設定を元に戻してください。印刷速度が落ちる場合があります。	—
	USBメモリーに保存されているデータを印刷しますか？	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[**継続**]を選択してください。ジョブを中止する場合は[**中止**]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • 一度に印刷する部数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • システムメニューの[**オプションメモリー使用量**]で[**コピー優先**]を選択する **参考** 「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	—
準備中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。	—	ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。 ジョブボックスの空き容量が足りません。ジョブボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
スキャナーのメモリー不足です。*1	—	メモリー不足のため、処理できません。読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[**継続**]を選択すると読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[**中止**]を選択すると印刷、送信、または保存を中止します。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • 一度に読み込む原稿枚数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • システムメニューの[**オプションメモリー使用量**]で[**コピー優先**]を選択する **参考** [**オプションメモリー使用量**]の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-38ページ
全ての原稿を再セットし[継続]を押してください。	—	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットしなおしてください。[**継続**]を選択すると、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[**中止**]を選択してください。	—
スリットガラスが汚れています。	—	スリットガラスを清掃してください。	10-3ページ
セキュリティー機能を実行中です。	—	セキュリティー機能を実行中です。しばらくお待ちください。	—
接続できません。	—	Wi-FiまたはWi-Fi Directの接続が完了しなかった場合に表示されます。設定内容や電波の状態を確認してください。	—
送信エラーです。*1	—	送信中にエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。エラーコードとその詳細は「送信エラー」を参照してください。	10-25ページ
送信ジョブの予約制限数を超えました。	—	タイマー送信をセットできる件数を超えています。[**終了**] を選択してください。このジョブは中止されます。 タイマー送信が実行されるのを待つか、タイマー送信をキャンセルしてから、再度操作してください。	—

*1　エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
調整中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
低温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
手差しトレイに以下の用紙を補給してください。	表示されているカセットの用紙がなくなっていませんか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[**用紙選択**]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[**継続**]を選択してください。	3-2ページ
トナー[C][M][Y][K]がありません。	—	当社指定のトナーコンテナを交換してください。 **参考** カラートナーがなくなっても黒トナーが残っている場合は、「カラートナーなし時の印刷」の[**すべて白黒で印刷する**]を設定すると、一時的に白黒で印刷できます。	10-5ページ
トナーが残り少なくなっています。 [C][M][Y][K] （なくなったら交換）	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	—

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイが用紙オーバーです。	—	内部トレイから用紙を取り出してください。 [**継続**]を選択すると、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[**中止**]を選択してください。	—
認識できません。	—	ご使用のICカードが登録されているか確認してください。	—
認証サーバーに接続できません。*1	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	2-23ページ
	—	ドメイン名を確認してください。	9-2ページ
	—	ホスト名を確認してください。	9-2ページ
	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

*1 エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
付属電話機の受話器がはずれています。	—	受話器を戻してください。	—
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。 このジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
部門管理の設定に失敗しました。*1	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
部門コードが違います。*1	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
ボックスが見つかりません。	—	指定されたボックスが見つかりません。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
ボックスのパスワードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、ボックスのパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—
ボックスの容量制限を超えました。*1	画面に[**終了**]が表示されていませんか？	指定されたボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。ボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—
ボックスを使用する権限がありません。	—	指定されたボックスを使用する権限がありません。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—

*1　エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。*1	スキャンした画像をパソコンに送信、または本機に保存しますか？	メモリー不足のため、処理できません。[**終了**]のみ表示されている場合は[**終了**]を選択してください。このジョブは中止されます。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • [**ファイル形式**]の[**画質**]を下げる 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • システムメニューの「オプションメモリー使用量」で[**標準**]を選択する **参考** 「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	6-27ページ
	パソコンからデータを印刷しますか？	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[**継続**]を選択してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[**中止**]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 • システムメニューの「RAMディスク設定」で[**設定する**]を選択し、RAMディスクサイズを小さくする • システムメニューの「オプションメモリー使用量」で[**プリンター優先**]を選択する **参考** 「RAMディスクサイズ」や「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-37ページ 8-38ページ
メモリーカードエラーです。	―	メモリーカードでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04：メモリーカード上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	―
メモリーが不足しています。	―	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	―

*1　エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えていませんか？	読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[**継続**]を選択すると読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[**中止**]を選択すると印刷、送信、または保存を中止します。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
レーザースキャナークリーニング中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
ログインユーザー名またはパスワードが違います。[*1]	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[**終了**]を選択してください。	—

*1　エラー後自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。
➡ エラー後自動継続（8-40ページ）

送信エラーコード一覧

画面に表示される送信エラーコードは以下のとおりです。

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1101	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTP サーバーのホスト名を確認してください。	2-58ページ
	FTP送信できませんでした。	FTPのホスト名を確認してください。	5-21ページ
	SMB送信できませんでした。	SMBのホスト名を確認してください。	5-18ページ
1102	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 • ログインユーザー名またはログインパスワード 参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 • ホスト名 • パス	5-18ページ
	メール送信できませんでした。	Command Center RXの設定を確認してください。 • SMTPのログインユーザー名またはログインパスワード • POP3のログインユーザー名またはログインパスワード • メール送信のサイズ制限	2-58ページ
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 • ログインユーザー名またはログインパスワード 参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 • パス • 送信先フォルダーのアクセス権	5-21ページ
1103	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 • ログインユーザー名またはログインパスワード 参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 • パス • 送信先フォルダーのアクセス権	5-18ページ
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 • パス • 送信先フォルダーのアクセス権	5-21ページ
1104	メール送信できませんでした。	メールアドレスを確認してください。 参考 ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。	5-17ページ

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1105	SMB送信できませんでした。	Command Center RXでSMBプロトコルの設定を[オン]にしてください。	8-30ページ
	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPを[オン]にしてください。	2-58ページ
	FTP送信できませんでした。	Command Center RXでFTPを[オン]にしてください。	8-30ページ
1106	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPの差出人アドレスを確認してください。	2-58ページ
1131	FTP送信できませんでした。	Command Center RXでセキュアプロトコルのSSLを[オン]にしてください。	8-36ページ
1132	メール送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 • SMTP over SSLに対応していますか？ • 設定した暗号方式に対応していますか？	—
	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 • FTPSに対応していますか？ • 設定した暗号方式に対応していますか？	—
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態 • ホスト名またはIPアドレス • ポート番号	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態 • ホスト名またはIPアドレス • ポート番号	—
	メール送信できませんでした	ネットワークとCommand Center RXの設定を確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態 • POP3ユーザーのPOP3サーバー名 • SMTPサーバー名	2-58ページ

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
2102 2103	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態	—
		送信先のサーバーを確認してください。 • FTPに対応していますか？ • サーバーの状態	—
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態	—
2201 2202 2203 2231	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態	—
2204	メール送信できませんでした。	Command Center RXのSMTP設定でメール送信のサイズ制限を確認してください。	2-58ページ
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してください。	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 • ネットワークケーブルの接続 • ハブの動作 • サーバーの状態	—
3201	メール送信できませんでした。	送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。	—
0007 4201 4701 5101 5102 5103 5104 7101 7102 7103 720f	—	電源スイッチを入れなおしてください。何度も発生するときは、タッチパネルに表示されているエラーコードを書きとめ、サービス担当者にご連絡ください。	2-10ページ
9181	—	読み込み枚数が制限ページ数に達しました。制限を超えた分の原稿は分割して送信してください。	—

調整/メンテナンスメニュー

調整/メンテナンスメニューについて

画面に調整メニューやメンテナンスメニューを実行するよう表示されたときや、画像に問題があったときは、システムメニューの調整/メンテナンスメニューを実行してください。

実行できるメニューは、次のとおりです。

メニュー	内容	参照ページ
カラー印刷位置補正	色ずれを補正します。	10-28ページ
ドラムリフレッシュ	印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。	10-33ページ
キャリブレーション	印刷された画像の色ずれや原稿との色合いを改善します。	10-33ページ
レーザースキャナークリーニング	印刷された画像に入る縦の白線を改善します。	10-33ページ

カラー印刷位置補正を実行する

本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こる場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれを解消できます。

カラー印刷位置補正には自動補正と手動補正があります。通常は自動補正を行います。（自動補正で解消できない場合や、より精密な補正が必要な場合は手動補正を行ってください。）

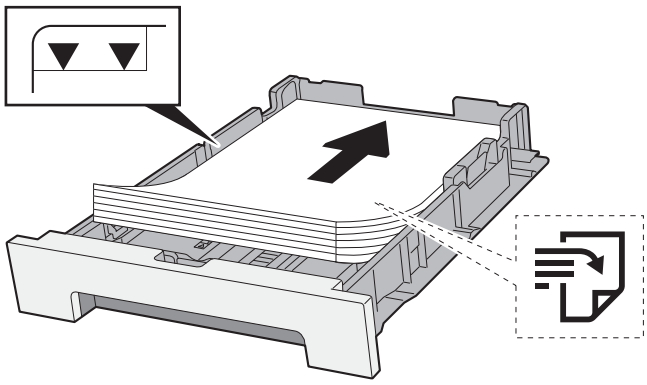
重要

カラー印刷位置補正は、先にキャリブレーションを実行し、それでも色ずれが改善しない場合にのみ実行してください。キャリブレーションを行わずにカラー印刷位置補正を実行すると、実行時は色ずれが解消されますが、後で大きな色ずれが発生する可能性があります。

➡ キャリブレーションを実行する（10-33ページ）

自動補正

1 **用紙をセットする**



重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

用紙の取り扱い上の注意（3-2ページ）

- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、用紙上限表示以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

2 画面を表示する

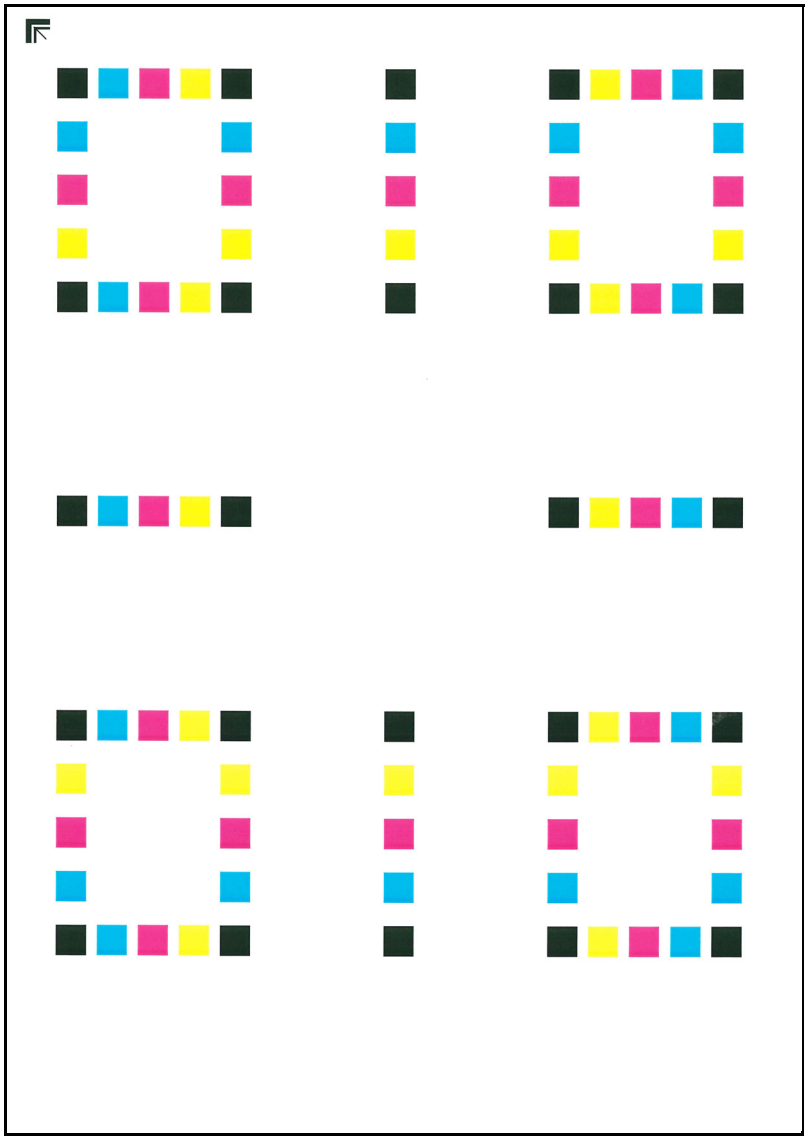
[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [カラー印刷位置補正] > [自動]

3 チャートを印刷する

[実行]を選択します。

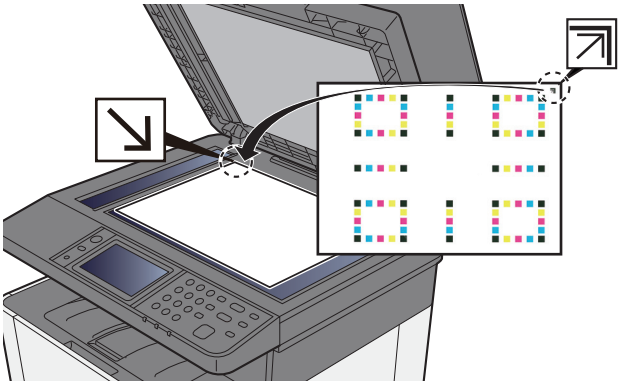
チャートが出力されます。

チャートサンプル



4 補正する

1 イラストのように、矢印がある方を奥側に、印刷されている面を下向きにして原稿ガラスにセットします。



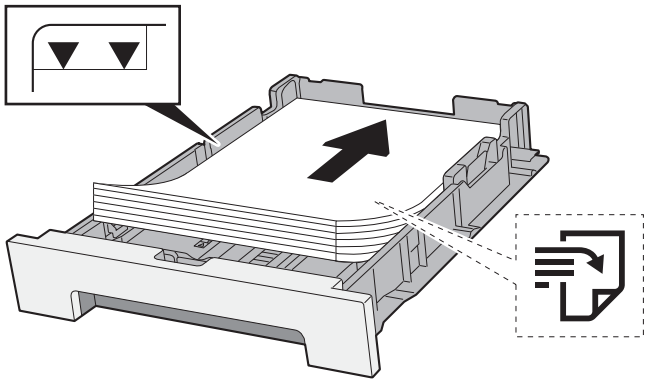
2 [実行]を選択して読み込みます。

チャートの読み込みが終わるとカラー印刷位置補正が開始します。

3 カラー印刷位置補正が終了したら、[OK]を選択します。

手動設定

1 用紙をセットする



重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

用紙の取り扱い上の注意（3-2ページ）

- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、用紙上限表示以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

2 画面を表示する

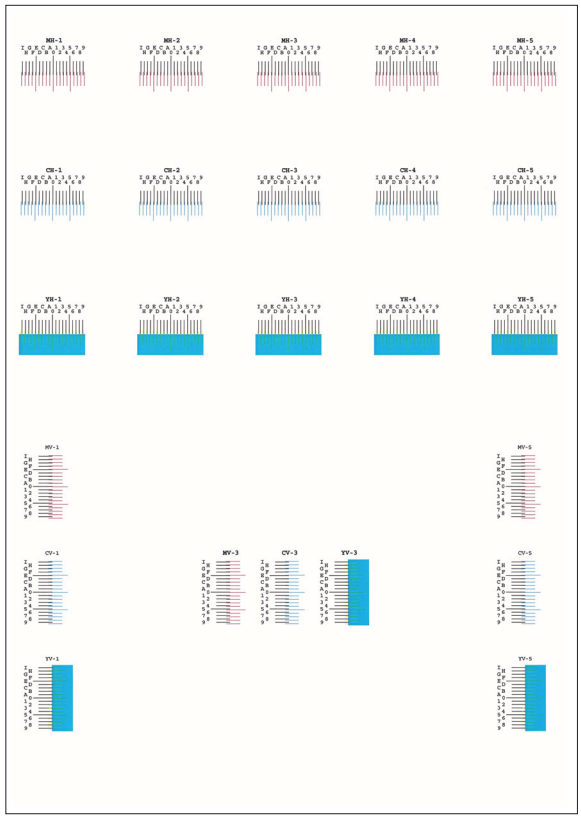
[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [カラー印刷位置補正] > [手動]

3 チャートを印刷する

[チャート印刷]を選択します。

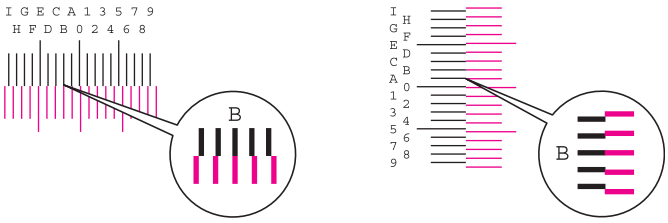
チャートが出力されます。チャートにはM（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色について、H-1～9（上部）、V-1～5（下部）のチャートが印刷されます。

チャートサンプル



4 数値を入力する

1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。



H-1～5のチャートからはH-1～5の数値のみを読み取ります。

V-1～5のチャートからはV-3（中央）の数値のみを読み取ります。

2 ［印刷位置補正］を選択します。

3 補正するチャートを選択します。

4 ［+］または［−］を押して、チャートから読み取った値を入力して、［OK］を押します。

［+］を押すと、値が0から9へと進みます。逆に進むときは［−］を押してください。

［−］を押すと、値が0からアルファベットになり、AからIへと進みます。逆に進むときは［+］を押してください。

テンキーでの入力はできません。

5 手順3、4を繰り返して、それぞれのチャートに位置補正する値を入力します。

6 すべての数値入力が完了したら、［**実行**］を選択します。カラー印刷位置補正を開始します。

7 カラー印刷位置補正が終了したら、［OK］を選択します。

ドラムリフレッシュを実行する

印刷された画像の流れたようなにじみや白点を改善します。

参考

印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。

1 **画面を表示する**

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [ドラムリフレッシュ]

2 **調整する**

[実行]を選択します。ドラムリフレッシュが開始されます。

キャリブレーションを実行する

この機能を使うと、色合いと色ずれの微調整をして最適なカラーで印刷できるようになります。

1 **画面を表示する**

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [キャリブレーション]

2 **調整する**

[実行]を選択します。キャリブレーションが開始されます。

参考

キャリブレーションを実行しても改善されないときは、次を参照してください。

➡ ドラムリフレッシュを実行する（10-33ページ）

レーザースキャナークリーニングを実行する

印刷された画像に入る縦の白線を改善します。

1 **画面を表示する**

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [レーザースキャナークリーニング]

2 **調整する**

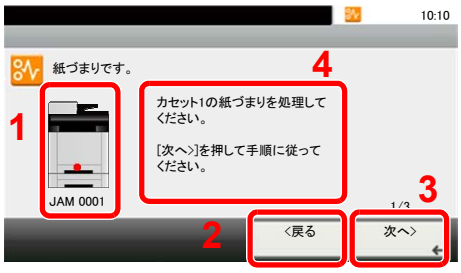
[実行]を選択します。レーザースキャナークリーニングが開始されます。

紙づまりの解除

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに「紙づまりです。」が表示されます。

以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまり表示の見かたと位置の確認

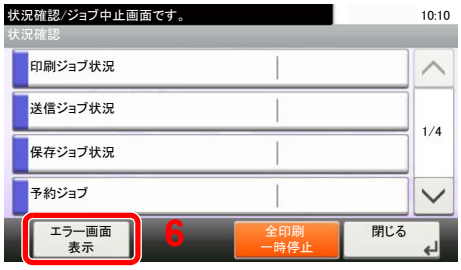


1 紙づまりの位置情報を表示します。

2 前の手順を表示します。

3 次の手順を表示します。

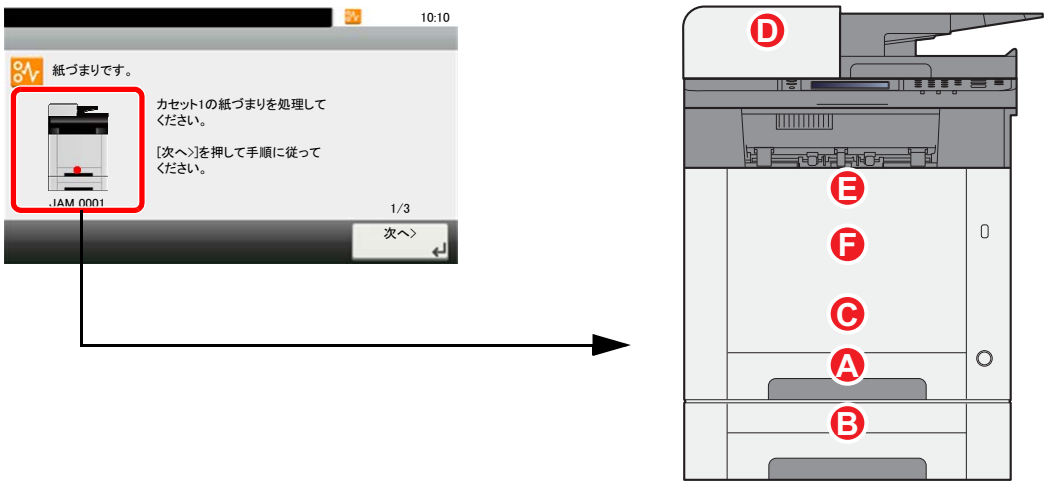
4 処理の手順を表示します。



5 [**状況確認/ジョブ中止**]キーを選択すると[**保留**]が表示されます。[**保留**]を選択するとステータス画面を表示し、ジョブの状況を確認できます。

6 [**エラー画面表示**]を選択すると、紙づまりガイダンスに戻ります。

紙づまりが発生すると、タッチパネルに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	カセット1	10-35ページ
B	カセット2	10-36ページ
C	手差しトレイ	10-38ページ
D	原稿送り装置	10-43ページ
E	両面ユニット	10-41ページ
F	後ろカバー1	10-41ページ

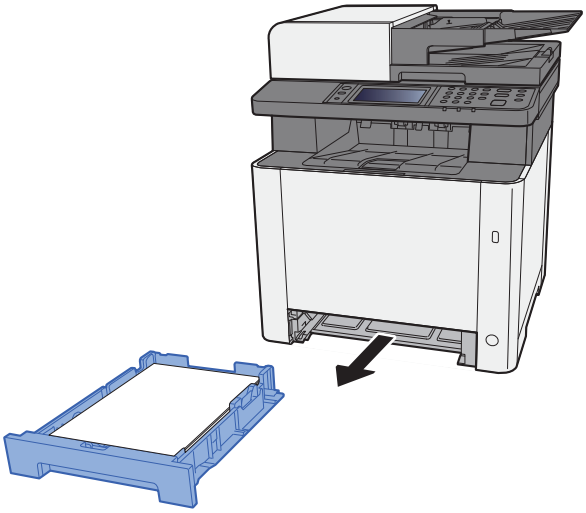
紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

カセット1の紙づまりを除去する

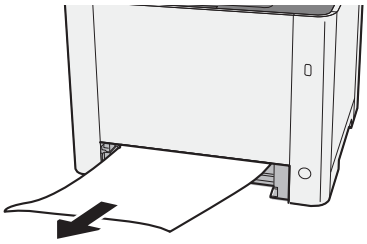
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

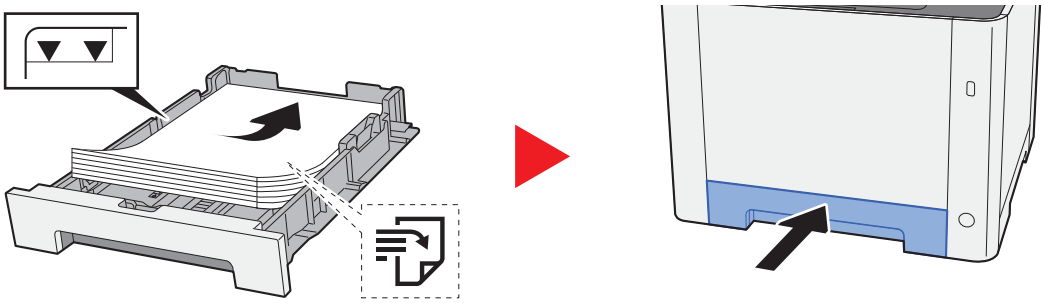
1 **カセット1を引き出す**



2 **つまった用紙を取り出す**



3 **カセット1を元の位置に戻す**

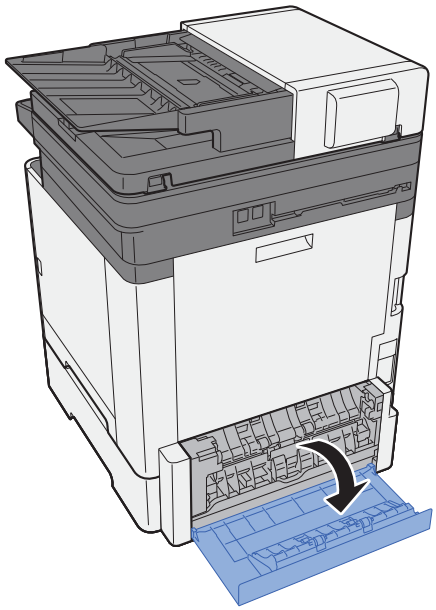


カセット2の紙づまりを除去する

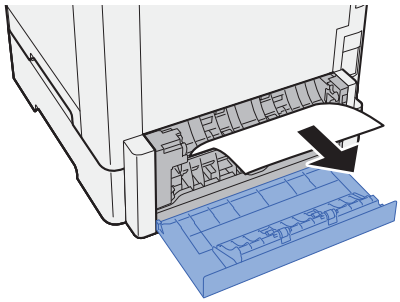
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

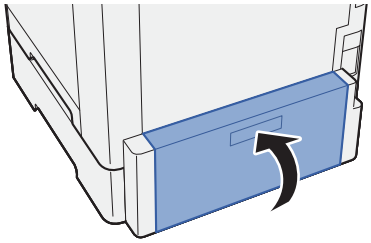
1 後ろカバー2を開ける



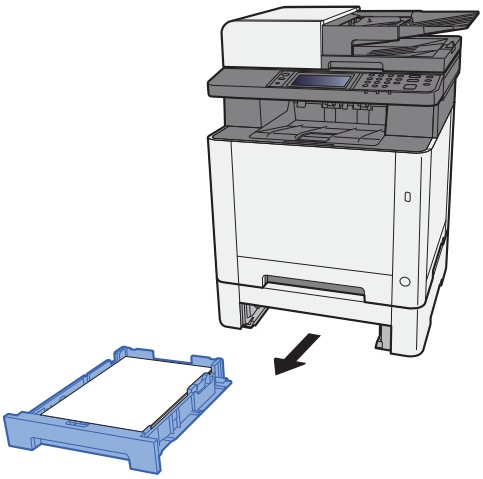
2 つまった用紙を取り出す



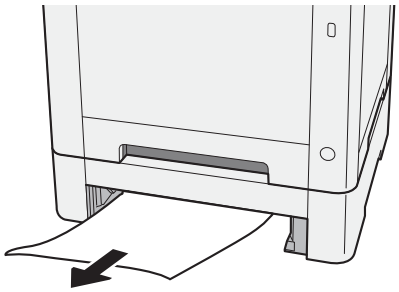
3 後ろカバー2を閉じる



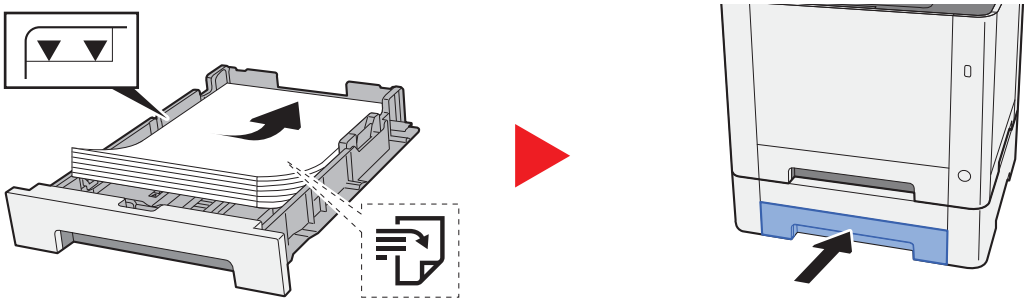
4 カセット2を引き出す



5 つまった用紙を取り出す



6 カセット2を元の位置に戻す

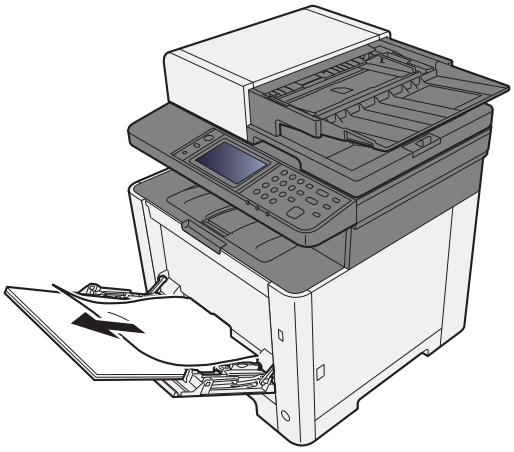


手差しトレイの紙づまりを除去する

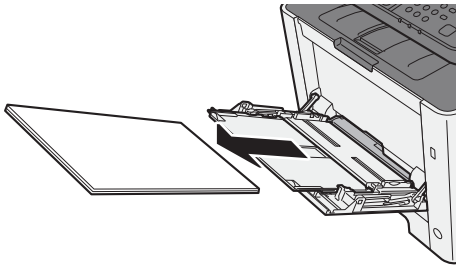
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

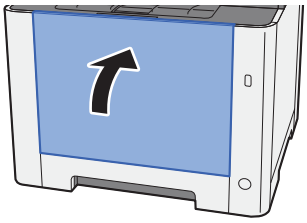
1 **つまった用紙を取り出す**



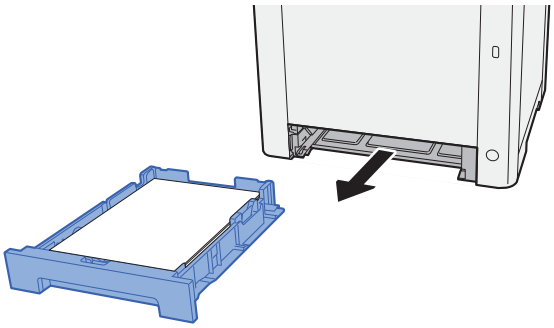
2 **用紙をすべて取り出す**



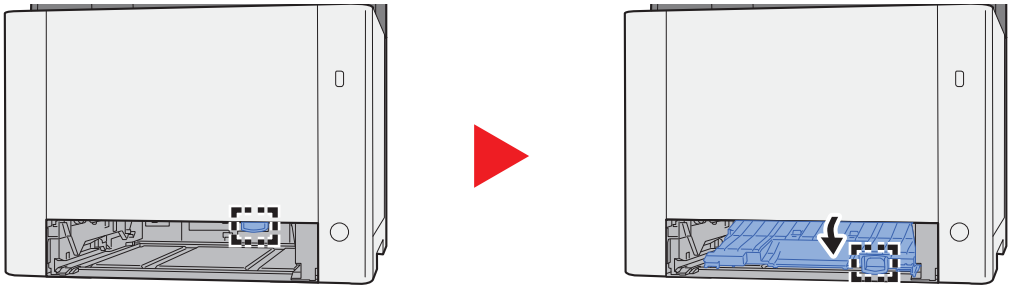
3 **手差しトレイを閉める**



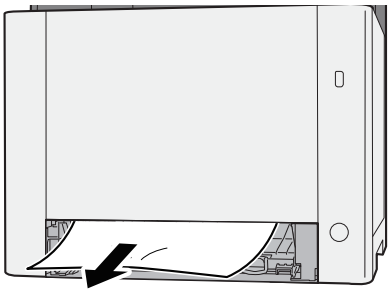
4 カセット1を引き出す



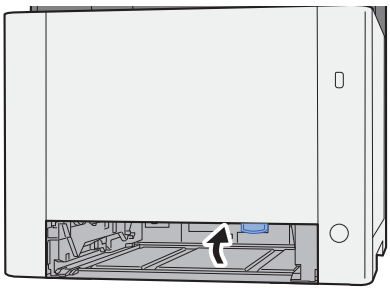
5 搬送カバーを下げる



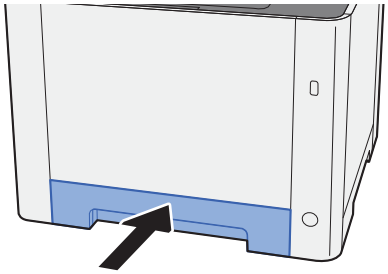
6 つまった用紙を取り出す



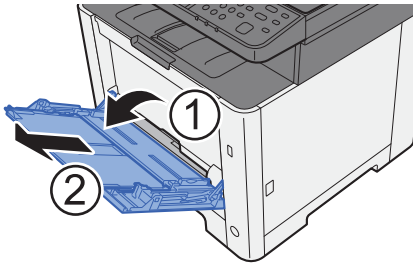
7 搬送カバーを元の位置に戻す



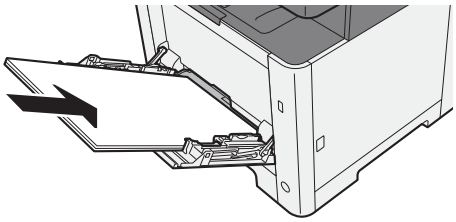
8 カセット1を元の位置に戻す



9 手差しトレイを開く



10 用紙をセットし直す

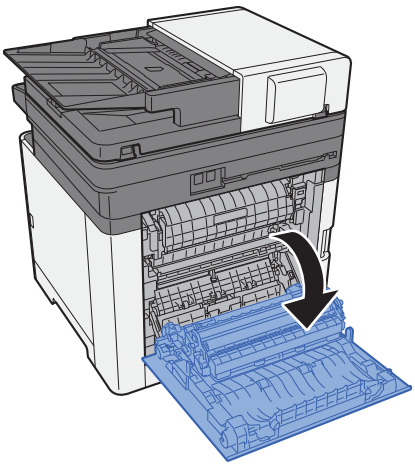


後ろカバー1の紙づまりを除去する

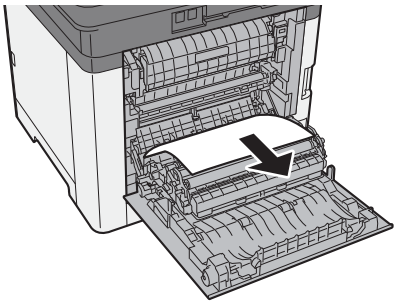
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

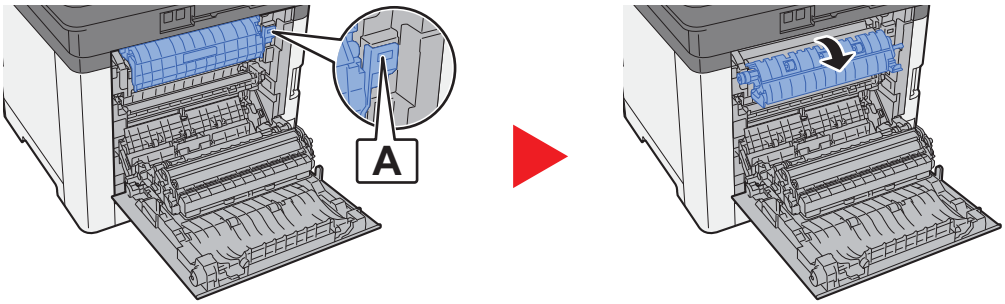
1 後ろカバー1を開ける



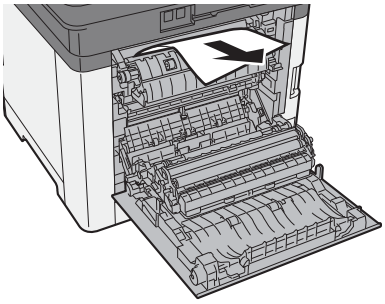
2 つまった用紙を取り出す



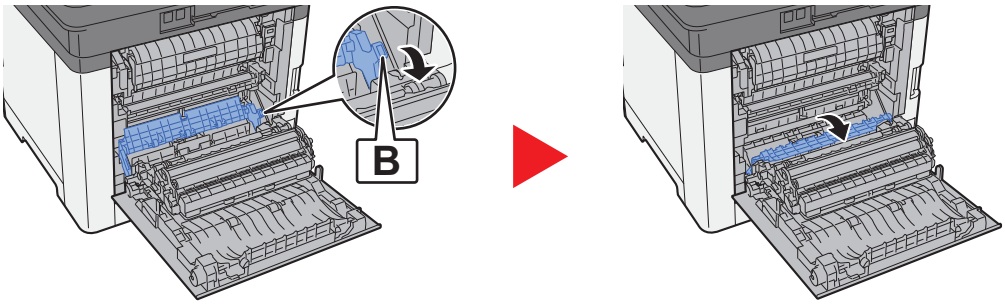
3 カバーAを開ける



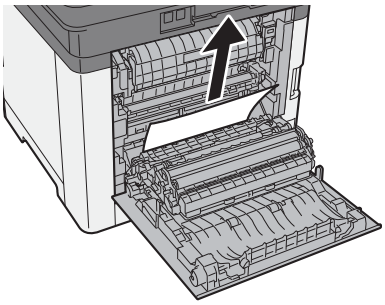
4 つまった用紙を取り出す



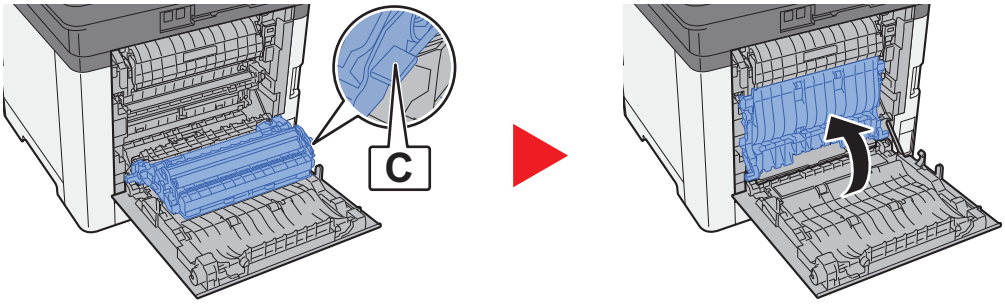
5 搬送カバーBを開ける



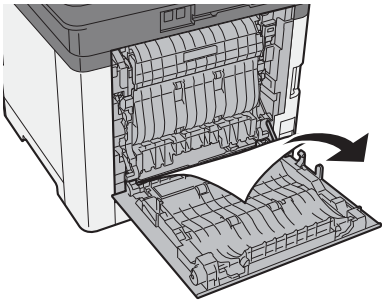
6 つまった用紙を取り出す



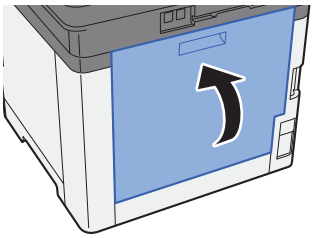
7 両面ユニットCを開ける



8 **つまった用紙を取り出す**



9 **後ろカバー1を元の位置に戻す**

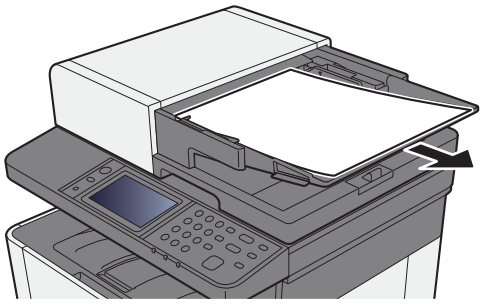


原稿送り装置（自動両面）の紙づまりを除去する

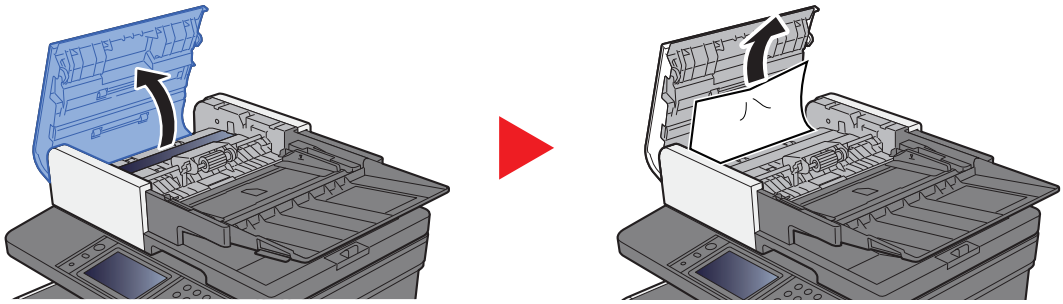
注意

原稿を取り出すときに、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

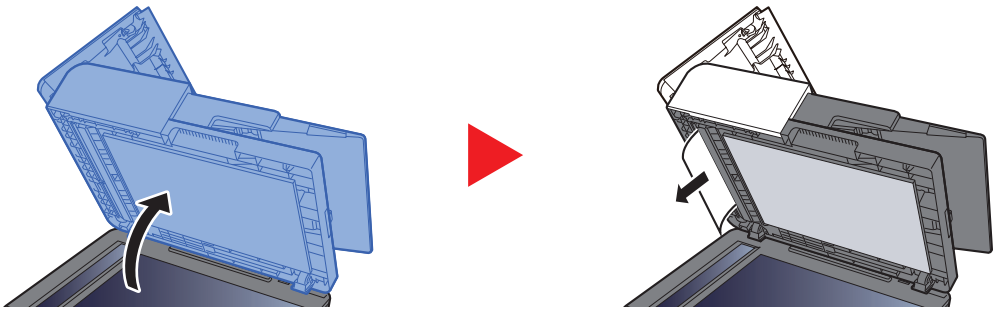
1 **原稿トレイから原稿を取り出す**



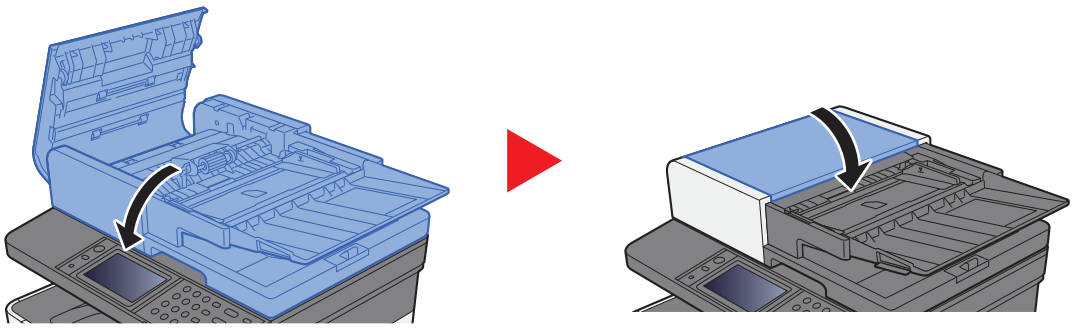
2 **上カバーを開けて、つまった原稿を取り出す**



3 原稿送り装置内部の原稿を取り出す



4 カバーを元の位置に戻す



11　付録

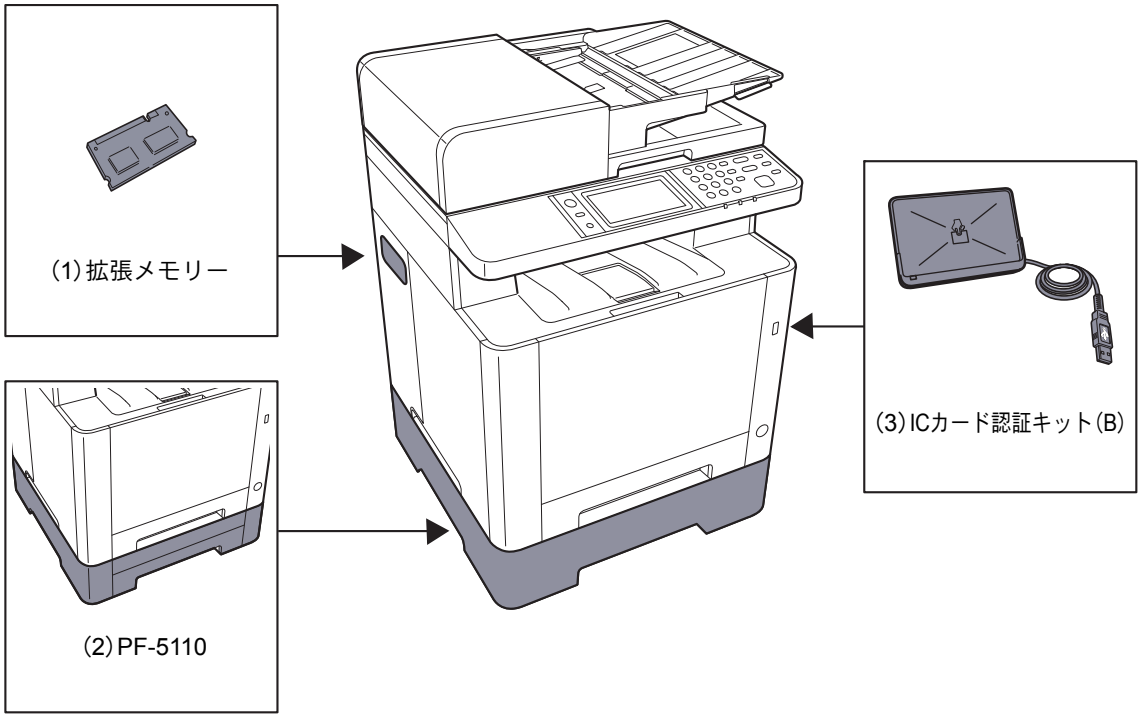
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて 11-2
　オプション構成 11-2
　オプションのアプリケーションについて 11-6
　アプリケーションの使用を開始する 11-6
　アプリケーションの詳細を確認する 11-7
文字の入力 11-8
　入力方式を選択する 11-8
　入力文字を選択する 11-9
　入力画面 11-10
　かな入力とローマ字入力での文字変換をする 11-13
　区点コードでの文字変換 11-15
用紙について 11-17
　用紙の基本仕様 11-17
　適正な用紙の選択 11-18
　特殊な用紙 11-21
仕様 11-25
　本体 11-25
　コピー機能 11-27
　プリンター機能 11-27
　スキャナー機能 11-28
　原稿送り装置 11-28
　ペーパーフィーダー 11-28
区点コード表 11-29
製品の保守サービスについて 11-35
保守契約についてのお問い合わせ 11-35
補修用性能部品について 11-36
廃棄について 11-36
　使用済み製品の廃棄 11-36
　初期化について 11-36
　トナーコンテナの廃棄 11-36
用語集 11-37

オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。



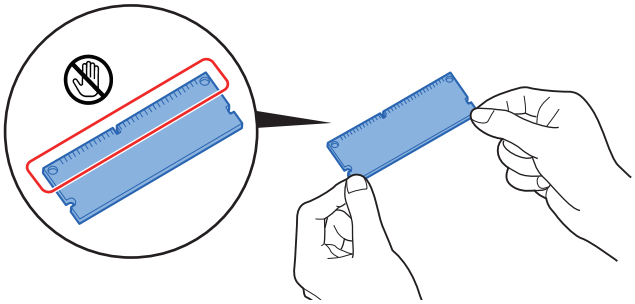
ソフトウェアオプション
(4) UG-33

(5) SD/SDHCメモリーカード

(1) 拡張メモリー

メモリーを増設することで、より複数のジョブを同時に実行できるようになります。オプションの拡張メモリーを装着することで、最大1,536 MBのメモリーに拡張できます。

メモリー取り扱い上の注意

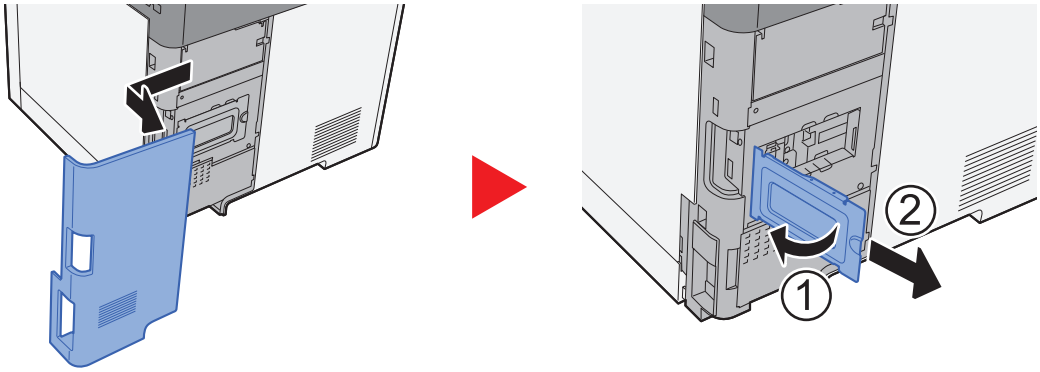


衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーに悪影響を与えます。静電気による破壊からメモリーを保護するために、静電気対策用のリストバンドを手首に巻いて作業してください。リストバンドがない場合は、メモリー装着前に金属製のものに触って静電気を除去してください。

メモリーの取り付け

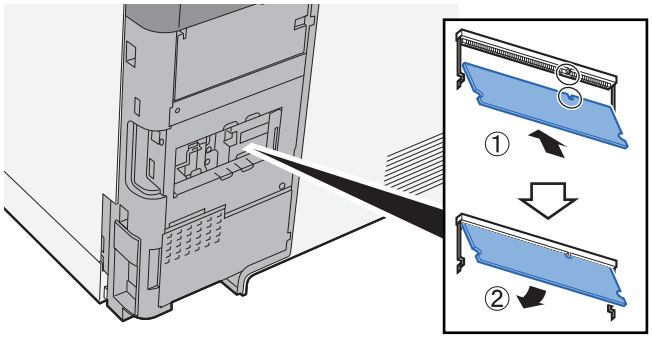
1 電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを開けます。



3 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。

4 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。



5 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。

6 取り外したカバーを本体に取り付けます。

(2) PF-5110 ＜ペーパーフィーダー＞

ペーパーフィーダーを増設することができます。

➡ カセット2に用紙をセットする（3-7ページ）

(3) ICカード認証キット(B)＜ICカード認証キット＞

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

➡ **ICカード認証キットの使用説明書**

(4) UG-33 ＜ThinPrint Option＞

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

(5) SD/SDHCメモリーカード

SD/SDHCメモリーカードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

SDHCメモリーカード（最大32 GB）およびSDメモリーカード（最大2 GB）は、メモリーカードスロットに差し込みます。

重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。

機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

SD/SDHC メモリーカードの読み込み

本機の電源を入れるとSD/SDHCメモリーカードの内容が、本機に読み込まれます。

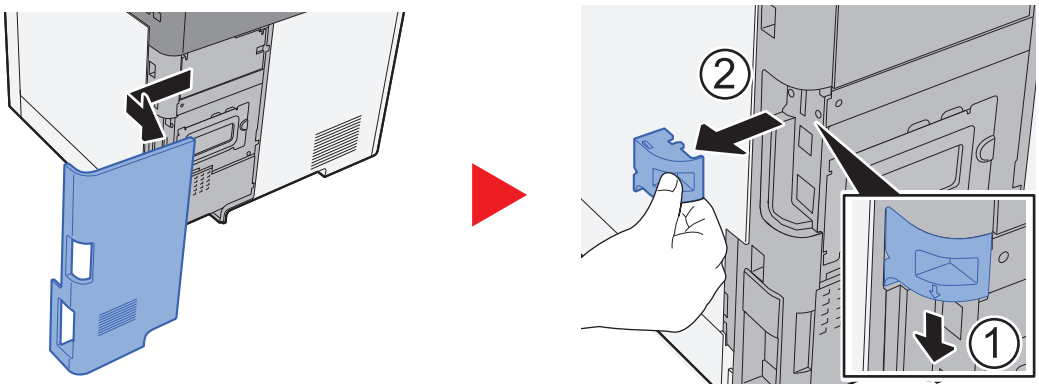
SD/SDHC メモリーカードのフォーマット

未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードをフォーマットする必要があります。

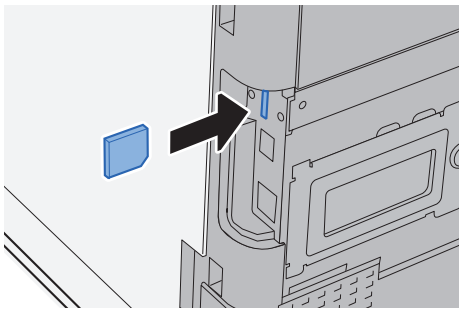
➡ SDカードフォーマット（8-19ページ）

1 電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

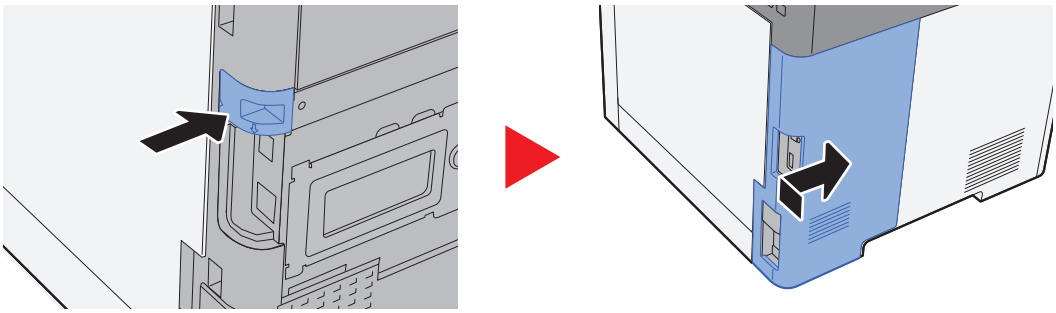
2 カバーを開けます。



3 SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。



4 取り外したカバーを本体に取り付けます。



オプションのアプリケーションについて

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
ICカード認証キット
ThinPrint Option*1

*1　一定の期間お試しとして使用することができます。

参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

1 **[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプション機能]**

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名:　2600
ログインパスワード:　2600

2 **使用を開始するアプリケーションを選択 > [起動]**

[ ]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

3 **[正規] > [次へ] > ライセンスキーを入力 > [OK]**

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順4 に進んでください。

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[**試用**]を選択します。

4 **確認画面で[はい]を選択する**

参考

- ThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ONが必要です。
- 起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

1 **[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプション機能]**

> **参考**
>
> ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[**ログイン**]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
>
> ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
> **ログインユーザー名:** 2600
> **ログインパスワード:** 2600

2 **詳細を確認するアプリケーションの[ ]を選択します。**

選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
ライセンス
残り試用回数
試用期限
状況

試用期限を延長する

[**延長**] > [**はい**]

試用期限が延長されます。

文字の入力

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方ができます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式を選択する

入力方式には次の3種類があります。

かな入力－かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

ローマ字入力－ローマ字入力（例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する）で漢字などを入力するときに使用してください。

区点入力－4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

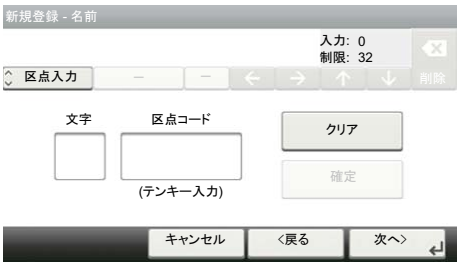
1 入力方式を切り替える

入力方式（[かな入力]、[ローマ字入力]、[区点入力]）を選択してください。

[かな入力]入力画面

[ローマ字入力]入力画面

[区点入力]入力画面



入力文字を選択する

入力方式で「かな入力」または「ローマ字入力」を選択したときは、入力文字には次の7種類があります。

ひらがな－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角カナ－全角カタカナを入力するときに使用してください。

半角カナ－半角カタカナを入力するときに使用してください。

全角英数－無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。

半角英数－無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。

全角記号－無変換で全角記号、全角数字を入力するときに使用してください。

半角記号－無変換で半角記号、半角数字を入力するときに使用してください。

1 入力文字を切り替える

入力文字を選択してください。

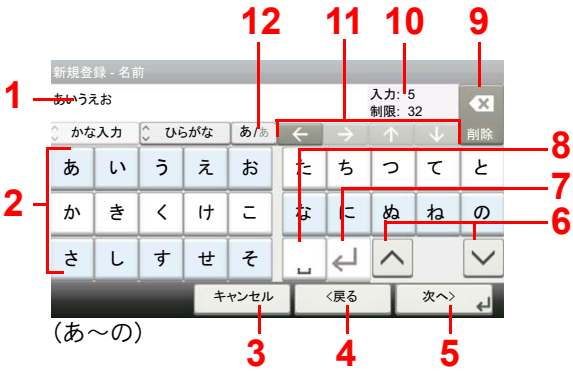
参考

入力方式として[**区点入力**]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

かな入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。



(あ～の)

(は～ん)

(小文字)

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[へ]、[∨]	キーボード(あ～の)とキーボード(は～ん)を切替えるときに選択してください。
7	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するときに選択してください。
8	スペースキー	スペースを入力するときに選択してください。
9	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
10	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
11	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
12	[あ/ぁ]	「ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ー、(、)、(。)」を入力するときに選択してください。もう一度選択すると、元の画面に戻ります。

参考

操作パネルの[クリア]キーを選択すると、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。

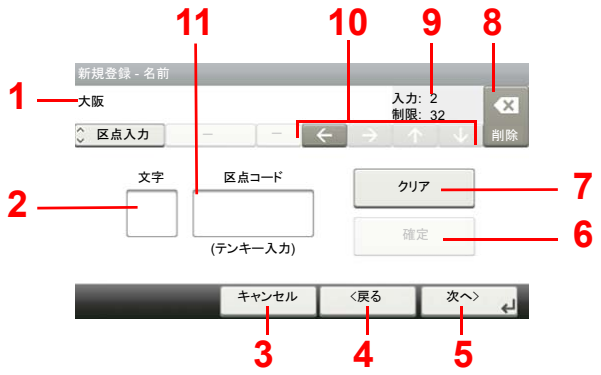
番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するときに選択してください。
7	スペースキー	スペースを入力するときに選択してください。
8	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
9	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
10	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
11	[A/a]	キーボード(大文字)とキーボード(小文字)を切り替えるときに選択してください。

参考

操作パネルの[クリア]キーを選択すると、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

区点入力

次の画面は入力方式として[区点入力]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[< 戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するときに選択してください。
7	[クリア]	入力した区点コードを消去するときに選択してください。
8	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
9	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
10	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
11	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。

参考

各文字の区点コードは、次を参照してください。

➡ 区点コード表（11-29ページ）

かな入力とローマ字入力での文字変換をする

ローマ字入力、かな入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]を選択すると次のような文字変換画面が表示されます。

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
3	[取り消し]	[変換]を選択する前に戻るときに選択してください。
4	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに選択してください。
5	[∧]、[∨]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに選択してください。
6	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
7	[←]、[→]	変換対象の文節を移動させるときに選択してください。
8	[ ]、[ ]	変換対象文節の長さを変更するときに選択してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する

入力方式が[かな入力]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。
入力方式が[ローマ字入力]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

2 [変換]を選択する

文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

3 文節を調整して変換する

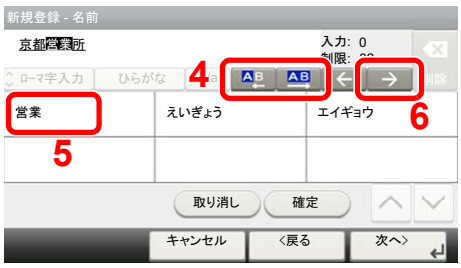
1 [AB]または[AB]を選択して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。

2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を選択してください。

> **参考**
> 表示されている以外の変換候補がある場合、[∧]または[∨]を選択して画面をスクロールしてください。

3 [→]を選択してください。「京都」が決定します。

4 [AB]または[AB]を選択して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を選択してください。

6 [→]を選択してください。「営業」が決定します。

7 [ ]または[ ]を選択して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させてください。
変換候補が表示されます。

8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択してください。

4 変換を確定する

文字の変換が終了すれば、[確定]を選択してください。入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。

参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、次を参照してください。

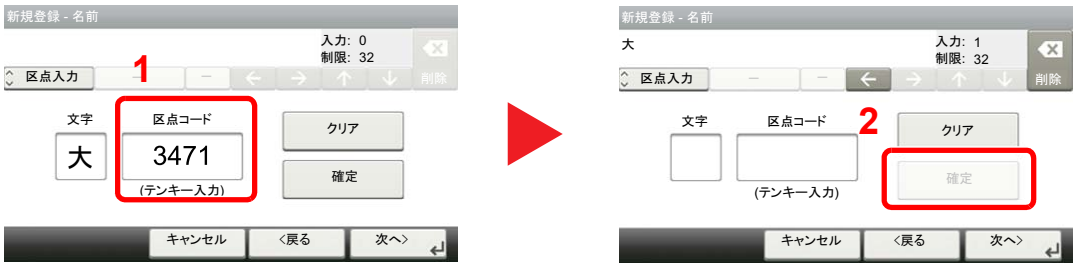
➡ 区点コード表 (11-29ページ)

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[区点入力]にする

[かな入力]または[ローマ字入力]を選択して、[区点入力]を表示させてください。

2 「大」を入力する



テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。[**確定**]を選択すると「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する

同様にして、区点コード「2669」を入力して[**確定**]を選択すると、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 入力した文字を登録する

[**次へ >**]を選択してください。入力した文字を登録します。

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。

各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➡ 仕様（11-25ページ）

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙（普通紙）に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

本機で使用できる用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット: 60～163 g/m^2
	手差しトレイ:60～220 g/m^2、230 g/m^2（はがき）
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4～6％
パルプ含有率	80％以上

参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80％以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20％以下ものを使用してください。

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4～6％の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

本機で使用できる用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに±0.7 mmです。用紙四隅の角度は、90°±0.2°のものを使用してください。

手差しトレイ

- はがき（100 × 148 mm）
- 往復はがき（148 × 200 mm）
- Envelope Monarch（3-7/8 × 7-1/2"）
- Envelope #10（4-1/8 × 9-1/2"）
- Envelope DL（110 × 220 mm）
- Envelope C5（162 × 229 mm）
- Envelope #9（3-7/8 × 8-7/8"）
- Envelope #6 3/4（3-5/8 × 6-1/2"）
- Statement
- 洋形4号（105 × 235 mm）
- 洋形2号（114 × 162 mm）
- サイズ入力（70 × 148～216 × 356 mm）

カセットまたは手差しトレイ

- Executive（7-1/4 × 10-1/2"）
- Letter
- Legal
- A4（297 × 210 mm）
- B5（257 × 182 mm）
- A5-R（148 × 210 mm）
- A5（210 × 148 mm）
- A6（148 × 105 mm）
- B6（182 × 128 mm）
- B5（ISO）（176 × 250 mm）
- Oficio II
- 216 × 340 mm
- 16K（197 × 273 mm）
- Statement-R
- Folio（210 × 330 mm）
- サイズ入力（カセット：105 × 148～216 × 356 mm、手差しトレイ：70 × 148～216 × 356 mm）

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機で使用できる特殊な用紙

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 加工紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、封筒、はがき、ラベル紙、加工紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

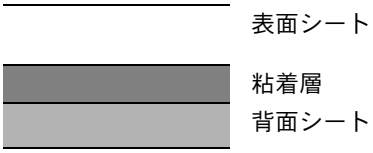
OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

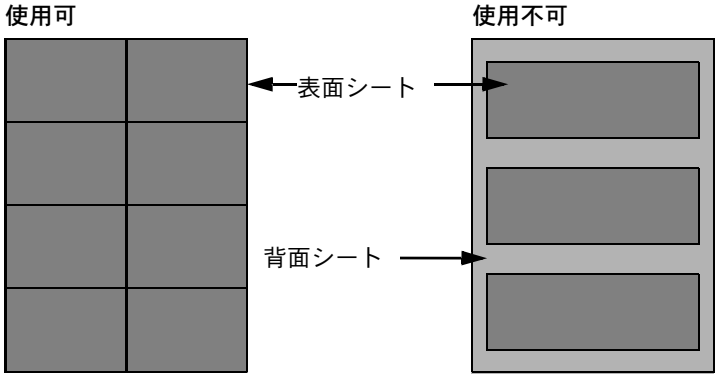
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

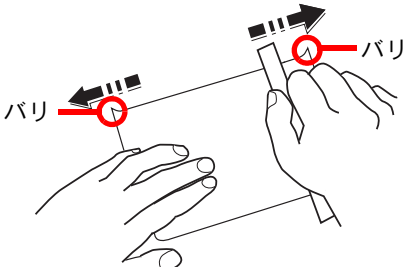
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104～151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%（混合）

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください（郵便局などで入手できます）。また、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒は必ず手差しトレイに補給してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから補給してください。裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

本機で使用できる用紙の基本仕様（11-17ページ）

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱（最高200℃）に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

本機で使用できる用紙の基本仕様（11-17ページ）

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

本機で使用できる用紙の基本仕様（11-17ページ）

参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

加工紙

加工紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

重要

コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。高湿度の場合は1枚ずつセットしてください。

仕様

重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

参考

ファクス機能の仕様について詳しくは、次を参照してください。

ファクス 使用説明書

本体

項目		仕様
名称		ECOSYS M5526cdw
型式		デスクトップ
印刷方式		乾式静電転写方式（レーザー方式）
用紙の重さ	カセット	60～163 g/m^2
	手差しトレイ	60～220 g/m^2、230 g/m^2（はがき）
用紙種類	カセット	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム（両面印刷時：片面印刷時と同じ）
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、加工紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1～8
用紙サイズ	カセット	A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement-R、Executive、Oficio II、16K、B5（ISO）、カスタム（105 × 148～216 × 356 mm）
	手差しトレイ	A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement-R、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5（ISO）、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム（70 × 148～216 × 356 mm）
印字画像欠け幅		全面4.2 mm
ウォームアップ時間（23℃、60％）	電源ONから	29秒以下
	スリープから	13秒以下
用紙容量	カセット	300枚（64 g/m^2）*1 250枚（80 g/m^2）*1
	手差しトレイ	55枚（A4/Letter以下、64 g/m^2） 50枚（A4/Letter以下、80 g/m^2）
排紙トレイ容量	内部トレイ	150枚（80 g/m^2）

*1　カセット内上限高さラインまで

項目		仕様
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		512 MB
インターフェイス		Hi-Speed USB：1 ネットワークインターフェイス：1 （10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T） Hi-Speed USB：1（USBフラッシュメモリースロット） 無線LAN対応 ファクス：1
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	10～80％
	標高	3,500 m以下
	照度	1,500 lux以下
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		417 × 429 × 495 mm
質量		26 kg（トナーコンテナを除く）
機械占有寸法（幅×奥行き）		417 × 613 mm（手差しトレイ使用時）
電源		AC100 V、50/60 Hz、10.3 A
エネルギー消費効率		51 kWh/年 区分：複合機a
オプション		オプションについて（11-2ページ）

コピー機能

項目		仕様
コピー速度		白黒コピー　カラーコピー A4/A5　26枚/分　26枚/分 Letter　27枚/分　27枚/分 Legal　22枚/分　22枚/分 B5　27枚/分　27枚/分 A5-R　27枚/分　27枚/分 A6　27枚/分　27枚/分 16K　27枚/分　27枚/分
ファーストコピー時間（原稿ガラス、本体カセットでA4）	白黒	8秒以下
	カラー	10秒以下
複写倍率		任意倍率：25～400％（1％単位） 固定倍率：400％、200％、141％、115％、100％、86％、70％、50％、25％
連続複写		1～999部
解像度		600 × 600dpi、9600dpi相当× 600dpi
原稿の種類		シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：Folio/Legal）
原稿台方式		固定

プリンター機能

項目		仕様
印刷速度		コピー速度と同じ
ファーストプリント時間（A4）	白黒	9.5秒以下
	カラー	10.5秒以下
解像度		9600 dpi相当× 600 dpi、1200 dpi × 1200 dpi（データ解像度は600 dpi）*1
対応OS		Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、Windows Server 2012/R2、Mac OS X v10.5以上
インターフェイス		Hi-Speed USB：1 ネットワークインターフェイス：1 （10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T） 無線LAN対応
ページ記述言語		PRESCRIBE
エミュレーション		PCL6（PCL-XL、PCL5c）、KPDL3（PostScript3互換）、PDF、XPS、OpenXPS

*1　通常よりも処理スピードが遅くなります。

スキャナー機能

項目	仕様
解像度	300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、200 × 100 dpi、600 × 600 dpi*1、400 × 400 dpi*1、200 × 400 dpi*1
ファイルフォーマット	TIFF（MMR/JPEG圧縮）、JPEG、PDF（MMR/JPEG圧縮）、PDF（高圧縮）、XPS、OpenXPS、暗号化PDF、PDF/A-1
連続原稿読み取り速度*2	（A4 300dpi × 600 dpi、文字＋写真モード） 片面白黒 30イメージ/ 分　カラー 12イメージ/分 両面白黒 24イメージ/ 分　カラー 8イメージ/分
インターフェイス	イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）、USB、無線LAN対応
送信方式	SMBv3、SMTP、FTP、FTP over SSL、USB、TWAIN*3、WIA*4、WSD

*1　片面読み込みのみ
*2　原稿送り装置を使用（TWAIN/WIAスキャン時を除く）
*3　対応OS：Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2003/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2
*4　対応OS：Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows 10

原稿送り装置

項目	仕様
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大：A4/Legal（216 × 356 mm）
	最小：A6/Statement（105 × 148 mm）
原稿の厚さ	50～160 g/m^2
原稿セット枚数	50枚以下（50～80g/m^2）*1

*1　原稿送り装置内上限高さラインまで

ペーパーフィーダー

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード給紙方式 （収納枚数300 枚（64 g/m^2）×1段、250 枚（80 g/m^2）×1段）
用紙サイズ	A4、A5-R、A5、B5、A6、B6、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement-R、Executive、Oficio II、16K、B5（ISO）、カスタム（105 × 148～216 × 356 mm）
使用用紙	紙厚：60 ～ 163 g/m^2 用紙種類：普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法（W）×（D）×（H）	410 × 447.5 × 147 mm
質量	約3.6 kg

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100		、	。	，	．	・	：	；	？	
0110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
0130	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
0190	★	○	●	◎	◇					
0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
0210	→	←	↑	↓	＝					
0220							∈	∋	⊆	⊇
0230	⊂	⊃	∪	∩						
0240			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
0250										
0260	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
0270	∽	∝	∵	∫	∬					
0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
0290					◯					
0300										
0310							0	1	2	3
0320	4	5	6	7	8	9				
0330				A	B	C	D	E	F	G
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
0360						a	b	c	d	e
0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
0390	z									
0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん						
0490										
0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
0590										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0660										
0670										
0680										
0690										
0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0730	Ь	Э	Ю	Я						
0740										а
0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я								
0790										
0800										
0810										
0820										
0830										
0840										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
ウ	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
エ	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
オ	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
カ	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
ク	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
ケ	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コ	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
サ	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
シ	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
ス	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
セ	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
ソ	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ソ	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
ツ	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
テ	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
ト	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒ	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
ヘ	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
ホ	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ホ	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
マ	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
ム	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戾	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
ユ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
ヨ	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
ラ	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
リ	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
リ	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
リ	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
リ	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
リ	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
レ	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
レ	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
レ	4690	漣	煉	簾	練	聯					
レ	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
ロ	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
ロ	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
ロ	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
ワ	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
ワ	4750	碗	腕								
ワ	4760										
ワ	4770										
ワ	4780										
ワ	4790										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
	4810	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
	4820	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
	4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
	4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
	4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
	4890	傀	傚	傅	傴	傲					
	4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
	4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
	4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
	4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
	4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
	4960	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
	4970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
	4990	劒	剱	劈	劑	辨					
	5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
	5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
	5030	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
	5040	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
	5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
	5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
	5090	咥	咬	哄	哈	咨					
	5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
	5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
	5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
	5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
	5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
	5190	囹	圀	囿	圄	圉					
	5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
	5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
	5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
	5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
	5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
	5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
	5290	奢	奠	奧	奬	奩					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
	5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
	5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
	5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
	5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
	5390	尹	屁	屆	屎	屓					
	5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
	5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
	5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
	5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
	5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
	5490	廁	廂	廈	廐	廏					
	5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	5510	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
	5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
	5530	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
	5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悁	悍	惧	悃	悚					
5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690	戉	戍	戌	戔	戛					
5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990	椢	椦	棡	椌	棍					
6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090	檍	檠	檄	檢	檣					
6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					
6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290	滲	漱	滯	漲	滌					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390	燠	燬	燧	燵	燼					
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590	癩	癪	癧	癬	癰					
6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890	糲	糴	糶	糺	紆					
6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990	纎	纛	纜	缸	缺					
7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					
7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490	褸	襌	褝	襠	襞					
7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590	證	譖	譛	譚	譫					
7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790	逧	逶	逵	逹	迸					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990	陏	陋	陷	陜	陞					
8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090	顏	顋	顫	顯	顰					
8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190	髫	髮	髴	髱	髷					
8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390	齲	齶	龕	龜	龠					
8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品は、年間保守契約サービスを提供しております。お客様が安心して導入、ご使用いただくために、保守契約期間内は、製品ごとにご契約いただいた保守料で修理対応いたします。

保守契約についてのお問い合わせ

販売パートナーにより保守契約内容は異なる場合がございますので、詳細はご購入元へお問い合わせ願います。

参考

アフターサービスについてご不明な点は、購入元または最寄りの弊社営業拠点にお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最長保有期間は、販売終了後5年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品（トナーコンテナ含む）は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用（リユース）し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について

お客様の大切な個人情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目のデータを消去することをお勧めします。

削除する対象

- アドレス帳（ワンタッチ含む）
- ネットワーク設定
- FAXデータ（自局名/自局番号/通信履歴）

➡ FAXデータの消去（ファクス使用説明書参照）

トナーコンテナの廃棄

京セラドキュメントソリューションズでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。
弊社ホームページ　トナーコンテナ無償回収サイトよりお申込みください。

http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/support/receive_recycle/

用語集

Active Directory

Active Directory（アクティブディレクトリー）とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ～169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

bpp（bits per pixel）

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲードウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP（IPv6）

DHCP（IPv6）は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP（IPv6）を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP（File Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコン の間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL（Kyocera Page Description Language）

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

KYOCERA Net Direct Print

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティーです。付属のDVD-ROMに収録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属のDVD-ROMに収録されています。

NetBEUI（NetBIOS Extended User Interface）設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF（PDF/A）のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2（PDF/A-2）という新しいパートも策定中です。

POP3（Post Office Protocol 3）

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM（prints per minute）

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA（Stateless）

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement（RA）です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol（ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP（IPv6）

TCP/IP（IPv6）は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP（IPv4）をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TWAIN（Technology Without Any Interested Name）

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe Photoshopをはじめとするグラフィックソフトや OCRソフトで多く採用されています。

USB（Universal Serial Bus）2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA（Windows Imaging Acquisition）

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイ コンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）

WPSは、無線LAN機器同士の接続や暗号化設定を簡単に行えるようにするため、Wi-Fiアライアンスによって策定された規格です。WPSに対応した機器同士は、プッシュボタンを押したり、パスワードを入力したりするだけで無線LANアクセスポイントに接続できます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3（PostScript3互換）のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

拡張メモリー

本機は1つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できるDIMMについては、購入元または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら（白と黒を含めて）256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1 として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IP アドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が24 ビットの「133.201.2.0」というIP アドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部（本来のホスト・アドレス部の一部分）をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリスクライブ（PRESCRIBE）コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機のタッチパネルには［？］（ヘルプ）があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、［？］を選択すると、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

ユニバーサル（Universal Design）

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことです。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

A
Active Directory 11-37
AirPrint 4-10
Apacheライセンス（Version 2.0） 1-9
AppleTalk 11-37
Auto-IP 11-37
　設定 8-28

B
Bonjour 11-37
　設定 8-30
bpp（bits per pixel） 11-37

C
Command Center RX 2-52

D
DHCP 11-37
　設定 8-28
DHCP（IPv6） 11-37
　設定 8-29
dpi 11-37
DSMスキャン
　プロトコル設定 8-32

E
Enhanced WSD 11-38
　プロトコル設定 8-34
Enhanced WSD over SSL
　プロトコル設定 8-35
eSCL
　プロトコル設定 8-35
eSCL over SSL
　プロトコル設定 8-35

F
File Management Utility 5-28
FTP 11-38
FTP暗号送信 6-33
　初期値 8-17
FTPクライアント（送信）
　プロトコル設定 8-31
FTPサーバー（受信）
　プロトコル設定 8-31

G
Google Cloud Print 4-10
GPL/LGPL 1-7

H
HTTP
　プロトコル設定 8-32
HTTPS
　プロトコル設定 8-33

I
ICカード認証キット 11-4
IPP 11-38
　プロトコル設定 8-33
IPP over SSL
　プロトコル設定 8-33
IPSec 8-30
IPアドレス 11-38
　設定 8-28

J
JPEG/TIFF印刷方法 6-34
　初期値 8-17

K
Knopflerfish ライセンス 1-9
KPDL 11-38
KYOCERA Net Direct Print 11-38
KYOCERA Net Viewer 11-38

L
LDAP
　プロトコル設定 8-32
LINEコネクター 2-4
LPD
　プロトコル設定 8-31

M
Monotype Imagingライセンス契約 1-8
Mopria 4-10

N
NetBEUI 11-38
　プロトコル設定 8-30

O
OpenSSLライセンス 1-7

P
PCL 11-38
PDF/A 6-27, 11-38
　初期値 8-17
Ping 8-36
POP3 11-39
POP3（メール受信）
　プロトコル設定 8-31
PostScript 11-39
PPM 11-39
PRESCRIBE 11-41
Product Library xviii

R
RA（Stateless） 11-39
　設定 8-29
RAMディスク 11-39
RAMディスク設定 8-37
RAW Port
　プロトコル設定 8-34

S
SDカードフォーマット 8-19
SMBクライアント（送信）
　プロトコル設定 8-31
SMTP 11-39
SMTP（メール送信）
　プロトコル設定 8-31
SNMP
　プロトコル設定 8-32
SNMPv3
　プロトコル設定 8-32
SSL 8-36

T
TCP/IP 11-39
　設定 8-28
TCP/IP（IPv4）
　設定 2-24, 8-28
TCP/IP（IPv6） 11-39
　設定 8-29
TELコネクター 2-4
Thin Print over SSL
　プロトコル設定 8-34
ThinPrint
　プロトコル設定 8-34
TWAIN 11-39
　TWAINドライバーの設定 2-47

U
USB 11-39
USBインターフェイス 2-7
USBインターフェイスコネクター 2-4
USBケーブル
　接続 2-9
USBメモリー
　印刷 5-39
　情報確認 5-42
　取り外しかた 5-42
　保存 5-40
USBメモリーからの印刷 5-39
USBメモリースロット 2-2
USBメモリーへの保存 5-40

W
WIA 11-40
　WIAドライバーの設定 2-49
Wi-Fi Direct
　設定 2-30, 8-26
WSD印刷
　プロトコル設定 8-32
WSDスキャン 5-25
　プロトコル設定 8-31

X
XPS印刷サイズ調整 6-34
　初期値 8-17

あ
アウトラインフォント 11-40
宛先
　宛先確認画面 5-36
　アドレス帳から選ぶ 5-32
　拡張アドレス帳から選ぶ 5-34
　確認/変更 5-35
　検索 5-33
　種類の異なる相手への送信（複合送信） 5-29
　新規宛先の入力確認 8-21
　新規登録 3-21
　送信前の宛先確認 8-21
　表示順 8-23
　ワンタッチキー 3-28
　ワンタッチキーから選ぶ 5-35
宛先の登録 3-21
宛先編集
　アドレス帳 3-21
　アドレス帳初期設定 8-23
　グループ 3-24
　個人 3-21
　ワンタッチキー 3-28
アドレス帳
　グループ 3-24
　個人 3-21
　登録 3-21
　変更/削除 3-26, 3-27
アドレス帳/ワンタッチ 8-22
暗号化PDFパスワード 6-34

い
一般的なトラブル 10-9
印刷
　定形サイズ 4-4
　不定形サイズ 4-6
印刷設定 4-2
印刷速度 11-27
印刷用紙 1-12
インストール
　Macintosh 2-45
　Windows 2-38
　ソフトウェア 2-37
インターフェイスブロック設定 8-36

う
後ろカバー1 2-3
後ろカバー2 2-6

え
エコプリント 6-19, 11-40
　初期値 8-16
　プリンター 8-23
絵表示 1-2
エミュレーション 11-40
　選択 8-23
エラー後自動継続 8-40
エラー後自動継続時間 8-40
エラー処理設定 8-18
エンターキー 2-19

お

オートスリープ 11-40
オートパネルリセット 8-39
お気に入り 5-8
　ウィザード形式で登録 5-9
　削除 5-12
　プログラム形式で登録 5-10
　変更 5-12
お気に入りの実行
　ウィザード形式 5-11
　プログラム形式 5-12
音設定 8-10
オプション
　ICカード認証キット 11-4
　オプション構成 11-2
オプション機能 8-38
オプションのアプリケーションについて 11-6
オプションメモリー使用量 8-38
オリジナルSSLeayライセンス 1-7

か

解像度 6-32, 8-25, 11-27
カウンターの確認 2-50
拡張アドレス帳
　初期値 8-23
拡張メモリー 11-3, 11-40
各部の名称 2-2
加工紙 11-24
画質 6-27
　初期値 8-17
カセット
　長さガイド 3-4, 3-7
　幅ガイド 3-5, 3-7
　用紙サイズと用紙種類 8-8
　用紙のセット 3-4, 3-7
カセット/手差しトレイ設定 8-8
カセット1 2-2
カセット2 2-6
紙づまりが発生したら
　後ろカバー1 10-41
　カセット1 10-35
　カセット2 10-36
　紙づまり位置表示 10-34
　原稿送り装置（自動両面） 10-43
　手差しトレイ 10-38
画面の明るさ 8-40
カラー
　カラーバランス 6-21
　キャリブレーション 10-33
　彩度 6-24
　色相調整 6-20
カラー印刷位置補正 10-28
カラー選択 6-16
　初期値 8-16
カラーバランス 6-21
簡単セットアップ 2-35
簡単ログイン 2-22
簡単ログイン設定
　簡単ログイン 9-23
　簡単ログイン情報 9-23
管理 9-1

き

キーボード入力方式 8-19
キャリブレーション 8-41, 10-33
給紙指定動作 8-24
給紙段の選択
　用紙のセット 3-3
共通設定 8-10
　SDカードフォーマット 8-19
　エラー処理設定 8-18
　音設定 8-10
　カラートナーなし時の印刷 8-18
　キーボード入力方式 8-19
　機能初期値 8-16
　原稿設定 8-11
　状況/履歴の表示 8-19
　初期画面 8-10
　電源オフ時確認 8-19
　トナー残量少の通知 8-18
　入力長さ単位 8-18
　部数制限 8-17
　用紙設定 8-13

く

区点コード表 11-29
グループ認可設定 9-15
　グループ認可 9-15
　グループリスト 9-16
グレースケール 11-40
黒筋軽減処理 8-40

け

ケーブル 2-7
ゲスト認可設定 9-18
　ゲスト認可 9-18
　ゲストプロパティ 9-19
原稿
　カスタム 8-11
　原稿サイズ初期値 8-12
　サイズ xxi
　設定 8-11
原稿送り装置 2-2
　原稿のセット 5-3
　使用できる原稿 5-3
原稿ガラス 2-2
原稿サイズ 6-17
原稿サイズ混載 6-18
原稿サイズ指示板 2-2
原稿ストッパー 2-2, 5-4
原稿設定 8-11
原稿セット 5-2
　原稿送り装置 5-3
　原稿ガラス 5-2
原稿セット向き 6-18
　初期値 8-16
原稿トレイ 2-2
原稿の画質 6-19
　初期値 8-16

原稿排紙テーブル 2-2
原稿幅ガイド 2-2
言語選択 8-5

こ

高圧縮PDF 6-27
　初期値 8-17
国際エネルギースタープログラム 1-12
コピー 5-15
コピー禁止事項 1-5
コピー設定 8-20
　原稿送り装置動作 8-20
　原稿ガラススキャン動作 8-20
　自動倍率優先 8-20
　自動用紙動作設定 8-20
コピー速度 11-27
コントラスト 6-22
こんな表示が出たら 10-16

さ

再起動 8-37
再生紙 11-24
彩度 6-24
サブネットマスク 11-40
　設定 8-28

し

地色調整 6-23
　初期値 8-16
色相調整 6-20
時差 8-39
システム/ネットワーク 8-26
　RAMディスク設定 8-37
　インターフェイスブロック設定 8-36
　オプション機能 8-38
　オプションメモリー使用量 8-38
　再起動 8-37
　セキュリティーレベル 8-37
　ネットワーク 8-26
　優先ネットワーク（クライアント） 8-36
システムメニュー 8-2
　アドレス帳/ワンタッチ 8-22
　カセット/手差しトレイ設定 8-8
　簡単セットアップウィザード 2-35
　共通設定 8-10
　言語選択 8-5
　コピー 8-20
　システム/ネットワーク 8-26
　操作方法 8-2
　送信 8-21
　調整/メンテナンス 8-40
　日付/タイマー/節電 8-39
　ファクス 8-22
　プリンター 8-23
　文書ボックス 8-22
　ホーム 8-19
　ユーザー/部門管理 8-23
　ユーザー情報 8-7, 9-10
　レポート 8-5
自動改ページ待ち時間 11-41
自動用紙選択機能 11-41
自動両面機能について 1-12
シャープネス 6-22
縮小/拡大 6-10
　初期値 8-16
手動設定（IPv6） 8-29
ショートカット
　削除 5-14
　登録 5-13
　変更 5-14
仕様 11-25
　原稿送り装置 11-28
　コピー機能 11-27
　スキャナー機能 11-28
　プリンター機能 11-27
　ペーパーフィーダー（500枚×1） 11-28
　本体 11-25
状況/履歴の表示 8-19
商標について 1-6
使用枚数を集計する
　カウンター 2-50
　全部門集計 9-40
　不明なジョブの処理 9-43
　部門管理レポート印刷 9-41
　部門別集計 9-40
消耗品
　残量確認 7-12
初期画面 8-10
初期値 8-16
ジョブ
　一時停止と再開 7-10
　確認画面の内容 7-3
　確認画面の表示 7-2
　キャンセル 7-10
　状況確認 7-2
　状況の種類 7-2
　詳細情報 7-7
　履歴確認 7-8
　履歴画面の表示 7-8
　履歴送信 7-9
　履歴の詳細 7-9
ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1
ジョブ終了通知 6-25
ジョブボックス 11-41
　一時保存文書の自動消去 8-22
　クイックコピー 4-14
　クイックコピージョブ保持数 8-22
　ジョブ保留 4-13
　試し刷り後保留 4-15
　パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-11
　プライベートプリント 4-12

す

スキャン禁止事項 1-5
ステータスページ 11-41
スリープ 2-32
スリープ時間 8-39
スリープレベル 8-39

スリットガラス 2-2

せ
清掃 10-2
　原稿ガラス 10-2
　スリットガラス 10-3
　搬送ユニット 10-4
セキュリティー設定 8-36
セキュリティーレベル 8-37
接続
　USBケーブル 2-9
　電源コード 2-9
　ネットワークケーブル 2-8
接続方法 2-7
設置環境について 1-3
節電復帰レベル 8-40

そ
ソート 6-16
　初期値 8-16
操作パネル 2-2
送信結果レポート 8-7
送信サイズ 6-31
送信する
　パソコンに文書を送信するための準備 3-10
送信設定 8-21
　カラーTIFF圧縮方式 8-21
　再宛先 8-21
　初期画面 8-21
　新規宛先の入力 8-21
　新規宛先の入力確認 8-21
　送信控え転送 8-21
　送信前の宛先確認 8-21
送信控え転送 8-21

た
タッチパネル 2-12
短縮キー 2-19

ち
注意表示 1-2
調整/メンテナンス 8-40

て
定着カバー 2-4
手差しトレイ 2-4, 11-41
　用紙サイズと用紙種類 8-9
デバイス 7-11
デフォルトゲートウェイ 11-41
　設定 8-28
電源オフ時確認 8-19
電源コード
　接続 2-9
電源スイッチ 2-2
電源を入れる 2-10
電源を切る 2-10
電波の種類と干渉距離 1-13
電力管理 1-12

と
盗難防止ロック用スロット 2-3
トナーコンテナ（イエロー） 2-5
トナーコンテナ（シアン） 2-5
トナーコンテナ（ブラック） 2-5
トナーコンテナ（マゼンタ） 2-5
トナーコンテナの交換 10-5
トナーコンテナロックレバー 2-5
トナー残量少の通知 8-18
トナーの残量確認 7-12
ドラムリフレッシュ 8-41
取り扱い上のご注意 1-4

な
内部トレイ 2-2

に
日常のお手入れ 10-2
　トナーコンテナの交換 10-5
入力
　件名 6-32
　文書名 6-26
入力長さ単位 8-18

ね
ネットワーク
　準備 2-24
　設定 8-26
ネットワークインターフェイス 2-7
ネットワークインターフェイスコネクター 2-4, 2-5
ネットワークケーブル 2-7
　接続 2-8
ネットワーク設定
　Wi-Fi Directの設定 2-30
　有線の設定 2-24
　ワイヤレスネットワークの設定 2-25
ネットワークの再起動 8-36

の
濃度 6-11
濃度調整 8-40

は
排紙ストッパー 2-2, 3-9
廃棄 11-36
白紙検知レベル
　初期値 8-17
白紙ページスキップ 6-23
　初期値 8-16
パソコンから印刷 4-4
パネルリセット時間 8-39
搬送カバー 2-4
搬送用取っ手 2-2, 2-3

ひ
日付/時刻 8-39

日付/タイマー/節電 8-39
Pingタイムアウト時間 8-40
エラー後自動継続 8-40
エラー後自動継続時間 8-40
オートパネルリセット 8-39
時差 8-39
使用禁止時間 8-40
スリープ時間 8-39
スリープレベル 8-39
パネルリセット時間 8-39
日付/時刻 8-39
日付形式 8-39
日付形式 8-39
日付と時刻の設定 2-23

ふ

ファーストコピータイム 11-27
ファーストプリントタイム 11-27
ファイル
PDF 6-28
形式 6-27
分割 6-31
ファイル形式 6-27
初期値 8-16
ファイル分割 6-31
初期値 8-16
ファクス 8-22
フォルダー(FTP)送信 5-21
フォルダー(SMB)送信 5-18
複合送信 5-29
部数制限 8-17
付属マニュアルの紹介 xvii
部門管理 9-29
TWAIN 9-36
WIA 9-37
印刷 9-35
削除 9-34
使用制限 9-32
使用枚数の集計 9-40
初期設定 9-39
新規登録 9-31
ファクス 9-38
部門管理について 9-29
部門管理方式 9-30
部門管理レポート 9-41
編集 9-33
有効 9-30
ログアウト 9-42
ログイン 9-42
プリスクライブコマンド 11-41
プリンター 8-23
A4/Letterの共通使用 8-24
印刷設定 4-2
印刷範囲補正 8-24
印刷向き 8-24
エコプリント 8-23
エミュレーション 8-23
改行(LF)動作 8-24
解像度 8-25
改ページ待ち時間 8-24
カラー設定 8-23
給紙指定動作 8-24
光沢モード 8-25
自動カセット切り替え 8-25
ジョブ名 8-24
手差しトレイ優先 8-24
部数 8-24
復帰(CR)動作 8-24
ユーザー名 8-24
両面印刷 8-24
ワイドA4 8-24
プリンタードライバー 11-41
ヘルプ 4-3
文書ボックス
外部メモリーボックス 5-38
ジョブボックス 4-11, 5-38
文書ボックスとは 5-38
文書ボックス設定 8-22
Fコードボックス 8-22
ジョブボックス 8-22
ポーリングボックス 8-22
文書名入力
初期値 8-17

へ

ページ集約 6-14
ヘルプ 11-41
ヘルプ画面の使いかた 2-20

ほ

ホーム 8-19
壁紙 2-13
タスク画面の設定 2-13
デスクトップの設定 2-13
ホーム画面 2-12
法律上のご注意 1-6
補修用性能部品 11-36
保守サービス 11-35
補助トレイ 2-4
ホスト名 8-26
保存サイズ 6-33
ボタン 2-2
本書の読みかた xx
本製品の省エネ制御機能について 1-12
本製品の使用限定 1-14

み

右カバー 2-2

む
無線LAN使用時のご注意 1-13
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 1-13

め
メール件名/本文 6-32
　初期値 8-17
メール設定 2-58
メール送信 5-17

も
文字の入力 11-8
　入力画面 11-10
　入力方式 11-8
　入力文字 11-9
　文字変換 11-13, 11-15

ゆ
ユーザー/部門管理 8-23
　ID不明ジョブ処理 9-43
　部門管理設定 9-29
　ユーザー管理設定 9-2
ユーザー管理 9-2
　ICカード設定 9-26
　TWAIN 9-12
　WIA 9-13
　印刷 9-11
　簡単ログイン設定 9-23
　グループ認可設定 9-15
　ゲスト認可設定 9-18
　新規登録 9-5
　ネットワークユーザー情報の取得 9-21
　ファクス 9-14
　ユーザーアカウントロックアウト設定 9-4
　ユーザー管理について 9-2
　ユーザー情報の変更 9-8
　有効 9-3
　ログアウト 2-22
　ログイン 2-21
ユーザー情報 8-7
優先印刷 6-26
優先ネットワーク（クライアント） 8-36
ユニバーサル 11-41

よ
用語集 11-37

用紙
　重さ 8-15
　カスタムサイズ 8-13
　カセット 8-8
　カセットへのセット 3-4, 3-7
　サイズと種類 8-8, 11-17
　自動用紙の用紙種類（カラー） 8-14
　自動用紙の用紙種類（白黒） 8-14
　仕様 11-17
　設定 8-13
　注意 3-2
　適正な用紙 11-18
　手差しトレイ 8-9
　特殊な用紙 11-21
　特定用紙種類の動作設定 8-14
　はがきのセット 5-7
　封筒のセット 5-7
　優先給紙元 8-14
　用紙種類の設定 8-14
　用紙の残量確認 7-12
　用紙のセット 3-2
用紙ガイド 2-4
用紙種類の設定 8-15
用紙設定 8-13
用紙選択 6-9
用紙長さガイド 2-4
用紙の取り扱い上の注意 3-2
用紙幅ガイド 2-4
読み込み解像度 6-32
　初期値 8-16

ら
ラスタライズ 11-41
ラベル紙 11-22

り
両面（両面原稿） 6-30
両面/分割 6-12

れ
レーザースキャナークリーニング 10-33
レポート 8-5
　管理レポート設定 8-6
　結果通知設定 8-7
　履歴送信 8-7
　レポート印刷 8-5
レポート印刷
　サービスステータスページ 8-6
　ステータスページ 8-5
　ネットワークステータス 8-6
　フォントリスト 8-5
　部門管理レポート 8-6
連続読み込み 6-24
　初期値 8-16

ろ
ログアウト 2-22
ログイン 2-21

わ

ワイヤレスネットワーク
　設定 2-25
ワンタッチキー
　登録 3-28
　変更/削除 3-29, 3-30

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610　東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

お客様相談窓口

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

©2016 KYOCERA Document Solutions Inc.
KYOCERA は京セラ株式会社の登録商標です。

2016.11
2R7KDJA002